

目 次

情報構造統御学講座

形態構造医学分野(解剖学第一)	1
組織細胞生物学分野(解剖学第二)	3
皮膚科学分野(皮膚科学)	5
視覚病態学分野(眼科学)	10
耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野(耳鼻咽喉科学)	17

器官機能統御学講座

腫瘍分子医科学分野	23
神經機能統御学分野(生理學)	25
消化器・一般外科学分野(外科学第一)	26
循環器・呼吸器・小兒外科学分野(外科学第二)	34
麻醉科学分野(麻醉・蘇生學)	37
急性期生体機能統御学分野(救急醫學)	39

代謝再生統御学講座

代謝細胞生物学分野(生化学第一)	41
運動機能再建・回復学分野(整形外科学)	42
代謝再生統御学・腎泌尿器外科学分野(泌尿器科学)	50
顎顔面口腔外科学分野(齒科口腔外科学)	53

発達生体防御学講座

病理病態学分野(病理学第一)	55
感染症学分野(細菌學)	57
免疫学分野(免疫學・寄生蟲學)	59
發達精神医学分野(精神神經醫學)	60
小兒医科学分野(小兒科學)	62
女性医学分野(産科婦人科學)	67

器官病態統御学講座

循環薬理学分野(藥理學)	71
血液・循環分子病態学分野(分子病態學)	73
循環・呼吸・腎臟内科学分野(内科学第一)	75
消化器病態制御内科学分野(内科学第二)	88
液性病態診斷医学分野(臨床検査醫學)	98

環境病態統御学講座

環境病態医学分野(衛生學)	102
法医病態診斷学分野(法醫學)	105
人体病理病態学分野(病理学第二)	108
映像解析制御学分野(放射線醫學)	110

基礎看護学講座	112
臨床看護学講座	114
地域看護学講座	119

[生命環境医科学専攻]

社会環境予防医学部門

公衆衛生学講座	124
医療政策学講座	126

臨床的機能再生部門

神経機能再生学講座(脳神経外科学)	128
言語分析学講座	135

分子疫学部門

生命情報内科学講座(内科学第三)	136
生体分子機能学講座(生化学第二)	142
生命情報工学講座	145

放射線部	147
輸血部	149
リハビリテーション部	150
病理部	156
薬剤部	157
動物実験施設	162
実験実習機器センター	164
遺伝子実験施設	165

()内は旧講座名

形態構造医学分野（解剖学第一）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Yukawa K, Kishino M, Hoshino K, Shirasawa N, Kimura A, Tsubota Y, Owada-Makabe K, Bai T, Tanaka T, Uemura T, Ichinose M, Takeda K, Akira S, Maeda M : The kinase domain of death-associated protein kinase is inhibitory for tubulointerstitial fibrosis in chronic obstructive nephropathy. *Int J Mol Med* 2005 ; 15 : 73-78
- 2) Sato G, Shirasawa N, Sakuma E, Sato Y, Asai Y, Wada I, Horiuti O, Sakamoto A, Harbert DC, Soji T : Intercellular communications within rat anterior pituitary XI : an immunohistochemical study of distributions of S-100 positive cells in the anterior pituitary of the rat. *Tissue Cell* 2005 ; 37 : 269-280
- 3) Sato Y, Hashitani H, Shirasawa N, Sakuma E, Naito A, Suzuki H, Asai Y, Sato G, Wada I, Horiuchi O, Sakamoto A, Herbert DC, Soji T : Intercellular communications within the rat anterior pituitary of the rat. *Tissue Cell* 2005 ; 37 : 281-291
- 4) Hashitani H, Yanai Y, Shirasawa N, Soji T, Tomita A, Kohri K, Suzuki H : Interaction between spontaneous and neurally-mediated regulation of smooth muscle tone in the rabbit corpus cavernosum. *J Physiol* 2005 ; 569 : 723-735
- 5) 井出 醇, 山崎太三, 金井英貴, 三戸秀哲, 青島周明, 白澤信行 : 日本人下眼瞼の組織所見. *臨床眼科* 2005 ; 59 : 89-94
- 6) 鈴木克彦, 仲野春樹, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 小川恵一, 渡辺皓, 内藤輝 : 筋電図平均加算法を用いた手の筋支配の正中神経から橈側手根伸筋への促通の解析. *山形医学* 2005 ; 23 : 59-68
- 7) 小川恵一, 鈴木克彦, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 仲野春樹, 寒河江正明, 宮坂卓治, 内藤輝, 渡辺皓 : 機械的条件刺激を用いた筋電図平均加算法によるヒト母指球筋から橈側手根伸筋への促通の解析. *山形医学* 2005 ; 23 : 107-115
- 8) 高梨央康, 孫英傑, 内藤輝 : 培養鶏卵胚内耳神経節細胞の髄鞘形成に対するアスコルビン酸の効果. *解剖誌* 2005 ; 80 Suppl . 2 : 5 - 6
- 9) 泉山拓也, 仲野春樹, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 鈴木克彦, 小川恵一, 寒河江正明, 内藤輝 : 叩打刺激を用いた PSTH法によるヒト橈骨筋から上腕三頭筋への抑制の解析. *解剖誌* 2005 ; 80 Suppl .2 : 7 - 8

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 白澤信行, 孫英傑, 内藤輝 : ラット下垂体前葉のグルタミン酸受容体について. 第110回日本解剖学会総会, 富山 ; 2005年3月
- 2) 孫英傑, 白澤信行, 内藤輝 : ニワトリ胎児内耳神経節におけるミエリン塩基蛋白質の発現. 第110回日本解剖学会総会, 富山 ; 2005年3月
- 3) 上山敬司, 白澤信行, 伊藤隆雄, 仲井沙織, 鶴尾吉宏 : ラット胃粘膜壁細胞におけるステロイドホルモン合成酵素発現の発達に伴う変化. 第110回日本解剖学会総会, 富山 ; 2005年3月
- 4) 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 仲野春樹, 寒河江正明, 内藤輝 : Functional anatomical studies of the human wrist extensors : Electrical neuromuscular stimulation. 第110回日本解剖学会総会, 富山 ; 2005年3月
- 5) 佐藤寿晃, 藤井浩美, 鈴木克彦, 小川恵一, 仲野春樹, 寒河江正明, 小林真司, 篠崎克洋, 宮坂卓治, 内藤輝, 進藤政臣 : ヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋への抑制 : PSTH法および筋電図平均加算法を用いた解析. 第110回日本解剖学会総会, 富山 ; 2005年3月
- 6) 仲野春樹, 宮坂卓治, 寒河江正明, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 進藤政臣, 内藤輝 : PSTH法を用いたヒト円回内筋から橈側手根伸筋への反射回路の解析. 第110回日本解剖学会総会, 富山 ; 2005年3月

- 7) 高梨央康, 孫英傑, 内藤輝: 培養下での髄鞘形成におけるアスコルビン酸の効果: 内耳神経節を用いた解析. 第110回日本解剖学会総会, 富山; 2005年3月
 - 8) 泉山拓也, 仲野春樹, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 鈴木克彦, 小川恵一, 寒河江正明, 内藤輝: 叩打刺激を用いたPSTH法によるヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋への抑制の解析. 第110回日本解剖学会総会, 富山; 2005年3月
 - 9) 鈴木克彦, 小川恵一, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 仲野春樹, 寒河江正明, 内藤輝: 筋電図平均加算法によるヒト母指球筋から橈側手根伸筋への促通の解析. 第40回日本理学療法学会大会, 大阪; 2005年5月
 - 10) 仲野春樹, 内藤輝, 小林真司, 高木理彰, 萩野利彦: PSTH法を用いた円回内筋から橈側手根伸筋への反射回路の解析. 第42回日本リハビリテーション医学会, 金沢; 2005年6月
 - 11) 佐藤寿晃, 藤井浩美, 鈴木克彦, 小川恵一, 仲野春樹, 寒河江正明, 小林真司, 篠崎克洋, 宮坂卓治, 進藤政臣, 内藤輝: Inhibition from the brachioradialis to the triceps brachii in humans. 第28回日本神経科学大会, 横浜; 2005年7月
 - 12) 鈴木克彦, 小川恵一, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 仲野春樹, 寒河江正明, 内藤輝: ヒト母指球筋から橈側手根伸筋への促通の解析. 第28回日本神経科学大会, 横浜; 2005年7月
 - 13) 青木俊介, 西川香里, 孫英傑, 王玉来, 小坂仁, 和田圭司: 新規TrioスプライスバリエントSoloの同定と機能解析. 第28回日本神経科学大会, 横浜; 2005年7月
 - 14) 仲野春樹, 宮坂卓治, 寒河江正明, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 進藤政臣, 内藤輝: ヒト円回内筋から橈側手根伸筋への促通性脊髄反射回路について: PSTH法を用いた解析. 第35回日本臨床神経生理学学会, 福岡; 2005年11月
 - 15) 鈴木克彦, 小川恵一, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 仲野春樹, 寒河江正明, 内藤輝: ヒト母指球筋から橈側手根伸筋への促通: 筋電図平均加算法を用いた解析. 第35回日本臨床神経生理学学会, 福岡; 2005年11月
 - 16) 西川香里, 青木俊介, 孫英傑, 王玉来, 小坂仁, 和田圭司: 小脳ブルキンエ細胞特異的に発現するグアニンヌクレオチド交換因子(GEF)の神経突起伸張に関する機能解析. 第28回日本分子生物学会年会, 福岡; 2005年12月
- (2) 国内地方会
- 1) 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 寒河江正明, 仲野春樹, 内藤輝: 手関節伸筋群に対する神経電気刺激を用いた橈尺屈運動の制御. 第16回東北作業療法学会, 大館; 2005年10月
- (3) 研究会
- 1) 白澤信行, 内藤輝: ラット下垂体前葉のグルタミン酸について. 第9回下垂体形態学ミーティング, 富山; 2005年3月
 - 2) 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 仲野春樹, 寒河江正明, 内藤輝: 手根伸筋群に対する神経筋電気刺激による手関節橈尺屈の動作制御. 第21回山形電気生理研究会, 山形; 2005年1月
 - 3) 山口智史, 竹平章, 大沼隼人, 藤原純司, 木村洋介, 秋山孝夫, 水戸部和久, 内藤輝, 藤井浩美, 佐藤寿晃: 上肢運動シミュレーターの開発. 第21回山形電気生理研究会, 山形; 2005年1月
 - 4) 仲野春樹, 宮坂卓治, 寒河江正明, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 進藤政臣, 内藤輝: PSTH法を用いた橈側手根伸筋と円回内筋の間の脊髄反射回路の解析. 第22回山形電気生理研究会, 山形; 2005年10月
- (4) その他
- 1) 内藤輝: 私がなぜ現在の科目を選んだか. 平成17年度山形大学医学部野外セミナー, 山形; 2005年4月
 - 2) 白澤信行, 孫英傑, 曾爾彊, 内藤輝: ラット下垂体前葉のグルタミン酸について. 山形大学実験動物セミナー第16回研究成果発表会, 山形; 2005年12月

組織細胞生物学分野（解剖学第二）

1 . 論 文

(1) 原 著

- 1) Katagiri Y, Ito T, Saino-Saito S, Hozumi Y, Suwabe A, Otake K, Sata M, Kondo H, Sakane F, Kanoh H, Kubota I, Goto K : Expression and localization of diacylglycerol kinase isozymes and enzymatic features in rat lung. *Am. J. Physiol. Lung Cell Mol. Physiol.* 2005 ; 288 : L1171-1178
- 2) Toya M, Hozumi Y, Ito T, Takeda M, Sakane F, Kanoh H, Saito H, Hiroi M, Kurachi H, Kondo H, Goto K : Gene Expression, Cellular localization and Enzymatic Activity of Diacylglycerol Kinase Isozymes in Rat Ovary and Placenta. *Cell Tissue Res.* 2005 ; 320 : 525-533
- 3) Takahashi H, Takeishi Y, Seidler T, Arimoto T, Akiyama H, Hozumi Y, Koyama Y, Shishido T, Tsunoda Y, Niizeki T, Nozaki N, Abe J, Hasenfuss G, Goto K, Kubota I : Adenovirus-mediated overexpression of diacylglycerol kinase-zeta inhibits endothelin- 1 -induced cardiomyocyte hypertrophy. *Circulation* 2005 ; 111 : 1510-1516
- 4) Yahagi H, Takeda M, Asami Y, Okumura K, Takahashi R, Takahashi J, Ohta J, Tada H, Minatoya Y, Sakuma M, Watanabe J, Goto K, Shirato K, Kagaya Y : Differential Regulation of Diacylglycerol Kinase Isozymes in Cardiac Hypertrophy. *Biochem. Biophys. Res. Comm.* 2005 ; 332 : 101-108

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Goto K : Functional implication of diacylglycerol kinase in the nucleus. Gordon Research Conference “ Signal transduction within the nucleus ”, California, USA ; February 2005
- 2) Goto K : Molecular imaging and functional implications of diacylglycerol kinase family, a lipid metabolizing enzyme, in neurons. 4th Asia-Pacific International Congress of Anatomists, Izmir, Turkey ; September 2005
- 3) Goto K, Nakano T, Hozumi Y : Pathophysiological roles of diacylglycerol kinase isozymes in the brain. 46th International Symposium on “ Regulation of Enzyme Activity and Synthesis In Normal and Neoplastic Tissues ”, Bologna, Italy ; October 2005
- 4) Nakano T, Hozumi Y, Goto K : Diacylglycerol kinase isozymes in neuron respond differently to ischemic insults. 35th Annual Meeting of Neuroscience, Washington DC, USA ; November 2005
- 5) Saino-S S, Goto K, Berlin R, Akiba Y, Kobayashi K, Baker H : Tyrosine hydroxylase promoter-reporter-expressing cells in adult mouse olfactory bulb express ER81 transcription factor and calcium-binding proteins. 35th Annual Meeting of Neuroscience, Washington DC, USA ; November 2005

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 後藤薫：脂質性二次メッセンジャー代謝酵素と神経機能（シンポジウム）。第110回日本解剖学会総会，富山；2005年3月
- 2) 齋野幸子，Jin H. Son, Hong S.Chun, Harriet Baker，後藤薫：マウス嗅球由来チロシン水酸化酵素プロモーター作動細胞株の解析。第110回日本解剖学会総会，富山；2005年3月
- 3) 八月朔日泰和，齋藤尚亮，近藤尚武，後藤薫：ベータ型ジアシルグリセロールキナーゼの神経細胞ポストシナプスにおける局在について。第110回日本解剖学会総会，富山；2005年3月
- 4) 中野知之，後藤薫：ラット肝再生モデルにおけるdiacylglycerol kinase の発現変化。第110回日本解剖学会総会，富山；2005年3月
- 5) 秋山英之，竹石恭知，久保田功，後藤薫：ラット心筋虚血モデルにおけるジアシルグリセロールキナーゼの細胞内局在。第110回日本解剖学会総会，富山；2005年3月
- 6) 山本雅一，加藤丈夫，後藤薫：炎症反応下の免疫担当細胞におけるジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの発現誘導。第110回日本解剖学会総会，富山；2005年3月

- 7) 長谷川浩士, 近藤尚武, 後藤薫: 細胞周期におけるジアシルグリセロールキナーゼ の細胞内局在の検討. 第110回日本解剖学会総会, 富山; 2005年 3月
- 8) 八月朔日泰和, 齋藤尚亮, 後藤薫: ベータ型ジアシルグリセロールキナーゼのニューロンにおける機能的役割について. 第28回日本神経科学大会, 横浜; 2005年 7月
- 9) 齋野幸子, 小林和人, 後藤薫, Harriet Baker: マウス嗅球におけるER81あるいはCaMKIV発現とドパミン産生細胞への分化. 第28回日本神経科学大会, 横浜; 2005年 7月

(3) 国内地方会

- 1) 齋野・齋藤幸子, 小林和人, Harriet Baker, 後藤薫: 球ドパミン産生細胞前駆体細胞におけるカルシウム結合蛋白の発現. 第51日本解剖学会・東北北海道地方会, 仙台; 2005年10月
- 2) 八月朔日泰和, 後藤薫: ベータ型ジアシルグリセロールキナーゼのシナプス後膜肥厚領域における局在と棘突起形成について. 第51日本解剖学会・東北北海道地方会, 仙台; 2005年10月
- 3) 中野知之, 後藤薫: 肝再生過程におけるdiacylglycerol kinase アイソザイムの発現変化. 第51日本解剖学会・東北北海道地方会, 仙台; 2005年10月

(4) 研究会

- 1) 中野知之, 八月朔日泰和, 齋野・齋藤幸子, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 後藤 薫: ラット中大脳動脈閉塞モデルにおけるジアシルグリセロールキナーゼの発現変化. 第6回山形ニューロサイエンス研究会, 山形; 2002年 6月

3. その他

- 1) 鷲岳宏, 中野知之, 渡辺皓, 後藤薫: 理科教員のための走査型電子顕微鏡実験講座. 文部科学省サイエンスパートナーシッププログラム; 2005年 8月
- 2) 齋野幸子, 後藤薫: 蛍光顕微鏡. 大学院トレーニングコース; 2005年 2月
- 3) 八月朔日泰和, 後藤薫: 共焦点顕微鏡. 大学院トレーニングコース; 2005年 2月

皮膚科学分野（皮膚科学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Mitsuhashi Y, Suzuki N, Kawaguchi M, Kondo S : Prurigo pigmentosa on a patient with soft-drink ketosis. J Dermatol 2005 ; 32 : 767-768
- 2) Mitsuhashi Y, Kawaguchi M, Hozumi Y, Kondo S : Topical vitamin D₃ is effective in treating senile warts possibly by inducing apoptosis. J Dermatol 2005 ; 32 : 420-423
- 3) Katagata Y, Takahashi M, Horiuchi Y, Takeda H, Kondo S, Tezuka T, Hashimoto T : Immunoelectron microscopy of keratin filaments in cultured malignant melanomas and squamous cell carcinomas. Yamagata Med J 2005 ; 23 (2) : 117-124
- 4) Kawaguchi M, Mitsuhashi Y, Kondo S : Overexpression of tumour necrosis factor-alpha-converting enzyme in psoriasis. Br J Dermatol 2005 ; 152 : 915-919
- 5) Sasaki S, Hozumi Y, Kondo S : Influence of prostaglandin F-2 alpha and its analogues on hair regrowth and follicular melanogenesis in a murine model. Eep Dermatol 2005 ; 14 : 323-328
- 6) Shiihara T, Kato M, Mitsuhashi Y, Hayasaka K : Costello syndrome showing moyamoya-like vasculopathy. Pediatr Neurol 2005 ; 32 : 361-363
- 7) 紺野隆之, 木根淵智子, 三橋善比古, 近藤慈夫 : 皮膚コレステリン肉芽腫の1例. 臨皮 2005 ; 59 : 400-403
- 8) 紺野隆之, 日下部順子, 山田真枝子, 吉田幸恵, 三橋善比古, 近藤慈夫 : 抗BP180抗体陽性であったlichen planus pemphigoidesの1例. 臨皮 2005 ; 59 : 738-741
- 9) 紺野隆之, 三橋善比古, 紺野恵理子, 近藤慈夫, 伊藤義彦 : 多発限局型と考えた pagetoid reticulosis の1例. 臨皮 2005 ; 59 : 868-871
- 10) 紺野隆之, 島貫美和, 阿部優子, 鈴木紀子, 三橋善比古, 近藤慈夫 : 片麻痺の麻痺側にのみ皮疹を生じた水疱性類天疱瘡の1例. 皮膚臨床 2005 ; 47 : 1400-1401
- 11) 林昌浩, 石澤俊幸, 長谷川繁生 : 臍部に生じた悪性黒色腫. 皮膚臨床 2005 ; 47 : 483-486
- 12) 紺野恵理子, 大山正俊, 吉田幸恵, 三橋善比古, 近藤慈夫 : 右下腿に限局して生じた Transient acantholytic dermatosis の1例. 皮膚臨床 2005 ; 47 : 943-946
- 13) 紺野恵理子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫, 三井哲夫 : 化学療法を行った Lymphomatoid papulosis の小児例. 皮膚臨床 2005 ; 47 : 1785-1788
- 14) 紺野恵理子, 三橋善比古 : 炎症性線状疣状表皮母斑. Visual Dermatology 2005 ; 4 : 268-269
- 15) 紺野恵理子, 川口雅一, 三橋善比古 : 水疱性類天疱瘡を疑ったノミ刺症. Visual Dermatology 2005 ; 4 : 604-605
- 16) 山田真枝子 : 【画像が診断の決め手となった皮膚病】CT画像が診断の助けとなった基底細胞母斑症候群. Visual Dermatology 2005 ; 4 : 1116-1117
- 17) 山田真枝子 : 【実践 皮膚病変のみかた】皮膚疾患カラーアトラス 母斑・母斑症 基底細胞母斑症候群. 日本医師会雑誌134巻特別 2005 ; 2 : 225
- 18) 山田真枝子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 大山正俊 : 24時間風呂が感染源と考えられた皮膚 Mycobacterium intracellulare 感染症の1例. 皮膚臨床 2005 ; 47 : 1167-1169
- 19) 山田真枝子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫, 櫻井學 : 広範囲に多彩な発疹を認めた Churg-Strauss 症候群の1例. 臨皮 2005 ; 59 : 135-138
- 20) 門馬文子, 三橋善比古 : 活性型ビタミンD₃の外用で治るシミ. Visual Dermatology 2005 ; 4 : 806-807
- 21) 三橋善比古, 近藤慈夫 : 活性型ビタミンD₃の外用による脂漏性角化症の治療. 第19回角化症研究会記録集 2005 ; 128-130
- 22) 三橋善比古 : 肝斑の鑑別診断. 日本医事新報 2005 ; 4245 : 95-96
- 23) 三橋善比古 : 高度先進医療～ケラチン病の遺伝子診断. Health & Safety 2005 ; 12号, 2005 . 10 .
- 24) 片方陽太郎, 近藤慈夫 : 血管肉腫細胞株からケラチン抽出過程で認められた HSP47 について. 第19回角化症

研究会記録集 2005 ; 8-11

- 25) 吉田幸恵, 三橋善比古, 近藤慈夫, 伊藤義彦: 連圈状靴襠疹. 第19回角化症研究会記録集 2005 ; 96-98
- 26) 阿部優子: 実践 皮膚病変のみかた: 癬痕性類天疱瘡. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 121
- 27) 木根淵智子: 実践 皮膚病変のみかた: 魚鱗癬. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 162
- 28) 島貫美和: 実践 皮膚病変のみかた: 妊娠性疱疹. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 123
- 29) 紺野恵理子: 実践 皮膚病変のみかた: Darier病. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 164
- 30) 山田真枝子: 実践 皮膚病変のみかた: 基底細胞母斑症候群. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 225
- 31) 日下部順子: 実践 皮膚病変のみかた: 水疱性類天疱瘡. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 120
- 32) 門馬文子: 実践 皮膚病変のみかた: 掌蹠角化症. 日医会誌 2005 ; 134 : 特(2), 163

(2) 総 説

- 1) 近藤慈夫:【皮膚アレルギー炎症 2005】肥満細胞におけるTNF- converting enzyme (TACE) の発現 . アレルギー・免疫 2005 ; 12 : 1021-1026
- 2) 三橋善比古: アトピー性皮膚炎の鑑別診断 ~ 3 つの診断基準 . 皮膚の科学 2005 ; 4 (増 5): 7-11
- 3) 三橋善比古: 病理像に現れる疾病の本質 ~ HEの向こうに見えるもの, 暗黙知診断 ~ . 日皮会誌 2005 ; 115 : 1912-1915
- 4) 三橋善比古: 皮膚科の遺伝相談の特徴とコツ ~ 遺伝医療の現状, 色素性乾皮症の遺伝カウンセリング ~ . 日皮会誌 2005 ; 115 : 2112-2115

(3) 著 書

- 1) 三橋善比古: 遺伝性皮膚疾患の病態と対応 ~ 表皮の形態異常と遺伝カウンセリング ~ . 日本皮膚科学会東京支部企画前実績教育講習会テキスト 2005
- 2) 三橋善比古: 魚鱗癬 . 疾患別最新処方・改訂4版, 矢崎義雄・菅野健太郎 監修, メディカルビュー, 2005 ; 754-755
- 3) 三橋善比古: ジベルパラ色靴襠疹 . 臨床診断に苦渋する100の外来皮膚疾患 ~ 達人が伝授する「臨床診断への次の一手は」? ~ . 宮地良樹 編, メディカルビュー社, 2005 ; 140-141
- 4) 三橋善比古: 紅皮症 . 今日の治療指針 2005, 医学書院, 2005 ; 820-821
- 5) 阿部優子, 三橋善比古: クンメルフェルド液 . 皮膚科プラクティス18巻ニキビ治療の技法 古川福実 編集, 文光堂, 2005 ; 108-109
- 6) 島貫美和, 三橋善比古: クリンダマイシン . 皮膚科プラクティス18巻ニキビ治療の技法 古川福実 編集, 文光堂, 2005 ; 121-125

(4) そ の 他

- 1) 三橋善比古: 卒後臨床研修センター . 蔵王会 (山形大学医学部医学科同窓会誌), 2005 ; 15号 : 7 -10
- 2) 三橋善比古: 山形大学医学部附属病院遺伝カウンセリング室の紹介 . 山形県医会報, 2005 ; 649 : 7 - 8

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Mitsuhashi Y, Kawaguchi M, Hozumi Y, Kondo S : Topical vitamin D₃ is effective in treating senile warts possibly by inducing apoptosis. 7. Tagung der Deutsch-Japanischen Gesellschaft für Dermatologie, Dresden, Deutsch ; June 2005

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 川口雅一, 穂積豊, 三橋善比古, 近藤慈夫: 皮膚におけるTNF- converting enzyme (TACE) の発現 . 日本研究皮膚科学会第30回年次学術大会, 横浜 ; 2005年 4月
- 2) 三橋善比古: 皮膚科における遺伝相談のコツ . 第104回日本皮膚科学会総会, 横浜 ; 2005年 5月
- 3) 三橋善比古: 皮膚病理組織学 ~ HEの向こうに見えるもの ~ . 第104回日本皮膚科学会総会, 横浜 ; 2005年 5月
- 4) 門馬文子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 門馬節子: 硬化部に紅斑を伴った糖尿病性浮腫性硬化症の1例 . 第104回日本皮膚科学会総会, 横浜 ; 2005年 4月
- 5) 林昌浩, 木根淵智子, 山田真枝子, 門馬文子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫, 安孫子広: 結節性紅斑様皮疹で発症した結節性多発動脈炎の一例 . 第104回日本皮膚科学会総会, 横浜 ; 2005年 4月

- 6) 三浦歩, 石川博康, 大田勝哉: メシル酸ガベキサート (FOY) 点滴静注 4 年後に皮下瘻孔を来した 1 例. 第 104 回日本皮膚科学会総会, 横浜; 2005 年 4 月
- 7) 林昌浩, 木根淵智子, 山田真枝子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 菊地憲明: 消化管穿孔をきたした電撃傷の一例. 第 31 回日本熱傷学会総会, 横浜; 2005 年 6 月
- 8) 林昌浩, 川口雅一, 紺野恵理子, 門馬文子, 三橋善比古, 近藤慈夫: 尋常性乾癬との鑑別に苦慮した毛孔性紅色秕糠疹の 1 例. 第 20 回日本乾癬学会, 軽井沢; 2005 年 9 月
- 9) 村田壺大, 三橋善比古, 近藤慈夫: Minimum psoriasis (仮称) の提唱. 第 20 回日本乾癬学会, 軽井沢; 2005 年 9 月
- 10) 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 肥満細胞における TNF- α converting enzyme の機能解析. 第 20 回日本乾癬学会学術大会, 軽井沢; 2005 年 9 月
- 11) 島貫美和, 三橋善比古, 近藤慈夫, 田中利治, 梅津和夫: レックリングハウゼン病の双生児例. 第 69 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 盛岡; 2005 年 9 月
- 12) 村田壺大, 門馬文子, 紺野恵理子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫, 西田徹, 橋本隆: 抗ラミニン 5 型瘢痕性類天疱瘡の一例. 第 69 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 盛岡; 2005 年 9 月
- 13) 齋藤寛幸, 阿部優子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 高橋義徳, 橋本隆: いわゆる“眼(瘢痕性)類天疱瘡”の皮膚所見の検討. 第 69 回日本皮膚科学会東部支部総会, 盛岡; 2005 年 9 月
- 14) 門馬文子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 三原一郎: 比較的短期間の経過で軽快したリンパ腫様丘疹症の 2 例. 第 69 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 盛岡; 2005 年 9 月

(3) 国内地方会

- 1) 門馬文子, 片桐美之, 三橋善比古, 近藤慈夫: 小児アトピー性皮膚炎に対する 0.03% タクロリムス軟膏のアンケート調査. 東北六県合同地方会学術大会第 329 回例会, 仙台; 2005 年 2 月
- 2) 紺野隆之, 木根淵智子, 三橋善比古, 近藤慈夫: 慢性リンパ性白血病に合併した水疱性類天疱瘡の 1 例. 第 330 回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2005 年 4 月
- 3) 島貫美和, 阿部優子, 紺野隆之, 三橋善比古, 近藤慈夫, 栗原紀子: 片麻痺の麻痺側に皮疹を生じた水疱性天疱瘡の一例. 第 330 回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2005 年 4 月
- 4) 三浦歩, 石川博康, 鈴木昌幸, 新藤徹郎, 間部克裕, 柴崎弘之, 角田孝彦, 門馬節子: PNC から PN へ進展したと考えられた一例. 第 330 回山形地方会, 山形; 2005 年 4 月
- 5) 熊谷恒良, 鈴木義広: カルバマゼピンによる Drug-Induced Hypersensitivity Syndrome の 1 例. 第 330 回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2005 年 4 月
- 6) 熊谷恒良, 鈴木真彦: 肛門機能を温存した外陰部肛門周囲 Paget 病. 第 330 回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2005 年 4 月
- 7) 村田壺大, 三橋善比古, 近藤慈夫: Minimum psoriasis (仮称) の提唱. 第 331 回日本皮膚科学会 3 県合同地方会, 福島; 2005 年 9 月
- 8) 紺野恵理子, 川口雅一, 門馬文子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 前田邦彦: 側頭部に生じた solitary fibrous tumor の 1 例. 日本皮膚科学会第 331 回 3 県合同地方会, 福島; 2005 年 9 月
- 9) 林昌浩, 木根淵智子, 山田真枝子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 著明な好酸球増多と四肢の痒疹様結節, 壊死性血管炎を認めた一例. 第 331 回日本皮膚科学会福島・山形・宮城 3 県合同地方会学術大会, 福島; 2005 年 9 月
- 10) 林昌浩, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 皮膚結節性多発動脈炎の一例. 第 331 回日本皮膚科学会福島・山形・宮城 3 県合同地方会学術大会, 福島; 2005 年 9 月
- 11) 紺野隆之, 山田真枝子, 島貫美和, 三橋善比古, 近藤慈夫, 角田孝彦: 治療に難渋している水疱性類天疱瘡の 1 例. 第 331 回日本皮膚科学会 3 県合同地方会, 福島; 2005 年 9 月
- 12) 紺野隆之, 三橋善比古, 近藤慈夫: イオパミドールによる遷延型薬疹の 1 例. 第 331 回日本皮膚科学会 3 県合同地方会, 福島; 2005 年 9 月
- 13) 島貫美和, 紺野隆之, 阿部優子, 三橋善比古, 近藤慈夫: 異型 Schnitzler syndrome が疑われた一例. 第 332 回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2005 年 12 月
- 14) 村田壺大, 紺野恵理子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: サルコイドーシスが疑われた酒さの一例. 第 332 回日皮山形地方会, 山形; 2005 年 12 月

- 15) 紺野恵理子, 川口雅一, 村田壺大, 三橋善比古, 近藤慈夫, 東海林眞司: Wells症候群の1例. 日本皮膚科学会第332回山形地方会, 山形; 2005年12月
- 16) 齋藤寛幸, 門馬文子, 林昌浩, 三橋善比古, 近藤慈夫, 阿部優子: 嚥下困難を伴う皮膚筋炎の1例. 第332回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2005年12月
- 17) 門馬文子, 林昌浩, 齋藤寛幸, 三橋善比古, 近藤慈夫, 小関賢一: 植皮術を試みたHailey-Hailey病の1例. 日本皮膚科学会山形地方会第332回例会, 山形; 2005年12月

(4) 研究会

- 1) 三橋善比古, 木根淵智子, 穂積豊, 近藤慈夫, 島田耕司: 皮膚脆弱症候群の掌蹠角化について. 第20回角化症研究会, 東京, 2005年7月
- 2) 紺野隆之, 阿部優子, 島貫美和, 山田真枝子, 三橋善比古, 近藤慈夫: 有棘細胞癌を合併した優性栄養障害型表皮水疱症の1例. 第27回水疱症研究会, 東京; 2005年10月

(5) その他

- 1) 三橋善比古: アトピー性皮膚炎の診断. 第20回アトピー性皮膚炎治療シンポジウム, 大阪; 2005年1月
- 2) 門馬文子, 三橋善比古, 近藤慈夫: 山形県における小児用プロトピック軟膏のアンケート調査の結果報告. プロトピック軟膏0.03%小児用発売1周年記念学術講演会, 山形; 2005年1月
- 3) 三橋善比古: アトピー性皮膚炎との付き合い方, 市民公開講座『アレルギーなんてこわくない』. 日本アレルギー協会山形支部, 山形; 2005年2月
- 4) 三橋善比古: 遺伝性皮膚疾患の病態と対応～表皮の形態異常と遺伝カウンセリング～. 日本皮膚科学会東京支部企画前実績教育講習会, 東京; 2005年2月
- 5) 三橋善比古: 乾癬と2, 3の角化症に対する活性型ビタミンD₃外用療法. いわき皮膚科懇話会, いわき; 2005年3月
- 6) 三橋善比古: 活性型ビタミンD₃外用のウラワザ. 第12回三重皮膚科専門医会・第97回三重皮膚科研究会, 津; 2005年3月
- 7) 紺野隆之, 三橋善比古, 近藤慈夫: 薬剤性過敏症症候群. 第39回東北アレルギー懇話会, 盛岡; 2005年6月
- 8) 三橋善比古: 平成17年度遺伝カウンセリングセミナー. 日本家族計画協会, 厚生労働省・日本遺伝カウンセリング学会後援, 東京; 2005年8月
- 9) 林昌浩, 木根淵智子, 山田真枝子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 著明な好酸球増多と四肢の結節, 壊死性血管炎を認めた一例. 第413回山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年8月
- 10) 林昌浩, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 両下腿にlivedoと, 紅斑を伴う皮内～皮下結節をみた一例. 第413回山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年8月
- 11) 三橋善比古: 遺伝性皮膚疾患と遺伝カウンセリング. 福井大学医学部4年目学生講義, 福井; 2005年9月
- 12) 紺野恵理子, 川口雅一, 村田壺大, 三橋善比古, 近藤慈夫, 石川博康: 線維筋痛症を合併したamyopathic dermatomyositisの1例. 第414回山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年9月
- 13) 齋藤寛幸, 門馬文子, 林昌浩, 三橋善比古, 近藤慈夫, 東直行: KL-6が高値であった皮膚筋炎の1例. 第414回山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年9月
- 14) 島貫美和, 三橋善比古, 近藤慈夫, 田中利治, 梅津和夫: レックリングハウゼン病の双生児例. 山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年9月
- 15) 齋藤寛幸, 阿部優子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 高橋義徳, 橋本隆: いわゆる“眼(癬痕性)類天疱瘡”の皮膚所見の検討. 第414回山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年9月
- 16) 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 尋常性乾癬におけるTNF- α converting enzyme (TACE)の発現と阻害剤による治療の可能性. 第414回山形皮膚科勉強会, 山形; 2005年9月
- 17) 三橋善比古: 遺伝性皮膚疾患の対応と遺伝カウンセリング. 第72回浦安皮膚臨床懇話会, 浦安; 2005年10月
- 18) 三橋善比古: 乾癬の治療と組織の変化. 第8回栃木県乾癬研究会, 宇都宮; 2005年10月
- 19) 三橋善比古: アトピー性皮膚炎との上手なつきあい方. 第55回日本アレルギー学会秋季学術大会, 盛岡; 2005年10月
- 20) 三橋善比古: ベーチェット病の治療と日常生活の注意点. 村山保健所ベーチェット病相談会, 山形; 2005年10月
- 21) 三橋善比古: 役に立つ小児の皮膚病診療アレコレ. 青森小児科医会, 青森; 2005年11月

- 22) 三橋善比古：爪の健康診断～爪でわかる体の病気，爪の水虫～．皮膚の日・市民公開講座，札幌；2005年11月
- 23) 齋藤寛幸，阿部優子，三橋善比古，近藤慈夫，高橋義徳，橋本隆：眼類天疱瘡の皮膚の免疫学的検討．第5回山形アレルギー研究会，山形；2005年11月
- 24) 西田徹：マムシ咬傷の4例．第124回新庄・最上臨床懇話会，新庄；2005年11月
- 25) 三橋善比古：現代の診療における遺伝カウンセリングの役割．置賜皮膚科医会，米沢；2005年12月

3 . そ の 他

- 1) 第37回山形皮膚医学研究会，山形；2005年3月
- 2) 第330回日本皮膚科学会山形地方会，山形；2005年4月
- 3) 第38回山形皮膚医学研究会，山形；2005年10月
- 4) 第332回日本皮膚科学会山形地方会，山形；2005年12月

視覚病態学分野（眼科学）

1 . 論 文

(1) 原 著

- 1) Funatsu H, Yamashita H, Noma H, Mimura T, Nakamura S, Sakata K, Hori S. Aqueous humor levels of cytokines are related to vitreous levels and progression of diabetic retinopathy in diabetic patients. Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology 2005 ; 243 : 3 - 8
- 2) Funatsu H, Yamashita H, Sakata K, Noma H, Mimura T, Suzuki M, Eguchi S, Hori S : Vitreous levelsof vascularendothelial growth factor and intercellular adhesion molecule 1 are related to diabetic macular edema. Ophthalmology 2005 ; 112 : 806-816
- 3) Takahashi Y, Li L, Kamiryo M, Asteriou T, Moustakas A, Yamashita H, Heldin P : Hyaluronan fragments induceendothelial cell differentiation in a CD44- and CXCL1/GRO1-dependent manner. J Biol Chem 2005 ; 280 : 24195-24204
- 4) Yamasaki M, Mishima HK, Yamashita H, Kashiwagi K, Murata K, Minamoto A, Inaba T. : Neuroprotective effects of erythropoietin on glutamate and nitric oxide toxicity in primary cultured retinal ganglion cells. BrainRes 2005 ; 1050 : 15-26
- 5) Yamamoto T, Hitani K, Sato Y, Yamashita H, Takeuchi S : Vitrectomy for diabetic macular edema with and without internal limiting membrane removal. Ophthalmologica 2005 ; 219 : 206-213
- 6) Noma H, Minamoto A, Funatsu H, Tsukamoto H, Jian K, Imada M, Nakano K, Yamashita H, Mishima HK : Intravitreal levels of vascular endothelial growth factor and interleukin-6 are correlated with macular edema in branch retinal vein occlusion. Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology On line.
- 7) Noma H, Minamoto A, Funatsu H, Tsukamoto H, Nakano K, Yamashita H, Mishima HK : Pathogenesis of Macular Edema With Branch Retinal Vein Occlusion and Intraocular Levels of Vascular Endothelial Growth Factor and Interleukin-6. Am J Ophthalmol 2005 ; 140 : 256-261
- 8) Takamura H, Yamashita H : Clinicopathological analysis of malignant eyelid tumor cases at Yamagata University Hospital : Statistical comparison of tumor incidence in Japan and in other countries. Jpn J Ophthalmol 2005 ; 49 : 349-354
- 9) 八木文彦, 佐藤幸裕, 山本禎子, 竹内忍 : 網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に対する硝子体手術の長期予後 . 眼臨 2005 ; 99 : 804-807
- 10) 川崎良, 土谷大仁朗, 芳賀真理江, 神尾聡美, 佐藤浩章, 菅野誠, 山本禎子, 山下英俊 . OCT光干渉断層計 2 機種による網膜厚マッププログラム測定の比較 . 臨眼 2005 ; 59 : 1357-1361
- 11) 高橋知美, 三橋玉絵, 神尾聡美, 高村浩, 山下英俊, 若倉雅登 : ミトコンドリアDNA3460変異がみられたレーベル遺伝性視神経症の 1 例 . 臨眼 2005 ; 59 : 1759-1763
- 12) 永沢倫, 大沼郁子, 高村浩, 山下英俊 : わずかな視野異常で発見された頭蓋内腫瘍の 2 症例 . あたらしい眼科 2005 ; 22 : 119-122

(2) 総 説

- 1) 山下英俊, 芳賀真理江, 佐藤さくら, 佐藤浩章, 山本禎子 : 糖尿病網膜症の成因と病態 . 内分泌・糖尿病科 2005 ; 20 (Suppl.2) : 160-169
- 2) 山下英俊, 山本禎子 : 糖尿病網膜症 . 病態生理 . サイトカイン, 増殖因子 . 日本臨床 2005 ; 63 (増刊号 6 . 糖尿病性細小血管症 - 基礎・臨床のアップデート -) : 202-206
- 3) 山下英俊, 山本禎子, 川崎良, 佐藤さくら : 糖尿病網膜症の現状と展望 . 血管医学 2005 ; 6 : 295-303
- 4) Funatsu H, Yamashita H : Pathogenesis of diabetic retinopathy and diabetic macular edema and enzymeinhibition. Current Enzyme Inhibition1 : 2005 ; 329-337
- 5) 曽根博仁, 山下英俊, 片山茂裕, 赤沼安夫, 山田信博 : 糖尿病性細小血管症の本邦における有病率と発症率 . 日本臨床 2005 ; 63 (増刊号 6 . 糖尿病性細小血管症 - 基礎・臨床のアップデート -) ; 18-22

- 6) 曾根博仁, 田中佐智子, 清野弘明, 山崎義光, 石橋俊, 山下英俊, 井藤英喜, 齋藤康, 片山茂裕, 大橋靖雄, 赤沼安夫, 山田信博, JDCSグループ: JDCS (Japan Diabetes Complications Study). *Vascular Medicine* 2005; 86-94
- 7) 曾根博仁, 清野弘明, 山崎義光, 石橋俊, 山下英俊, 井藤英喜, 齋藤康, 片山茂裕, 松岡健平, 大橋靖雄, 赤沼安夫, 山田信博, JDCSグループ: 糖尿病合併症の疫学研究の現状と課題. 「Japan Diabetes Complications Study (JDCS). 中間報告に見る現代日本の糖尿病合併症. *糖尿病合併症* 2005; 19: 28-32
- 8) 山本禎子, 井上優, 土谷大仁朗, 山下英俊: 血管新生の病態と治療. 4. 薬物療法の現状と展望. *眼科* 2005; 47: 1819-1829
- 9) 山本禎子: 裂孔原性網膜剥離の原因, 診断, 治療. *日本医事新報* 2005; 4220: 113-114
- 10) 山本禎子: 【合併症をどう治療するか】 Q & A 急速な血糖是正と網膜症の関係は? (解説/特集). Q & A でわかる肥満と糖尿病 2005; 4: 278-280
- 11) 山本禎子: 【糖尿病網膜症 患者さんへのアプローチ】硝子体手術のケア (特集). *眼科ケア* 2005; 7: 47-52
- 12) 山本禎子: 【糖尿病性細小血管症 基礎・臨床のアップデート】糖尿病網膜症 糖尿病黄斑浮腫 黄斑浮腫の外科的治療. *日本臨床* 2005; 63: 280-285
- 13) 高村浩: 《血液内科以外でみつかると悪性リンパ腫》眼科領域. *内科* 2005; 96特集最新悪性リンパ腫診療 - WHO分類時代のbest patient care: 283-286
- 14) 高村浩: 質疑応答 結膜脂肪腫の治療. *日本医事新報* 2005; 4250: 96-97
- 15) 高村浩: 8) 神経眼科・眼形成 Q 1 眼症状が出る脳腫瘍: 診断, 治療のリスクと対処法について教えてください. あたらしい眼科 2005; 22 (臨増): 227-230
- 16) 高橋義徳, 山下英俊: 3. 鈍的外傷. *眼科 (特集「眼外傷」)* 2005; 47: 1299-1305
- 17) 高橋義徳, 山下英俊: 紫外線角膜障害. *眼科 (臨時増刊号「前眼部疾患と病変の診かた」)* 2005; 47: 1642-1645
- 18) 高橋義徳, 山下英俊: 眼科におけるサイトカイン療法. *眼科* 2005; 47: 1209-1214
- 19) 菅野誠, 山下英俊: 糖尿病網膜症. *Molecular Medicine* 2005; 42 (臨時増刊号): 191-199
- 20) 菅野誠: 緑内障専門病院で行っている閉塞隅角緑内障のレーザー治療 (山形大学における実際). あたらしい眼科 2005; 22閉塞隅角緑内障 (診断と治療のアップデート): 1214~1215
- 21) 川崎良, 山下英俊: 糖尿病網膜症の疫学. *臨床眼科* 2005; 59: 1441-1444
- 22) 芳賀真理江, 山下英俊: ポリープ状脈絡膜血管症: Polypoidal Choroidal Vasculopathy (PCV) について. *日本の眼科* 2005; 76: 501-502
- 23) 芳賀真理江, 川崎良, 山下英俊: 糖尿病性細小血管症・糖尿病網膜症. *日本臨床* 2005; 63: 171-177
- 24) 佐藤さくら, 山下英俊: 糖尿病における血管分子病態. *糖尿病* 2005; 48: 713-716
- 25) 神尾聡美, 松下知弘, 山下英俊: 網膜症のある患者には抗血小板薬は使えないのですか. *ファーマナビゲータ 糖尿病編* 2005: 350-352
- 26) 斉藤公子, 山本禎子, 日谷光一郎, 山下英俊: 合併症を有する管理不良糖尿病. 網膜症. *Modern Physician* 2005; 25: 255-259
- 27) 斉藤公子, 山下英俊: 糖尿病網膜症の診断基準・病型分類. *内科* 2005; 95: 1714-1717

(3) 著 書

- 1) 山下英俊, 山本禎子: 第8章 慢性合併症の病態と治療. 1. 糖尿病網膜症の現状と展望. 「先端医療シリーズ 32糖尿病の最新医療」堀田食堯・豊田隆謙・門脇 孝編, 先端医療技術研究所, 2005; 181-187
- 2) 山本禎子: VII. 黄斑病変の手術治療. 4. 黄斑円孔網膜剥離. 2. 黄斑疾患の病態理解と治療. 「眼科プラクティス」2005; 256-261
- 3) 山本禎子, 山下英俊: 【眼科所見の捉え方と描き方】網膜硝子体所見の捉え方と描き方 網膜病変所見の分類と描画記載のルール. *糖尿病網膜症*. 「眼科プラクティス」2005; 4: 188-195
- 4) 高村浩: A. 症状から見た治療指針. 9. 眼球突出. 「眼疾患治療指針ハンドブック」大野重昭・山下英俊・谷原秀信編, 医薬ジャーナル社, 2005; 110-120
- 5) 高橋義徳, 山下英俊: TGF- β . 「酸化ストレスナビゲーター」倉林正彦監修, 山岸昌一編, メディカルレビュー社, 2005; 88-89

- 6) 高橋義徳：乾燥感。「眼疾患治療指針ハンドブック」大野重昭・山下英俊・谷原秀信編，医薬ジャーナル社，2005；67-74
- 7) 大沼郁子，佐藤武雄，山下英俊：糖尿病療養指導に必要な知識．慢性合併症：網膜症。「第39回糖尿病学の進歩 療養指導士を育てるために」日本糖尿病学会編，診断と治療社，2005；59-63

(4) その他

- 1) 山下英俊，大橋靖雄，水野佐智子：糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する調査 (JDCStudy)．網膜症経過観察プログラムについての報告書．平成16年度厚生省長期慢性疾患総合研究事業，糖尿病調査研究報告書．2005：25-38

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Kawasaki R, Wang JJ, Rochtchina E, Taylor B, Wong TY, Tominaga M, Kato T, Kayama T, Yamashita H, Mitchell P: Retinal vessel diameter in an adult Japanese population: the Funagata Study. Singapore Eye Research Institute & Assn. for Research in Vision and Ophthalmology 2nd Meeting on Research in Vision and Ophthalmology, Singapore; February 2005
- 2) Wang JJ, Kawasaki R, Rochtchina E, Taylor B, Wong TY, Tominaga M, Kato T, Kayama T, Yamashita H, Mitchell P: Prevalence of Hypertensive Retinopathy in a non-diabetic Japanese population: the Funagata Study. Singapore Eye Research Institute & Assn. for Research in Vision and Ophthalmology 2nd Meeting on Research in Vision and Ophthalmology, Singapore; February 2005
- 3) Tsuchiya D, Kawasaki R, Hasegawa K, Yamashita H: Newly Developed Optical Coherence Tomography, EG scanner, and its comparison to Humphrey OCT Retinal Thickness Map Program. Singapore Eye Research Institute & Assn. for Research in Vision and Ophthalmology 2nd Meeting on Research in Vision and Ophthalmology, Singapore; February 2005
- 4) Takahashi Y, Kamio S, Sendo D, Yamashita H: Corneal findings of early-onset graft versus host disease in 2 cases. World Cornea Congress V, Washington DC, USA; April 2005
- 5) Tsuchiya D, Kawasaki R, Saito K, Kaneko Y, Hasegawa M, Yamashita H: Reproducibility of Retinal Mapping Program Using Newly Developed Optical Coherence Tomography, "NeOCT EG Scanner". 77th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Fort Lauderdale, USA; April-May 2005
- 6) Sato S, Igarashi M, Goto K, Yamashita H: Significance of Diacylglycerol Kinase-Protein Kinase C in Pathogenesis of Retinal Cell Damage in Diabetic Eyes. 77th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Fort Lauderdale, USA; April-May 2005
- 7) Sato H, Sato S, Kawasaki R, Yamamoto T, Yamashita T, Yamashita H: Retinal Cell Damage Due to Oxidative Stress in Diabetic Retinopathy. 77th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Fort Lauderdale, USA; April-May 2005
- 8) Kashiwagi Y, Kanno C, Horie K, Inomata M, Imamura T, Yamamoto T, Yamashita H: Regulation of Transforming Growth Factor-Beta Type II Receptor Expression and Structure of Promoter Region in Human Retinoblastoma Cell Lines. 77th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Fort Lauderdale, USA; April-May 2005
- 9) Kanno C, Kashiwagi Y, Horie K, Inomata M, Imamura T, Yamamoto T, Yamashita H: Signal Transduction Pathway of ActivinA in Retinoblastoma Cell Lines. 77th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Fort Lauderdale, USA; April-May 2005
- 10) Yokoyama T, Yamane K, Minamoto A, Mishima HK, Yamashita H, Hoppe G, Sears JE: Protein Expression Patterns of Cultured Human RPE Cells Under Hyperglycaemic Condition Investigated by Proteome Analysis. 77th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Fort Lauderdale, USA; April-May 2005
- 11) Kashiwagi Y, Kanno C, Horie K, Inomata M, Imamura T, Kato M, Yamamoto T, Yamashita T: Induction of transforming growth factor-type II receptor mRNA in human retinoblastoma cell lines by Trichostatin

A and 5-Aza-2' deoxycytidine. Western Eye Reserch Conference, San Diego, USA ; September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 佐藤浩章, 山本禎子, 菅野誠, 川崎良, 芳賀真理江, 神尾聡美, 山下英俊: 特発性黄斑円孔の硝子体手術におけるM-chartによる変視量の検討. 第28回日本眼科手術学会, 大阪; 2005年1月
- 2) 高橋義徳, 山下英俊: 角膜上皮障害を契機に発見された眼類天疱瘡の1例. 第29回角膜カンファランス, 徳島; 2005年2月
- 3) 芳賀真理江, 山本禎子, 菅野誠, 川崎良, 佐藤浩章, 神尾聡美, 山下英俊: 糖尿病黄斑浮腫に対するトリアムシノロン併用硝子体手術後の黄斑部変化. 第11回日本糖尿病眼学会, 名古屋; 2005年3月
- 4) 川崎良, Wang JJ, Rochtchina E, Taylor B, Wong TY, 富永真琴, 加藤丈夫, 嘉山孝正, 山下英俊, MitchellP: 日本人の網膜血管径の影響を与える全身因子. 舟形町研究. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 5) 山崎真紀子, 村田和彦, 三嶋弘, 柏木賢治, 山下英俊: 培養網膜神経節細胞のグルタミン酸と一酸化窒素障害でのエリスロポエチンの保護効果. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 6) 横山知子, 山根健, 皆本敦, 三嶋弘, 山下英俊: 高濃度グルコース刺激に対するヒト網膜色素上皮細胞のプロテオーム解析. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 7) 山本禎子, 菅野智華子, 猪俣素子, 堀江公仁子, 柏木佳子, 山下英俊: 網膜芽細胞腫細胞におけるTGF R2 遺伝子の発現制御とプロモーター領域の構造. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 8) 菅野誠, 寺島和人, 山下英俊: ラタノプロスト・チモプトールからラタノプロスト・プリンゾラミドへの切り替え. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 9) 菅野智華子, 柏木佳子, 堀江公仁子, 猪俣素子, 今村健志, 山本禎子, 山下英俊: 網膜芽細胞腫細胞におけるアクチビン-Smadシグナル伝達系の解析. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 10) 芳賀真理江, 山下英俊, 山本禎子, 菅野誠, 川崎良, 佐藤浩章, 神尾聡美, 金子優, 鈴木理郎, 松下知弘, 土谷大仁朗, 大内典子, 田澤豊, 菅原岳史, 町田繁樹, 鍋島隆司, 三田真理子: シンポジウムIV 「視機能研究の最前線 - この症状をどう解析するか」 黄斑部疾患の視野と電気生理学的検査の検討. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 11) 佐藤さくら, 五十嵐雅彦, 後藤薫, 山下英俊: 高グルコース負荷による網膜芽細胞腫でのジアセルグリセロールキナーゼの発現変化. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 12) 土谷大仁朗, 山本禎子, 芳賀真理江, 山下英俊: 加齢黄斑変性に行った光線力学療法の検討. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 13) 佐藤浩章, 佐藤さくら, 川崎良, 山本禎子, 山下哲次, 山下英俊: 糖尿病黄斑症における酸化ストレス. 第109回日本眼科学会総会, 京都; 2005年3月
- 14) 高橋義徳, 山下英俊: ヒアルロナンオリゴによる血管新生とその経過における遺伝子発現変化. 第6回眼科DNAチップ研究会, 京都; 2005年3月(第109回日本眼科学会総会に併設)
- 15) 笠木靖夫, 高橋義徳, 高村浩, 山下英俊: 眼組織における47KDa熱ショック蛋白(HSP47)の発現とその臨床的意義. 第10回眼創傷治療研究会, 京都; 2005年3月(第109回日本眼科学会総会に併設)
- 16) 山下英俊, 菅野誠: 白内障手術におけるクリニカルパス. シンポジウム11「白内障に関わる医療問題」. 第2回日本眼内レンズ屈折手術学会総会, 京都; 2005年6月
- 17) 菅野誠, 山下英俊: 山形大学における白内障手術クリニカルパスの評価. 第20回日本眼内レンズ屈折手術学会総会, 京都; 2005年6月
- 18) 高村浩: シンポジウム1「眼科領域の家族性腫瘍」S1-2 神経線維腫症I型および家族性大腸腺腫症と眼病変. 第11回日本家族性腫瘍学会学術集会, 福島; 2005年6月
- 19) 山下英俊: シンポジウム「眼疾患治療における抗炎症薬」. 第25回日本眼薬理学会, 横浜; 2005年7月
- 20) 川崎良, 曾根博仁, 水野佐智子, 大橋靖雄, 山田信博, 山下英俊, JDCS研究グループ: メタボリックシンドロームは網膜症発生の危険因子である. 第59回日本臨床眼科学会, 札幌; 2005年10月
- 21) 松下知弘, 山本禎子, 菅野誠, 川崎良, 芳賀真理江, 神尾聡美, 佐藤浩章, 金子優, 鈴木理郎, 江口秀一郎, 山下英俊: 硝子体手術施行患者における抗凝固剤内服の有無による術後合併症発生の影響の検討. 第59回日本臨床眼科学会, 札幌; 2005年10月
- 22) 菅野誠, 山下英俊: ラタノプラストのノンレスポonderに対するレボブノロールの投与. 第59回日本臨床眼

科学会，札幌；2005年10月

23) 齊藤公子，高橋義徳，山下英俊：爪白癬による角膜真菌症を発症したと考えられる1例．第59回日本臨床眼科学会，札幌；2005年10月

24) 芳賀真理江，山本禎子，神尾聡美，菅野誠，佐藤浩章，川崎良，山下英俊，土谷大仁朗，大内典子：網膜静脈分枝閉塞症における光干渉断層計と多局所網膜電図による黄斑部評価．第59回日本臨床眼科学会，札幌；2005年10月

25) 神尾聡美，山本禎子，芳賀真理江，佐藤浩章，上領勝，菅野誠，川崎良，山下英俊：網膜静脈分枝閉塞症の短期自然経過．第44回日本網膜硝子体学会総会，大阪；2005年12月

26) 山本禎子，芳賀真理江，佐藤浩章，神尾聡美，川崎良，菅野誠，山下英俊：糖尿病黄斑浮腫に対するトリアムシノロン硝子体内注入と黄斑部光凝固併用療法の検討．第44回日本網膜硝子体学会総会，大阪；2005年12月

(3) 国内地方会

1) 山下英俊：特別講演「黄斑浮腫の病態と治療」．第43回北日本眼科学会，旭川；2005年7月

2) 山本禎子：シンポジウム 網膜血管病変の基礎と臨床．第43回北日本眼科学会，旭川；2005年7月

3) 金子優，山本禎子，山下英俊：自然寛解した眼虚血症候群の1例．第43回北日本眼科学会，旭川；2005年7月

4) 神尾聡美，山本禎子，芳賀真理江，佐藤浩章，菅野誠，川崎良，山下英俊：網膜静脈分枝閉塞症に対する硝子体手術後網膜厚を予測する因子．第43回北日本眼科学会，旭川；2005年7月

5) 山下英俊：糖尿病網膜症における内科 - 眼科診療連携．日本糖尿病学会第43回東北地方会，仙台；2005年11月

(4) 研究会

1) 神尾聡美，山本禎子，芳賀真理江，佐藤浩章，菅野誠，川崎良，山下英俊：網膜下出血を伴った虚血性視神経症と考えられた1例．第43回山形眼科研究会，山形；2005年1月

2) 齊藤公子：爪白癬による角膜真菌症を発症したと考えられた1例．第43回山形眼科研究会，山形；2005年1月

3) 高橋知美，神尾聡美，高村浩，山下英俊，若倉雅登：ミトコンドリアDNA3460変異が認められたレーベル遺伝性視神経症の1例．第43回山形眼科研究会，山形；2005年1月

4) 三橋玉絵，山下英俊：甲状腺眼症に対する斜視手術を行なった一例．第44回山形眼科研究会，山形；2005年2月

5) 佐藤浩章，山本禎子，菅野誠，川崎良，芳賀真理江，神尾聡美，山下英俊：特発性黄斑円孔の硝子体手術におけるM-chartによる変視量の検討．第44回山形眼科研究会，山形；2005年2月

6) 菅野誠：Superior Segmental Optic Hypoplasia (SSOH) の1例．第45回山形眼科研究会，山形；2005年4月

7) 佐藤浩章：Bimanual phacoと硝子体手術．第45回山形眼科研究会，山形；2005年4月

8) 高橋義徳：ドライアイの新たな概念と新規治療薬について．第45回山形眼科研究会，山形；2005年4月

9) 奥山美智子，佐藤憲夫，佐藤浩章，高村浩：IOLマスターの使用経験．第46回山形眼科研究会，山形；2005年5月

10) 川崎良，富永真琴，加藤丈夫，大門真，大泉俊英，河田純男，嘉山孝正，山下英俊，Wang JJ, Rohtchina E, Taylor B, Mitchell P, Wong TY：日本人の網膜血管変化に影響を与える全身因子：舟形町研究．第46回山形眼科研究会，山形；2005年5月

11) 土谷大仁朗，川崎良，山下英俊，長谷川倫郎：NeOCT EG Scannerのレチナルマッププログラムにおける再現性の検討．第46回山形眼科研究会，山形；2005年5月

12) 高村浩：シンポジウム「眼瞼結膜腫瘍は眼瞼腫瘍か結膜腫瘍か」3．文献的統計学的検討．第23回日本眼腫瘍研究会，新潟；2005年6月

13) 三橋玉絵，土谷大仁朗：山形大学における未熟児網膜症 (ROP) 診療の現状．第47回山形眼科研究会，山形；2005年6月

14) 山下英俊，菅野誠：白内障手術におけるクリニカルパス．第47回山形眼科研究会，山形；2005年6月

15) 高村浩，神尾聡美：神経線維腫症 型および家族性大腸腺腫症と眼病変．第47回山形眼科研究会，山形；2005年6月

- 16) 高橋義徳, 上領勝, 東條直貴, Lingli Li, Trias Asteriou, Paraskevi Heldin, 山下英俊: ヒアルロンオリゴ刺激血管新生における遺伝子発現プロファイリング. 細胞外マトリックス研究会, 福岡; 2005年7月
- 17) 奥山美智子, 佐藤憲夫, 渡辺興治, 高村浩: 放射線療法が奏効した転移性脈絡膜腫瘍. 第48回山形眼科研究会, 山形; 2005年7月
- 18) 金子優, 山本禎子, 山下英俊: 自然寛解した眼虚血症候群の1例. 第48回山形眼科研究会, 山形; 2005年7月
- 19) 高橋義徳: コンタクトレンズ装用者, 涙点プラグ装用者にみられた角膜感染症2例. 第48回山形眼科研究会, 山形; 2005年7月
- 20) 吉田絵美, 土谷大仁朗, 鈴木理郎, 中野早紀子, 三橋玉絵: 輻輳痙攣の一例. 第49回山形眼科研究会, 山形; 2005年9月
- 21) 山下英俊: 糖尿病網膜症: 2005年日本眼科医会記者発表の報告. 第49回山形眼科研究会, 山形; 2005年9月
- 22) 上領勝: ヒアルロン酸合成酵素の研究. 第49回山形眼科研究会, 山形; 2005年9月
- 23) 西塚弘一, 高村浩, 山下英俊, 三戸秀哲: 重症霰粒腫の1例. 第20回眼窩疾患シンポジウム, 山形; 2005年11月
- 24) 芳賀真理江, 山本禎子, 望月典子, 神尾聡美, 菅野誠, 佐藤浩章, 川崎良, 山下英俊, 土谷大仁朗: 網膜静脈分枝閉塞症における光干渉断層計と多局所網膜電図による黄斑部評価. 第50回山形眼科研究会, 山形; 2005年11月
- 25) 望月典子, 山本禎子, 神尾聡美, 川崎良, 山下英俊: 術後細菌性眼内炎の治療. 第50回山形眼科研究会, 山形; 2005年11月
- 26) 佐藤浩章: 固い核の白内障に対するホワイトスターシステムの使用経験. 第50回山形眼科研究会, 山形; 2005年11月
- 27) 高橋義徳, 山下英俊: 春季カタルとフリクテンが併発した1例. 第5回山形アレルギー研究会, 山形; 2005年11月

(5) その他

- 1) 山下英俊: 糖尿病黄斑症の病態と治療. 第306回岩手県眼科集談会, 盛岡; 2005年1月
- 2) 山本禎子: 糖尿病網膜症の病態と治療. 第11回富山内眼糖研究会, 富山; 2005年1月
- 3) 山下英俊, 山本禎子: 糖尿病療養指導に必要な知識 - 糖尿病網膜症診療の実際 -. 第39回糖尿病学の進歩, 仙台; 2005年2月
- 4) 山下英俊: 糖尿病網膜症の病態と治療 - 早期発見・早期治療からの戦略 -. 第73回福島眼科集談会, 福島; 2005年2月
- 5) 山本禎子: 糖尿病網膜症の病型・診断分類について. 第3回豊の国糖尿病・眼研究会, 北九州小倉; 2005年2月
- 6) 山本禎子: 黄斑浮腫に対する硝子体手術. 福島県手術講習会, 郡山; 2005年2月
- 7) 武田純, 山下英俊: シンポジウム「糖尿病網膜症の分子遺伝学への挑戦」オーガナイザー. 第11回日本糖尿病眼学会, 名古屋; 2005年3月
- 8) 山下英俊: Quality of Visionを高くするための糖尿病網膜症の診療. 第15回下野眼科談話会, 小山; 2005年3月
- 9) 菅野誠: 高齢者に多い目の病気(白内障・緑内障). 公立置賜南陽病院市民公開講座, 南陽; 2005年3月
- 10) 高橋義徳: 症状からみてもみようアレルギー性結膜炎. 講演会「アレルギーなんてこわくない», 山形; 2005年4月
- 11) 山下英俊: 糖尿病と眼. 目の健康講座(山形県眼科医会市民講座), 山形; 2005年5月
- 12) 山本禎子: 糖尿病網膜症の治療について. 目の健康講座(山形県眼科医会市民講座), 山形; 2005年5月
- 13) 山下英俊: 糖尿病網膜症発症の病態研究にもとづく治療戦略. 第162回埼京眼科学術集会, 所沢; 2005年5月
- 14) 山本禎子: 糖尿病網膜症. 第16回山形県糖尿病教育スタッフ会講習会, 山形; 2005年7月
- 15) 高橋義徳: 角膜上皮幹細胞移植と眼表面再建術. 第10回山形大学医学部技術部職員研修会, 山形; 2005年8月
- 16) 佐藤武雄: 眼の加齢について. 第10回山形大学医学部技術部職員研修会, 山形; 2005年8月

- 17) 大沼郁子：こどものための眼科学校保健．養護教諭部会講演会，山形；2005年 8月
- 18) 山下英俊：高い視力保持を目指す糖尿病網膜症診療．第64回日新眼科懇話会特別講演，会津若松；2005年 9月
- 19) 山下英俊：糖尿病網膜症：働き盛りの約300万人が発症 毎年約3,000人が失明～眼科治療技術の進歩により視力回復が可能に～．2005年度日眼医記者発表，2005年 9月
- 20) 山本禎子：糖尿病網膜症の治療．第12回山形県糖尿病談話会，山形；2005年 9月
- 21) 高橋知美：山形大学におけるロービジョン外来の紹介．第3回置賜眼科研究会，米沢；2005年 9月
- 22) 山下英俊：糖尿病網膜症の診断と治療．-エビデンスに基づく診療戦略-．愛知県眼科医会第5回学術研修会（愛知県眼科医会），名古屋；2005年11月
- 23) 根本裕次，高村浩：ミニシンポジウム「見た目で決める眼腫瘍」オーガナイザー．第20回眼窩疾患シンポジウム，山形；2005年11月
- 24) 菅野誠：視神経乳頭のみかた．緑内障診断と視野計勉強会，山形；2005年11月
- 25) 高橋義徳：“若々しい眼のための眼科学”“アイバンクの現状”．山形センチュリー LC第144回例会，山形；2005年11月
- 26) 上領勝，高橋義徳：コンタクトレンズの現状・問題点．第2回理学部・医学部・農学部・工学部交流セミナー，米沢；2005年11月

3 . そ の 他

- 1) 第43回山形眼科研究会，山形；2005年 1月
- 2) 第44回山形眼科研究会，山形；2005年 2月
- 3) 第45回山形眼科研究会，山形；2005年 4月
- 4) 第11回山形眼科先進医療研究会，山形；2005年 5月
- 5) 第9回やまがたDMミーティング，山形；2005年 5月
- 6) 第46回山形眼科研究会，山形；2005年 5月
- 7) 第47回山形眼科研究会，山形；2005年 6月
- 8) 第48回山形眼科研究会，山形；2005年 7月
- 9) 第4回山形オキュラーサーフェス研究会，山形；2005年 8月
- 10) 第49回山形眼科研究会，山形；2005年 9月
- 11) 第10回やまがたDMミーティング，山形；2005年11月
- 12) 第20回眼窩疾患シンポジウム，山形；2005年11月
- 13) 第5回山形アレルギー研究会，山形；2005年11月
- 14) 第51回山形眼科研究会，山形；2005年12月

耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野（耳鼻咽喉科学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M : Th1, Th2, Tc 1 and Tc 2 cells of patients with allergic rhinitis. Allergy Clinical Immunol Int. 2005 ; 1 : 252
- 2) Ohta N, Sakurai S, Yoshitake H, Aoyagi M : Study of the effects of anti-leukotriene receptor antagonists on chronic allergic rhinitis using QOL as an index. Allergy Clinical Immunol Int. 2005 ; 1 : 263
- 3) Ohta N, Sakurai S, Yoshitake H, Aoyagi M, Takahashi Y : The effect of fexofenadine in the treatment of cedar pollinosis prior to the start of the pollen season. Allergy Clinical Immunol Int. 2005 ; 1 : 267
- 4) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M : Th1 and Th2 CD4 and Tc1 and Tc2 CD8 T cells of patients with Wegener's granulomatosis. Allergy Clinical Immunol Int. 2005 ; 1 : 290
- 5) Yoshitake H, Nitto T, Ohta N, Fukase S, Aoyagi M, Sendo F, Araki Y : Elevation of the soluble form GPI-80, a β 2-integrin-associated glycosylphosphatidylinositol anchored protein in the serum of patients with Wegener's granulomatosis. Allergology Int. 2005 ; 54(2) : 299-303
- 6) Ohta N, Sakurai S, Yoshitake H, Aoyagi M : Analysis of Th1, Th2, Tc1 and Tc2 cells of patients with allergic rhinitis. Clin Exp All. 2005 ; (5) : 68-71
- 7) Toya M, Hozumi Y, Ito T, Takeda M, Sakane F, Kanoh H et al : Gene expression, cellular localization, and enzymatic activity of diacylglycerol kinase isozymes in rat ovary and placenta. Cell Tissue Res 2005 ; 320 : 525-533
- 8) Katagiri Y, Ito T, Saino-Saito S, Hozumi Y, Suwabe A, Otake K : Expression and localization of diacylglycerol kinase isozymes and enzymatic features in rat lung. Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 2005 ; 288 : 1171-1178
- 9) 太田伸男, 景山咲子, 稲村博雄, 小池修治, 青柳優 : 当科における副鼻腔真菌症の臨床的検討 . 山形県医師会報 2005 ; 64(9) : 24-27
- 10) 太田伸男, 櫻井真一, 青柳優 : イネ科花粉症に対するロラタジンの治療効果 . 耳鼻臨床 2005 ; 98(3) : 251-257
- 11) 伊藤吏, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 千葉寛之, 鈴木豊, 青柳優 : 聴性定常反応を用いた他覚的聴力検査システム MASTERの有用性について . Audiology Japan 2005 ; 48 : 128-134
- 12) 阿部靖弘, 青柳優, 伊藤吏, 渡辺知緒, 千葉寛之, 鈴木豊 : 成人覚醒時における他覚的聴力検査MASTER®の有用性 . Audiology Japan 2005 ; 48 : 266-273
- 13) 阿部靖弘, 稲村博雄, 甲州秀浩, 川口和浩, 青柳優 : 顔面神経及び顔面筋の加齢変化についての検討 - 皺の定量的判定と加齢変化を中心として - . Facial N Res Jpn 2005 ; 25 : 39-41
- 14) 稲村博雄, 阿部靖弘, 甲州秀浩, 川口和浩, 青柳優 : Bell麻痺に対するステロイド単独療法とバラシクロピル併用療法による治療効果の比較検討 . Facial N Res Jpn 2005 ; 25 : 82-84
- 15) 川口和浩, 稲村博雄, 阿部靖弘, 甲州秀浩, 青柳優 : Bell麻痺患者におけるウイルス学的検討 . Facial N Res Jpn 2005 ; 25 : 52-54
- 16) 那須隆, 小池修治, 甲州秀浩, 伊藤吏, 阿部靖弘, 青柳優 : 耳下腺手術後にfirst bite syndromeを生じた3例 . 頭頸部外科 2005 ; 15 : 81-85
- 17) 鈴木祐輔, 太田伸男, 櫻井真一, 青柳優 : 医療関係者における各種特異的IgE抗体検査の考察～ラテックスアレルギーを中心として～ . 耳鼻咽喉科免疫アレルギー 2005 ; 23 : 15-18

(2) 総説

- 1) 青柳優 : 顔面神経麻痺の予後予測はどこまで可能か . 日耳鼻 2005 ; 108(1) : 1-7
- 2) 青柳優 : 特集「顔面神経麻痺」5 . 末梢性顔面神経麻痺の治療 . 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 2005 ; 77(1) : 35-42

- 3) 青柳優：私が愛用する手術器具23;耳科手術用鋼製小物とスキータードリル .JOHNS 2005;21(5):670-673
- 4) 青柳優：重症ベル麻痺に手術は必要か？ - 保存的治療の立場から - . JOHN S 2005 ; 21(11): 1683-1686
- 5) 稲村博雄：ハント症候群に伴うめまい . 特集 . めまい薬の上手な使い方 . MB ENT 2005 ; 53 : 103-108
- 6) 太田伸男：ステロイドの正しい使い方 ウェゲナー肉芽腫症 . ENTONI 2005 ; 48 : 48-55
- 7) 青柳優 , 太田伸男：嚢胞状リンパ管腫 . JOHNS 2005 ; 21(9): 1393-1397
- 8) 太田伸男：花粉症治療薬の選択くしゃみ , 鼻漏に有効な薬剤 . ENTONI 2005 ; 57 : 13-17
- 9) 伊藤吏： - 検査結果からdecision making - 他覚的聴力検査から考えること . 小児耳鼻咽喉科 2005 ; 26 : 32-36
- 10) 那須隆 , 小池修治 , 白石正 , 細谷順：癌病棟における感染症の特徴とその対策 . 頭頸部癌 . 癌治療と宿主 2005 ; 17 : 69-77

(3) 著 書

- 1) 青柳優： . 心因性難聴の診断 2. 耳鼻科の検査 b. 各種の検査 2) 他覚的検査 . 聴性定常反応 , 心因性難聴 , 中山書店 , 2005 ; 89-96
- 2) 青柳優：第14章 診断法 , 5. 聴性定常反応 (ASSR) , 先端医療シリーズ35「耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の最新医療」, 加我君孝 , 小宗静男編集 , 先端医療技術研究所 , 2005 ; 257-263

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Aoyagi M, Suzuki Y, Watanabe T, Ito T, Abe Y, Chiba H : Multiple auditory steady-state response detected by phase spectral analysis. XIX Biennial Symposium of International Evoked Response Audiometry Study Group, Havana ; June 2005
- 2) Ito T, Aoyagi M : Usefulness of MASTER^(R) as an objective audiometry for waking adult. XIX Biennial Symposium of International Evoked Response Audiometry Study Group, Havana ; June 2005
- 3) Inamura H, Koshu K, Kawaguchi K, Abe Y, Aoyagi M : High-Dose steroid therapy in Bell's palsy. 10th International facial nerve symposium, Maastricht ; September 2005
- 4) Inamura H, Koshu K, Kawaguchi K, Abe Y, Aoyagi M : Effects of aging on the facial nerve. 10th International facial nerve symposium, Maastricht ; September 2005
- 5) Kawaguchi K, Inamura H, Koshu K, Abe Y, Aoyagi M : A viological evaluation of patients with Bell's palsy. 10th International facial nerve symposium, Maastricht ; September 2005
- 6) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M : Th1, Th2, Tc 1 and Tc 2 cells of patients with allergic rhinitis. World Allergy Congress, Munich ; June 2005
- 7) Ohta N, Sakurai S, Yoshitake H, Aoyagi M : Study of the effects of anti-leukotriene receptor antagonists on chronic allergic rhinitis using QOL as an index. World Allergy Congress, Munich ; June 2005
- 8) Ohta N, Sakurai S, Yoshitake H, Aoyagi M, Takahashi Y : The effect of fexofenadine in the treatment of cedar pollinosis prior to the start of the pollen season. World Allergy Congress, Munich ; June 2005
- 9) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M : Th1 and Th2 CD4 and Tc1 and Tc2 CD8 T cells of patients with Wegener's granulomatosis. World Allergy Congress, Munich ; June 2005
- 10) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M : Th1 and Th2 CD4 and Tc1 and Tc2 CD8 T cells of patients with Wegener's granulomatosis. 11th Congress of the International Rhinologic Society, Sydney ; October 2005
- 11) Suzuki Y, Ohta N, Fukase S, Sakurai S, Aoyagi M : Latex allergy in health care workers. World Allergy Congress, Munich ; June 2005

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 青柳優：全国アンケートを中心に , シンポジウム「急性喉頭蓋炎 - リスクマネージメントから考える」. 第14回喉頭科学会 , 名古屋 ; 2005年3月
- 2) 青柳優：予後診断と保存的治療 , 教育セミナー「顔面神経麻痺の臨床」. 第106回日本耳鼻咽喉科学会総会 , 大阪 ; 2005年5月

- 3) 青柳優：聴性定常反応，パネル・ディスカッション「聴性誘発反応の新しい展開」．第50回日本聴覚医学会，東京；2005年9月
- 4) 青柳優：シンポジウム「鼻科領域手術の医療過誤の実態とその対応」．第44回日本鼻科学会，大阪；2005年9月
- 5) 木村洋，古瀬秀和，岡崎慎一，鈴木祐輔：内視鏡を利用した口蓋扁桃摘出術供覧システムの一工夫．第15回日本頭頸部外科学会，新潟；2005年1月
- 6) 岡崎雅，長瀬輝顕：耳下腺嚢胞に対するOK432注入療法．第15回日本頭頸部外科学会，新潟；2005年1月
- 7) 渡辺知緒，太田伸男，吉武洋，稲村博雄，青柳優：頬部腫瘍の2症例．第15回日本頭頸部外科学会，新潟；2005年1月
- 8) 斉藤史明，小池修治，那須隆，稲村博雄，青柳優：頭頸部悪性腫瘍に対するアンギオCTの検討．第15回日本頭頸部外科学会，新潟；2005年1月
- 9) 稲村博雄，太田伸男，渡辺知緒，吉武洋，青柳優，前山裕之：輪状甲状靱帯穿孔により生じた声門下狭窄の1症例．第15回日本頭頸部外科学会，新潟；2005年1月
- 10) 那須隆，小池修治，甲州秀浩，伊藤史，阿部靖弘，青柳優：耳下腺腫瘍摘出術後にFirst bite syndromeを生じた3例．第15回日本頭頸部外科学会，新潟；2005年1月
- 11) 和気貴祥，太田伸男，深瀬滋，青柳優：Wegener肉芽腫症患者血清中の可溶性IL-2レセプター．第23回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，岡山；2005年3月
- 12) 石田晃弘，太田伸男，青柳優：鼻疾患におけるglucocorticoid receptor-bの発現 慢性副鼻腔炎とアレルギー性鼻炎を中心として．第23回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，岡山；2005年3月
- 13) 鈴木祐輔，太田伸男，櫻井真一，青柳優：医療従事者における各種特異的IgE抗体の検査の考察．第23回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，岡山；2005年3月
- 14) 太田伸男，櫻井真一，吉武洋，稲村和俊，赤塚直子，青柳優：IgA腎症に対する扁桃摘出術とステロイドパルス療法の有効性．第23回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，岡山；2005年3月
- 15) 吉武洋，太田伸男，青柳優：NK/T細胞リンパ腫の2症例．第23回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会，岡山；2005年3月
- 16) 稲村博雄，甲州秀浩，川口和浩，阿部靖弘，青柳優：Bell麻痺に対するステロイド単独療法とバラシクロピル併用療法による治療効果の比較検討．第106回日本耳鼻咽喉科学会総会，大阪；2005年5月
- 17) 太田伸男，深瀬滋，青柳優：アレルギー性鼻炎患者の末梢血Th1，Th2，Tc1，Tc2細胞の検討．第106回日本耳鼻咽喉科学会総会，大阪；2005年5月
- 18) 伊藤史，渡辺知緒，阿部靖弘，鈴木豊，大竹祐輔，青柳優：聴性定常反応を用いた他覚的聴力検査システムMASTERの有用性について．第106回日本耳鼻咽喉科学会総会，大阪；2005年5月
- 19) 桜井真一，太田伸男，青柳優：低酸素状態における毛細血管周細胞のVEGFおよびPEDF産生．第106回日本耳鼻咽喉科学会総会，大阪；2005年5月
- 20) 小池修治，稲村博雄，太田伸男，那須隆，伊藤史，石田晃弘，斉藤史明，青柳優：上顎癌に対する超選択的動注化学療法を併用した集学的治療．第106回日本耳鼻咽喉科学会総会，大阪；2005年5月
- 21) 小池修治，那須隆，伊藤史，斉藤史明，野田大介，太田伸男，稲村博雄，青柳優：超選択的動注化学療法を併用した鼻・副鼻腔悪性腫瘍例に対する術前動脈塞栓術の有用性．第29回日本頭頸部癌学会，東京；2005年6月
- 22) 野田大介，小池修治，那須隆，伊藤史，石田晃弘，稲村博雄，青柳優：当科における舌扁平上皮癌NO症例の検討．第29回日本頭頸部癌学会．東京，2005年6月
- 23) 石田晃弘，小池修治，那須隆，伊藤史，野田大介，稲村博雄，青柳優：治療後早期に遠隔転移を来した舌癌症例の病理組織学的検討．第29回日本頭頸部癌学会，東京；2005年6月
- 24) 那須隆，小池修治，伊藤史，石田晃弘，野田大介，稲村博雄，青柳優：口腔・咽頭扁平上皮癌症例における頸部郭清術後の治療方針．第29回日本頭頸部癌学会，東京；2005年6月
- 25) 太田伸男，櫻井真一，吉武洋，青柳優：スギ花粉症に対する塩酸フェキソフェナジンの初期治療効果．日本アレルギー学会春季臨床大会，岡山；2005年6月
- 26) 太田伸男，青柳優：IgA腎症に対する口蓋扁桃摘出術とステロイドパルス併用療法の有効性．第18回日本口腔咽頭科学会総会，旭川；2005年9月

- 27) 太田伸男, 深瀬滋, 青柳優: アレルギー性鼻炎患者の末梢血Th1, Th2, Tc1, Tc2細胞の検討. 第55回日本アレルギー学会総会, 盛岡; 2005年9月
- 28) 太田伸男, 櫻井真一, 和気貴祥, 青柳優: アレルギー性鼻炎患者の末梢血Th1, Th2, Tc1, Tc2細胞の検討. 第44回日本鼻科学会総会, 大阪; 2005年9月
- 29) 石田晃弘, 太田伸男, 青柳優: 鼻疾患におけるglucocorticoid receptore betaの発現の検討. 第44回日本鼻科学会総会, 大阪; 2005年9月
- 30) 和気貴祥, 太田伸男, 青柳優: NK/T細胞リンパ腫の2症例. 第44回日本鼻科学会総会, 大阪; 2005年9月
- 31) 伊藤吏, 渡辺知緒, 阿部靖弘, 千葉寛之, 青柳優: 急性感音難聴を呈した脳幹部悪性リンパ腫症例. 第50回日本聴覚医学会. 東京; 2005年9月
- 32) 阿部靖弘, 伊藤吏, 渡辺知緒, 千葉寛之, 鈴木豊, 青柳優: 成人覚醒時におけるMASTER®の反応閾値に及ぼす変調周波数の影響について. 第50回日本聴覚医学会. 東京; 2005年9月
- 33) 阿部靖弘, 稲村博雄, 甲州秀浩, 川口和浩, 青柳優: 当科における新鮮ベル麻痺の保存的治療成績 - 過去15年間のステロイド大量療法を中心として -. 第67回耳鼻咽喉科臨床学会, 松山; 2005年7月
- 34) 稲村博雄, 阿部靖弘, 甲州秀浩, 川口和浩, 青柳優: A型ボツリヌス毒素による顔面神経麻痺後遺症の治療. 第67回耳鼻咽喉科臨床学会, 松山; 2005年7月
- 35) 伊藤吏, 渡辺知緒, 稲村博雄, 青柳優: 当科における鼓室形成術の術後聴力成績 - 伝音再検材料による検討 -. 第15回日本耳科学会. 大阪; 2005年10月
- 36) 稲村博雄, 阿部靖弘, 甲州秀浩, 川口和浩, 青柳優: 当科における新鮮ベル麻痺の保存的治療成績. 第15回日本耳科学会. 大阪; 2005年10月
- 37) 那須隆, 野田大介, 青柳優: Voice prosthesisによる喉頭摘出後の音声再建 - 長期経過と合併症の検討. 第57回日本気管食道科学会, 京都; 2005年11月
- 38) 野田大介, 那須隆, 青柳優: 降下性壊死性縦隔洞炎症例の検討. 第57回日本気管食道学会, 京都; 2005年11月

(3) 国内地方会

- 1) 青柳優: 聴性定常反応による幼児他覚的聴力検査法. 第81日本耳鼻咽喉科学会群馬県地方部会, 前橋; 2005年12月
- 2) 岡崎雅, 長瀬輝頭: 側頭部にまで及んだ深頸部感染症の1例. 第105回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年3月
- 3) 阿部靖弘, 小池修治, 伊藤吏, 那須隆, 甲州秀浩, 青柳優: ナビゲーション手術が有用であった眼窩内異物症例. 第105回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年3月
- 4) 太田伸男, 稲村博雄, 小池修治, 吉武洋, 青柳優: IgA腎症における口蓋扁桃摘出術とステロイドパルス併用療法の有効性. 第105回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年3月
- 5) 鈴木祐輔, 古瀬秀和, 岡崎慎一, 木村洋: 再発を繰り返し反応性骨肥厚をきたした前頭洞嚢胞の一例. 第105回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年3月
- 6) 川口和浩: Bell麻痺患者における病因ウイルスの検討と抗ウイルス剤の治療効果. 第54回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 仙台; 2005年7月
- 7) 和気貴祥, 稲村博雄, 太田伸男, 石田晃弘, 青柳優: 耳下腺内顔面神経鞘腫の1例. 第54回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 仙台; 2005年7月
- 8) 野田大介, 小池修治, 稲村博雄, 那須隆, 伊藤吏, 阿部靖弘, 長谷川智彦, 青柳優: 降下性壊死性縦隔洞炎症例の検討. 第54回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 仙台; 2005年7月
- 9) 櫻井真一, 中村正, 鈴木豊: 当院における咽喉頭逆流症例の検討. 第54回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会, 仙台; 2005年7月
- 10) 長瀬輝頭, 古川孝俊: 扁桃摘出術後に生じた急性肺塞栓症の1例. 第107回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年9月
- 11) 古川孝俊, 長瀬輝頭: 特発性縦郭気腫の1例. 第107回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年9月
- 12) 鈴木祐輔, 岡崎慎一, 鈴木豊: 膵臓がんを合併した喉頭がんの1例. 第107回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会, 山形; 2005年9月
- 13) 尾上義浩, 小池修治, 那須隆, 石田晃弘, 野田大介, 青柳優: 喉頭保存を行った下咽頭癌症例. 第107回日本

耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年9月

- 14) 古瀬秀和，中村正，櫻井真一：当院における耳下腺腫瘍の検討．第107回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年9月
- 15) 中村正，古瀬秀和，櫻井真一：当院の緩和病棟の現状について．第107回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年9月
- 16) 太田伸男，伊藤吏，青柳優，櫻井真一，吉武洋：当科におけるアレルギー性鼻炎に対する後鼻神経切断術の治療経験．第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年12月
- 17) 古川孝俊，長瀬輝顕：ミニトラックによる声門下狭窄の一例．第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年12月
- 18) 櫻井真一，古瀬秀和，中村正：顎下部に発生した髄外性形質細胞腫の一例．第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年12月
- 19) 尾上義浩，小池修治，那須隆，石田晃弘，野田大介，青柳優：当科における唾液腺腫瘍の臨床的検討．第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年12月
- 20) 阿部靖弘：インフルエンザの最近の知見：第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年12月
- 21) 中村正，古瀬秀和，櫻井真一：最近経験した危険な救急めまい症例．第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会，山形；2005年12月

(4) 研究会

- 1) 阿部靖弘，稲村博雄，甲州秀浩，川口和浩，青柳優，天野聡：顔面神経及び顔面筋の加齢変化についての検討 - 第2報 - ．第28回日本顔面神経研究会，名古屋；2005年6月
- 2) 稲村博雄，阿部靖弘，甲州秀浩，川口和浩，青柳優：Bell麻痺に対するステロイド単独療法とバラシクロビル併用療法による治療効果の比較検討．第28回日本顔面神経研究会，名古屋；2005年6月
- 3) 川口和浩，稲村博雄，阿部靖弘，甲州秀浩，青柳優：Bell麻痺患者におけるウイルス学的検討．第28回日本顔面神経研究会，名古屋；2005年6月
- 4) 阿部靖弘，伊藤吏，渡辺知緒，千葉寛之，鈴木豊，青柳優：成人覚醒時におけるMASTER[®]の反応閾値に及ぼす変調周波数の影響について．第35回ERA研究会，東京；2005年7月
- 5) 伊藤吏： - 検査結果から decision making - 他覚的聴力検査から考えること．第52回小児耳鼻咽喉科研究会．大阪；2005年7月
- 6) 野田大介，小池修治，那須隆，石田晃弘，稲村博雄，青柳優：当科における舌扁平上皮癌NO症例の検討．第11回北日本頭頸部癌治療研究会，仙台；2005年10月
- 7) 稲村博雄，阿部靖弘，甲州秀浩，川口和浩，青柳優：皺の形成に関する顔面神経の関与について．第22回山形電気生理研究会，山形；2005年10月

(5) その他

- 1) 青柳優：聴性定常反応．信州耳鼻疾患懇話会，松本；2005年2月
- 2) 青柳優：顔面神経麻痺診療の進歩．第12回東京医科大学医療連携耳鼻咽喉科カンファレンス，東京；2005年4月
- 3) 青柳優：聴性定常反応による他覚的聴力検査．第93回徳島県耳鼻咽喉科医会研修会，徳島；2005年6月
- 4) 青柳優：聴性定常反応による他覚的聴力検査．第6回桜山神経耳科フォーラム，名古屋；2005年11月
- 5) 青柳優：顔面神経機能検査．第19回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会実技実習，神戸；2005年11月
- 6) 小池修治：最近の頭頸部癌治療の動向．米沢耳鼻咽喉科医会，米沢；2005年11月
- 7) 稲村博雄：最近の顔面神経麻痺に関する知見．米沢耳鼻咽喉科医会，米沢；2005年4月
- 8) 太田伸男：花粉症の診断と治療．郡山市耳鼻咽喉科医会講演会，郡山；2005年2月
- 9) 太田伸男：花粉症の診断と治療．盛岡市医師会講演会，盛岡；2005年2月
- 10) 太田伸男：花粉症の診断と治療．青森市耳鼻咽喉科医会講演会，青森；2005年4月
- 11) 太田伸男：アレルギー性鼻炎の最近の話題．第3回気道疾患対策セミナー，仙台；2005年7月
- 12) 太田伸男：アレルギー性鼻炎の診断と治療．村山地区呼吸器疾患懇話会，村山；2005年12月

3 . そ の 他

- 1) 第35回日本聴覚医学会ERA研究会，東京；2005年7月
- 2) 第105回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会，山形；2005年3月
- 3) 第107回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会，山形；2005年9月
- 4) 第108回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会，山形；2005年12月
- 5) 第1回山形県日耳鼻補聴器相談医認定講習会，山形；2005年11月
- 6) 第30回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会，山形；2005年4月
- 7) 第31回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会，山形；2005年10月
- 8) 第32回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会，山形；2005年12月

腫瘍分子医科学分野

1. 論文

(1) 原著

- 1) 北中千史: Non-apoptoticプログラム細胞死: アポトーシスとは形態・制御機構を異にするプログラム細胞死の存在と意義について. 山形医学 2005; 23: 83-96
- 2) 北中千史, 立花研: 腫瘍における細胞死の分子機構. 脳神経外科速報 2005; 15: 1123-1131
- 3) Takahashi E, Takano T, Numata A, Hayashi N, Okano S, Nakajima O, Nomura Y, Sato M: Genetic oxygen sensor. GFP as an indicator of intracellular oxygenation. Adv Exp Med Biol 2005; 566: 39-44
- 4) Igarashi H, Takahashi T, Takahashi E, Tezuka N, Nakahara K, Takahashi K, Kurachi H: Aged mouse oocytes fail to readjust intracellular ATP at fertilization. Biol Reprod 2005; 77: 1256-1261

(2) 著書

- 1) 高橋英嗣: 5. 酸素と呼吸. 「呼吸の事典」有田秀穂編, 朝倉書店, 2005; 58-68

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Mouri W, Kayama T, Kitanaka C: Role for c-Jun N-terminal kinase (JNK) in Ras-mediated non-apoptotic programmed cell death. 2nd Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology, Edinburgh; May 2005
- 2) Sakurada K, Sonoda Y, Kitanaka C, Mouri W, Kayama T: Inhibition of mammalian target of rapamycin sensitizes glioma cells to anticancer drugs. 2nd Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology, Edinburgh; May 2005
- 3) Takahashi, E: Radial intracellular gradients of oxygen and ATP in isolated single cardiomyocytes of the rat: role of creatine kinase. ISOTT 2005, Brisbane, Australia; August 2005
- 4) Igarashi H, Takahashi T, Kurachi H, Takahashi E: Mitochondrial ATP regulation at fertilization. MiP 2005 Schrocken, Austria; September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 立花研, 武田健, 白石昌彦: ヒトがん細胞における非プロモータ領域のメチル化によるCDH1遺伝子発現抑制機構の解析. 日本薬学会第125年会, 東京; 2005年3月
- 2) 毛利涉, 立花研, 嘉山孝正, 北中千史: Ras異常活性化により惹起されるnon-apoptoticプログラム細胞死とストレスキナーゼ. 第64回日本癌学会総会, 札幌; 2005年9月
- 3) 櫻田香, 毛利涉, 北中千史, 嘉山孝正: 神経膠腫の化学療法抵抗性におけるAkt-mTOR経路の関与に関する検討. 第23回日本脳腫瘍学会, 霧島; 2005年10月
- 4) 毛利涉, 櫻田香, 立花研, 嘉山孝正, 北中千史: Ras依存的non-apoptoticプログラム細胞死制御におけるJNKの役割. 第23回日本脳腫瘍学会, 霧島; 2005年10月
- 5) 北中千史, 櫻田香: 脳特異的に発現するBcl-2ファミリータンパク質Hrkによる細胞死誘導のメカニズム. 第23回日本脳腫瘍学会, 霧島; 2005年10月
- 6) 毛利涉, 嘉山孝正, 横田淳, 北中千史: Ras依存的non-apoptoticプログラム細胞死制御におけるJNKの役割. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 7) 高橋英嗣: 酸素およびATPの細胞内濃度勾配: 透過型蛍光顕微鏡による分光・蛍光同時測定. 第14回日本バイオイメージング学会学術集会, 東京; 2005年10月
- 8) 野村保友, 藤原宏之, 佐藤道比古, 高橋英嗣, 馮忠剛, 中村孝夫: 過酸化水素の細胞毒性に対するコバルトの効果. 第43回生物物理年会, 札幌; 2005年11月

(3) 研究会

- 1) 毛利中千史: Ras依存的non-apoptoticプログラム細胞死とその制御に関わる分子. 第13回山形分子生物学セミナー, 山形; 2005年12月

(4) その他

- 1) 北中千史：なぜグリオーマにrasがん遺伝子の変異がみられないのか？ - アポトーシスとは異なる細胞自殺の発見とそのがん排除機構としての役割．第2回仙台脳神経外科セミナー（特別講演），仙台；2005年3月
- 2) 高橋英嗣：単一心筋細胞の酸素代謝イメージング．第44回日本生体医工学会大会，OS6光を用いた生体機能計測 - 丸ごと計測から単一細胞計測まで - ，筑波；2005年4月
- 3) 北中千史：脳腫瘍の分子生物学アップデート．脳腫瘍レビュー 05（講演），東京；2005年5月
- 4) 高橋英嗣：心筋細胞内酸素拡散の物理的限界を補償する生理メカニズム．“ マイクロおよびナノ・バイオメカニクスにおける熱物質移動に関する研究会 ” 講演会特別講演，東京；2005年7月
- 5) 高橋英嗣：バイオイメージングによる心筋細胞の低酸素適応解明．京都府立医大大学院特別講義，京都；2005年10月
- 6) 北中千史：非アポトーシス性プログラム細胞死とは？ アポトーシスとは異なる細胞自殺の発見とそのがん排除機構としての役割．第1回脳腫瘍基礎シンポジウム（教育講演），東京；2005年11月

神経機能統御学分野（生理学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Yamazaki Y, Hozumi Y, Kaneko K, Li J, Fujii S, Miyakawa H, Kudo Y, Kato H : Direct evidence for mutual interactions between perineuronal astrocytes and interneurons in the CA1 region of the rat hippocampus. *Neuroscience* 2005 ; 134 : 791-802
- 2) Taufiq AM, Fujii S, Yamazaki Y, Sasaki H, Kaneko K, Li J, Kato H, Mikoshiba K : Involvement of IP3 receptors in LTP and LTD induction in guinea pig hippocampal CA1 neurons. *Learn Memory* 2005;12: 594-600
- 3) Yamazaki Y, Jia Y, Hamaue N, Sumikawa K : Nicotine-induced switch in the nicotinic cholinergic mechanisms of facilitation of long-term potentiation induction. *Eur J Neurosci* 2005 ; 22 : 845-860

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) Yamazaki Y, Hozumi Y, Kaneko K, Fujii S, Kato H : Morphological and physiological properties of perineuronal glial cells in rat hippocampus. 第82回日本生理学会大会, 仙台; 2005年5月
- 2) 山崎良彦, 八月朔日泰和, 金子健也, 藤井聡, 加藤宏司: 海馬CA1領域のニューロン付随性グリア細胞によるシナプス伝達の修飾効果. 第13回海馬と高次脳機能学会, 旭川; 2005年1月

(2) 国内地方会

- 1) 藤井聡, 山崎良彦, 金子健也, 杉原敏道, 宮崎啓太, 加藤宏司: 海馬シナプス可塑性における刺激パターン依存性. 第38回東北生理談話会, 福島; 2005年10月

(3) 研究会

- 1) Yamazaki Y : Interactions between perineuronal glial cells and neurons in rat hippocampal CA1 region. 第4回ニューロサイエンスワークショップin九州, 福岡県久山町; 2005年12月

(4) その他

- 1) 加藤宏司: アストログリアはシナプス伝達を抑制する. 特定領域研究「神経グリア回路網」第3回班会議, 東京; 2005年1月

3. その他

- 1) 第14回海馬と高次脳機能学会, 山形; 2005年10月

消化器・一般外科学分野（外科学第一）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Moriya T, Kimura W, Semba S, Sakurai F, Hirai I, Ma J, Fuse A, Maeda K, Yamakawa M : Biological Similarities and Differences Between Pancreatic Intraepithelial Neoplasias and Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms. *International Journal of Gastrointestinal Cancer* 2005 ; 35(2) : 111-119
- 2) Hirai I, Kimura W, Kamiga M, Mizutani M, Takeshita A, Watanabe T, Fuse A : The significance of intraoperative Doppler ultrasonography in evaluating hepatic arterial flow when assessing the indications for the Appleby procedure for pancreatic body cancer. *J Hepato-Biliary Pancreat Surg* 2005 ; 12 : 55-60
- 3) Mizutani M, Nawata S, Hirai I, Murakami G, Kimura W : Anatomy and histology of Virchow's node. *Anatomical Science International* 2005 ; 80 : 194-199
- 4) 木村理, 渡邊利広, 矢野充泰, 布施明 : 腹部救急疾患－診断と治療のながれ. III.肝・胆・膵・門脈 5.膵 外傷 2005 ; 67(9) : 1063-1068
- 5) 竹下明子, 布施明, 平井一郎, 木村理 : 門脈狭窄に対する門脈内ステント留置の検討. 胆道 2005 ; 19(4) : 433-439
- 6) 木村優子, 木村理, 平井一郎, 菅原秀一郎, 桜井文明 : 外科手術のための膵臓の動脈に関する解剖学的検討. 山形医学 2005 ; 23(1) : 11-21
- 7) 木村理 : 進展様式に基づいた消化器癌手術のこつと工夫. 6. 進展様式に基づいた消化器癌手術のこつと工夫－膵頭十二指腸切除術における膵頭神経叢切除の理論と方法. 日本外科学会雑誌 2005 ; 106(4) : 297-301
- 8) 木村理 : 嚢胞性膵腫瘍および膵癌に対する治療戦略. 肝胆膵治療研究会誌 2005 ; 3(1) : 3-18
- 9) 山本隆, 木村理 : 胆膵疾患はこう診る－緊急処置からフォローアップまで－疫学,膵腫瘍の分類と疫学 *Medicina* 2005 ; 42(8) : 1328-1332
- 10) 平井一郎, 木村理 : 遠隔転移にどのように対応するか II. 原発巣からみた対応－診断と治療 7. 膵臓癌の遠隔転移. 外科 2005 ; 67(8) : 921-924,
- 11) 布施明, 木村理 : 再手術－予防・適応・手術手技－術後腹腔内腫瘍の治療. 手術 2005 ; 59(10) : 1399-1405,
- 12) 山本隆, 須藤幸一, 木村理 : 胆嚢癌の診断と治療最近も進歩胆嚢癌のハイリスクグループ. 消化器外科 2005 ; 28(10) : 1463-1468
- 13) 水谷雅臣, 布施明, 牧野孝俊, 森谷敏幸, 鈴木明彦, 磯部秀樹, 神賀正博, 木村理 : 直腸癌術後の難治性直腸腔瘻に対し薄筋筋皮弁の充填により治癒しえた1例. 日本消化器外科学会雑誌 2005 ; 38(1) : 112-116
- 14) 須藤幸一, 木村理 : VI癌治療のプロトコール 2005-2006, 胆嚢癌治療のプロトコール. 臨床外科 (増刊号) 2005 ; 60(11) : 215-219

(2) 総 説

- 1) 木村理, 高須直樹, 野村尚, 竹下明子, 森谷敏幸, 水谷雅臣, 平井一郎, 布施明 : 胆膵系ドレナージの今日的臨床膵切除後のドレナージ. 胆と膵 2005 ; 26(12) : 987-993
- 2) 水谷雅臣, 布施明, 牧野孝俊, 森谷敏幸, 鈴木明彦, 磯部秀樹, 神賀正博, 木村理 : 直腸癌術後の難治性直腸腔瘻に対し薄筋筋皮弁の充填により治癒しえた1例. 日本消化器外科学会雑誌 2005 ; 38(1) : 112-116
- 3) 木村理 : 粘液嚢胞性腫瘍 (MCN) と膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN). 日本医師会雑誌 2005 ; 133(3) : 373-377
- 4) 宮川秀一, 石原慎, 堀口明彦, 高田忠敬, 松野正紀, 高崎健, 平田公一, 田中雅夫, 宮崎勝, 木村理, 島田光生, 萱原正都, 永川宅和 : 日本胆道外科研究会－胆道癌取扱い規約に基づく胆道癌登録症例の集計－肝門部胆管癌を中心に－. 肝胆膵 2005 ; 50(3) : 415-425
- 5) 木村理 : 内分泌外科手術 up to date インスリンノーマ核出術. 手術 2005 ; 59(7) : 983-989
- 6) 平井一郎, 木村理, 森谷敏幸, 竹下明子, 神賀正博, 布施明 : 膵体尾部切除術. 手術 2005 ; 59(6) : 928-932
- 7) 布施明, 木村理 : 特集 再手術－予防・適応・手術手技－術後腹腔内腫瘍の治療. 手術 2005 ; 59(10) : 1399-

1405

- 8) 木村青史：乳癌治療の現況と画像診断の役割．日本医事新報 2005；4233：7-12
- 9) 平井一郎，木村理：特集 コンセンサス 膵癌の治療 2005 - 2007膵癌の診断・治療の進め方．コンセンサス癌治療 2005
- 10) 木村理，馬晋峰，竹下明子，水谷雅臣，須藤幸一，平井一郎，神賀正博，布施明：高齢者の癌をどうするか - 2 高齢者の肝・胆・膵臓癌の臨床．ジェロントロジーニューホライズン 2005；17(1): 14-21
- 11) 水谷雅臣，平井一郎，木村理：術後感染症を防ぐ - DPC時代にむけて - 術後感染症を防ぐためのわれわれの工夫．膵臓手術外科治療 2005；9(4): 435-439

(3) 著 書

- 1) 木村理：8．肝胆膵疾患 先天性胆道拡張症 (Congenital Dilatation of the Common Bile Duct). 「今日の治療指針 2005年度版デスク版」山口徹・北原光夫編，医学書院，2005；399-402
- 2) 木村理：8.肝胆膵疾患 先天性胆道拡張症 (Congenital Dilatation of the Common Bile Duct). 「今日の治療指針 2005年度版ポケット版」山口徹・北原光夫編，医学書院，2005；399-400
- 3) 平井一郎，木村理：上腹部痛を呈する膵粘液性嚢胞腫瘍発見のコツ．「腹痛診療のコツと落とし穴」寺野彰編，中山書店，2005；112-113
- 4) 須藤幸一，木村理：5 胆道疾患4.胆嚢炎．「消化器外科学レビュー 2005 - 最新主要文献解説 - 」，総合医学社，2005；111-114
- 5) 木村理：トピックス9．膵管上皮病変の異型度分類試案，「膵上皮内癌フォーラム，Form on Carcinoma in Situ of the Pancreas」跡見格監修 高折恭一編，株式会社メディカルトリビューン，2005；87-94
- 6) 木村理：XII.膵臓，嚢胞性疾患 腫瘍性膵嚢胞，膵管内乳頭粘液性腫瘍，「専門医のための消化器病学」小俣政男・千葉勉監修 白鳥康史・下瀬川徹・木下芳一・金子周一・樫田博史編，医学書院，2005；577-583
- 7) 木村理，窪田敬一，針原康，高山忠利，幕内雅敏： 部位別ドレナージの実際と看護肝・胆道・膵ドレナージ肝・胆・膵手術後ドレナージ．「最新全科ドレナージ管理マニュアル」窪田敬一編，株式会社照林社，2005；83-85
- 8) 木村理，窪田敬一，針原康，高山忠利，幕内雅敏： 部位別ドレナージの実際と看護 肝・胆道・膵ドレナージ 急性膵炎に対するドレナージ．「最新全科ドレナージ管理マニュアル」窪田敬一編，株式会社照林社，2005；102-105
- 9) 木村理：7．膵腫瘍．7 .1 外分泌系腫瘍．「臨床消化器病学」石井裕正・朝倉均・役所宏光・幕内博康編，朝倉書店，2005；604-612
- 10) 木村理，布施明：2 慢性膵炎 b ．外科的治療．「消化器疾患 最新の治療 2005-2006」戸田剛太郎・菅野健太郎・上西紀夫編，南江堂，2005；427-429

(4) そ の 他

- 1) 黒田慧，加藤洋，木村理，須田耕一，福嶋敬宜，古川徹，米澤傑：座談会PanINの病理診断をめぐる新しい動向．胆と膵 2005；26(2): 121-142
- 2) 木村理：胆道外科Standard & Advanced Techniques週刊医学界新聞 高田忠敬・二村雄次編 2005年11月21日掲載，医学書院，2005；2659(7)
- 3) 木村理：わが手よ心をも癒せよ．Astellas Square 2005-06年12- 1月号，2005；1(5): 29
- 4) 木村理：進展様式に基づいた消化器癌手術のこつと工夫．日本外科学会雑誌 2005；106(4): 274
- 5) 木村理：コンセンサス胃癌の治療 2005 ~ 2007外科からみた消化器疾患20高齢者の胃癌 山形新聞掲載記事，コンセンサス癌治療2005 Spring，へるす出版，2005
- 6) 木村理，布施明，木村青史，平井一郎：医療シリーズvol.76消化器外科専門医特集．週刊朝日，株式会社新生通信，2005
- 7) 木村理：編集後記．「内分泌外科Endocrine Surgery」日本内分泌外科学会編集委員会編，株式会社インターメルク，2005；22(2)
- 8) 木村理：特別医療広告企画 シリーズ 医療の未来 第12回消化器外科専門医特集．文藝春秋，株式会社新生通信，2005
- 9) 木村理：外科医人口の減少をくいとめる．日本外科学会雑誌，2005；106(5): 321
- 10) 木村理：生活習慣病予防の“フルコース” - 究極のダイエット - ．日本成人病（生活習慣病）学会 成人病

- (生活習慣病) ニュースレター, 株式会社文栄社, 2005; 4(1): 5
- 11) 木村青史: 乳がん検診陰性例の検討 - マンモグラフィ 2 方向撮影を含めて - . 山形県医師会学術雑誌 2005; 30: 1-5
- 12) 須藤幸一: 科学的根拠に基づく急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン[第1版]. 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会編 医学図書出版 2005
- 13) 木村理, 神賀正博, 平井一郎, 宮田明典, 中林洋平: 重症急性膵炎に対する持続動注療法の解剖学的検 - 第3報, 膵頭部 - 主任研究者大槻眞: 厚生労働省科学研究費補助金(難治性膵疾患克服研究事業), 分担研究報告書. 平成16年度総括・分担研究報告書. 2005; 83-85

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Mizutani M, Yamamoto T, Suto K, Isobe H, Kimura W: SIGNIFICANCE OF RAPID TURNOVER PROTEINS AS MARKERS FOR NUTRITIONAL STATUS IN PATIENTS WITH FOLLOWING GASTROINTESTINAL SURGERY. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic; September 2005
- 2) Kimura W, Fuse A, Hirai I, Isobe H, Hachiya O, Suto K, Takeshita A, Nomura T, Takasu N, Maruyama S, Mizutani M: RECENT ADVANCES IN THE TREATMENT OF IPMN AND MCN (INTRADUCTAL PAPILLARY MUCINOUS NEOPLASM AND MUCINOUS CYSTIC NEOPLASM OF THE PANCREAS). 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic; September 2005
- 3) Kimura W, Fuse A, Hirai I, Isobe H, Hachiya O, Suto K, Takeshita A, Nomura T, Takasu N, Maruyama S, Mizutani M: SPLEEN-PRESERVING DISTAL PANCREATECTOMY WITH CONSERVATION OF THE SPLENIC ARTERY AND VEIN FOR BENIGN LESIONS AS WELL AS LOW-GRADE MALIGNANCY OF THE PANCREAS. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005
- 4) Kimura W, Fuse A, Hirai I, Isobe H, Hachiya O, Suto K, Takeshita A, Nomura T, Takasu N, Maruyama S, Mizutani M: THEORIES AND TECHNIQUES FOR RESECTION OF THE EXTRAPANCREATIC NERVE PLEXUS IN THE HEAD OF THE PANCREAS DURING A WHIPPLE PROCEDURE FOR CARCINOMA OF THE PANCREAS-SUGGESTIONS FROM THE PERSPECTIVE OF SURGICAL ANATOMY AND PATHOLOGY. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005
- 5) Tezuka K, Jingu A, Suzuki T, Ishiyama T, Matsumoto H, Hachinohe S, Yamakawa M, Hirai I, Kimura W: INTRADUCTAL GROWTH OF AN UNDIFFERENTIATED CARCINOMA WITH OSTEOCLAST-LIKE GIANT CELLS OF THE PANCREAS, A CASE REPORT. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005
- 6) Hachiya O, Sakurai F, Nomura T, Fuse A, Kimura W: TWO CASES OF ADVANCED AND RECURRENT GASTROINTESTINAL STROMAL TUMOR TREATED WITH IMATINIB MESYLATE. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005
- 7) Mizutani M, Fuse A, Makino T, Moriya T, Suzuki A, Isobe H, Kimura W: SURGICAL REPAIR OF RECTOVAGINAL FISTULA AFTER LOW ANTERIOR RESECTION USING GRACILIS MUSCULAR FLAP, A CASE REPORT. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005
- 8) Murayama S, Hirai I, Shibasaki H, Kawaguchi K, Kimura W: A CASE OF THROMBOTIC THROMBOCYTOPENIC PURPURA CAUSED BY LIVER ABSCESS TREATED WITH PLASMA EXCHANGE. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005

- 9) Murayama S, Sato K, Takeshita A, Hirai I, Kamiga M, Fuse A, Kimura W: CYSTADENOCARCINOMA OF THE LIVER, REPORT OF A FIRST CASE PRESENTING WITH AUTOIMMUNE HEPATITIS. 15th World Congress of the International Association of Surgeons and Gastroenterologists (and Oncologists), Prague, Czech Republic, September 2005
- 10) Kimura W: Recent Advances for Invasive Ductal Carcinoma, Intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN) and mucinous cystic neoplasm (MCN) of the pancreas. 13th International Postgraduate Course, Athens, Greece; December 2005

(2) 国内の学会

- 1) 水谷雅臣, 神賀正博, 磯部秀樹, 布施明, 木村理: 高齢者穿孔性腹膜炎手術症例の検討. 第39回日本成人病(生活習慣病)学会, 東京; 2005年1月
- 2) 水谷雅臣, 神賀正博, 磯部秀樹, 木村理: 栄養評価における血中レチノール結合蛋白およびトランスサイレチン測定の有用性. 第20回日本静脈経腸栄養学会, 名古屋; 2005年2月
- 3) 水谷雅臣, 木村理: 栄養アセスメントシートの構築と評価. 第20回日本静脈経腸栄養学会, 名古屋; 2005年2月
- 4) 水谷雅臣, 神賀正博, 磯部秀樹, 森谷敏幸, 木村理: 消化器外科周術期におけるRapid Turnover Protein測定の有用性. 第20回日本静脈経腸栄養学会, 名古屋; 2005年2月
- 5) 水谷雅臣, 神賀正博, 磯部秀樹, 森谷敏幸, 布施明, 木村理: 高齢者腹部救急手術の問題点. 第41回日本腹部救急医学会総会, 名古屋; 2005年3月
- 6) 山本隆, 鈴木明彦, 木村青史, 木村理: 非症候性内分泌癌の1切除例. 第17回日本内分泌外科学会総会, 東京; 2005年4月
- 7) 鈴木明彦, 木村青史, 山本隆, 木村理: 非浸潤癌の全割病理所見とマンモグラフィ所見との比較検討. 第17回日本内分泌外科学会総会, 東京; 2005年4月
- 8) 蜂谷修, 福田俊, 野村尚, 木村理: 胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡下胃局所切除術. 第77回日本胃癌学会総会, 横浜; 2005年5月
- 9) 野村尚, 神尾幸則, 福田俊, 須藤幸一, 木村理: 胃癌におけるCEA, CA19-9の意義に関する検討. 第77回日本胃癌学会総会, 横浜; 2005年5月
- 10) 森谷敏幸, 平井一郎, 水谷雅臣, 須藤幸一, 鈴木明彦, 竹下明子, 馬晋峰, 神賀正博, 布施明, 木村理: Vater乳頭部癌におけるMCU蛋白発現の意義 - 膵癌・IPMNとの比較 -. 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋; 2005年5月
- 11) 水谷雅臣, 神賀正博, 平井一郎, 磯部秀樹, 森谷敏幸, 布施明, 木村理: 消化器外科周術期のRapid Turnover Protein (RTP) 測定の意義. 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋; 2005年5月
- 12) 平井一郎, 布施明, 須藤幸一, 森谷敏幸, 水谷雅臣, 木村理: 下右肝静脈 (IRHV) 温存の右肝静脈 (RHV) 合併肝切除の検討. 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋; 2005年5月
- 13) 須藤幸一, 布施明, 平井一郎, 桜井文明, 木村理: Ss胆嚢癌切除例のリンパ節転移. 第105回日本外科学会定期学術集会, 名古屋; 2005年5月
- 14) 平井一郎, 布施明, 須藤幸一, 森谷敏幸, 竹下明子, 馬晋峰, 木村理: 当科の肝切除症例の検討. 第17回日本肝胆膵外科学会, 横浜; 2005年6月
- 15) 馬晋峰, 木村理, 水谷雅臣, 平井一郎, 森谷敏幸, 神賀正博, 布施明: Pancreatoduodenectomy in the elderly. 第17回日本肝胆膵外科学会, 横浜; 2005年6月
- 16) 馬晋峰, 木村理, 平井一郎, 森谷敏幸, 水谷雅臣, 神賀正博, 布施明: Analysis of C-kit protein Expression in Pancreatic tumor and Implication for Prognosis. 第17回日本肝胆膵外科学会, 横浜; 2005年6月
- 17) 鈴木明彦, 木村青史, 山本隆, 木村理: 乳房温存療法における放射線治療後に発症したBOOPの1例. 第13回日本乳癌学会総会, 倉敷; 2005年6月
- 18) 山本隆, 木村理, 木村青史, 鈴木明彦: 区域性多発嚢胞を呈した乳腺症の1例. 第13回日本乳癌学会総会, 倉敷; 2005年6月
- 19) 水谷雅臣, 布施明, 木村理: 高齢者腹部救急手術の問題点. 第47回日本老年医学会総会, 東京; 2005年6月
- 20) 森谷敏幸, 平井一郎, 鈴木明彦, 竹下明子, 水谷雅臣, 須藤幸一, 神賀正博, 布施明, 木村理: 膵管内乳頭粘液性腫瘍の診療 - 通常型膵癌の合併・多発癌・断端の扱いに関する検討 -. 第60回日本消化器外科学会定期

- 学術集会，東京；2005年7月
- 21) 須藤幸一，布施明，平井一郎，木村理：腫瘍形成型肝内胆管癌の治療戦略 - 非切除例に対する放射線化学療法の効果 - . 第60回日本消化器外科学会定期学術集会，東京；2005年7月
 - 22) 平井一郎，竹下明子，森谷敏幸，鈴木明彦，須藤幸一，布施明，木村理：嚢摘出術で注意すべき胆管走行異常の1例 - 胆嚢に肝内胆管（B 5 × 2本）が合流 . 第60回日本消化器外科学会定期学術集会，東京；2005年7月
 - 23) 水谷雅臣，平井一郎，神賀正博，布施明，木村理：重症急性膵炎に対する持続動注療法の解剖学的検討 . 第60回日本消化器外科学会定期学術集会，東京；2005年7月
 - 24) 野村尚，神尾幸則，福田俊，須藤幸一，木村理：噴門側胃切除術後のQQLの検討 - 特に胃全摘術後との比較 - . 第60回日本消化器外科学会定期学術集会，東京；2005年7月
 - 25) 山本隆，平井一郎，神尾幸則，安食隆，木村理：乏血性所見を呈した無症候性膵内分泌癌の1切除例 . 第60回日本消化器外科学会定期学術集会，東京；2005年7月
 - 26) 水谷雅臣，平井一郎，森谷敏幸，須藤幸一，布施明，木村理：重症膵炎に対する持続動注療法の解剖学的検討 . 第36回日本膵臓学会大会，東京；2005年7月
 - 27) 平井一郎，木村理，竹下明子，鈴木明彦，森谷敏幸，馬晋峰，布施明：膵粘液性嚢胞腺腫（MCN）と鑑別困難であった胃原発気管支嚢胞の1例 . 第36回日本膵臓学会大会，東京；2005年7月
 - 28) 森谷敏幸，平井一郎，須藤幸一，鈴木明彦，竹下明子，水谷雅臣，馬晋峰，布施明，木村理：IPMN治療の問題点 多発癌・通常型膵癌の合併・切除断片 . 第36回日本膵臓学会大会，東京；2005年7月
 - 29) 馬晋峰，木村理，水谷雅臣，平井一郎，森谷敏幸，竹下明子，布施明：高齢者における膵頭十二指腸切除術の検討 . 第36回日本膵臓学会大会，東京；2005年7月
 - 30) 馬晋峰，木村理，竹下明子，森谷敏幸，平井一郎，神賀正博，水谷雅臣，布施明：膵臓腫瘍におけるc-kit蛋白の発現と通常型膵癌の予後との関連 . 第36回日本膵臓学会大会，東京；2005年7月
 - 31) 竹下明子，平井一郎，鈴木明彦，森谷敏幸，布施明，木村理：胆嚢頸部に肝内胆管（B 5 × 2本）が合流するcystohepatic ductsの1例 . 第41回日本胆道学会学術集会，岡山；2005年9月
 - 32) 森谷敏幸，平井一郎，須藤幸一，竹下明子，水谷雅臣，馬晋峰，布施明，木村理：中下部胆管癌・Vater乳頭部癌の予後因子，および両者の臨床病理学的差異に関する検討 . 第41回日本胆道学会学術集会，岡山；2005年9月
 - 33) 須藤幸一，布施明，平井一郎，竹下明子，森谷敏幸，木村理：Stage 胆嚢癌切除例の検討 . 第41回日本胆道学会学術集会，岡山；2005年9月
 - 34) 安食隆，須藤幸一，森谷敏幸，竹下明子，布施明，木村理：急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術 - 待期手術例における手術困難性の予則 - . 第41回日本胆道学会学術集会，岡山；2005年9月
 - 35) 蜂谷修，福島紀雅，鈴木聡，川口清，片桐茂，松澤克典，木村理：根治度C・再発胃癌に対するS-1単独治療の評価 . 第43回日本癌治療学会総会，名古屋；2005年10月
 - 36) 磯部秀樹，高須直樹，須藤幸一，蜂谷修，木村理：85歳以上の超高齢者大腸癌手術症例の検討 . 第43回日本癌治療学会総会，名古屋；2005年10月
 - 37) 磯部秀樹，高須直樹，木村理：妊娠・出産後に腸重積をきたした盲腸癌の1例 . 第60回日本大腸肛門病学会総会，東京；2005年10月
 - 38) 森谷敏幸，平井一郎，竹下明子，須藤幸一，水谷雅臣，神尾幸則，布施明，木村理：十二指腸乳頭部癌に対する至適リンパ節郭清範囲に関する検討 . 第67回日本臨床外科学会総会，東京；2005年11月
 - 39) 水谷雅臣，平井一郎，木村理：右反回神経リンパ節の臨床解剖 - なぜ食道癌は早期に右反回神経リンパ節に転移するのか? - . 第67回日本臨床外科学会総会，東京；2005年11月
 - 40) 高須直樹，須藤幸一，磯部秀樹，平井一郎，布施明，木村理：大腸癌同時性肝転移切除例の検討 . 第67回日本臨床外科学会総会，東京；2005年11月
 - 41) 水谷雅臣，山本隆，木村理：消化器外科周術期の手術部位感染の発生と栄養指標蛋白，免疫指標蛋白の変動 . 第18回日本外科感染症学会総会，長岡；2005年11月
 - 42) 須藤幸一，安食隆，森谷敏幸，竹下明子，水谷雅臣，木村理：急性胆嚢炎に対する待期的腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術困難性の予測因子 . 第18回日本内視鏡外科学会総会，東京；2005年12月

(3) 国内地方会

- 1) 森谷敏幸, 桜井文明, 平井一郎, 須藤幸一, 神賀正博, 布施明, 木村理: Pancreatic intraepithelial neoplasias (PanIN) と膵管内乳頭粘液性腫瘍の生物学的類似点と差異に関する検討. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 2) 平井一郎, 木村理, 布施明, 鈴木明彦, 竹下明子, 森谷敏幸, 磯部秀樹, 戸屋亮, 須藤幸一: 術前化学療法が著効し, 治癒肝切除が可能となった下大静脈浸潤を伴う巨大肝転移の1例. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 3) 山本隆, 鈴木明彦, 木村青史, 木村理: 超音波診断ガイドライン導入時の評価. 第2回日本乳癌学会東北地方会, 仙台; 2005年3月
- 4) 鈴木明彦, 木村青史, 山本隆, 木村理: パミドロネートによって良好にコントロールされている乳癌骨転移の一例. 第2回日本乳癌学会東北地方会, 仙台; 2005年3月
- 5) 木村青史, 木村理, 塚本長, 関根智久, 下重理江, 大場佳子, 佐藤友子, 大西稔博: MMG併用検診くり返し受診者から発見された乳癌MMGの見直し. 第2回日本乳癌学会東北地方会, 仙台; 2005年3月
- 6) 蜂谷修, 福田俊, 野村尚, 神尾幸則, 須藤幸一, 布施明, 木村理: 腹腔鏡補助下幽門側胃切除症例の検討. 第16回内視鏡外科フォーラム東北, 山形; 2005年4月
- 7) 高須直樹, 須藤幸一, 野村尚, 蜂谷修, 布施明, 木村理: 十二指腸潰瘍穿孔に対する保存的治療. 第179回日本消化器病学会東北地方例会, 盛岡; 2005年7月
- 8) 平井一郎, 竹下明子, 森谷敏幸, 馬晋峰, 布施明, 木村理: 難治性膵瘻に対するLetton and Wilson手術. 第150回東北外科集談会, 盛岡; 2005年9月
- 9) 須藤幸一, 高須直樹, 磯部秀樹, 平井一郎, 布施明, 木村理: 大腸癌同時性肝転移切除例の検討. 第150回東北外科集談会, 盛岡; 2005年9月
- 10) 菅原秀一郎, 須藤幸一, 高須直樹, 森谷敏幸, 竹下明子, 平井一郎, 布施明, 木村理: 胆嚢癌との鑑別が困難であった黄色肉芽腫性胆嚢炎の一例. 第150回東北外科集談会, 盛岡; 2005年9月
- 11) 福元剛, 平井一郎, 須藤幸一, 村山最二郎, 森谷敏幸, 竹下明子, 布施明, 木村理: 慢性膵炎の左側門脈圧亢進症による胃静脈瘤にHassab手術施行した2例. 第150回東北外科集談会, 盛岡; 2005年9月
- 12) 山岸岳人, 平井一郎, 竹下明子, 鈴木明彦, 森谷敏幸, 布施明, 木村理: 膵粘液性嚢胞腺腫(MCN)と鑑別困難な胃気管支嚢胞の1例. 第150回東北外科集談会, 盛岡; 2005年9月
- 13) 竹下明子, 平井一郎, 須藤幸一, 森谷敏幸, 高須直樹, 水谷雅臣, 神尾幸則, 布施明, 木村理: 放射線化学療法が奏効中の非切除胆管細胞癌の一例. 平成17年度山形県消化器病懇話会, 山形; 2005年10月

(4) 研究会

- 1) 磯部秀樹, 牧野孝俊, 安食隆, 野村尚, 山本隆, 須藤幸一, 平井一郎, 神賀正博, 布施明, 木村理: 10年以上の無再発期間を経て肝転移再発, 直腸再発を繰り返した直腸カルチノイドの1例. 第62回大腸癌研究会, 東京; 2005年1月
- 2) 鈴木明彦, 山本隆, 木村青史, 木村理: 当科における術後乳癌患者の家族性乳癌に関する意識調査. 第8回東北家族性腫瘍研究会学術集会, 仙台; 2005年1月
- 3) 福田俊, 神尾幸則, 野村尚, 須藤幸一, 木村理: 当科における食道超音波内視鏡によるリンパ節診断. 第10回山形県食道・胃疾患研究会, 山形; 2005年2月
- 4) 蜂谷修, 福島紀雅, 鈴木聡, 川口清, 片桐茂, 鈴木晃, 松澤克典: 根治度C・再発胃癌に対するS-1の再評価. 第3回山形胃がん研究会, 山形; 2005年3月
- 5) 水谷雅臣, 村上弦, 平井一郎, 木村理: 右反回神経リンパ節の解剖 - なぜ食道癌は早期に右反回神経リンパ節に転移するのか -. 第9回臨床解剖研究会, 千葉; 2005年6月
- 6) 高須直樹, 磯部秀樹, 村山最二郎, 平井一郎, 布施明, 木村理: 大腸低分化腺癌症例の検討. 第1回東北大腸癌研究会, 盛岡; 2005年7月
- 7) 磯部秀樹, 高須直樹, 村山最二郎, 鈴木明彦, 蜂谷修, 木村理: 当科における直腸癌局所切除術の検討. 第63回大腸癌研究会, 東京; 2005年7月
- 8) 野村尚, 高須直樹, 須藤幸一, 蜂谷修, 木村理: 当科における胃癌手術クリニカル・パスの検討. 第3回山形胃がん研究会, 山形; 2005年7月
- 9) 平井一郎, 須藤幸一, 渡邊利広, 高須直樹, 水谷雅臣, 神尾幸則, 矢野充泰, 布施明, 木村理: 放射線化学

療法が奏効中の非切除胆管細胞癌の1例．第15回東北肝臓外科研究会，仙台；2005年7月

- 10) 磯部秀樹，高須直樹，村山最二郎，鈴木明彦，蜂谷修，木村理：当科における直腸癌局所切除術の検討．第63回大腸癌研究会，東京；2005年7月
- 11) 村山最二郎，須藤幸一，野村尚，高須直樹，蜂谷修，布施明，木村理：十二指腸潰瘍穿孔に対する保存的治療．潰瘍病態研究会第14回フォーラム，東京；2005年8月
- 12) 菅原秀一郎，森谷敏幸，竹下明子，平井一郎，木村理：PTGBDより造影を施行した右肝管走行不明胆嚢炎の1例．第9回山形内視鏡外科研究会学術集会，山形；2005年8月
- 13) 鈴木明彦，木村青史，山本隆，木村理：当科における乳癌脳転移症例の検討．第29回山形県乳腺疾患研究会学術集会，山形；2005年9月
- 14) 木村青史，鈴木明彦，山本隆，木村理：乳がん検診精密検査実施機関の現状．第29回山形県乳腺疾患研究会学術集会，山形；2005年9月
- 15) 山本隆，木村青史，鈴木明彦，木村理：検診要精検例の超音波診断．第29回山形県乳腺疾患研究会学術集会，山形；2005年9月
- 16) 森谷敏幸，平井一郎，竹下明子，須藤幸一，布施明，牧野直彦，白幡名香雄，戸觸智浩，本田梯市一朗，河田純男，木村理：術前困難であった若年性膵癌の1例．第43回日本消化器画像診断研究会，山形；2005年9月
- 17) 須藤幸一，布施明，平井一郎，木村理：腫瘤形成型肝内胆管癌の非切除例に対する放射線化学療法の効果．第2回非切除ならびに再発．膵・胆道癌治療フォーラム，東京；2005年9月
- 18) 森谷敏幸，平井一郎，竹下明子，須藤幸一，布施明，木村理：術前診断が困難であった若年性膵癌の1例．第18回東北膵・胆道癌研究会，山形；2005年10月
- 19) 水谷雅臣，木村理：消化器外科周術期の手術部位感染の発生と栄養指標蛋白，免疫指標蛋白の変動．第17回東北創傷治癒研究会，仙台；2005年11月
- 20) 野村尚，高須直樹，須藤幸一，蜂谷修，木村理：噴門側胃切除後ダブルトラクト再建法に関する検討．第35回胃外科・術後障害研究会，名古屋；2005年11月
- 21) 柴田健一，村山最二郎，須藤幸一，木村理：外傷性横隔膜損傷の1例．第13回山形周術期病態研究会，山形；2005年11月

(5) その他

- 1) 木村理：消化器がん(膵がん)厚生労働科学研究・がん医療均てん講演会 公開市民講座 がんの最新治療とQuality of Life, 山形；2005年3月
- 2) 海野倫明，松野正紀，安藤久實，小倉行雄，木村理，須藤幸一，嶋田紘，遠藤格：(シンポジウム)“急性胆道炎の診療ガイドライン” 小児・高齢者の胆道炎．第41回日本腹部救急医学会総会，名古屋；2005年3月
- 3) 福田俊，須藤幸一，野村尚，神尾幸則，木村理：(パネルディスカッション)当院における穿孔性十二指腸潰瘍の治療の検討．第41回日本腹部救急医学会総会，名古屋；2005年3月
- 4) 木村理：膵嚢胞性腫瘍の診断と治療．第65回鶴岡地区医師会勉強会，鶴岡；2005年4月
- 5) 水谷雅臣，平田昭彦，山本隆，濱本宜興，丘龍祥，清野由美子，柏倉美幸，松田友美，大津信博，山田みゆき，村川美幸，高橋玲子，佐々木健，中川義人，富永真琴，木村理：栄養サポートチームのかたち～各医療スタッフからのアプローチ～．第16回山形NSTセミナー，山形；2005年4月
- 6) 木村理：「膵嚢胞性腫瘍の診断と治療」第65回鶴岡地区医師会勉強会，鶴岡；2005年4月
- 9) 水谷雅臣，平田昭彦，山本隆，濱本宜興，丘龍祥，清野由美子，柏倉美幸，松田友美，大津信博，山田みゆき，村川美幸，高橋玲子，佐々木健，中川義人，富永真琴，木村理：急性膵炎患者の栄養管理の経験．第17回山形NSTセミナー，山形；2005年5月
- 10) 木村理：消化器疾患治療の現状 - 特に膵疾患に関する最近の話題 - ．第23回山形外科談話会，山形；2005年6月
- 11) Kimura W：台湾膵臓学会医学会九十四年度会員大会学術研討会，台湾；2005年6月
- 12) 村山最二郎，須藤幸一，野村尚，神尾幸則，布施明，木村理：多臓器不全の治療後に手術を施行した外傷性横隔膜ヘルニアの1例．第23回山形外科談話会，山形；2005年6月
- 13) 木村理：消化器疾患治療の現状 - 特に膵疾患に関する最近の話題 - ．第23回山形外科談話会，山形；2005年6月
- 14) 木村理：特別講演．台湾膵臓学会医学会九十四年度会員大会学術研討会，台湾；2005年6月

- 15) 鈴木明彦, 山本隆, 木村青史, 木村理:(ワークショップ) 乳癌術後患者を対象に行った家族性乳癌に関する意識調査。第11回日本家族性腫瘍研究会学術集会, 福島; 2005年 6月
- 16) 水谷雅臣, 丘龍祥, 清野由美子, 大津信博, 山本隆, 仲川義人, 富永真琴, 木村理: NST活動の現況。第1回福島NSTフォーラム, 福島; 2005年 7月
- 17) 水谷雅臣, 山本隆, 木村理: 消化器外科と栄養アセスメント蛋白 - 周術期の変動からみた考察 - 。第24回日本臨床化学会 夏期セミナー, 宮城蔵王; 2005年 7月
- 18) 須藤幸一, 布施明, 平井一郎, 木村理:(パネルディスカッション) 腫瘍形成型肝内胆管癌の治療戦略 - 非切除例に対する放射線化学療法の効果 - 。第60回日本消化器外科学会定期学術集会, 東京; 2005年 7月
- 19) 平井一郎: 生体肝移植術。第10回山形大学医学部技術部職員研修会報告集, 山形; 2005年 8月
- 20) 木村理: 膵臓外科の最近の知見。北河内外科フォーラム2005, 大阪; 2005年 9月
- 21) 木村理: 日独医学交流について - 日本医学の父ドイツ, その過去, 現在, 将来をめぐって。財団法人日本国際医学協会80周年記念総会講演会, 東京; 2005年11月
- 22) 木村理: IPMN治療の選択。日本消化器病学会東北支部 第7回教育講演会, 岩手; 2005年11月
- 23) 木村理: 3. 特別発言ドイツ留学とその後の国際交流 (Experience of Studying in Germany and Interactions with Germans Afterwards. (財)日本国際医学協会創立80周年記念総会(第45回国際治療談話会総会) 80周年記念公開講演会。日本におけるドイツ2005/2006参加。2005年。東京

3. その他

- 1) 第14回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 1月
- 2) 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年 2月
- 3) 第5回山形消化器・一般外科研究会, 山形; 2005年 2月
- 4) 第2回日本乳癌学会東北地方会, 仙台; 2005年 3月
- 5) 第25回山形肝胆膵症例検討会, 山形; 2005年 3月
- 6) 第15回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 3月
- 7) 第16回内視鏡外科フォーラム東北, 山形; 2005年 4月
- 8) 第16回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 4月
- 9) 第8回山形乳腺画像病理研究会, 山形; 2005年 5月
- 10) 第26回山形肝胆膵研究会, 山形; 2005年 5月
- 11) 第17回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 5月
- 12) 第18回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 6月
- 13) 第6回山形消化器・一般外科研究会 山形; 2005年 7月
- 14) 第19回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 7月
- 15) 第9回山形内視鏡外科研究会学術集会, 山形; 2005年 8月
- 16) 第29回山形県乳腺疾患研究会学術集会, 山形; 2005年 9月
- 17) 第27回山形肝胆膵研究会, 山形; 2005年 9月
- 18) 第20回NST研究会セミナー, 山形; 2005年 9月
- 19) 第43回日本消化器画像診断研究会, 山形; 2005年 9月
- 20) 第18回東北膵・胆道癌研究会, 山形; 2005年10月
- 21) 第21回NST研究会セミナー, 山形; 2005年10月

循環器・呼吸器・小児外科学分野（外科学第二）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Emura T, Yokomori K, Obana K, Tanaka Y : Ganglion of the groin in a child : an unusual cause of soft-tissue swelling of the groin. *Pediatric Surgery International* 2005 ; 21 : 227-229
- 2) 貞弘光章 : 山形県における虚血性心疾患の疾患特性と外科側治療体制の研究 . 山形県における疾病の特性に関する総合的な研究 2005 ; 1-7
- 3) 片桐祐司, 大竹和久, 長瀬輝顕, 伊藤智史, 小池修治, 大泉弘幸, 中嶋凱夫 : 甲状腺癌術後15年目に気管支鏡検査で発見された甲状腺癌気管支腔内転移の1例 . *日本胸部臨床* 2005 ; 64 : 747-753

(2) その他

- 1) 貞弘光章 : 新任にあたって, ご挨拶 - 着任して一年 . 蔵王会 - 山形大学医学部同窓会誌 2005 ; 15 : 11
- 2) 山際岩雄 : 生後30日以内に葛西手術が行われた胆道閉鎖症の手術成績と診断手順 . *ba ニュース* 2005 ; 5830 : 131
- 3) 大泉弘幸 : 施設紹介 山形大学医学部附属病院 . *The Journal of the Japan Society for Respiratory Endoscopy* 2005 ; 27 : 94-95

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Yamagiwa I, Emura T, Ota H : Kasai Porto-enterostomy in Neonatal Period Decreases the Number of the Shift to Liver Transplantation . 37th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons , VANCOUVER ; May 2005

(2) 国内の学会

- 1) 大泉弘幸, 加藤博久, 金内直樹, 宮津清, 遠藤誠, 貞弘光章 : 胸骨前軟部悪性腫瘍に対する胸骨後面骨皮質を温存した胸骨切除・広背筋皮弁再建術 . 第22回日本呼吸器外科学会総会, 京都 ; 2005年6月
- 2) 江村隆起, 山際岩雄, 太田寛, 貞弘光章 : 先天性横隔膜ヘルニア症例における好中球エステラーゼ値の検討 . 第42回小児外科学会総会, 千葉 ; 2005年6月
- 3) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章 : 低位鎖肛, Hirschsprung病, 大動脈縮窄症を合併した1例 . 第42回小児外科学会総会, 千葉 ; 2005年6月
- 4) 岩場晶子, 前田邦彦, 佐田誠, 柴田陽光, 大泉弘幸, 大竹浩也, 斉藤仁昭, 山川光徳 : 心不全をきたした縦隔腫瘍に一例 . 第61回日本病理学会・東北支部総会 / 学術集会, 函館 ; 2005年7月
- 5) 大泉弘幸, 遠藤誠, 宮津清, 金内直樹, 貞弘光章 : 肺癌手術時における予防的抗菌薬投与の検討 . 第46回日本肺癌学会総会, 千葉 ; 2005年11月
- 6) 外山秀司, 澤村佳宏, 貞弘光章 : CABG術後23年目に意識消失発作, Vfにて発症したRe-CABGの一例 . 第46回日本脈管学会総会, 大阪 ; 2005年12月
- 7) 金内直樹, 大泉弘幸, 遠藤誠, 山際岩, 貞弘光章 : 完全胸腔鏡下針生検の限界と可能性 . 第18回日本内視鏡外科学会総会, 東京 ; 2005年12月

(3) 国内地方会

- 1) 加藤博久, 大泉弘幸, 宮津清, 遠藤誠, 福崎幸治, 岸宏幸, 貞弘光章 : VATS右上葉切除術後肺門再発に対し, 右S6・主気管支・中間気管支幹切除形成を施行した1例 . 第21回東北肺癌研究談話会, 仙台 ; 2005年1月
- 2) 貞弘光章 : 動脈硬化性疾患治療における心拍動下冠動脈バイパス術の意義 . 第139回日本循環器学会東北地方会, 仙台 ; 2005年2月
- 3) 大泉弘幸, 加藤博久, 宮津清, 金内直樹, 遠藤誠, 貞弘光章 : 当科における胸腔鏡下肺葉切除術 - 適応と手技 - . 第16回内視鏡外科フォーラム東北, 山形 ; 2005年4月
- 4) 河原井駿一, 貞弘光章, 澤村佳宏 : OPCAB後に冠動脈spasmを来した一例 . 第75回日本胸部外科学会東北地方会, 仙台 ; 2005年6月

- 5) 宮津清, 大泉弘幸, 加藤博久, 遠藤誠, 金内直樹, 難波広幸, 貞弘光章: 胸壁切除後にCAPDを再開, 横隔膜穿孔をきたした1例. 第23回山形外科談話会学術大会, 山形; 2005年6月
- 6) 加藤博久, 大泉弘幸, 宮津清, 遠藤誠, 遠藤昭博, 貞弘光章: 右肺腺癌術後4年経過後に断端再発した1例. 第149回東北外科集談会, 仙台; 2005年6月
- 7) 澤村佳宏, 外山秀司, 鈴木浩, 熊谷紀一郎, 河原井駿一, 貞弘光章: PDA結紮後に気管圧迫が著明となり確定診断に至った血管輪の一例. 第76回日本胸部外科学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 8) 澤村佳宏, 河津聡, 外山秀司, 貞弘光章: 一側大腿膝窩動脈に発生した多発性仮性動脈瘤破裂の一例. 日本血管外科学会東北地方会第13回学術大会, 盛岡; 2005年9月
- 9) 江村隆起, 山際岩雄, 太田寛, 貞弘光章: 2ヶ月時まで減黄傾向を示し肝機能障害を認めなかった胆道閉鎖症の1例. 第73回日本小児外科学会東北地方会, 岩手; 2005年9月
- 10) 外山秀司, 澤村佳宏, 貞弘光章: 腎機能障害にて発症したIVC内血栓症に対し, 血栓除去術を施行した1例. 第13回日本血管外科学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 11) 遠藤誠, 大泉弘幸, 金内直樹, 宮津清, 高橋さくら, 貞弘光章: 診断困難であった縦隔腫瘍の一例. 第150回東北外科集談会, 山形; 2005年9月
- 12) 仁木敬夫, 澤村佳宏, 貞弘光章: Kommerel憩室により気管狭窄をきたした1例. 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月
- 13) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章: 食道異物(ボタン型リチウム電池)の1例. 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月

(4) 研究会

- 1) 貞弘光章: 動脈硬化性疾患治療の進歩. 第18回蔵王カンファレンスセミナー(薬理学教室主宰), 山形; 2005年1月
- 2) 大泉弘幸, 高橋伸政, 柳川直樹, 加藤博久, 遠藤誠, 貞弘光章: 右上葉スリーブ切除, S6部分切除術後に発生した気管支瘻の1例. 第14回呼吸器外科医会: 冬季学術集会SnowSideMeeting, 山形; 2005年1月
- 3) 加藤博久, 大泉弘幸, 宮津清, 遠藤誠, 福崎幸治, 岸宏幸, 貞弘光章: VATS右上葉切除術後肺門再発に対し右S6・主気管支・中間気管支幹切除形成を施行した1例. 第14回呼吸器外科医会: 冬季学術集会SnowSideMeeting, 山形; 2005年1月
- 4) 貞弘光章: 循環器疾患の治療における心拍動下冠動脈バイパス術の有用性. 第60回東北心血管造影懇話会, 仙台; 2005年2月
- 5) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章: 嘔吐と下血にて発症し, 胆道拡張を合併したミルクアレルギーの1例. 第16回東北小児肝胆膵研究会, 仙台; 2005年3月
- 6) 加藤博久, 大泉弘幸, 遠藤昭博, 宮津清, 金内直樹, 遠藤誠, 貞弘光章: 右肺腺癌下葉切除術後, 右中間幹の再発肺癌で手術を施行した1例. 第16回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会, 埼玉; 2005年4月
- 7) 江村隆起, 山際岩雄, 太田寛, 貞弘光章: 先天性横隔膜ヘルニア症例の検討 - 出生前診断症例を中心に -. 第22回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2005年5月
- 8) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章: 嘔吐と下血にて発症し, 胆道拡張を合併したミルクアレルギーの1例. 第22回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2005年5月
- 9) 大泉弘幸, 金内直樹, 宮津清, 遠藤誠, 貞弘光章: 症例呈示 - 肺癌手術例: 3例 -. 第37回山形肺癌懇話会, 酒田; 2005年6月
- 10) 大泉弘幸: 肺癌周術期管理の新展開. 第15回チェストカンファレンス, 大宮; 2005年6月
- 11) 貞弘光章: 冠動脈バイパス術の進歩と今後の展望. 第15回新庄最上循環器研究会, 新庄; 2005年7月
- 12) 貞弘光章: 重症心不全に対する手術治療の役割. 第2回心臓血管外科研究会, 仙台; 2005年7月
- 13) 外山秀司, 澤村佳宏, 貞弘光章: CABG術後23年目に意識消失発作, Vfにて発症したRe-CABGの一例. 第11回山形心臓外科懇話会, 山形; 2005年7月
- 14) 外山秀司, 澤村佳宏, 貞弘光章: CABG術後23年目に意識消失発作, Vfにて発症したRe-CABGの一例. 第2回心臓血管外科研究会, 仙台; 2005年7月
- 15) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章: 胆道閉鎖症の早期鑑別診断における腹腔鏡検査の有用性. 第32回日本小児内視鏡研究会, 盛岡; 2005年7月
- 16) 大泉弘幸, 金内直樹, 遠藤誠, 貞弘光章: 胸腔鏡下肺葉区域切除手技の検討. 第9回山形内視鏡外科研究会,

山形；2005年8月

- 17) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章：内視鏡的胃瘻造設術は胃食道逆流を悪化させる．第31回東北小児外科研究会, 盛岡；2005年9月
- 18) 江村隆起, 山際岩雄, 太田寛, 貞弘光章：2ヶ月時まで減黄傾向を示し肝機能障害を認めなかった胆道閉鎖症の1例．第23回日本胆道閉鎖症研究会, 千葉；2005年10月
- 19) 貞弘光章：心臓病の外科治療における最近の話題．第162回山形循環器懇話会, 山形；2005年11月
- 20) 貞弘光章：心臓病の外科治療における最近の話題．第25回東北MMC研究会, 仙台；2005年11月
- 21) 太田寛, 山際岩雄, 江村隆起, 貞弘光章：小児がん患者に対するプロビオティックカテーテルの使用経験. 第13回山形周術期病態研究会, 山形；2005年11月
- 22) 皆川忠徳, 橋本敏夫, 藤本博人, 東敬之, 小澤孝一郎, 薄場修, 豊野充：鼠径ヘルニア術後に合併した肺塞栓症の1例．第13回山形周術期病態研究会, 山形；2005年11月
- 23) 小島慶子, 澤村佳宏, 吉村幸浩, 外山秀司, 前川慶之, 貞弘光章：弓部大動脈置換術後の呼吸不全に対し陽・陰圧体外式人工呼吸器が有用であった一例．第13回山形周術期病態研究会, 山形；2005年11月
- 24) 前川慶之, 澤村佳宏, 吉村幸浩, 外山秀司, 小島慶子, 貞弘光章：腹痛にて発症した後腹膜妊娠による下大静脈切迫破裂の一例．第16回山形血管疾患研究会, 山形；2005年11月

3. その他

- 1) 貞弘光章：超高齢者に対する心臓冠動脈バイパス手術の成功．山形大学医学会総会, 山形；2005年3月
- 2) 貞弘光章：虚血性心疾患に対する外科治療の現状．寒河江市西村山郡医師会学術講演会, 山形；2005年9月
- 3) 貞弘光章：虚血性心疾患に対する外科治療の現状．健康づくり講演会, 山形；2005年9月
- 4) 貞弘光章：虚血性心疾患に対する外科治療の現状．天童市医師会学術講演会, 山形；2005年10月
- 5) 山際岩雄：新生児期に葛西手術が行われた症例の検討．小児難病フォーラム, 長崎；2005年11月

麻酔科学分野（麻酔・蘇生学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) 加藤佳子, 山川真由美, 長岡由姫, 加藤滉: 慢性疼痛に対する長期モルヒネ治療. 日本ペインクリニック学会誌12 2005; 25-28
- 2) 加藤佳子: Q3. モルヒネ製剤のタイトレーションについて教えてください. Q4. 注射によるタイトレーションにはどのような方法がありますか? 臨床のあゆみ63 2005; 15-16
- 3) 加藤佳子: 薬剤部との連携. がんの痛みをとる! 4 2005; 6-7
- 4) 加藤佳子, 加藤滉: 薬物療法 「麻薬」による痛みの治療を適切に行うためには. EBMジャーナル6 2005; 37-43
- 5) 加藤佳子, 山川真由美, 加藤滉: オピオイドローテーションの考え方. 一般病棟における緩和ケアマニュアル (小川道雄 編) 東京; へるす出版 2005; 90-95
- 6) 酒井道子, 阿波順子, 那須郁子, 田中久雄, 岡田真行, 小谷直樹: 一施設全職員を対象としたMRSA検出部位と職種間の相違について - DNA解析を用いた検討 -. ICUとCCU 2005; 29: 905-909

(2) その他

- 1) 岡田真行, 小谷直樹: 硬膜外穿刺の際に硬膜を穿破した. 麻酔科診療プラクティス17 麻酔科トラブルシューティング (弓削孟文 編) 東京; 文光堂 2005; 216
- 2) 岡田真行, 小谷直樹: くも膜下穿刺の際に放散痛があった. 麻酔科診療プラクティス17 麻酔科トラブルシューティング (弓削孟文 編) 東京; 文光堂 2005; 217
- 3) 岡田真行, 小谷直樹: 硬膜外カテーテル挿入で出血した. 麻酔科診療プラクティス17 麻酔科トラブルシューティング (弓削孟文 編) 東京; 文光堂 2005; 218
- 4) 岡田真行, 小谷直樹: 硬膜外腔に局所麻酔薬をワンショット注入したら意識消失, 呼吸停止した. 麻酔科診療プラクティス17麻酔科トラブルシューティング (弓削孟文 編) 東京; 文光堂 2005; 219
- 5) 酒井道子, 阿波順子, 那須郁子, 岡田真行, 小谷直樹, 田中久雄: 1施設全職員検査によるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌交叉感染経路の検討 (抄録). 麻酔 2005; 54: 1071
- 6) 神谷浩平, 井筒美和, 岩淵雅洋, 横尾倫子, 三浦美英, 小谷直樹: プロポフォールを主体とした静脈麻酔法は開頭脳腫瘍摘出手術症例の覚醒時間を短縮する (抄録). 麻酔 2005; 54: 1071
- 7) 井筒美和, 神谷浩平, 高岡誠司, 小谷直樹, 三浦美英: 術直後, 急性心不全を呈した成人心房中隔欠損症患者の1症例 (抄録). 麻酔 2005; 54: 1073

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 加藤佳子, 山川真由美, 那須郁子, 加藤滉: モルヒネ内服治療は激痛のコントロールが容易である! - モルヒネを服用して予定どおり行事を遂行した2例 -. 第27回日本疼痛学会, 宇都宮; 2005年7月
- 2) 山川真由美, 那須郁子, 加藤佳子, 加藤滉: 慢性疼痛に対する長期モルヒネ治療 (第2報) - 1年以上継続しても終了できる -. 第39回日本ペインクリニック学会, 宇都宮; 2005年7月

(2) 国内地方会

- 1) 山川真由美: 医者にかかる10箇条 - うまく医者につきあうために -. 第61回日本麻酔科学会東北地方会市民公開講座, 米沢; 2005年2月
- 2) 加藤佳子: 痛みはとることができます - 薬物療法について -. 第61回日本麻酔科学会東北地方会市民公開講座, 米沢; 2005年2月
- 3) 高田康輔, 福田律子, 岸正人, 星川民恵, 高岡誠司: 無症候性異所性褐色細胞腫の1症例. 第62回日本麻酔科学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 4) 那須郁子, 山川真由美, 加藤佳子: 带状疱疹の痛みに対する塩酸モルヒネ内服治療の検討. 第29回日本ペインクリニック学会東北地方会, 福島; 2005年2月

(3) 研究会

- 1) 加藤佳子：がん疼痛治療における薬剤師の役割 - 医療用麻薬の服薬指導 - . 福島県病院薬剤師会郡山支部学術講演会, 郡山; 2005年3月
- 2) 加藤佳子：疼痛緩和におけるチーム医療 - 薬剤師の役割 - . 札幌病院薬剤師会麻薬勉強会, 札幌; 2005年3月
- 3) 加藤佳子：患者さんが満足する痛みの治療 - 痛みの自己管理 - . 第6回青森緩和ケア懇話会特別講演, 青森; 2005年4月
- 4) 加藤佳子：患者さんが満足する痛みの治療 - 痛みの自己管理 - . 沖縄県緩和医療学術講演会特別講演, 那覇; 2005年4月
- 5) 加藤佳子：患者さんが満足する痛みの治療 - 痛みの自己管理 - . 第6回東海緩和医療研究会特別講演, 名古屋; 2005年6月
- 6) 加藤佳子：悪い知らせを聞くとき . 置賜地区緩和医療研究会市民公開講座, 米沢; 2005年9月
- 7) 加藤佳子：つらい知らせを伝えるとき . 第15回山形県緩和医療研究会特別講演, 米沢; 2005年9月
- 8) 加藤佳子：患者さんが満足する痛みの治療 - 痛みの自己管理 - . 第8回南大阪緩和医療研究会特別講演, 堺; 2005年9月
- 9) 加藤佳子：モルヒネの適正使用 - 医療用麻薬の自己管理 - . 第118回滋賀県病院薬剤師会湖南西支部研修会特別講演, 草津; 2005年月
- 10) 那須郁子, 高田康輔, 三浦美英, 高岡誠司: デクスメトミジンを使用して麻酔管理したawake craniotomyの1例 . 第3回日本Awake Surgery研究会, 佐賀; 2005年10月

(4) その他

- 1) 加藤佳子：患者さんが満足する痛みの治療 - 痛みの自己管理 - . 「ピーガード錠」新発売記念講演会特別講演, 富山; 2005年6月
- 2) 加藤佳子：患者さんが満足する痛みの治療 - 痛みの自己管理 - . 麻薬・覚せい剤乱用防止センター がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会, 宇都宮; 2005年12月

3. その他

- 1) 山形県麻酔研究会, 山形; 2005年10月

急性期生体機能統御学分野（救急医学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kondo S, Murakami T, Tatsumi K, Ogata M, Kanemoto S, Otori K, Iseki K, Wanaka A, Imaizumi K : OASIS, a CREB/ATF-family member, modulates UPR signalling in astrocytes. *Nat Cell Biol*, 2005 ; 7 : 186-94
- 2) Sakai N, Iseki K, Suzuki S, Mori T, Hagino S, Zhang Y, Yokoya S, Kawasaki Y, Suzuki J, Isome M, Wada I, Homma Y, Suzuki H : Uninephrectomy induces progressive glomerulosclerosis and apoptosis in anti-Thy 1 glomerulonephritis. *Pathol Int*, 2005 ; 55 : 19-26
- 3) 豊口禎子, 細谷順, 海老原光孝, 小嶋文良, 仲川義人, 伊関憲, 土田浩之, 川前金幸 : 救急医療および薬物中毒における薬剤師の役割 . TDM研究, 2005 ; 2(3) : 208-213
- 4) 行岡秀和, 池田寿昭, 石川清, 川前金幸, 谷川攻一, 宮内善豊, 高岡勇子, 境美代子, 日本集中治療医学会危機管理委員会 : 「日本集中治療医学会専門医研修施設のリスクマネージメント委員会の活動状況とICUの関与」ならびに「事故抜管などのICUにおけるインシデントの現状と予防対策」に関するアンケート調査 . 日本集中治療医学会雑誌, 2005 ; 1(3) : 227-241

(2) 総説

- 1) 永野達也, 伊関憲, 栗原正人, 土田浩之, 橘英忠, 久保田功, 川前金幸 : 意識消失で来院したBrugada症候群の1例 . 日本臨床救急医学会雑誌, 2005 ; 8(1) : 9-12
- 2) 伊関憲, 市川一誠, 永野達也, 栗原正人, 堀寧, 土田浩之, 川前金幸 : 検知管により早期診断し,かつ被殻病変を画像診断し得たメタノール中毒の1例 . 日本救急医学会雑誌, 2005 ; 1(4) : 175-181
- 3) 松本幸夫, 鈴木明日美, 川前金幸 : NPPV (非侵襲的陽圧換気法) : 最近の動向と今後の展開 ARDSに対するNPPV . ICUとCCU, 2005 ; 2(3) : 171-177
- 4) 永野達也, 服部尚士, 管桂一, 川前金幸 : シーン別看護師ができる救命処置街の中で救急車が到着するまでの救命処置 . EMERGENCY CARE, 2005 ; 1(4) : 338-346
- 5) 伊関憲, 田勢長一郎 : ICU研修マニュアル 呼吸管理 酸素療法の適応と方法 . 臨床医, 2005 ; 3(5) : 560-562
- 6) 鈴木明日美, 松本幸夫, 川前金幸 : あなたのケアを再確認!いま見直す酸素療法 酸素療法におけるモニタリングと評価 . 呼吸器ケア, 2005 ; 3(7) : 746-751
- 7) 川前金幸 : 2. 麻酔と呼吸 . 「麻酔科学レビュー 2005 - 最新主要文献集 - 」, 総合医学社, 2005 ; 6-12
- 8) 伊関憲, 川前金幸 : 全科に必要なクリティカルケアQ&A 急性肺傷害 (ALI) /急性呼吸促拍症候群 (ARDS) の患者さんのケアのポイントは何? ナーシングケアQ&A, 2005 ; 7 : 162-163
- 9) 川前金幸 : 症例とQ&Aで学ぶNPPV適応, 限界とそのEBM NPPVの歴史と呼吸機能 . 救急・集中治療, 2005 ; 1(1) : 9-18
- 10) 伊関憲 : 症例とQ&Aで学ぶ急性中毒 標準化治療の普及のために ケーススタディ (典型症例と診療のポイント) 農薬中毒 . 救急・集中治療, 2005 ; 1(6) : 581-589
- 11) 栗原正人, 川前金幸 : 症例とQ&Aで学ぶ妊婦のエマージェンシーケア 典型症例と診療のポイント 肺水腫 . 救急・集中治療, 2005 ; 1(9) : 881-887
- 12) 伊関憲 : 化学災害発生時の対応・処置について 医療機関の立場から その実践と課題 二次救急病院における対応 . 中毒研究, 2005 ; 1(1) : 47-52
- 13) 堀寧, 伊関憲, 屋敷幹雄 : 中毒治療におけるアナリティカル・パスの提唱 中毒分析してわかること,期待される診断, 治療上の役割, 中毒分析のストラテジー . 中毒研究, 2005 ; 1(3) : 269-273
- 14) 伊関憲, 堀寧, 福本真理子, 奈良女昭, 福家千昭, 屋敷幹雄, 日本中毒学会分析委員会 : 中毒治療におけるアナリティカル・パスの提唱救急外来でできる簡易検査の有用性と限界 . 中毒研究, 2005 ; 1(4) : 383-386

2. 学 会 報 告

(1) 国内の学会

- 1) 川前金幸, 工藤雅哉, 田中久雄, 伊関憲, 栗原正人: 当施設における卒前集中治療医学教育の試み. 第32回日本集中治療医学会学術集会, 東京; 2005年2月
- 2) 永野達也, 栗原正人, 伊関憲, 土田浩之, 川前金幸: 救急救命士による気管挿管の病院実習時に判明した気管軟化症の一例. 第8回日本臨床救急医学会総会, 東京; 2005年4月
- 3) 川前金幸: 肺の保護療法は有効か 「protective lung strategyには限界がある」. シンポジウム第27回日本呼吸療法医学会学術総会, 東京; 2005年7月
- 4) 川前金幸, 土田浩之, 伊関憲, 栗原直人: 大学病院としてのER. シンポジウム第33回日本救急医学会学術集会, さいたま; 2005年10月
- 5) 土田浩之, 川前金幸, 荻野利彦, 高原政利, 菊池憲一: 多数指切断再接着の1例. 第33回日本救急医学会学術集会, さいたま; 2005年10月
- 6) 栗原正人, 伊関憲, 土田浩之, 川前金幸: 病院前心肺停止患者の肝内門脈ガス像について. 第33回日本救急医学会学術集会, さいたま; 2005年10月

(2) 国内地方会

- 1) 土田浩之, 高原政利, 菊池憲一, 佐々木淳也, 金内ゆみ子, 井上林, 荻野利彦, 川前金幸: 多数指切断再接着の1例. 第19回東北救急医学会, 仙台; 2005年6月
- 2) 大瀧恵, 伊関憲, 池谷龍一, 奥平志野, 永野達也, 栗原正人, 土田浩之, 川前金幸, 山川光徳: 剖検で明らかになった心サルコイドーシスによる若年者突然死の一例. 第19回東北救急医学会, 仙台; 2005年6月
- 3) 森野一真, 川前金幸, 岩谷昭美, 金子尚嗣, 松本秀一, 清野英浩, 荒木光幸, 浅野篤芳, 佐藤巖: 山形県の事後検証票の作成と改訂過程について. 第19回東北救急医学会, 仙台; 2005年6月
- 4) 栗原正人, 伊関憲, 土田浩之, 川前金幸, 澤村佳宏, 貞弘光章: 左肩の疼痛を主訴としショック状態に陥ったvon Recklinghausen病の一例. 第19回東北救急医学会, 仙台; 2005年6月

(3) そ の 他

- 1) 川前金幸, 伊関憲: AEDシンポジウム. 山形県救急医療高度化推進協議会, 山形; 2005年12月

3. そ の 他

- 1) 山形メディカルラリー 2005, 山形; 2005年9月
- 2) 第14回麻酔科・救急医療研究会, 天童; 2005年11月
- 3) 薬毒物中毒初期診断講習会, 天童; 2005年11月
- 4) 院内BLS研修会, 山形; 2005年4月
- 5) 院内ACLS講習会, 山形; 2005年3月

代謝細胞生物学分野（生化学第一）

1 . 論 文

(1) 原 著

- 1) Xuhong Zhang , Catharina T Migita, Michihiko Sato, Masanao Sasahara, Tadashi Yoshida : Protein expressed by the ho 2 gene of the cyanobacterium *Synechocystis* sp.PCC 6803 is a true heme oxygenase properties of the home and enzyme complex. FEBS J 2005 ; 272 : 1012-1022
- 2) Masakazu Sugishima, Yoshinori Hagiwara, Xuhong Zhang, Tadashi Yoshida, Catharina T. Migita, Keiichi Fukuyama : Crystal structure of dimeric heme oxygenase- 2 from *Synechocystis* sp. PCC 6803 in complex with heme. Biochemistry 2005 ; 44 : 4257-4266
- 3) Yangzong Liu, Xuhong Zhang, Tadashi Yoshida, Gerd N La Mar : Solution ¹H NMR characterization of the distal H-Bond network and the effective axial field in the resting-state, high-Spin ferric, substrate-bound complex of hem oxygenase from *N.meningitidis*. J Am Chem Soc 2005 ; 127 : 6409-6422
- 4) Catharina T Migita, Satoko Togashi, Miki Minakawa, Xuhong Zhang, Tadashi Yoshida : Evidence for the hydrophobic cavity of heme oxygenase- 1 to be a CO-trapping site. Biochem Biophys Res Commun 2005 ; 338 : 584-589
- 5) Toshitaka Matsu, Aya Nakajim, Hiroshi Fujii, Kathryn Mansfield Matera, Catharina T Migita, Tadashi Yoshida, Masao Ikeda-Saito : O₂-and H₂O₂-dependent verdoheme degradation by heme oxygenase. J Biol Chem 2005 ; 280 : 36833-36840

(2) 総 説

- 1) Goro Kikughi, Tadashi Yoshida, Masato Noguchi : Heme oxygenase and heme degradation. Biochem Biophys Res Commun 2005 ; 338 : 558-567

2 . 学 会 報 告

(1) 国内の学会

- 1) 細谷朋方, 高旭, 川谷幸恵, 中島修, 吉田匡, 伊東健, 山本雅之 : Disturbed iron reutilization caused by macrophage-specific targeting of heme oxygenase-1 gene第28回本分子生物学会年会, 福岡 ; 2005年12月
- 2) Tomoe Kawanami, Toshitaka Matsui, Masaki Unno, Tadashi Yoshida, Masao Ikeda-Saito : Isozyme-selective inhibition of heme oxygenase by thiol compounds . 第78回日本生化学会大会, 神戸 ; 2005年10月
- 3) Xuhong Zhang , Yoshiyuki Togashi , Masanao Sasahara , Osamu Nakajima , Tadashi Yoshida : In vivo functional analysis of the heme regulatory motifs in heme oxygenase-2 using transgenic mice . 第78回日本生化学会大会, 神戸 ; 2005年10月
- 4) Hideyu Ono, Kaoru Otsu : Regulation of protein biosynthesis in mitochondria by protein phosphorylation and membrane potential . 第78回日本生化学会大会, 神戸 ; 2005年10月

運動機能再建・回復学分野（整形外科学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Ito K, Ito S, Sekine M, Abe M : Reconstruction of the soft tissue of a deep diabetic foot wound with artificial dermis and recombinant basic fibroblast growth factor. *Plast Reconstr Surg* 2005 ; 115 : 567-572
- 2) Kawaji H, Koistinen M, Takagi M, Lappalainen R, Santavirta S : Effect of surface condition of metallic pins simulating cemented femoral stem on subsidence in cyclic fatigue testing. *Journal of Finnish Orthopaedics and Traumatology* 2005 ; 28 : 161-166
- 3) Osanai T, Kashiwa H, Ishikawa A, Takahara M, Ogino T : Improved shoulder contour following forequarter amputation with an osteomyocutaneous free flap from the amputated extremity: two cases. *Br J Plast Surg* 2005 ; 58 : 165-169
- 4) Otsuji M, Takahara M, Naruse T, Guan D, Harada M, Zhe P, Takagi M, Ogino T : Developmental abnormalities in rat embryos leading to tibial ray deficiencies induced by busulfan. *Birth Defects Res A Clin Mol Teratol* 2005 ; 73 : 461-467
- 5) Takakubo Y, Fukushima S, Asano T, Yamakawa M : Intraarticular fibroma of the tendon sheath in the knee. *Clin Orthop Relat Res* 2005 ; 439 : 280-285
- 6) Tsuchiya T, Osanai T, Ogose A, Tamura G, Chano T, Kaneko Y, Ishikawa A, Orui H, Wada T, Ikeda T, Namba M, Takigawa M, Kawashima H, Hotta T, Tsuchiya A, Ogino T, Motoyama T. Methylation status of EXT1 and EXT2 promoters and two mutations of EXT2 in chondrosarcoma. *Cancer Genet Cytogenet* 2005 ; 15 : 148-155
- 7) Watanabe T, Owashi K, Kanauchi Y, Mura N, Takahara M, Ogino T : The short-term reliability of grip strength measurement and the effects of posture and grip span. *J Hand Surg Am* 2005 ; 30 : 603-609
- 8) 後藤康夫, 鶴田大作, 村成幸, 佐々木淳也, 荻野利彦, 松田雅彦, 桃井義敬: 腱板断裂術後の握力の変化と手術成績との関係. *肩関節* 2005 ; 29 : 559-562
- 9) 長谷川浩士, 武井寛, 伊藤友一, 寒河江正明, 後藤文昭, 林雅弘: 山形大式頸椎脊柱管拡大術の合併症. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 125-131
- 10) 橋本淳一, 武井寛, 寒河江正明, 伊藤友一, 荻野利彦: RA患者における頸椎手術. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 617-622
- 11) 本間龍介, 小山内俊久, 土屋登嗣, 荻野利彦, 石川朗: 手に発生した未熟神経外胚葉性腫瘍の1例. *臨整外* 2005 ; 40 : 201-204
- 12) 石井政次, 浦山安広, 浜崎允, 高木理彰, 小林真司, 井田英雄: 50才以下の進行期・末期変形性股関節症に対する当院での外反骨切術の成績. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 647-652
- 13) 石井政次, 浦山安広, 佐々木幹, 浜崎允, 高木理彰, 小林真司, 佐藤哲也, 大楽勝之, 井田英雄: Impaction bone grafting (IBG) におけるステム周囲骨折. *日本人工関節学会誌* 2005 ; 35 : 279-280
- 14) 石川朗, 小山内俊久, 大類広, 土屋登嗣, 菅原正登, 荻野利彦: 軟部肉腫に対する電撃化学療法の可能性. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 609-612
- 15) 伊藤友一, 武井寛: 片側進入棘突起形成片開き式拡大術後長期の骨性変化. *日本脊髄障害医学会雑誌* 2005 ; 18 : 76-77
- 16) 泉山拓也, 仲野春樹, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 鈴木克彦, 小川恵一, 寒河江正明, 内藤輝: 叩打刺激を用いたPSTH法によるヒト腕撓骨筋から上腕三頭筋への抑制の解析. *解剖学雑誌* 2005 ; 80 (補追第2号): 7-8
- 17) 嘉野真允, 伊藤和生, 鍋田裕樹, 松尾真二, 濱田一範, 名越智, 山下敏彦, 福田公孝: 大腿骨近位部骨折を両側同時に発生した長期透析患者の1例. *北海道整形災害外科雑誌* 2005 ; 46 : 12-15
- 18) 菊地憲明, 小山内俊久, 土屋登嗣, 荻野利彦, 大類広: 人工血管(アンスロンR)による大腿動静脈の術中一時バイパスを併用した大腿部MFH切除後の血行再建の経験. *日本マイクロサージャリー学会会誌* 2005 ;

- 18 : 15-20
- 19) 小林真司, 高木理彰, 佐々木幹, 佐藤哲也, 大楽勝之, 石井政次, 浦山安広, 浜崎允, 大利昌宏, 井田英雄: 自家大腿骨頸部による臼蓋形成術を併用した人工股関節全置換術の成績. Hip Joint 2005 ; 31 : 596-600
- 20) 松尾真二, 伊藤和生, 鍋田裕樹, 濱田一範, 嘉野真允, 花岡秀人, 山下敏彦: 高齢者の足部に発生する脆弱性骨折の特徴. 臨整外 2005 ; 40 : 805-810
- 21) 村成幸, 高原政利, 佐々木淳也, 原田幹生, 荻野利彦, 後藤康夫: 高校野球選手における投球時肩痛と肩関節の可動域, ゆるみおよび筋力との関係. 肩関節 2005 ; 29 : 655-658
- 22) 桃井義敬, 村成幸, 後藤康夫, 松田雅彦, 佐々木淳也, 鶴田大作, 荻野利彦: 上腕骨近位端骨折の保存的治療中の転位と初診時X線所見. 東日本整災会誌 2005 ; 17 : 637-641
- 23) 桃井義敬, 村成幸, 後藤康夫, 荻野利彦: 高校野球選手に発生した肩甲関節窩離断性骨軟骨炎の1例. 臨整外 2005 ; 40 : 1277-1281
- 24) 成田淳, 福島重宣, 針生光博, 浅野多聞, 小関和彦: MIS-TKAにおける筋力回復. 膝 2005 ; 30 : 229-232
- 25) 成田雪子, 寺島嘉紀, 高野浩成, 関根将利, 伊藤和生: 立方骨に発生した脆弱性骨折の1例. 整形外科 2005 ; 56 : 569-571
- 26) 小川恵一, 鈴木克彦, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 仲野春樹, 寒河江正明, 宮坂卓治, 内藤輝, 渡辺皓: 機械的叩打刺激を用いた筋電図平均加算法によるヒト母指球筋から橈側手根伸筋への促通の解析. 山形医学 2005 ; 23 : 107-115
- 27) 岡田恭司, 小山内俊久, 西田淳, 堀田哲夫, 田地野崇宏, 柿崎寛, 守田哲郎: 骨軟部腫瘍の診療におけるリスクマネジメント; 東北骨軟部腫瘍研究会からの報告. 臨整外 2005 ; 40 : 875-881
- 28) 岡田恭司, 小山内俊久, 西田淳, 堀田哲夫, 田地野崇宏, 柿崎寛, 守田哲郎: 骨軟部腫瘍の診療におけるリスクマネジメント. 東日本整災会誌 2005 ; 17 : 595-599
- 29) 小山内俊久, 関根康雅, 石川朗, 土屋登嗣, 荻野利彦, 三井哲夫, 川上貴子: メトトレキサートの初回投与でアナフィラキシー様反応を呈した骨肉腫の1例. 臨整外 2005 ; 40 : 73-76
- 30) 小山内俊久, 石川朗, 土屋登嗣, 荻野利彦: 難治性軟部肉腫に対する電撃化学療法. 整形外科 2005 ; 56 : 1474-1475
- 31) 小山内俊久, 土屋登嗣, 石川朗, 菅原正登, 荻野利彦: 骨腫瘍における骨代謝マーカーの臨床的評価. 臨整外 2005 ; 40 : 1199-1203
- 32) 鈴木勝, 武井寛, 橋本淳一, 安田健一, 仲野春樹: 術後に持続勃起が生じた脊髄腫瘍の1例. 整・災外 2005 ; 48 : 1157-1160
- 33) 高木理彰, 小林真司, 川路博之, 大楽勝之, 佐々木幹, 石井政次, 浦山安広, 井田英雄: KTプレート併用亜脱臼・脱臼性臼蓋再建における移植骨とプレート安定性に関する検討. 日本人工関節学会誌 2005 ; 35 : 359-360
- 34) 高木理彰, 清重佳郎: 関節リウマチ手関節形成的滑膜切除術における伸筋腱リアライメントと手関節尺側安定化の有用性. 日本手の外科学会誌 2005 ; 22 : 228-232
- 35) 高原政利, 荻野利彦, 村成幸, 菊地憲明, 佐々木淳也, 原田幹生: 成長期の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎. 骨・関節・靭帯 2005 ; 18 : 985-990
- 36) 武井寛, 林雅弘, 尾鷲和也, 寒河江正明, 橋本淳一, 千葉克司: 転移性脊椎腫瘍に対する後方除圧・固定術と放射線療法. 東日本整災会誌 2005 ; 17 : 577-582
- 37) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦, 後藤薫: ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食能の検討. 東日本整災会誌 2005 ; 17 : 211-218
- 38) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦, 石井政次: ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食後の細胞動態. 日本人工関節学会誌 2005 ; 35 : 87-88
- 39) 鶴田大作, 村成幸, 佐々木淳也, 荻野利彦, 後藤康夫, 桃井義敬, 松田雅彦: 腱板修復時における腱板断端の張力と術後成績の関係. 肩関節 2005 ; 29 : 599-602
- 40) 渡邊忠良, 金内ゆみ子, 井田英雄: 握力測定姿勢・肢位の違いによる握力値と再現性の検討. 臨整外 2005 ; 40 : 665-671
- 41) 渡邊忠良, 朝比奈一三, 石川朗: 整復に難渋した膝蓋骨脱臼の1例. 東北膝関節研究会会誌 2005 ; 15 : 1-5

(2) 総 説

- 1) Konttinen YT, Zhao D, Beklen A, Ma G, Takagi M, Kiviela-Rajamaki M, Ashammakhi N, Santavirta S : The microenvironment around total hip replacement prostheses. Clin Orthop Relat Res 2005 ; 430 : 28-38
- 2) 伊藤和生, 高原政利, 荻野利彦 : 上肢の画像診断- 読影のポイントとピットフォール - 手関節外傷(手根骨). 関節外科 2005 ; 24 : 304-310
- 3) 荻野利彦 : 形態異常をきたす疾患 . THE BONE 2005 ; 19 : 59-64
- 4) 荻野利彦 : 手の先天異常の治療 . 日整会誌 2005 ; 79 : 314-320
- 5) 荻野利彦 : 特集 / 四肢先天異常診療マニュアル, 尺側列形成障害 . PEPARS 2005 ; 5 : 25-31
- 6) 高木理彰, 小林真司, 川路博之, 高窪祐弥, 玉木康信, 塚元重治, 佐々木幹, 石井政次 : 人工股関節周囲の微小環境 . 骨・インプラント境界面の生体反応 . バイオマテリアル 2005 ; 23 : 422-430
- 7) 高木理彰, 清重佳郎 : RA手関節治療における筋腱リアライメントと手関節尺側安定化の意義 . Monthly Book Orthopaedics 2005 ; 18 : 49-60
- 8) 高原政利 : 整形外科におけるリスクマネジメント . 手の外科のリスクマネジメント . 臨整外 2005 ; 40 : 893-899
- 9) 高原政利 : 上腕骨外側上顆炎の最近の知見 . 上腕骨外側上顆炎の保存治療 . 文献調査 . 整・災外 2005 ; 48 : 1025-1030

(3) 著 書

- 1) 荻野利彦 : 先天異常(手指形成異常)「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編)文光堂, 東京 2005 ; 579-584
- 2) 荻野利彦 : 分化障害「形外科学・外傷学」(岩本幸英編)文光堂, 東京, 2005 ; 584-585
- 3) 荻野利彦 : 手関節・手部の炎症性疾患「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編)文光堂, 東京 2005 ; 585-587
- 4) 荻野利彦 : 手部の骨壊死「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編)文光堂, 東京, 2005 ; 587-588

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Kikuchi N, Kashiwa H, Ogino T : Radial polydactyly : Report of three cases ; two vanishing types and one pedunculated type. The 4 th Combined Meeting of the American Society for Surgery of the Hand and Japanese Society for Surgery of the Hand, Hawaii ; March 2005
- 2) Kobayashi S, Ida H, Ishii M, Takagi M, Sato T, Kawaji H, Dairaku K, Sasaki K, Urayama Y, Ootoshi M, Hamasaki M : Long-term follow-up of collared and grooved titanium stem in cemented total hip arthroplasty. The 18th Annual Symposium of The International Society for Technology in Arthroplasty, Kyoto, Japan : October 2005
- 3) Ogino T : History of congenital hand anomalies and unclassifiable cases. Annual Meeting of International Congenital Anomaly Study Group Pretoria, South Africa : March 2005
- 4) Ogino T, Takahara M, Kikuchi N, Naruse T : Concept of abnormal induction of digital rays. Annual Meeting of International Congenital Anomaly Study Group, Pretoria, South Africa : March 2005
- 5) Ogino T, Takahara M, Kikuchi N, Ishigaki D, Naruse T : Treatment of delta phalanx Annual Meeting of International Congenital Anomaly Study Group, Pretoria, South Africa : March 2005
- 6) Piao Z, Takahara M, Harada M, Orui H, Otsuji M, Takagi M, Ogino T : The response of costal cartilage to mechanical injury in mice. The 51st Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, Washington DC, USA : February 2005
- 7) Takagi M : Recovery of bone stock and implant stability after total hip arthroplasty with Kerboul type cross-plate system against extensive acetabular bone defect. The 18th Annual Symposium of the International Society for Technology in Arthroplasty, Kyoto, Japan : October 2005,
- 8) Takagi M : Biocompatibility of total hip joint. Macrophagic reaction to implant debris. European Co-operation in the Field of Science and Technical Research (COST) Action533 : Biotribology, Helsinki, Finland : October 2005
- 9) Takei H, Osanai T, Kikuchi N, Hashimoto J, Utsumi H, Ogino T : Wide marginal resection including spinal cord for primary malignant spinal cord tumor. The 9 th international ARGOS symposium, Paris,

France, February 2005

- 10) Tamaki Y, Hasegawa H, Sasaki K, Sasaki A, Kawaji H, Ogino T, Santavirta S, Konttinen YT, Goto K, Takagi M : Suppression of diacylglycerol kinase (DGK) zeta in bone marrow macrophages after phagocytosis of titanium particles. The 51st Orthopedic Research Society, Washington DC, USA : February 2005
- 11) Tamaki Y, Takagi M, Sasaki K, Sasaki A, Hasegawa H, Kawaji H, Kobayashi S, Ogino T, Ishii M, Santavirta S, Konttinen YT, Goto K : Detection of diacylglycerol kinase (DGKs) in primary cultured macrophages derived from rat bone marrow. The 18th Annual Symposium of the International Society for Technology in Arthroplasty, Kyoto, Japan : September 2005
- 12) Watanabe T, Takagi M, Ishii M, Kobayashi S, Sato T, Kawaji H, Ida H: Long-term follow-up of cemented titanium long stem in revision hip arthroplasty. The 18th Annual Symposium of the International Society of Technology in Arthroplasty, Kyoto : September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 古川孝志, 伊藤和生, 奴賀賢, 荻野利彦, Magnus Hook, 篠村多摩之: Epiphyseal/Biglycanのノックアウトマウスでは椎間板の変性が加速する. 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2005年10月
- 2) 橋本淳一, 武井寛, 寒河江正明, 古川孝志, 笹木勇人, 荻野利彦: 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折後の椎体偽関節に対する後方進入脊椎短縮術. 第54回東日本整形災害外科学会, 東京; 2005年9月
- 3) 林昌浩, 木根淵智子, 山田真枝子, 三橋善比古, 近藤慈夫, 菊地憲明: 消化管穿孔をきたした電撃症の1例. 第31回日本熱傷学会, 横浜; 2005年6月
- 4) 本間龍介, 菊地憲明, 大辻美和子, 柏英雄: 頭蓋骨に発生した骨内脂肪腫の1例. 第48回日本形成外科学会, 東京; 2005年4月
- 5) 石川朗, 小山内俊久, 大類広, 土屋登嗣, 生越章, 堀田哲夫, 荻野利彦: 多発する悪性線維性組織球腫の再発病変に対する電撃化学療法の効果の検討. 第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2005年7月
- 6) 石川朗, 小山内俊久, 土屋登嗣: 軟部肉腫に対する電撃化学療法の可能性 - 多発する皮膚病巣を有する類上皮肉腫への臨床応用 -. 第64回日本癌学会学術集会, 札幌; 2005年9月
- 7) 伊藤友一, 武井寛: 若年アスリートに生じた脊髄震盪の5例. 第40回日本脊髄障害医学会, 東京; 2005年11月
- 8) 柏英雄, 菊地憲明, 大辻美和子, 本間龍介: 再発をきたした隆起性皮膚線維肉腫の検討. 第48回日本形成外科学会, 東京; 2005年4月
- 9) 菊地憲明, 本間龍介, 大辻美和子, 柏英雄: 爪組織のアポトーシスとDLAD遺伝子の発現について. 第48回日本形成外科学会, 東京; 2005年4月
- 10) 菊地憲明, 本間龍介, 大辻美和子, 柏英雄: 痕跡型母指多指症の3症例の検討. 第48回日本形成外科学会, 東京; 2005年4月
- 11) 菊地憲明, 加藤秀輝, 本間龍介, 大辻美和子, 柏英雄: 爪甲の再生に関する研究~免疫不全マウス腎臓被膜下への爪移植モデルを用いて. 第48回日本形成外科学会, 東京; 2005年4月
- 12) 菊地憲明, 荻野利彦, 高原政利, 伊藤和生, 鳴瀬卓爾: 指欠損を伴わないUlnar Cleftの病態の検討. 第48回日本手の外科学会, 下関市; 2005年4月
- 13) 菊地憲明, 柏英雄, 大辻美和子, 鳴瀬卓爾, 石垣大介, 金内ゆみ子, 荻野利彦: Nuss法変法で胸郭形成を行った窒息性胸郭異形成症 (Jeune症候群) の姉弟例. 第45回日本先天異常学会, 東京; 2005年7月
- 14) 菊地憲明, 柏英雄, 小池修治, 那須隆, 本間龍介, 加藤秀輝: 咽喉頭食道の複合組織欠損に対するDouble Free Flapによる再建, 第32回日本マイクロサージャリー学会, 仙台; 2005年12月
- 15) 小林真司, 高木理彰, 仲野春樹, 武井寛, 橋本淳一, 小山内俊久, 大類広, 荻野利彦: 原発性脊髄悪性腫瘍に対し脊髄切断を含めた広範囲切除が施行された一例. 第42回日本リハビリテーション学会, 金沢; 2005年6月
- 16) 小林真司, 室岡久爾夫, 小林なぎさ: 交通事故後に遷延した腰背部痛に対し選択的セロトニン再取り込み阻害薬 (SSRI) が有効であった一例. 第39回日本ペインクリニック学会, 宇都宮; 2005年7月
- 17) 小林真司, 岩崎聖, 高木理彰, 浦山安広, 佐々木幹; 早期に荷重を行った同種骨impaction bone grafting法

- による人工股関節再置換術の短期成績．第54回東日本整形災害外科学会，東京；2005年9月
- 18) 小林真司，岩崎聖，高木理彰，浦山安広，佐々木幹：非外傷性股関節脱臼の一例．第32回日本股関節学会，新潟；2005年11月
 - 19) 村成幸，松田雅彦，後藤康夫，桃井義敬，荻野利彦：外傷性肩関節前方不安定症術後の肩筋力の推移 - Caspari変法とBankart & Bristow変法．第32回日本肩関節学会，浦安；2005年9月
 - 20) 仲野春樹，内藤輝，小林真司，高木理彰，荻野利彦：PSTH法を用いた円回内筋から橈側手根伸筋への反射回路の解析：第42回日本リハビリテーション学会，金沢；2005年6月
 - 21) 仲野春樹，宮坂卓治，寒河江正明，藤井浩美，佐藤寿晃，鈴木克彦，小川恵一，進藤正臣，内藤輝：ヒト円回内筋から橈側手根伸筋への促通性脊髄反射回路について：PSTH法を用いた解析．第35回日本臨床神経生理学学会，福岡；2005年10月
 - 22) 成田淳，福島重宣，針生光博，浅野多聞，小関和彦：MIS-TKAにおける筋力回復．第30回日本膝関節学会，東京；2005年1月
 - 23) 小山内俊久，石川朗，土屋登嗣，菅原正登，荻野利彦：小児骨肉腫に対する延長型人工膝関節の短～長期成績．「シンポジウム：QOLからみた発育期患者の悪性骨腫瘍に対する患肢温存手術」第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会，東京；2005年7月
 - 24) 小山内俊久，土屋登嗣，石川朗，大類広，菅原正登，荻野利彦：膝蓋骨全切除後に腓腹筋・アキレス腱弁で膝伸展機構を再建した軟部肉腫の1例．第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会，東京；2005年7月
 - 25) 小山内俊久，土屋登嗣，大類広，石川朗，菅原正登，荻野利彦：三角筋全切除を行った低悪性度線維粘液性肉腫の術後肩関節機能．第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会，東京；2005年7月
 - 26) 小山内俊久，石川朗，土屋登嗣：難治性軟部肉腫に対する電撃化学療法の経験．第43回日本癌治療学会総会，名古屋；2005年10月
 - 27) 大辻美和子，菊地憲明，柏英雄，本間龍介：帝王切開後瘢痕部に発生した子宮内膜症の一例．第48回日本形成外科学会，東京；2005年4月
 - 28) 佐々木明子，高木理彰，高窪祐弥，玉木康信，大類広，荻野利彦：低用量プレドニゾン投与のRA患者におけるアレンドロネートの効果．第49回日本リウマチ学会学術集会，横浜；2005年4月
 - 29) 佐々木明子，高窪祐弥，菊地憲明，佐々木幹，高木理彰：関節リウマチ経過中に原疾患の異なる足趾壊疽を来した2例．第22回日本臨床リウマチ学会総会，神戸；2005年11月
 - 30) 菅原正登，高原政利，村成幸，原田幹生：中学校高校競泳選手の肩関節障害．第31回日本整形外科スポーツ医学会，奈良；2005年7月
 - 31) 高木理彰：KTプレート併用亜脱臼・脱臼性臼蓋再建における移植骨とプレート安定性に関する検討．第35回日本人工関節学会，沖縄；2005年2月
 - 32) 高木理彰：十字プレート併用初回人工関節股臼再建における移植骨とプレート安定性に関する検討．第49回日本リウマチ学会学術集会，横浜；2005年4月
 - 33) 高木理彰：関節リウマチ手関節形成術における伸筋腱リアライメントと尺側安定化の有用性．第48回日本手の外科学会学術集会，下関；2005年4月
 - 34) 高木理彰：弛緩人工股関節周囲組織ジアルグリセロールキナーゼの局在と細胞機能に関する検討．第20回日本整形外科学会基礎学術集会，三重；2005年10月
 - 35) 高木理彰：人工股関節素材摩耗粉に対する生体反応．第54回東日本整形災害外科学会，東京；2005年10月
 - 36) 高木理彰：骨インプラント境界面における破骨細胞非依存性骨吸収の可能性．第32回日本股関節学会学術集会，新潟；2005年11月
 - 37) 高原政利，荻野利彦，村成幸，佐々木淳也，原田幹生：野球肘の自然経過，上腕骨小頭離断性骨軟骨炎．第17回日本肘関節学会，東京；2005年1月
 - 38) 高窪祐弥，高木理彰，福島重宣，荻野利彦：関節リウマチ(RA)の滑膜組織におけるCXCR5の局在とリンパ濾胞形成との関連．第49回日本リウマチ学会，横浜；2005年4月
 - 39) 高野満夫，土田浩之，橋本淳一，荻野利彦：同種異型移植モデルを用いたrhBMP2併用骨髄間葉系前駆細胞移植による骨再生に関する研究．第20回日本整形外科学会基礎学術集会，三重；2005年10月
 - 40) 高野満夫，橋本淳一，土田浩之，荻野利彦：rhBMP2併用同種骨髄間葉系幹細胞移植による骨再生に対するFK506投与効果に関する研究．第20回日本整形外科学会基礎学術集会，三重；2005年10月

- 41) 武井寛, 林雅弘, 横田実, 尾鷲和也, 伊藤友一, 橋本淳一, 長谷川浩士: 80歳代の頸髄症に対する片開き式脊柱管拡大術の成績. 第54回東日本整形災害外科学会, 東京; 2005年9月
- 42) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦: ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食後の細胞動態. 第35回日本人工関節学会, 沖縄; 2005年2月
- 43) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦: チタン顆粒貪食骨髄マクロファージのサイトカイン, 蛋白分解酵素産生能に関する検討. 第49回日本リウマチ学会学術集会, 横浜; 2005年4月
- 44) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦: ラット骨髄マクロファージのチタン顆粒貪食によるMMP-TIMP産生能の検討. 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2005年10月
- 45) 玉木康信, 高木理彰, 石井政次, 小林真司, 川路博之, 佐藤哲也, 佐々木幹, 大楽勝之, 浦山安広, 井田英雄: 骨・インプラント境界面における破骨細胞非依存性骨吸収の可能性. 第32回日本股関節学会, 新潟; 2005年11月
- 46) 土屋登嗣, 小山内俊久, 石川朗, 大類広, 荻野利彦: 線維性骨異形成と同様の点突然変異をもつ低悪性骨内骨肉腫の1例. 第38回日本整形外科骨・軟部腫瘍学術集会, 横浜; 2005年7月
- 47) 土屋登嗣, 小山内俊久, 長谷川匡, 平賀博明, 石川朗, 大類広, 荻野利彦: 低悪性度線維粘液性肉腫において融合遺伝子FUS/CREB3L2について. 第38回日本整形外科骨・軟部腫瘍学術集会, 横浜; 2005年7月
- 48) 浦山安広, 高木理彰, 小林真司: セラミック対セラミック使用人工股関節全置換術の中期成績. 第54回東日本整形災害外科学会, 東京; 2005年9月
- 49) 浦山安広, 清重佳郎, 浜崎允: 不安定型大腿骨頸部外側骨折の治療. 第32回日本股関節学会, 新潟; 2005年11月
- 50) 渡邊忠良, 金内ゆみ子, 大利昌宏, 伊藤友和: 膝関節離断3症例の歩行解析. 第42回日本リハビリテーション医学会学術集会, 金沢; 2005年6月

(3) 国内地方会

- 1) 花輪千智, 菅井幸雄, 本間次男, 菊田学, 五十嵐歩, 細矢貴亮, 小山内俊久, 土屋登嗣: 遺残坐骨動脈に生じた類上皮血管内皮腫の1例. 第112回日本医学放射線学会北日本地方会, 新潟; 2005年6月
- 2) 伊藤和生, 菊地憲明, 鳴瀬卓爾, 佐竹寛史, 高原政利, 荻野利彦: 糖尿病性足部病変に対する治療 - 人工真皮移植と繊維芽細胞増殖因子(bFGF)の併用療法 -. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 3) 小林真司, 高木理彰, 仲野春樹, 村川美幸, 橋本淳一, 荻野利彦: 銃弾による多発外傷をうけた脊髄損傷の一例. 第18回日本リハビリテーション医学会東北地方会, 秋田; 2005年11月
- 4) 成田亜矢, 伊藤和生, 井上林, 土屋登嗣, 小山内俊久, 高原政利, 荻野利彦: 尺骨遠位部に発生した類骨骨腫の1例. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 5) 小山内俊久, 土屋登嗣, 長谷川匡, 高窪祐弥, 山川光徳, 荻野利彦: 軟部肉腫との鑑別を要した良性リウマトイド結節の1例. 第15回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 仙台; 2005年9月
- 6) 佐々木明子, 高窪祐弥, 菊地憲明, 佐々木幹, 高木理彰: 関節リウマチ経過中に原疾患の異なる足趾壊疽を来した2例. 第15回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 仙台; 2005年9月
- 7) 菅原裕史, 武井寛, 橋本淳一, 古川孝志: 診断が遅れた脊髄動静脈瘤の2例. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 8) 杉田誠, 朝比奈一三, 大利昌宏, 石川朗, 渡邊忠良: 歯突起骨折, 環軸関節突起間骨折, 環椎骨折を合併した1例. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 9) 武井寛, 橋本淳一, 千葉克司, 古川孝志: 腰部脊柱管狭窄症に対する直視下片側進入両側除圧術の経験. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 10) 富樫栄太, 福島重宣, 浅野多聞, 成田淳, 荻野利彦: MISUKAの成績と筋力回復. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年4月
- 11) 土屋登嗣, 小山内俊久, 石川朗, 荻野利彦: FDG-PETで高度集積を示した褐色脂肪腫の2例. 103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 12) 土屋登嗣, 小山内俊久, 佐々木明子, 荻野利彦: 関節リウマチ患者の手掌部に生じた滑膜肉腫の1例. 第15回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 仙台; 2005年10月
- 13) 渡邊忠良, 朝比奈一三, 大利昌宏, 石川朗, 杉田誠, 菊地憲明: 尾骨切除を行ったhuman tailの1例. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月

(4) 研究会

- 1) 橋本淳一, 武井寛, 古川孝志, 林雅弘: 当院における18歳以下の腰椎分離症の治療成績. 第15回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2005年1月
- 2) 仲野春樹, 宮坂卓治, 寒河江正明, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 鈴木克彦, 小川恵一, 進藤正臣, 内藤輝: PSTH法を用いた橈側手根伸筋と円回内筋の間の脊髄反射回路の解析. 第22回山形電気生理研究会, 山形; 2005年10月
- 3) 高原政利, 荻野利彦, 菊地憲明, 伊藤和生, 加藤義洋: 特異な病態が背景にあった神経因性疼痛の2例. 第3回神経因性疼痛研究会, 東京; 2005年9月
- 4) 武井寛, 寒河江正明, 橋本淳一, 古川孝志: 脊椎短縮術のpitfall. 第15回東北脊椎外科研究会, 仙台; 2005年1月
- 5) 武居功, 村成幸, 荻野利彦, 後藤康夫: 成人に発症した三角筋拘縮症を疑った1例. 第16回東北肩関節研究会, 仙台; 2005年6月
- 6) 玉木康信: ラット骨髄マクロファージのチタン顆粒貪食によるサイトカイン, 蛋白分解酵素産生能の検討. 第11回人工関節基礎研究会, 東京; 2005年9月
- 7) 土屋登嗣, 小山内俊久, 石川朗, 長谷川匡, 高窪祐弥, 山川光徳: 右側胸部腫瘍の1例. 第12回東北地区骨軟部腫瘍研究会, 盛岡; 2005年10月第18回東日本手の外科研究会, 山形; 2004年1月

(5) その他

- 1) Takagi M: Biocompatibility Research of Total Hip Arthroplasty - Past, Present, and Future. Research Seminar, University of Kuopio, Sigrid Juselius Foundation, Kuopio, Finland: October 2005 (招待講演)
- 2) Takagi M: Biocompatibility of total hip joint. ORTON Research Seminar, Helsinki, Finland: October 2005 (招待講演)
- 3) 橋本淳一: 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折後偽関節に対する脊椎短縮術. 第11回山形脊椎外科懇話会, 山形; 2005年10月
- 4) 菊地憲明, 柏英雄, 本間龍介, 小池修治, 那須隆: 複合組織再建を要する頭頸部再建における有茎皮弁の大切さ. 第11回東北マイクロサージャリー懇話会. 仙台; 2005年10月
- 5) 菊地憲明, 加藤秀輝, 本間龍介, 武井寛: 脊髄原発間葉性軟骨肉腫の脊髄切除を含めた広範囲切除術に対する再建手術の経験. 第10回山形形成外科懇話会. 山形 2005年7月
- 6) 村上暁, 加藤博之, 中小路拓, 濱裕, 高原政利: 上腕骨顆上骨折後内反肘変形に対して新しい矯正骨切り術を行った1例. 信州臨床整形外科医会, 松本; 2005年4月
- 7) 荻野利彦: 手の先天異常の基本的診療. 第43回山陰整形外科集団会, 松江; 2005年7月 (招待講演)
- 8) 荻野利彦: 上肢先天異常の分類と治療. 中国・四国地区整形外科教育研修会, 高知; 2005年7月 (招待講演)
- 9) 荻野利彦: 上肢の末梢神経絞扼性障害について. ヤング整形外科セミナー, 群馬; 2005年8月 (招待講演)
- 10) 荻野利彦: 絞扼性末梢神経障害. 兵庫医科大学学術講演会, 兵庫; 2005年9月 (招待講演)
- 11) 荻野利彦: 関節リウマチ肘・手障害に対する手術療法. リウマチ診療研究会, 仙台; 2005年10月 (招待講演)
- 12) 荻野利彦: 手の先天異常について. SAPPORO ORTHOPAEDIC SEMINAR, 札幌; 2005年11月 (招待講演)
- 13) 荻野利彦: 上肢先天異常の治療. 第77回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2004年5月 (教育研修講演)
- 14) 荻野利彦: 上肢のスポーツ障害 - 肘と手を中心に. 北海道臨床整形外科医会, 北海道; 2005年12月 (招待講演)
- 15) 荻野利彦: 上肢のスポーツ傷害. 第4回中信整形外科医会学術講演会, 松本; 2005年6月 (招待講演)
- 16) 高木理彰: 人工股関節の生体親和性の研究 - 過去, 現在, 未来 -. 第141回宮城股関節研究会, 仙台; 2005年12月 (教育研修講演)
- 17) 高木理彰: 関節リウマチの診断と治療 - 最近の話題から -. 三郡市医師会学術記念講演会, 山形; 2005年9月 (招待講演)
- 18) 高木理彰: リウマチ性骨関節障害のリハビリテーション. 平成17年度北海道東北地区リウマチ教育研修会, 山形; 2005年4月 (教育研修講演)
- 19) 高原政利: 7指の再接着に成功した1例. 第19回東日本手の外科研究会, 東京; 2005年2月 (教育研修講演)
- 20) 高原政利: 日常の手の外科治療. 学術講演会, 旭川; 2005年4月 (招待講演)

- 21) 高原政利：肘関節のスポーツ外傷．函館整形外科スポーツ・リハビリテーション研究会，函館；2005年4月（教育研修講演）
- 22) 高原政利：手の外科の基本と実践．第16回安比夏期セミナー，安比；2005年8月（教育研修講演）
- 23) 高原政利：肘のスポーツ傷害．日本手の外科学会第11回秋期教育研修会，福岡；2005年9月（教育研修講演）
- 24) 高原政利：肘関節疾患の診断と治療．第4回手の外科セミナー，仙台；2005年10月（教育研修講演）
- 25) 武井寛：骨粗鬆症・臨床の実際．三共製薬・アベンティスファーマ骨粗鬆症勉強会，山形；2005年2月（招待講演）
- 26) 武井寛：腰下肢痛の診断と治療 - 最近の試み - ．秋田県北腰痛セミナー，大館；2005年2月（招待講演）
- 27) 武井寛：腰下肢痛の診断，治療，予防．第1回一ノ関腰痛研究会，一ノ関；2005年4月（招待講演）
- 28) 武井寛：リマプロストによる腰部脊柱管狭窄症の治療成績．第2回東北腰痛フォーラム，仙台；2005年4月（招待講演）
- 29) 武井寛：脊椎・脊髄疾患 - 最近の知見 - ．第11回山形臨床整形外科懇話会，山形；2005年6月（招待講演）
- 30) 武井寛：腰下肢痛の診断，治療，予防．上市市医師会学術講演会，上山；2005年7月（招待講演）
- 31) 武井寛：腰部脊柱管狭窄 - 自記式診断ツールの開発 - ．第18回山形整形外科セミナー，山形；2005年8月（招待講演）
- 32) 武井寛：腰部脊柱管狭窄簡易診断ツールの有用性．九州沖縄腰痛・下肢痛フォーラム2005，福岡；2005年9月（教育研修講演）
- 33) 武井寛：スポーツと腰の痛み，山形整形外科イベント，山形；2005年10月（招待講演）
- 34) 武井寛：胸・腰・仙椎後弯症挑戦と挫折と課題．第10回山形脊椎・脊髄外科懇話会，山形；2005年11月
- 35) 武井寛：腰下肢痛の診断と治療．鶴岡医師会学術講演会，鶴岡；2005年11月（招待講演）
- 36) 武井寛：スポーツと子ども達の発育発達．山形市体育協会パバママゼミナール，山形；2005年12月（招待講演）

3. その他

- 1) 第17回山形整形外科セミナー，山形；2005年1月
- 2) 第4回山形股関節セミナー，山形；2005年3月
- 3) 第103回東北整形災害外科学会，山形；2005年5月
- 4) 山形地区リウマチ研修会，山形；2005年5月
- 5) 第58回山形整形外科研究会，山形；2005年6月
- 6) 第19回山形整形外科セミナー，山形；2005年6月
- 7) 第20回山形整形外科セミナー，山形；2005年8月
- 8) 第13回山形リウマチ研究会，山形；2005年9月
- 9) 第59回山形整形外科研究会，山形；2005年10月
- 10) 第3回山形抗TNF リウマチ研究会，山形；2005年11月
- 11) 第21回山形整形外科セミナー，山形；2005年11月
- 12) 第22回山形整形外科セミナー，山形；2005年12月

代謝再生統御学・腎泌尿器外科学分野（泌尿器科学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kubota Y, Tomita Y, Tsukigi M, Kurachi H, Motoyama T, Lluís M. Mir: A case of perineal malignant melanoma successfully treated with electro chemotherapy. Melanoma Research 2005; Vol15 No.2: 133-134
- 2) Yamana K, Bilim V, Hara N, Kasahara T, Itoi T, Maruyama R, Takahashi K, Tomita Y: Prognostic impact of FAS/CD95/PAO-I in urothelial cancers decreased expression of Fas is associated with disease progression. British Journal of Cancer 2005; 93: 544-551

(2) 総説

- 1) 富田善彦: 腎細胞癌治療についての考察. Pharma Medica 2005; Vol 23
- 2) 川村裕子, 富田善彦: 前立腺の開放手術. 実践! 泌尿器ケアBASIC 2005; 夏季増刊: 203-206
- 3) 川村裕子, 富田善彦: 体腔鏡下手術. 実践! 泌尿器ケアBASIC 2005; 夏季増刊: 207-211
- 4) 長岡明, 富田善彦: 開放手術による膀胱瘻造設術. 臨床泌尿器科 2005; 第59巻 6号: 375-379
- 5) 富田善彦: 腎(). 臨床泌尿器科病理シリーズ 2005; No.5: 1-39
- 6) 富田善彦: 腎(). 臨床泌尿器科病理シリーズ 2005; No.6: 1-31
- 7) 今井智之, 富田善彦: 腎細胞癌に対するサイトカイン療法の実際. Urology View 2005; Vol 3 No.3: 84-91
- 8) 富田善彦: 腎細胞癌に対するインターフェロン 5-FU併用療法 2005; Urology View 2005; Vol 2 No.6

(3) その他

- 1) 今井智之, 富田善彦: ここが聞きたい 泌尿器科外来における対処と処方 尿路結石 - 軽度の下部尿路閉塞がみられる膀胱結石摘出術の患者です. 対処と処方について教えてください. - 臨床泌尿器科 2005; 第59巻 第4号: 197-199
- 2) 内藤整: 進行腎癌の治療の現状と新たな展開 サイトカイン療法と予後因子. 泌尿器科がん治療フォーラム 2005; 9-10
- 3) 石井達矢: 体腔鏡下腎部分切除術における腎冷却の工夫. 泌尿器科がん治療フォーラム 2005; 6-7
- 4) 富田善彦: 膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法の実際 コメディカルスタッフとともに. Urology View 2005; Vol 3 No.3: 132-137

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 川村裕子, 榎木真明, 石井達矢, 山辺拓也, 大地宏, 加藤智幸, 矢口博理, 今井智之, 長岡明, 富田善彦: 体腔鏡下腎部分切除術におけるラプラタイの使用経験. 第93回日本泌尿器科学会総会, 東京: 2005年4月
- 2) 武藤明紀, 佐々木光晴, 小野久仁夫, 菅野理, 星宣次: 経会陰的前立腺saturation biopsyの検討. 第93回日本泌尿器科学会総会, 東京: 2005年4月
- 3) 加藤智幸, 榎木真明, 川村裕子, 石井達矢, 大地宏, 矢口博理, 今井智之, 長岡明, 富田善彦: 前立腺生検における6カ所生検と16カ所生検の比較検討. 第93回日本泌尿器科学会総会, 東京: 2005年4月
- 4) 富田善彦: ホルモン抵抗性前立腺癌に対する取り組み 臨床と基礎. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 5) 小林孝至, 佐々木光晴, 小野久仁夫, 菅野理, 星宣次, 笹生俊一, 富田善彦: PSA 4以下であった前立腺癌の臨床的検討. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 6) 佐々木光晴, 小林孝至, 菅野理, 小野久仁夫, 武藤明紀, 星宣次: 経尿道的前立腺切除術後発見された前立腺癌の臨床的検討. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 7) 川村裕子, 内藤整, 川添久, 石井達矢, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ピリームウラジミール, 長岡明, 加藤智幸, 富田善彦: 多数箇所生検におけるpower Doppler超音波検査および造影剤の使用. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月

- 8) 星宣次, 佐々木光晴, 小林孝至, 菅野理, 小野久仁夫: ホルモン抵抗性前立腺癌骨転移に対する Bisphosphonateの使用経験. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 9) 長岡明, 内藤整, 川添久, 川村裕子, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 加藤智幸, 富田善彦: 神経温存根治的前立腺除術における術中経直腸超音波ナビゲーションの有用性. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 10) 山辺拓也, 内藤整, 川添久, 川村裕子, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 加藤智幸, 富田善彦: 前立腺生検被施行患者における前立腺癌検診受診者・非受診者間のIPSSの差異についての検討 - 無症状前立腺癌患者の早期診断に対する検診の有用. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 11) 武藤明紀, 山辺拓也, 内藤整, 川添久, 川村裕子, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 加藤智幸, 富田善彦, 石井達矢: 山形大学における腎尿管病変に対する体腔鏡下手術の成績. 第70回日本泌尿器科学会東部総会, 花巻: 2005年9月
- 12) 加藤智幸, ビリームウラジミール, 富田善彦: 腎細胞癌に対する薬物療法 - 現状と新展開 -. 第43回日本癌治療学会総会, 名古屋; 2005年10月
- 13) 川村裕子, 内藤整, 川添久, 石井達矢, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 長岡明, 加藤智幸, 富田善彦: 多数箇所生検におけるpower Doppler超音波検査および造影剤の使用. 第43回日本癌治療学会総会, 名古屋; 2005年10月
- 14) 佐々木光晴, 小林孝至, 菅野理, 小野久仁夫, 武藤明紀, 星宣次: 尿管ステント挿入後に抜去困難となった4例について. 第19回日本EE学会総会, 東京; 2005年11月
- 15) 武藤明紀, 山辺拓也, 内藤整, 川添久, 川村裕子, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 加藤智幸, 富田善彦: 当科における体腔鏡下腎尿管手術の経験. 第19回日本EE学会総会, 東京; 2005年11月
- 16) 加藤智幸, 内藤整, 川添久, 川村裕子, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 長岡明, 富田善彦: 腎細胞癌に対する後腹膜下腎部分切除術後に後腹膜出血をきたした一例. 第19回日本EE学会総会, 東京; 2005年11月
- 17) 川村裕子, 内藤整, 川添久, 石井達矢, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 長岡明, 加藤智幸, 富田善彦: 体腔鏡下腎部分切除術における冷却法と術前後の腎機能の検討. 第19回日本EE学会総会, 東京; 2005年11月
- 18) 小林孝至, 佐々木光晴, 小野久仁夫, 菅野理, 星宣次: 左腎管動脈瘤の1例. 第19回日本EE学会総会, 東京; 2005年11月

(2) 国内地方会

- 1) 川村裕子: パワードブラを用いた系統PZ生検. 第232回日本泌尿器科学会東北地方会, 盛岡; 2005年4月
- 2) 加藤智幸, 川村裕子, 石井達矢, 山辺拓也, 糸井俊之, 大地宏, 長岡明, 今井智之, 富田善彦: 子宮頸癌術後回腸膀胱瘻の一例. 第232回日本泌尿器科学会東北地方会, 盛岡; 2005年4月
- 3) 小林孝至, 佐々木光晴, 菅野理, 小野久仁夫, 星宣次: 高齢者局所進行膀胱癌の保存的治療. 第233回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2005年9月
- 4) 長岡明, 内藤整, 川添久, 川村裕子, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 加藤智幸, 富田善彦: 膀胱全摘代用膀胱造設術後骨盤内再発に対し体腔鏡下尿管皮膚瘻術を行なった浸潤性膀胱癌の1例. 第233回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2005年9月
- 5) 内藤整, 川添久, 川村裕子, 山辺拓也, 大地宏, 武藤明紀, ビリームウラジミール, 長岡明, 加藤智幸, 富田善彦, 和泉卓司, 柴田雄二: 術後BCG膀胱内注入後, 前立腺に類結核性病変をきたした1例. 第233回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2005年9月
- 6) 星宣次, 佐々木光晴, 小林孝至, 菅野理, 小野久仁夫, 武藤明紀: 前立腺再生検例の検討. 第233回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2005年9月
- 7) ビリームウラジミール: アポトーシス機構のmodulationによる膀胱癌新治療法開発の可能性. 第233回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2005年9月
- 8) 佐々木光晴, 小林孝至, 菅野理, 小野久仁夫, 武藤明紀, 星宣次, 斎藤聖宏: 腎外傷15例の検討. 第233回日本泌尿器科学会東北地方会, 弘前; 2005年9月

(3) 研究会

- 1) 松木真吾, 金子尚, 富田善彦: 副腎腫瘍と鑑別困難だった卵巢癌の腹膜播種の一例. 第84回山形泌尿器科研

研究会，温海町：2005年6月

- 2) 桜井俊彦，一柳統，柿崎弘，細谷法之，武藤明紀，富田善彦：腎細胞癌に対する腎部分切除術後に発生した腎動脈瘤の一例．第84回山形泌尿器科研究会，温海町：2005年6月
- 3) 内藤整，川添久，石井達矢，川村裕子，山辺拓也，大地宏，武藤明紀，ピリムウラジミール，加藤智幸，長岡明，富田善彦，槻木正明，阿部寛：子宮頸癌術後放射線療法が誘因と考えられた膀胱回腸瘤の一例．第84回山形泌尿器科研究会，温海町：2005年6月
- 4) 山辺拓也，内藤整，川添久，石井達矢，川村裕子，山辺拓也，大地宏，武藤明紀，ピリムウラジミール，加藤智幸，長岡明，富田善彦，槻木正明，阿部寛，山口寿功：山形大学におけるパワードプラを用いた系統的前立腺生検．第84回山形泌尿器科研究会，温海町：2005年6月
- 5) 細谷法之，橋本透，大田圭治：腎被爆より発生した悪性リンパ腫の1例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 6) 安達裕一：特発性腎動脈瘤の1例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 7) 鈴木健一，小林孝至，小野久仁夫，菅野理，星宣次，梅津康夫：長期経過観察をした腎癌の3例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 8) 梶沼陽，鈴木仁：尿管詰石として治療した尿管外石灰化の3例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 9) 小野久仁夫，鈴木健一，小林孝至，菅野理，星宣次：尿管詰石に対するPNL症例の検討．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 10) 槻木真明，阿部寛，川村裕子，富田善彦：BCG膀胱内注入療法中に生じたライター症候群の1例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 11) 星宣次，小野久仁夫，鈴木健一，小林孝至，菅野理：進行膀胱癌の治療．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 12) 長岡明，内藤整，川添久，川村裕子，山辺拓也，大地宏，武藤明紀，ピリムウラジミール，加藤智幸，富田善彦，柴田雄二，和泉卓司：代用膀胱造設術後の骨盤内再発に対し体腔鏡下尿管皮膚瘻術を行った膀胱癌の1例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 13) 根元勺，富田佑司，西村泰司：北村山公立病院におけるパワードブラー超音波下前立腺生検の検討．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 14) 一柳統，桜井俊彦，柿崎弘，武藤明紀，細谷法之：前立腺原発悪性リンパ腫の1例．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月
- 15) 長岡明，内藤整，川添久，川村裕子，山辺拓也，大地宏，武藤明紀，ピリムウラジミール，加藤智幸，富田善彦：神経温存根治的前立腺全摘除術における術中経直腸超音波ナビゲーションの経験．第85回山形泌尿器科研究会，山形；2005年12月

(4) その他

- 1) 加藤智幸，川村裕子，石井達矢，山辺拓也，糸井俊之，大地宏，長岡明，今井智之，富田善彦：前立腺検診における二次検診のあり方について．第1回山形臨床泌尿器科懇話会，山形；2005年2月

顎顔面口腔外科学分野（歯科口腔外科学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Yoshioki Hamamoto, Kouji Takahashi, Hiromasa Sakurai, Katsumi Akiba, Naoya Izumi, Hiroyuki Kanoh, Michiko Yoshizawa, Chikara Saito: The use of Enamel Matrix Derivative (Emdogain[®]) for improvement of probing attachment level of the autotransplanted teeth. Dental Traumatology 2005;21: 1-5
- 2) 小林武仁, 高橋晃治, 小関清子, 松下賢, 櫻井博理, 吉澤信夫: 口腔悪性腫瘍の出血に対する血管内塞栓療法 of 経験. 日本口腔外科学会雑誌 2005; 51: 200-203

(2) その他

- 1) 濱本宜興: 歯の移植と歯根膜再生誘導物質. 第10回山形大学医学部技術部職員研修会報告集, 2005; 47-53
- 2) 濱本宜興, 原宜興, 藤井哲則, 澤瀬隆, 樋口勝規, 住友雅人: 歯科医師臨床研修における研修手帳の作成に関する研究. 平成17年度厚生科学研究費補助金研究(医療技術評価総合研究事業)「歯科医師臨床研修における研修手帳と医療安全のための指針作成に関する研究」報告書, 2005; 8-11

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 高橋晃治, 濱本宜興, 秋場克己, 櫻井博理, 吉澤信夫, 小関清子, 柴田肇, 柴田考典: 下顎枝矢状分割の成否に関わる下顎枝水平断面形態の影響. 第15回日本顎変形症学会, 徳島; 2005年6月
- 2) 濱本宜興, 秋場克己, 冨塚謙一, 安川和夫, 山森郁, 柴田肇, 江良謙次, 富樫正樹, 金澤香, 柴田考典: 顎関節症の治療終了時の状態に関する検討. 第18回日本顎関節学会総会, 松江; 2005年7月
- 3) 里見孝: 光触媒のエピテーゼ用シリコンへの応用「第一報抗菌効果について」. 日本歯科技工学会第27回学術大会, 東京; 2005年9月
- 4) 里見孝, 毛呂光一: 山形県における義歯刻印により身元の判明した2例. 日本歯科技工学会第27回学術大会, 東京; 2005年9月
- 5) 安藤嘉明, 土田康夫, 安藤申直, 林頼雄, 里見孝, 渡辺健, 崎広和文, 瀧川三雄, 伊藤多佳男, 早川浩生, 長山祥一, 陶山日出美: 義歯刻印で身元判明 - 事例報告in湘南 -. 日本歯科技工学会第27回学術大会, 東京; 2005年9月
- 6) 安藤申直, 伊藤多佳男, 里見孝, 丹野雅仁, 小松正志: 水溶性ワックスを用いた部分床義歯の製作法 - その有用性は? -. 日本歯科技工学会第27回学術大会, 東京; 2005年9月
- 7) 安藤申直, 伊藤多佳男, 里見孝, 丹野雅仁, 小松正志: 水溶性ワックスを用いた全部鑄造冠の内面削除法 - その有用性は? -. 日本歯科技工学会第27回学術大会, 東京; 2005年9月
- 8) 五十嵐朋子, 志鎌みな子, 須永芳弘: 当センターにおける全身麻酔下歯科治療とその予後についての検討. 第22回日本障害者歯科学会, 甲府; 2005年10月
- 9) 高橋晃治, 柴田考典: 筋突起過形成による開口障害. 第50回(社)日本口腔外科学会シンポジウム, 大阪; 2005年10月
- 10) 金澤香, 柴田考典, 戸塚靖則, 濱本宜興, 高木律男, 木野孔司, 米津博文, 久保田英朗, 栗田賢一, 覚道健治, 甲斐貞子, 高橋哲: 顎関節症におけるサイトカイン遺伝子多型に関する多施設共同研究. 第50回(社)日本口腔外科学会ミニシンポジウム, 大阪; 2005年10月
- 11) 冨塚謙一, 片岡育雄, 濱本宜興: PLLAミニプレートの曲げ加工後の機械的性質に関する検討. 第50回(社)日本口腔外科学会, 大阪; 2005年10月
- 12) 秋場克己, 高橋晃治, 櫻井博理, 濱本宜興: 当科における顎矯正手術クリティカルパスの検討. 第50回(社)日本口腔外科学会, 大阪; 2005年10月

(2) 国内地方会

- 1) 小林武仁, 高橋晃治, 櫻井博理, 濱本宜興, 秋場克己, 小山宏樹, 木幡健一, 宮田康一, 渋谷智和, 吉澤信

夫：頭頸部扁平上皮癌に対する超選択的動注化学療法の有効性について．第31回(社)日本口腔外科学会北日本
地方会，札幌；2005年5月

2) 櫻井博理，高橋晃治，小林武仁，濱本宜興，吉澤信夫：下顎角部の骨欠損を伴ったvon Recklinghausen病の
一例．第31回(社)日本口腔外科学会北日本地方会，札幌；2005年5月

3) 堀 樹，濱本宜興，高橋晃治，櫻井博理，秋場克己，小山宏樹，小林武仁，渋谷智和，吉澤信夫：重篤な合
併症を持つ右側顎顔面蜂窩織炎患者の栄養管理 - NSTと協力した一例 - ．第31回(社)日本口腔外科学会北日
本地方会，札幌；2005年5月

4) 松岡勲，濱本宜興，冨塚謙一，高橋晃治，櫻井博理，秋場克己，小林武仁，吉澤信夫：下顎埋伏智歯の埋伏
状態に関する臨床的検討．第31回(社)日本口腔外科学会北日本地方会，札幌；2005年5月

5) 秋場克己，濱本宜興，高橋晃治，櫻井博理：当科における顎矯正手術の現状 - 臨床統計的観察と手術の実
際 - ．第21回東北矯正歯科学会大会，山形；2005年6月

(3) 研 究 会

1) 里見孝，吉田誠，秋山孝夫，片岡育雄，冨塚謙一：二酸化チタン光触媒のエピテーゼ用シリコンへの応用
「シリコン表面における有機物分解性能について」．第7回口腔顎顔面技工懇話会，多治見；2005年7月

2) 濱本宜興，水谷雅臣，山本隆，木村理，東海林徹，丘龍祥，仲川義人，高橋祥子，清野由美子，柏倉美幸，
大津信博，山田みゆき，平田昭彦，冨永真琴：NST介入患者の歯科的所見について．第3回山形NST研究
会，山形；2005年12月

(4) そ の 他

1) 濱本宜興：歯の移植と歯根膜．第10回山形大学医学部技術部職員研修会，山形；2005年8月

2) 濱本宜興：歯の移植・再植と歯根膜再生．鶴岡市歯科医師会学術講演会，鶴岡；2005年8月

3) 濱本宜興：研修システムとカリキュラムプランニング．10回山形歯科口腔外科臨床懇話会，山形；2005年10
月

4) 高橋晃治：山形大学歯科口腔外科における救命救急研修と訓練．10回山形歯科口腔外科臨床懇話会，山形；
2005年10月

3 . そ の 他

1) 第9回山形歯科口腔外科臨床懇話会．山形市立病院済生館内地域医療センター大会議室．2005年3月12日

2) 第10回山形歯科口腔外科臨床懇話会．山形県歯科医師会館．2005年10月15日

病理病態学分野（病理学第一）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Takakubo Y, Fukushima S, Asano T, Yamakawa M : Case report : Intraarticular fibroma of the tendon sheath in the knee. Clin Orthop Relat Res 2005 ; 439 : 280-285
- 2) Tsuge K, Takeda H, Kawada S, Maeda K, Yamakawa M : Characterization of dendritic cells in differentiated thyroid cancer. J Pathol 2005 ; 205 : 565-576
- 3) Maeda K, Takahashi T, Saitoh C, Watarai K, Wada K, Tajima K, Harada Y, Hiroshima Y, Yamakawa M : Interdigitating cell sarcoma - A report of an autopsy case and literature review -. J Clin Exp Hematopathol 2005 ; 45 : 37-44
- 4) Moriya T, Kimura W, Semba S, Sakurai F, Hirai I, Ma J, Fuse A, Maeda K, Yamakawa M : Biological similarities and differences between pancreatic intraepithelial neoplasias and intraductal papillary mucinous neoplasms. Int J Gastrointest Cancer 2005 ; 35 : 111-119
- 5) Mitsui H, Miyauchi E, Miyahara J, Wada K, Yamakawa M, Kawata S : A case of primary biliary cirrhosis accompanied with fibrinogen storage disease. Path Res Pract 2005 ; 201 : 341-345

(2) 著書

- 1) 前田 邦彦 : 第11章 神経系. 「カラーアトラス マクロ病理学第3版」山川光徳・横井豊治・吉野正監訳, 西村書店, 2005 : 239-251

(3) その他

- 1) Maeda K, Takakubo Y, Ishida A, Yamakawa M : Distribution and characteristics of B-lymphocyte chemoattractant (BLC/CXCL13) expressing cells in the lymphoreticular tissues of various lymphoproliferative disorders. Lymphoreticular cells and diseases. Proceedings of the 8th Japanese-Korean Lymphoreticular Workshop. Eds. Naito M, Park YE, pp 38, 2005 + CD-ROM
- 2) Ishida A, Maeda K, Yamakawa M. Expression of glucocorticoid receptor splicing variants in different lymphoma cell lines. Lymphoreticular cells and diseases, Proceedings of the 8th Japanese-Korean Lymphoreticular Workshop. Eds. Naito M, Park YE, pp 51, 2005 + CD-ROM
- 3) 監訳 : 山川光徳・横井豊治・吉野正, 「カラーアトラス マクロ病理学第3版」, 西村書店, 2005

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 斉藤仁昭, 前田邦彦, 山川光徳 : 指状嵌入細胞肉腫 [interdigitating cell (IDC) sarcoma] 4例の臨床病理学的検討. 第94回日本病理学会総会, 横浜 : 2005年2月
- 2) 高窪祐弥, 高木理彰, 福島重宣, 荻野利彦 : 関節リウマチ (RA) の滑膜組織におけるCXCR5の局在とリンパ濾胞形成との関連. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会, 横浜 : 2005年4月
- 3) 安藤嘉章, 牧野直彦, 河田純男, 前田邦彦, 山川光徳 : ヒト隣癌細胞株に対する樹状細胞の抗腫瘍免疫についての検討. 第45回日本リンパ網内系学会総会, 福岡 ; 2005年7月
- 4) 和田輝里子, 前田邦彦, 小端哲二, 山川光徳 : 末梢B-細胞性悪性リンパ腫におけるBAFF-R発現の免疫組織化学的検討. 第45回日本リンパ網内系学会総会, 福岡, 2005年7月
- 5) 藤嶋昌一郎, 前田邦彦, 石浜活義, 武田弘明, 河田純男, 山川光徳 : 潰瘍性大腸炎 (ulcerative colitis : UC) におけるプレドニゾロンの治療効果とglucocorticoid receptor beta (GR β) の発現. 第42回日本消化器免疫学会, 東京 ; 2005年8月
- 6) 鈴木俊紀, 布施恒和, 東海林道子, 浅沼いづみ, 下嶋時子, 前田邦彦, 斉藤仁昭, 山川光徳 : 指状嵌入細胞肉腫 (IDC sarcoma) の一例. 第44回日本臨床細胞学会秋期大会, 奈良, 2005年11月

(2) 国内地方会

- 1) 折居智彦, 前田邦彦, 斉藤仁昭, 山川光徳, 藤嶋丈, 市原征洋, 武田真一, 高橋一二三 : 回腸腫瘍の一例.

第60回日本病理学会東北支部学術集会，仙台：2005年2月

- 2) 斉藤仁昭，前田邦彦，田嶋克史，山本久史，廣島由紀，奥平志野，渡辺知緒，石田晃弘，山川光徳：頸部腫瘍の一例．第60回日本病理学会東北支部学術集会，仙台：2005年2月
- 3) 大竹浩也，前田邦彦，山川光徳，川村博志，松寄正實，大道寺浩一，横山英一，矢野充泰：副腎皮質腫瘍の一例．第61回日本病理学会東北支部学術集会，函館：2005年7月
- 4) 岩場晶子，前田邦彦，佐田誠，柴田陽光，大泉弘幸，大竹浩也，斉藤仁昭，山川光徳：心不全をきたした縦隔腫瘍の一例．第61回日本病理学会東北支部学術集会，函館：2005年7月
- 5) 前田邦彦，遠藤誠，山川光徳，斉藤仁昭，岩場晶子，大竹浩也，大泉弘幸，貞弘光章，本山悌一：若年女性の前縦隔腫瘍の一例．第4回福島・新潟・山形血液スライド・カンファレンス，福島：2005年10月
- 6) 清水桂，山本雅一，軽部宏樹，加藤裕一，秋葉次郎，田嶋克史，加藤丈夫，前田邦彦：頸髄腫瘍で発症した large cell sclerosing B-cell lymphoma の一例．第4回福島・新潟・山形血液スライド・カンファレンス，福島：2005年10月

(3) 研究会

- 1) 中沢雄一，武田弘明，河田純男，前田邦彦，山川光徳：融合樹状細胞によるマウス大腸癌に対する肝転移抑制の検討，第16回樹状細胞研究会，福岡；2005年7月

(4) その他

- 1) 特別講演：「癌組織への樹状細胞の遊走」，第12回近畿リンパ腫研究会；2005年3月，京都
- 2) 特別講演：「樹状細胞の話し」，熊本大学医学部，2005年6月，熊本
- 3) セミナー「樹状細胞関連疾患」，熊本大学医学部，2005年6月，熊本
- 4) 特別講演：「甲状腺癌における樹状細胞の遊走機序」，福島県立医大，2005年9月，福島
- 5) セミナー「樹状細胞」，福島県立医大，2005年9月，福島
- 6) 特別講義：「樹状細胞腫瘍」，第43回近畿血液病研究会，2005年11月，大津

感染症学分野（細菌学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Matsuzaki Y, Sato K, Sugawara K, Takashita E, Muraki Y, Morishita T, Kumagai N, Suzuki S, Hongo S : Isolation of an influenza C virus introduced into Japan by a traveler from Malaysia. J Clin Microbiol 2005 : 43 : 993-995
- 2) Mizuta K, Abico C, Murata T, Matsuzaki Y, Itagaki T, Sanjoh K, Sakamoto M, Hongo S, Murayama S, Hayasaka K: Frequent importation of enterovirus 71 from surrounding countries into the local community of Yamagata, Japan, between 1998 and 2003. J Clin Microbiol 2005 : 43 : 6171-6175
- 3) 村田敏夫, 水田克巳, 勝島矩子, 松寄葉子, 村木靖, 本郷誠治: 小児下痢症患者と急性胃腸炎の集団発生事例から検出されたNorovirus (NV) の分子疫学 (2000年4月から2001年7月: 山形県) 臨床とウイルス 2004: 32 : 388-395

(2) 著書

- 1) 本郷誠治: ウイルスの遺伝・進化 山西弘一監修, 平松啓一, 中込治編, 標準微生物学第9版, 東京: 医学書院, 2005 : 385-391

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Muraki Y, Murata T, Sugawara K, Takashita E, Matsuzaki Y, Hongo S : Reverse Genetics Study of Influenza C Virus. XIII International Congress of Virology, San Francisco, California, USA : July 2005
- 2) Kazuhiro Kawaguchi, Emi Takashita, Yoko Matsuzaki, Yasushi Muraki, Kanetsu Sugawara, Yasuhiro Abe, Hidehiro Kosyu, Hidekazu Nishimura, Hiroo Inamura, Seiji Hongo, Masaru Aoyagi : A virological evaluation of patients with Bell's palsy. 10th international facial nerve symposium, Maastricht, the Netherlands : September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 村木靖, 菅原勤悦, 高下恵美, 松寄葉子, 本郷誠治: M1蛋白の24位に変異を持つC型インフルエンザウイルスの作製. 第53回日本ウイルス学会, 横浜; 2005年11月
- 2) 松寄葉子, 菅原勤悦, 高下恵美, 村木靖, 本郷誠治, 水田克巳, 高尾信一, 島田慎一, 鈴木宏, 西村秀一: 2004年のC型インフルエンザの流行と新しい遺伝子再集合体の出現. 第53回日本ウイルス学会, 横浜; 2005年11月
- 3) 高下恵美, 菅原勤悦, 村木靖, 松寄葉子, 本郷誠治: C型インフルエンザウイルスHE蛋白の温度による膜融合能の変化. 第19回インフルエンザ研究者交流の会, 倉敷; 2005年3月
- 4) 村木靖, 菅原勤悦, 松寄葉子, 高下恵美, 本郷誠治: cDNAからの感染性C型インフルエンザウイルス粒子の作製. 第19回インフルエンザ研究者交流の会, 倉敷; 2005年3月
- 5) 松寄葉子, 菅原勤悦, 高下恵美, 村木靖, 本郷誠治, 水田克巳, 高尾信一, 島田慎一, 葛谷光隆, 佐藤克彦, 三川正秀, 鈴木宏, 西村秀一: 2004年のC型インフルエンザの流行. 第19回インフルエンザ研究者交流の会, 倉敷; 2005年3月

(3) 国内地方会

- 1) 水田克巳, 安孫子千恵子, 村田敏夫, 青木洋子, 板垣勉, 松寄葉子, 本郷誠治: 山形県におけるヒトメタニューモウイルスの疫学. 第59回日本細菌学会東北支部総会, 山形; 2005年8月
- 2) 松寄葉子, 菅原勤悦, 高下恵美, 村木靖, 本郷誠治, 水田克巳, 西村秀一: 2004年に流行したC型インフルエンザウイルスの性状解析. 第59回日本細菌学会東北支部総会, 山形; 2005年8月
- 3) 村田敏夫, 水田克巳, 勝島矩子, 松寄葉子, 村木靖, 本郷誠治: Norovirus (NV) 感染後の排泄期間. 第59回日本細菌学会東北支部総会, 山形; 2005年8月
- 4) 村木靖, 村田敏夫, 菅原勤悦, 高下恵美, 松寄葉子, 本郷誠治: リバース・ジェネティクスによるC型イン

フルエンザウイルスの作製．第59回日本細菌学会東北支部総会，山形；2005年8月

3．そ の 他

1) 第59回日本細菌学会東北支部総会，山形；2005年8月

免疫学分野（免疫学・寄生虫学）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Kobayashi H, Tanaka N, Asao H, Miura S, Kyuuma M, Semura K, Ishii N, Sugamura K. ; Hrs, a mammalian master molecule in vesicular transport and protein-sorting, suppresses the degradation of ESCRT proteins STAM 1 and STAM2. *J Biol Chem.* 2005 ; 280 : 10468-10477
- 2) Nara H, Inoue-Murayama M, Kosshimura A, Sugiyama A, Murayama Y, Maejima M, Ueda Y, Ito H, Randi E, Kim HS, Ha JH, Takeuchi Y, Mori Y, Iwasaki T, Morita M, Ota K, and Ito S : Novel polymorphism of the canine dopamine receptor D4 gene intron II region. *Anim. Sci. J.* 2005 : 76 : 81-86
- 3) Maejima M, Inoue-Murayama M, Koshimura A, Kato S, Nara H, Randi E, Kitagawa H, Iwasaki T, Murayama Y, and Ito S : Allelic variation of two poly-glutamine receptors in the canine androgen receptor gene. *J. Anim Genetics.* 2005 : 32 : 3 -11

2. 学 会 報 告

(1) 国内の学会

- 1) 奈良英利, Mizanur Rahman, 小野田正志, 荒木明美, 李君, 浅尾裕信: インターロイキン21受容体への新規会合分子の探索 第35回日本免疫学会, 横浜; 2005年12月
- 2) Mizanur Rahman, 荒木明美, 奈良英利, 小野田正志, 浅尾裕信: Analysis of increased interleukin-21 level in autoimmune prone NOD mice . 第35回日本免疫学会, 横浜; 2005年12月
- 3) 小野田正志, 奈良英利, Mizanur Rahman, 李君, 荒木明美, 浅尾裕信: 抗ヒトIL-21単クローン抗体を用いたIL-21発現解析の試み . 第35回日本免疫学会, 横浜; 2005年12月

(2) 国内地方会

- 1) 奈良英利, Mizanur Rahman, 小野田正志, 李君, 荒木明美, 浅尾裕信: インターロイキン21受容体を介する新規情報伝達分子の探索 . 第59回日本細菌学会東北支部会, 山形; 2005年 8月
- 2) Mizanur Rahman, 荒木明美, 奈良英利, 小野田正志, 李君, 浅尾裕信: Up-regulation of Interleukin-21 promoter activity in NOD mice . 第59回日本細菌学会東北支部会, 山形; 2005年 8月
- 3) 小野田正志, 奈良英利, Mizanur Rahman, 李君, 荒木明美, 浅尾裕信: 抗ヒトIL-21単クローン抗体を用いたIL-21発現解析の試み . 第59回日本細菌学会東北支部会, 山形; 2005年 8月

(3) 研 究 会

- 1) 浅尾裕信: 新規サイトカインIL-21の解析 . 第3回感染免疫研究会, 宮城; 2005年12月

(4) そ の 他

- 1) 浅尾裕信: 新規サイトカインIL-21による免疫調節機構の解析 . 医学部農学部交流セミナー, 鶴岡; 2005年 1月

発達精神医学分野（精神神経医学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Akihito Suzuki, Toshiaki Aoshima, Takashi Fukasawa, Keizo Yoshida, Hisashi Higuchi, Tetsuo Shimizu, Koichi Otani : A three-factor model of the madrs in major depressive disorder. Depression and anxiety 2005 ; 21 : 95-97
- 2) Takashi Fukasawa, Norio Yasui-Furukori, Tishiaki Aoshima, Akihito Suzuki, Tomonori Tayaishi, Koichi Otani : Study on the CYP enzymes involved in quazepam metabolism. Int Clin Psychopharmacol 2005 ; 20 : A 1
- 3) T. Fukasawa, N Yasui-Furukori, A. Suzuki, Y. Inoue, T. Tateishi, K. Otani : Pharmacokinetics and pharmacodynamics of etizolam are influenced by polymorphic CYP2C19 activity. Eur J Clin Pharmacol 2005 ; 61 : 791-795
- 4) S.Kondo, T.Fukasawa, N.Yasui-Furukori, T.Aoshima, A.Suzuki, Y.Inoue, T.Tateishi, K.Otani : Induction of the metabolism of etizolam by carbamazepine in humans. Eur J Clin Pharmacol 2005 ; 61 : 185-188
- 5) Takaki Tokairin, Takashi Fukasawa, Norio Yasui-Fukukori, Toshiaki Aoshima, Yoshimasa Inoue, Koichi Otani : Inhibition of the metabolism of brotizolam by erythromycin in humans : in vivo evidence for the involvement of CYP3A4 in brotizolam metabolism. Br J Clin Pharmacol 2005 ; 60 : 172-175
- 6) Toshiki Kunii, Takashi Fukasawa, Norio Yasui-Furukori, Toshiaki Aoshima, Akihito Suzuki, Tomonori Tateishi, Yoshimasa Inoue, Koichi Otani: Interaction study between enoxacin and fluvoxamine. Ther Drug Monit 2005 ; 27 : 349-353
- 7) Norio Yasui-Fukukori, Yoshimasa Inoue, Sunao Kaneko, Koichi Otani : Determination of fluvoxamine and its metabolite fluvoxamino acid by liquid-liquid extraction and column-switching high-performance liquid chromatography. J Pharmaceutical Biomedical Anal 2005 ; 37 : 121-125
- 8) M. Miura , K. Otani, T. Ohkubo : Identification of human cytochrome P450 enzymes involved in the formation of 4-hydroxyestazolam from estazolam. Xenobiotica 2005 ; 35 : 455-465
- 9) 川勝 忍, 大谷浩一: 遁走を伴う解離性全般性健忘（全生活史健忘）の中年男性の3症例 - 記憶回復前後の脳血流SPECT所見について - . 精神科 2005 ; 7 : 255-261

(2) 総説

- 1) 川勝 忍: 認知症の脳画像 . 精神科 2005 ; 7 : 312-318

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 川勝 忍, 大谷浩一: Cotton wool plaqueと典型的老人斑が混在した弧発性若年性アルツハイマー病の1例 . 第46回日本神経病理学会, 宇都宮; 2005年5月
- 2) 川勝 忍, 林 博史, 小林良太, 深沢 隆, 鈴木春芳, 大谷浩一: マルチショット拡散強調画像によるレビー小体型痴呆の海馬CA1, 海馬支脚の萎縮の評価- 軽度認知機能障害, 軽症アルツハイマー型痴呆との比較- . 第20回日本老年精神医学会, 東京; 2005年6月
- 3) 川勝 忍: シンポジウム3 前頭側頭型認知症の臨床と病理- 前頭側頭型痴呆の画像診断 . 第24回日本痴呆（認知症）学会, 大阪; 2005年9月
- 4) 近藤習子, 深澤隆, 古郡規雄, 青嶋利明, 鈴木昭仁, 井上義政, 立石智則, 大谷浩一: ヒトにおける carbamazepineによる etizolamの代謝の誘導 . 第15回日本臨床精神神経薬理学会, 六本木; 2005年10月
- 5) 川勝 忍, 大谷浩一, 渡部俊幸: 進行性失語を呈した皮質基底核変性症の4例 . 第10回日本神経精神医学会, 東京; 2005年11月
- 6) 深澤隆, 鈴木昭仁, 大谷浩一: 精神病症状を伴う大うつ病性障害の薬物療法における抗うつ薬と非定型抗精神病薬の併用について . 第26回日本臨床薬理学会年会 薬物治療ワークショップ, 別府; 2005年12月

(2) 国内地方会

- 1) 氏家幸宏, 深澤隆, 古郡規雄, 鈴木昭仁, 立石智則, 大谷浩一: リファンピシンはプロチゾラムの血中濃度と催眠作用を著しく低下させる. 第59回東北精神神経学会総会, 盛岡; 2005年9月
- 2) 白石啓明, 鈴木昭仁, 深澤隆, 青嶋利明, 氏家幸宏, 石井玄樹, 大谷浩一: 健常人におけるMonoamine oxidase Aプロモーター領域の遺伝的多型が新奇性追求および報酬依存に与える影響. 第59回東北精神神経学会総会, 盛岡; 2005年9月

(3) 研究会

- 1) 赤羽隆樹, 氏家幸宏, 鈴木春芳: ADHD既往を有し, 行為障害様の状態を呈した1症例. 置賜精神科医の会, 南陽; 2005年7月
- 2) 鈴木春芳, 氏家幸宏, 赤羽隆樹: 脳炎様症状を呈し, その後急速な左半球委縮を認めた1症例. 置賜精神科医の会, 南陽; 2005年7月
- 3) 林博史, 青嶋利明, 大谷浩一: 重度の気管支漏を伴う悪性緊張病とそのECTに対する反応性. 第10回東北統合失調症研究会, 盛岡; 2005年10月

(4) その他

- 1) 青嶋利明: うつ病に対する薬物療法の実際. 高齢者こころの健康づくり事業, 小国町; 2005年9月
- 2) 川勝 忍: 皮質基底核変性症におけるSPECT所見の多様性. 第9回NEUROLOGY SPECT定量検討会, 東京; 2005年10月
- 3) 川勝 忍: 非アルツハイマー型痴呆について. 村山地区認知症疾患センター講演会, 山形; 2005年10月
- 4) 川勝 忍: 認知症の初期症状と対応. 置賜地区認知症疾患センター講演会, 山形; 2005年12月

小児医科学分野 (小児科学)

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kijima K, Numakura C, Goto T, Takahashi T, Otagiri T, Umetsu K, Hayasaka K: Small heat shock protein 27 mutation in a Japanese patient with distal hereditary motor neuropathy. *J Hum Genet* 2005; 50: 473-476
- 2) Kijima K, Numakura C, Izumino H, Umetsu K, Nezu A, Shiiki T, Ogawa M, Ishizaki Y, Kitamura T, Shozawa Y, Hayasaka K: Mitochondrial GTPase mitofusin 2 mutation in Charcot-Marie-Tooth neuropathy type 2A. *J Hum Genet* 2005; 116: 23-27
- 3) Koike H, Hirayama M, Yamamoto M, Hattori N, Umehara F, Arimura K, Ikeda S, Ando Y, Nakazato M, Kaji R, Hayasaka K, Nakagawa M, Sakoda S, Matsumura K, Onodera O, Baba M, Yasuda H, Saito T, Kira J, Nakashima K, Oka N, Sobue G: Age-associated axonal features in HNPP with 17p11.2 deletion in Japan. *J Neurol Neurosurg Psych* 2005; 76: 1109-1114
- 4) Hachisu M, Oda Y, Goto M, Kobayashi K, Saheki T, Ohura T, Noma S, Kitanaka S: Citrin deficiency presenting with ketotic hypoglycemia and hepatomegaly in childhood. *Eur J Pediatr* 2005; 164: 109-110
- 5) Sato U, Kitanaka S (co-first), Sekine T, Takahashi S, Ashida A, Igarashi T: Functional characterization of LMX1B mutations associated with nail-patella syndrome. *Pediatr Res* 2005; 57: 783-788
- 6) Horiuchi H, Sasaki A, Osawa M, Kijima K, Matoba R, Hayasaka K: Sensitive detection of polyalanine expansions in PHOX2B by polymerase chain reaction using bisulfite-converted DNA. *J Mol Diagn* 2005; 7: 638-640
- 7) Iijima M, Yamamoto M, Hirayama M, Tanaka F, Katsuno M, Mori K, Koike H, Hattori N, Arimura K, Nakagawa M, Yoshikawa H, Hayasaka K, Onodera O, Baba M, Yasuda H, Saito T, Nakazato M, Nakashima K, Kira J, Kaji R, Oka N, Sobue G: Clinical and electrophysiologic correlates of IVIg responsiveness in CIDP. *Neurology* 2005; 64: 1471-1475
- 8) Kato M, Dobyns WB: X-linked lissencephaly with abnormal genitalia as a tangential migration disorder causing intractable epilepsy: proposal for a new term, "interneuronopathy". *J Child Neurol* 2005; 20: 392-397
- 9) Kawakami T, Mitsui T, Kanai M, Shirahata E, Sendo D, Kanno M, Noro M, Endoh M, Hama A, Tono C, Ito E, Tsuchiya S, Igarashi Y, Abukawa D, Hayasaka K: Genetic Analysis of Shwachman-Diamond Syndrome: Phenotypic Heterogeneity in Patients Carrying Identical SBDS Mutations. *Tohoku J Exp Med* 2005; 206: 253-259
- 10) Kurotaki N, Shen JJ, Touyama M, Kondoh T, Visser R, Ozaki T, Nishimoto J, Shiihara T, Uetake K, Makita Y, Harada N, Raskin S, Brown CW, Høglund P, Okamoto N, Lupski JR: Phenotypic consequences of genetic variation at hemizygous alleles: Sotos syndrome is a contiguous gene syndrome incorporating coagulation factor twelve (FXII) deficiency. *Genet Med* 2005; 7: 479-83
- 11) Lin C, Nagai M, Ishigaki D, Hayasaka K, Endoh M, Ishii K: Cross-talk between β_1 -adrenoceptors and ET(A) receptors in modulation of the slow component of delayed rectifier K(+) currents. *Naunyn-Schmiedeberg's Arch Pharmacol* 2005; 371: 133-140
- 12) Sendo D, Takeda Y, Watanabe T, Sendo F, Araki Y: A monoclonal antibody to GPI-80, a novel β_2 integrin-associated glycosylphosphatidylinositol anchored protein, selectively enhances macropinocytosis in human monocytes. *Yamagata Medical Journal* 2005; 23: 69-82
- 13) Shiihara T, Kato M, Mitsuhashi Y, Hayasaka K: Costello syndrome showing moyamoya-like vasculopathy. *Pediatr Neurol* 2005; 32: 361-363
- 14) Shiihara T, Kato M, Hayasaka K: Clinically mild encephalitis/encephalopathy with a reversible

splenic lesion . Neurology 2005 ; 64 : 1487

- 15) 山本俊至, 赤坂裕子, 大谷恭一, 林隆, 柏木史郎, 市山高志, 西河美希, 加藤光広, 前垣義弘, 岡明, 大野耕策: モヤマ病発症に関連性を示さなかったIGF2R遺伝子多型. 脳と発達 2005 ; 37 : 15-19
- 16) 山本俊至, 赤坂裕子, 大谷恭一, 林隆, 柏木史郎, 市山高志, 西河美希, 加藤光広, 前垣義弘, 岡明, 大野耕策: モヤマ病原因遺伝子の同定を目的とした3番染色体短腕上expressed sequence tagのスクリーニング. 脳と発達 2005 ; 37 : 20-25
- 17) 松永明, 三井哲夫, 鈴木浩, 早坂清: 重篤な高血圧と貧血, さらに出血傾向, 腎機能障害を呈した1男児例. 小児高血圧研究会誌 2005 ; 3 : 50-53
- 18) 紺野恵理子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫, 三井哲夫: 化学療法を行ったLymphomatoid Papulosisの小児例. 皮膚科の臨床 2005 ; 47 : 1785-1788
- 19) 豊口禎子, 細谷順, 海老原光孝, 小嶋文良, 本田麻子, 富永綾, 仲川義人, 三井哲夫: スルファミトキサゾール・トリメトプリムの体内動態に及ぼすメトトレキサート大量療法の影響. 医薬品相互作用研究 2005 ; 29 : 11-14
- 20) 小山内俊久, 関根康雅, 石川朗, 土屋登嗣, 荻野利彦, 三井哲夫, 川上貴子: メトトレキサートの初回投与でアナフィラキシー様反応を呈した骨肉腫の1例. 臨床整形外科 2005 ; 40 : 73-76

(2) 総 説

- 1) 白幡恵美, 早坂清, 岡村康司: Nav1.6チャンネルの持続性Na電流の制御機構. 生体の科学 2005 ; 56 : 216-220
- 2) 沼倉周彦, 長谷川行洋: 糖尿病性ケトアシドーシスの治療. 小児科診療 2005 ; 68 : 1847-1852
- 3) 長谷川行洋, 麻生敬子, 井沢雅子, 樋口麻子, 宮本純子, 沼倉周彦, 有安大典: 小児期の骨粗鬆症 - 成長期の骨を守る. ホルモンと臨床 2005 ; 53 : 469-478
- 4) 早坂清: ミトフシン2 mitofusin 2 (MFN2). 生体の科学 2005 ; 56 : 466-468
- 5) 早坂清: Charcot-Marie-Tooth病. ゲノム医学 2005 ; 5 : 293-297
- 6) 松永明, 早坂清: 紫斑病性腎炎 Henoch-Shonlein purpura nephritis (HSPN). 腎と透析 2005 ; 増刊号 : 481-485

(3) 著 書

- 1) 北中幸子: 12. 副甲状腺機能低下症, 13. くる病, 14. 肥満. 「小児疾患診療マニュアル」五十嵐隆編, 中外医学社, 2005 ; 435-440
- 2) 鈴木浩: 23. 小児科疾患. 先天性心疾患の低酸素発作. 「今日の治療指針 2005年版」山口徹・北原光夫編, 株式会社医学書院, 2005 ; 938
- 3) 松永明: 小児の透析困難症. Tidal Peritoneal Dialysis (TPD) にて改善された小児腹膜透析患者. 「引き事典」石崎允監修, 政金生人・小山雄太編集, 東京医学社, 2005 ; 94-95

(4) そ の 他

- 1) 佐々木綾子: ちょっと呼吸が速い児. Neonatal Care 2005 ; 秋季増刊 : 24-30

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Kato M, Shiihara T, Tohyama J, Akasaka N, Suzuki Y, Fujimoto S, Hayasaka K: Mutation analysis of the ARX gene in patients with West syndrome. International Symposium on Epileptic Syndromes in Infancy and Early Childhood - Evidence-based Taxonomy and its Implications in the ILAE Classification - 8th Annual Meeting of The Infantile Seizure Society, Tokyo ; May 2005
- 2) Dobyns WB, Clift K, Kato M, Das S : Developmental disorders associated with ARX mutations in males and females : lissencephaly cryptogenic infantile spasms and more . 34th Annual Child Neurology Society Meeting , Los Angeles , USA ; September 2005
- 3) Numakura C, Miyamoto J, Hasegawa Y : Calcium sensing receptor (CaSR) regulates renal Ca reabsorption which is independent of parathyroid hormone , and partially modified by thiazide diuretics . ESPE-LWPES 7th Joint Meeting Paediatric Endocrinology in collaboration with APEG, APPE, JSPE and SLEP , Lyon ; September 2005

- 4) Sato U, Kitanaka S, Sekine T, Takahashi S, Ashida A, Igarashi T: Functional characterization of LMX1B mutations associated with nail-patella syndrome. The 1st congress of Asian Society for Pediatric Research, Tokyo, Japan; November 2005
- 5) Kato M, Shiihara T, Tohyama J, Akasaka N, Suzuki Y, Fujimoto S, Hayasaka K: The first polyalanine expansion of ARX causes more severe phenotype than the 2nd polyAla expansion. 1st congress of Asian Society for Pediatric Research, Tokyo; November 2005

(2) 国内の学会

- 1) 早坂清, 木島一己, 佐々木綾子, 大澤資樹, 的場梁次: 先天性中枢性肺胞低換気症候群と乳幼児突然死症候群との関係: PHOX 2 B遺伝子の検索. 第11回日本SIDS学会, 盛岡; 2005年3月
- 2) 木島一己, 白幡恵美, 澤石由起夫, 下畑光輝, 五十嵐修一, 田中智洋, 早坂清: PRX遺伝子異常の3症例について. 第108回日本小児科学会学術集会, 東京; 2005年4月
- 3) 野呂瑞佳, 鈴木浩, 簡野美弥子, 仁木敬夫, 田辺さおり, 池上徹, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清: カルペリチドを長期投与したアントラサイクリン心筋症の1女児例. 第108回日本小児科学会学術集会. 東京; 2005年4月
- 4) 赤坂紀幸, 金澤治, 遠山潤, 上村孝則, 加藤光広, 椎原隆: Landau-Kleffner症候群に対するsteroid大量療法の効果. 第47回日本小児神経学会総会, 熊本; 2005年5月
- 5) 加藤光広, 椎原隆, 遠山潤, 赤坂紀幸, 早坂清: ARX遺伝子の第1ポリアラニン伸長変異を認めたウエスト症候群の1例. 第47回日本小児神経学会総会, 熊本; 2005年5月
- 6) 木島一己, 沼倉周彦, 根津敦夫, 椎木俊秀, 石崎義人, 早坂清: Charcot-Marie-Tooth病2A型におけるミトコンドリアGTPase Mitofusin 1及び2遺伝子異常について. 第47回日本小児神経学会総会, 熊本; 2005年5月
- 7) 椎原隆, 加藤光広, 市山高志, 後藤雄一, 早坂清: ミトコンドリアDNA8993T>G変異を有し, 可逆性脳梁膨大部病変を伴う急性脳症を呈した一例. 第47回日本小児神経学会総会, 熊本; 2005年5月
- 8) 宮田理英, 加藤光広, 金子節子, 富澤江実子, 神山潤: X-linked lissencephaly with abnormal genitalia (XLAG)の1例. 第47回日本小児神経学会総会, 熊本; 2005年5月
- 9) 松永明: 東北地域及び新潟県におけるシクロスポリンの安全性探索多施設共同研究 - 小児ネフローゼ症候群に対するシクロスポリン治療の安全性探索を目的とした後方視的検討. 第40回日本小児腎臓病学会学術集会 ランチョンセミナー, 仙台; 2005年5月
- 10) 松永明, 椎原隆, 荻野大助, 早坂清: Galloway-Mowat syndromeと考えられた兄弟例. 第40回日本小児腎臓病学会学術集会 ランチョンセミナー, 仙台; 2005年5月
- 11) 荻野大助, 松永明, 池田博行, 佐藤哲, 伊東稔, 早坂清: アンジオテンシン変換酵素阻害薬およびアンジオテンシン受容体拮抗薬の併用が尿蛋白減少に有用であったループス腎炎の二小児例. 第40回日本小児腎臓病学会学術集会, 仙台; 2005年5月
- 12) 丸山健一, 羽鳥基明, 北中幸子, 関根孝司, 五十嵐隆: 感音性難聴を合併したBartter症候群 (BSND)の1例. 第40回日本小児腎臓病学会, 仙台; 2005年5月
- 13) 北中幸子, 佐藤詩子, 三木裕子, 五十嵐隆: MODY 5の臨床症状の発症機序の解析 - HNF-1bとHNF-1aの協調作用に着目して. 第78回日本内分泌学会, 東京; 2005年7月
- 14) 斎藤なか, 遠山潤, 赤坂紀幸, 上村孝則, 金澤治, 加藤光広, 椎原隆: Landau-Kleffner症候群の脳磁図所見. 第20回日本生体磁気学会, 大阪; 2005年7月
- 15) 佐々木綾子, 金井雅代, 赤羽和博, 長谷川久弥, 小泉武宣, 中村友彦, 早坂清: 先天性中枢性低換気症候群におけるPHOX2B遺伝子異常: ポリアラニン伸長の検出. 第41回日本周産期・新生児医学会, 福岡; 2005年7月
- 16) 鈴木浩, 仁木敬夫: 中欠損の傍膜様部心室中隔欠損症の臨床的検討. 第41回日本小児循環器学会総会. 東京; 2005年7月
- 17) 荻野大助, 松永明, 佐々木綾子, 白幡恵美, 早坂清: ステロイド投与および腹膜透析で浮腫を管理し救命しえた胎児水腫の一新児例. 第27回日本小児腎不全学会, 箱根; 2005年9月
- 18) 松永明, 荻野大助, 豊田健太郎, 服部元史, 高橋公太, 早坂清: 当科における腎移植患者のピフォー・アフター. 第27回日本小児腎不全学会, 箱根; 2005年9月

- 19) 宮井健太郎, 鹿島田健一, 小野真, 大西寿和, 宮田理英, 加藤光広: X-linked lissencephaly with absent corpus callosum and ambiguous genitaliaにおける視床下部障害の考察. 第39回日本小児内分泌学会総会, 東京; 2005年10月
- 20) 北中幸子, 佐藤詩子, 三木裕子, 五十嵐隆: MODY5に認められた新生児胆汁うっ滞の分子生物学的解析. 第39回日本小児内分泌学会, 東京; 2005年10月
- 21) 木島一己, 沼倉周彦, 小田切徹州, 後藤知英, 高橋孝雄, 早坂清: Charcot-Marie-Tooth病およびDistal hereditary motor neuropathyにおけるHSP22および27遺伝子異常について. 第48回日本先天代謝異常学会, 熊本; 2005年11月
- 22) 遠野千佳子, 福山優子, 丹代諭, 佐々木伸也, 高橋良博, 伊藤悦朗, 池田保彦, 川上貴子, 三井哲夫: SBDS gene変異及びt(4;5)(p15;q11)を有するShwachman-Diamond症候群の1例. 第21回日本小児がん学会, 宇都宮; 2005年11月
- 23) 三井哲夫, 川上貴子, 本間信夫, 仙道大, 簡野美弥子, 金井雅代, 早坂清: VAC (VCR+ActD+CY) 治療中, 致死性のアデノウイルス感染症を来した横紋筋肉腫1男児例. 第21回日本小児がん学会, 宇都宮; 2005年11月

(3) 国内地方会

- 1) 笹真一, 鈴木浩, 仁木敬夫, 早坂清, 福井昭男, 久保田功, 荒木隆夫: カテーテル治療を施行した川崎病の1例. 第78回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年6月
- 2) 佐々木綾子, 白幡恵美, 富永美弥, 早坂清, 荻野大助, 赤羽和博, 橋本基也: マスクによる人工換気療法へ移行した先天性中枢性低換気症候群の一例. 第78回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年6月
- 3) 豊田健太郎, 本間信夫, 川上貴子, 簡野美弥子, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清, 仁科正裕, 佐藤哲: 日齢16で発熱を認めた周産期サイトメガロウイルス感染症の1例. 第78回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年6月
- 4) 笹真一, 鈴木浩, 仁木敬夫, 早坂清: 完全房室ブロックをきたした無脾症候群の1新生児例. 第57回北日本小児科学会, 福島; 2005年9月
- 5) 椎原隆, 加藤光広, 沼倉周彦, 松永明, 高橋信也, 古山政幸, 清水行敏, 岡田昌彦, 市山高志, 高橋幸利, 早坂清: テオフィリン関連脳症後, 大脳辺縁系病変を呈した1例. 第11回日本小児神経学会東北地方会, 盛岡; 2005年11月
- 6) 椎原隆, 加藤光広, 沼倉周彦, 松永明, 高橋信也, 古山政幸, 清水行敏, 岡田昌彦, 市山高志, 高橋幸利, 早坂清: テオフィリン関連脳症後, 大脳辺縁系病変を呈した1例. 第11回日本小児神経学会東北地方会, 盛岡; 2005年11月
- 7) 下風朋章, 吉村洋三, 加藤光広, 椎原隆, 高橋幸利: グルタミン酸受容体 2 抗体 (GluR 2) が陽性であった急性小脳炎の一例. 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月
- 8) 高橋憲幸, 秋葉香, 三浦章, 池田博行, 坂本美千代, 清水行敏: 3歳児健診で発見された頭蓋骨早期癒合症の女児. 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月
- 9) 仁木敬夫, 鈴木浩, 佐々木綾子, 笹真一, 白幡恵美, 早坂清, 澤村佳宏, 貞弘光章: Kommerel憩室により気管狭窄をきたした1例. 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月
- 10) 松永明, 荻野大助, 豊田健太郎, 服部元史, 高橋公太, 早坂清: 当科における腎移植患者についての報告. 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月

(4) 研究会

- 1) 鈴木浩, 仁木敬夫, 菅井幸雄, 早坂清: 大動脈炎症候群に合併した上腸間膜動脈狭窄に対するステント留置術. 第16回日本Pediatric Interventional Cardiology研究会, 名古屋; 2005年1月
- 2) 仁木敬夫, 鈴木浩, 早坂清: 先天性心疾患に対するリアルタイム3Dエコーの使用経験. 第39山形超音波研究会, 山形; 2005年2月
- 3) 荻野大助, 松永明, 早坂清: 腎疾患に対してステロイドを投与した症例での骨密度の変動に関する検討. 第15回東北小児腎臓病研究会, 盛岡; 2005年3月
- 4) 豊田健太郎, 松永明, 荻野大助, 清水行敏, 大滝晋介, 横田俊平, 早坂清: 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) と診断された後に全身性エリテマトーデス (SLE) の診断基準を満たし腎生検を施行した3例. 第15回東北小児腎臓病研究会, 盛岡; 2005年3月

- 5) 川上貴子, 本間信夫, 簡野美弥子, 野呂瑞佳, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清: JACLS ALL-02で治療中に骨盤底部膿瘍により両側水腎症を呈した幼若B細胞急性リンパ性白血病の1例. 第46回東北小児白血病研究会, 仙台; 2005年4月
- 6) 笹真一, 鈴木浩, 仁木敬夫, 早坂清, 福井昭男, 久保田功, 荒木隆夫: カテーテル治療を施行した川崎病の1例. 第7回山形小児難病研究会, 山形; 2005年4月
- 7) 仁木敬夫, 笹真一, 鈴木浩, 早坂清: 胎児診断した先天性心疾患6例の検討. 第22回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2005年5月
- 8) 加藤光広, 早坂清: 神経疾患におけるARX遺伝子と介在ニューロンの役割 - 介在ニューロン病 -. 第6回山形ニューロサイエンス研究会, 山形; 2005年6月
- 9) 仁木敬夫, 笹真一, 鈴木浩, 早坂清: 右腎動脈低形成に左腎動脈狭窄を伴った腎血管性高血圧の1例. 第12回小児高血圧研究会, 東京; 2005年8月
- 10) 中村和幸, 土田哲生, 田邊さおり, 木村敏之, 椎原隆, 加藤光広: 全般(優性遺伝)てんかん熱性けいれんプラス(GEFS+)が疑われる3兄妹例. 第10回山形小児神経研究会, 山形; 2005年9月
- 11) 簡野美弥子, 川上貴子, 金井雅代, 豊田健太郎, 仙道大, 三井哲夫, 早坂清: 83ALLで治療後に脳腫瘍を発症した幼弱B細胞性急性リンパ球性白血病の2例. 第47回東北小児白血病研究会, 仙台; 2005年10月
- 12) 仙道大, 簡野美弥子, 豊田健太郎, 川上貴子, 金井雅代, 三井哲夫, 大滝晋介, 本間友美, 中村和幸, 高橋憲幸, 早坂清: 骨髄非破壊の前処置後に非血縁臍帯血移植を施行した乳児ALLの1例. 第9回山形造血器疾患研究会, 山形; 2005年10月
- 13) 仁木敬夫, 鈴木浩, 笹真一, 加藤光広, 椎原隆, 木村敏之, 早坂清, 大熊彩, 西野一三, 埜中征哉: 脂質蓄積ミオパチーを合併した肥大型心筋症の1例. 第14回関東小児心筋疾患研究会, 東京; 2005年10月
- 14) 笹真一, 鈴木浩, 仁木敬夫, 佐々木綾子, 白幡恵美, 富永美弥: 新生児動脈管動脈瘤の2例. 第40回東北小児心臓病研究会, 仙台; 2005年11月
- 15) 松永明: シクロスポリンの安全性探索多施設共同研究. 腎と免疫研究会, 山形; 2005年11月
- 16) 松永明: 当科におけるMZ投与例の血中MZ濃度・効果に関する検討. 東北ループス研究会, 仙台; 2005年12月

(5) その他

- 1) 加藤光広: 脳形成障害とてんかん. 国立西新潟中央病院てんかんセンター 夏季セミナー 2005, 新潟; 2005年8月
- 2) 加藤光広: 脳形成障害の病態解明. 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「重症心身障害児(者)の病因・病態解明, 治療・療育, および施設のあり方に関する研究班」(17指-11)平成17年度班会議, 東京; 2005年11月
- 3) 加藤光広:(非)症候性精神遅滞におけるARX遺伝子の解析. 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「精神遅滞をきたす遺伝性疾患のリサーチ・リソースの整備と分子遺伝学研究」(15公-4)平成17年度班会議, 東京; 2005年11月

3. その他

- 1) 第10回小児神経症例検討会(蔵王セミナー), 上山; 2005年2月
- 2) 第7回小児難病研究会, 山形; 2005年4月
- 3) 第2回山形こどもの腎研究会, 山形; 2005年5月
- 4) 第22回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2005年5月
- 5) 第78回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年6月
- 6) 第11回小児内分泌・代謝研究会, 山形; 2005年6月
- 7) 第3回山形小児アレルギー・喘息研究会, 山形; 2005年7月
- 8) 第8回小児難病研究会, 山形; 2005年8月
- 9) 第10回山形小児神経研究会, 山形; 2005年9月
- 10) 第40回山形県小児保健会研修会, 山形; 2005年10月
- 11) 第79回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2005年12月

女性医学分野 (産科婦人科学)

1. 論文

(1) 原著

- 1) Saitoh M, Ohmichi M, Takahashi K, Kawagoe J, Ohta T, Doshida M, Takahashi T, Igarashi H, Mori-Abe A, Du B, Tsutsumi S, Kurachi H : Medroxyprogesterone acetate induces cell proliferation through up-regulation of cyclin D1 expression via phosphatidylinositol 3-kinase/Akt/nuclear factor- κ B cascade in human breast cancer cells. *Endocrinology* 2005 ; 146(11): 4917-4925
- 2) Ohta T, Ohmichi M, Hayasaka T, Saitoh M, Kojimahara T, Kawagoe J, Nakahara K, Motoyama T, Kurachi H : Characteristic features of ovarian borderline tumors with invasive implant. *Arch Gynecol Obstet* 2005 ; 272(4): 278-282
- 3) Igarashi H, Takahashi T, Takahashi E, Tezuka N, Nakahara K, Takahashi K, Kurachi H : Aged mouse oocytes fail to readjust intracellular adenosine triphosphates at fertilization. *Biol Reprod* 2005 ; 72(5): 1256-1261
- 4) Kanai M, Kijima K, Shirahata E, Sasaki A, Akaba K, Umetsu K, Tezuka N, Kurachi H, Aikawa S, Hayasaka K : Neonatal hyperbilirubinemia and the bilirubin uridine diphosphate-glucuronosyltransferase gene : the common -3263T>G mutation of phenobarbital response enhancer module is not associated with the neonatal hyperbilirubinemia in Japanese. *Pediatr Int* 2005 ; 47(2): 137-141
- 5) Murakami M, Ohmichi M, Takahashi T, Shibata A, Fukao A, Morisaki N, Kurachi H : Prepregnancy body mass index as an important predictor of perinatal outcomes in Japanese. *Arch Gynecol Obstet* 2005 ; 271(4): 311-315
- 6) Saitoh M, Hayasaka T, Ohmichi M, Kurachi H, Motoyama T : Primary mucinous adenocarcinoma of the vagina : possibility of differentiating from metastatic adenocarcinomas. *Pathol Int* 2005 ; 55(6): 372-375
- 7) Takahashi K, Miura S, Mori-Abe A, Kawagoe J, Takata K, Ohmichi M, Kurachi H : Impact of menopause on the augmentation of arterial stiffness with aging. *Gynecol Obstet Invest* 2005 ; 60(3): 162-166
- 8) Takahashi T, Ohmichi M, Kawagoe J, Ohshima C, Doshida M, Ohta T, Saitoh M, Mori-Abe A, Du B, Igarashi H, Takahashi K, Kurachi H : Growth factors change nuclear distribution of estrogen receptor- α via mitogen-activated protein kinase or phosphatidylinositol 3-kinase cascade in a human breast cancer cell line. *Endocrinology* 2005 ; 146(9): 4082-4089
- 9) Kubota Y, Tomita Y, Tsukigi M, Kurachi H, Motoyama T, Mir LM : A case of perineal malignant melanoma successfully treated with electrochemotherapy. *Melanoma Res* 2005 ; 15(2): 133-134
- 10) Toya M, Hozumi Y, Ito T, Takeda M, Sakane F, Kanoh H, Saitoh H, Hiroi M, Kurachi H, Kondo H, Goto K : Gene expression, cellular localization, and enzymatic activity of diacylglycerol kinase isozymes in rat ovary and placenta. *Cell Tissue Res* 2005 ; 320(3): 525-533
- 11) Sawada K, Morishige K, Hashimoto K, Tasaka K, Kurachi H, Murata Y, Kurachi Y : Gestational change of K^+ channel opener effect is correlated with the expression of uterine K_{ATP} channel subunits. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol* 2005 ; 122(1): 49-56

(2) 総説

- 1) Kurachi H, Takahashi K, Abe A, Ohmichi M : Women and Obesity. *JMAJ* 2005 ; 48(1): 42-46
- 2) Ohmichi M, Hayakawa J, Tasaka K, Kurachi H, Murata Y : Mechanisms of platinum drug resistance. *Trends Pharmacol Sci* 2005 ; 26(3): 113-116
- 3) Ohmichi M, Tasaka K, Kurachi H, Murata Y : Molecular mechanism of action of selective estrogen receptor modulator in target tissues. *Endocr J* 2005 ; 52(2): 161-167
- 4) 高橋一広, 高田恵子, 倉智博久 : 月経異常. *Medicina* 2005 ; 42(2): 250-252
- 5) 高橋一広, 阿部亜紀子, 堤誠司, 倉智博久 : 血管平滑筋 特集 心血管系とエストロゲン. *HORMONE*

FRONTIER IN GYNECOLOGY 2005 ; 12(1): 23-30

- 6) 阿部亜紀子, 堤 誠司, 倉智博久: 女性が気をつけなければならない肥満. からだの科学 2005 ; 241 : 40-44
- 7) 高橋一広, 太田 剛, 倉智博久: 高脂血症. 産科と婦人科 (増刊号) 2005 ; 72 : 332-336
- 8) 五十嵐秀樹, 土信田雅一, 川越 淳, 倉智博久: 多嚢胞性卵巣症候群. 総合臨牀 2005 ; 54(5): 1638-1644
- 9) 阿部亜紀子, 村上真紀, 倉智博久: 1.低用量ピル 産婦人科医におけるピルの知識. 産婦人科治療 2005 ; 91 (6): 669-674
- 10) 高橋一広, 高田恵子, 倉智博久: 更年期障害のHRT (主としてホルモン療法の選択法). ホルモンと臨床 2005 ; 53(10): 75-83
- 11) 小島原敬信, 中原健次, 早坂 直, 倉智博久: 卵巣癌の画像診断 特集 増えている卵巣癌の対策. 産婦人科治療 2005 ; 90(6): 959-963

(3) その他

- 1) 倉智博久:(編集) 妊産婦と薬物治療 EBM時代に対応した必須知識. 臨床婦人科産科 2005 ; 29(4)

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Igarashi H, Takahashi T, Kurachi H, Takahashi E : Mitochondrial ATP regulation at fertilization. Mitochondrial Physiology 2005. September 16-20, 2005, Schrocken, Vorarlberg, Austria

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 齋藤真紀, 川越 淳, 高橋一広, 手塚尚広, 小島原敬信, 早坂 直, 大道正英, 倉智博久: 酢酸メドロキシプロゲステロンの乳癌細胞に対する増殖促進のメカニズム. 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 2) 太田 剛, 大道正英, 早坂 直, 齋藤真紀, 川越 淳, 高橋一広, 本山悌一, 倉智博久: P13 - キナーゼ阻害剤の卵巣癌分子標的治療としての可能性. 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 3) 加藤瑞穂, 高橋一広, 阿部亜紀子, 高田恵子, 横山幸生, 大道正英, 倉智博久: 正常妊娠およびpreeclampsiaにおける大動脈波伝播速度の妊娠期間を通じての変動. 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 4) 堤 誠司, Richard Karas, Micheal Mendelsohn, 倉智博久: 血管平滑筋細胞におけるエストロゲン受容体と による誘導型NO合成酵素発現調節機序の解析. 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 5) 杜 伯涛, 高橋一広, 中原健次, 五十嵐秀樹, 川越 淳, 土信田雅一, 大道正英, 倉智博久: ラロキシフェンおよびエストロゲンの神経細胞保護作用機序. 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 6) 高橋一広:(シンポジウム) エストロゲンの効果の臨床的再評価と選択的エストロゲン受容体調節薬の次世代HRTとしての基礎的検討 - 心血管系および乳腺細胞における検討 - . 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 7) 太田 剛, 大道正英, 早坂 直, 齋藤真紀, 川越 淳, 高橋一広, 本山悌一, 倉智博久: 卵巣癌分子標的治療としてのP13- キナーゼ阻害剤の可能性. 第78回日本内分泌学会, 東京; 2005年7月
- 8) 関口真紀, 川越 淳, 高橋一広, 土信田雅一, 五十嵐秀樹, 大道正英, 倉智博久: 乳癌細胞における酢酸メドロキシプロゲステロンの増殖促進の機構について. 第78回日本内分泌学会, 東京; 2005年7月
- 9) 倉智博久:(特別講演) HRT: 新たな展開. 第9回動脈硬化フォーラム, 高知; 2005年7月
- 10) 堤 誠司, 網田光善, 村上真紀, 手塚尚広, 倉智博久. Placental surface cystを合併したIUGRの1症例. 第41回日本周産期・新生児医学会 福岡 2005 . 7 . 10-12
- 11) 網田光善, 堤 誠司, 村上真紀, 手塚尚広, 倉智博久: 妊娠中期に診断され治療に苦慮した総胆管拡張症合併妊娠の1症例. 第41回日本周産期・新生児医学会, 福岡; 2005年7月
- 12) 村上真紀, 網田光善, 堤 誠司, 手塚尚広, 倉智博久: 日本人における妊娠前BMIと妊娠中の体重増加量は周産期の重要な予後規定因子である. 第41回日本周産期・新生児医学会, 福岡; 2005年7月
- 13) 関口真紀, 刑部正光, 早坂 直, 倉智博久, 本山悌一. 4. 迅速病理診断に対する婦人科側と病理側とのギャップ. 第38回日本婦人科腫瘍学会 和歌山 2005 . 7 . 21-23
- 14) 五十嵐秀樹, 土信田雅一, 川越 淳, 戸屋真由美, 大貫 毅, 網田光善, 倉智博久: 受精時の卵のカルシウムオシレーションは細胞内ATP産生を誘導する. 第23回日本受精着床学会, 大阪; 2005年8月
- 15) 堤誠司, Richard Karas, Micheal Mendelsohn, 倉智博久: 血管平滑筋細胞におけるエストロゲン受容体と による誘導型NO合成酵素発現調節機序の解析. 第14回産婦人科分子内分泌懇話会, 山梨; 2005年10月

16) 川越 淳, 土信田雅一, 五十嵐秀樹, 倉智博久: 子宮鏡下選択的卵管通水法の臨床的有用性の検討. 第50回日本不妊学会, 熊本; 2005年11月

(3) 国内地方会

- 1) 倉智博久:(特別講演) HRTの新たな展開. 第26回仙台産婦人科医会学術講演会, 仙台; 2005年2月
- 2) 倉智博久:(特別講演) 女性と肥満. 平成17年度福井地方部会定例総会, 福井; 2005年4月
- 3) 松本大樹, 山谷日鶴, 戸屋真由美, 関口真紀, 早坂 直, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久: 膣原発の悪性黒色腫の1例. 第87回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年5月
- 4) 高田恵子, 高橋一広, 川越 淳, 阿部亜紀子, 五十嵐秀樹, 堤 誠司, 手塚尚広, 倉智博久: 閉経は年齢依存的に増加する動脈壁の硬化を促進する. 第87回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年5月
- 5) 松本大樹, 山谷日鶴, 戸屋真由美, 関口真紀, 早坂 直, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久: 膣に発生した悪性黒色腫の一例. 第119回東北連合地方部会, 青森; 2005年6月
- 6) 網田光善, 松本大樹, 堤 誠司, 手塚尚広, 倉智博久: 妊娠中期に診断された持続的総胆管ドレナージにて妊娠継続し得た総胆管拡張症合併妊娠の1症例. 第119回東北連合地方部会, 青森; 2005年6月
- 7) 刑部光正, 網田光善, 松本大樹, 高田恵子, 関口真紀, 早坂 直, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久: 顆粒膜細胞腫の一例. 第88回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年7月
- 8) 高橋一広:(特別講演) エストロゲン効果の臨床的再評価と選択的エストロゲン受容体調節薬の基礎研究. 第53回北日本連合地方部会, 福井; 2005年9月
- 9) 太田 剛, 早坂 直, 関口真紀, 阿部亜紀子, 高田恵子, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久: 腹膜上の子宮内膜症を母地とする類内膜腺癌を合併した子宮体癌の1症例. 第53回北日本連合地方部会, 福井; 2005年9月
- 10) 大貫 毅, 早坂 直, 村上真紀, 関口真紀, 小島原敬信, 手塚尚広, 中原健次, 倉智博久: 卵巣癌の術前診断における子宮内膜細胞診の意義. 第53回北日本連合地方部会, 福井; 2005年9月
- 11) 網田光善, 松本大樹, 土信田雅一, 川越 淳, 五十嵐秀樹, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久: 子宮捻転1症例. 第53回北日本連合地方部会, 福井; 2005年9月
- 12) 岩間英範, 五十嵐秀樹, 川越 淳, 堤 誠司, 小島原敬信, 倉智博久: 両側卵管切除後の体外受精・胚移植による後腹膜妊娠の1例. 第90回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年12月

(4) 研究会

- 1) 倉智博久:(特別講演) HRT: 新たな展開. 第14回生殖医学研究会, 京都; 2005年3月
- 2) 村上真紀, 網田光善, 堤 誠司, 倉智博久, 岩間英範, 金杉 浩, 佐藤 聡: 妊娠前Body Mass Indexおよび妊娠中の体重増加量は周産期予後の重要な規定因子である. 第22回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2005年5月
- 3) 高橋一広: 婦人科領域における新規抗うつ薬使用の他施設共同研究~中間報告~. 第5回中高年の予防医学研究会, 山形; 2005年6月
- 4) 倉智博久:(特別講演) HRTを再考する-心血管疾患を中心に-. 第2回阪神ウィメンズヘルス研究会, 西宮; 2005年10月
- 5) 高橋一広:(講演) ナイスミディー外来におけるメンタルケア. 第9回山形こころのケア研究会, 山形; 2005年11月

(5) その他

- 1) 倉智博久:(司会) 性差医療・医学研究会 第二回学術集会, 東京; 2005年2月
- 2) 倉智博久:(講演) 子宮がん がんの最新治療とQuality of Life. 厚生労働科学研究・がん医療均てん講演会, 山形; 2005年3月
- 3) 倉智博久:(コメンテーター) 生涯研修プログラム . 症例から学ぶ生殖医学. 第57回日本産科婦人科学会, 京都; 2005年4月
- 4) 倉智博久:(講演) ピルの普及を目指して. 兵庫県産科婦人科専門医生涯研修会, 兵庫; 2005年10月

3. その他

- 1) 第15回山形産婦人科ME研究会, 山形; 2005年4月
- 2) 第87回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年5月
- 3) 第22回山形県周産期・新生児医療研究会, 山形; 2005年5月

- 4) 第5回中高年女性の予防医学研究会, 山形; 2005年6月
- 5) 第88回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年7月
- 6) 第89回山形県産婦人科集談会, 鶴岡; 2005年9月
- 7) 第90回山形県産婦人科集談会, 山形; 2005年12月

循環薬理学分野 (薬理学)

1. 論文

(1) 原著

- 1) Lin C, Nagai M, Ishigaki D, Hayasaka K, Endoh M, Ishii K : Crosstalk between α_1 -adrenoceptor and ET_A receptor in modulation of the slow component of delayed rectifier K^+ currents. *Naunyn-Schmiedeberg's Arch Pharmacol* 2005 ; 371 : 133-140
- 2) Plane F, Johnson R, Kerr P, Wiehler W, Thorneloe K, Ishii K, Chen T, Cole WC : Heteromultimeric Kv channels contribute to myogenic control of arterial diameter. *Circ Res* 2005 ; 96 : 216-224
- 3) Chu L, Endoh M : Wortmannin inhibits the myofilament Ca^{2+} sensitization induced by endothelin-1. *Eur J Pharmacol* 2005 ; 507 : 135-143
- 4) Chu L, Zhang J-X, Norota I, Endoh M : Differential action of a protein tyrosine kinase inhibitor, genistein, on the positive inotropic effect of endothelin-1 and norepinephrine in canine ventricular myocardium. *Br J Pharmacol* 2005 ; 144 : 430-442
- 5) Chu L, Zhang J-X, Norota I, Endoh M : Receptor subtypes mediate the inotropic effects and Ca^{2+} signaling induced by endothelin-1 through crosstalk with norepinephrine in canine ventricular myocardium. *J Pharmacol Sci* 2005 ; 97 : 417-428
- 6) Chu L, Norota I, Endoh M : Differential inhibition by the Rho kinase inhibitor Y-27632 of the increases in contractility and Ca^{2+} transients induced by endothelin-1 in rabbit ventricular myocytes. *Naunyn-Schmiedeberg's Arch Pharmacol* 2005 ; 371 : 185-194
- 7) Takahashi R, Endoh M : Dual regulation of myofilament Ca^{2+} sensitivity by levosimendan in normal and acidotic conditions in aequorin-loaded canine ventricular myocardium. *Brit J Pharmacol* 2005 ; 145 : 1143-1152

(2) 著書

- 1) Toro L, Alioua A, Lu R, Garcia-Valdes J, Zarei MM, Nishimaru K, Eghbali M, Stefani E : Ca^{2+} -activated voltage dependent K^+ channels. *JX-J Yuan, ed. Ion Channels in the Pulmonary Vasculature. Taylor and Francis, 2005 ; 237-256*

(3) その他

- 1) 遠藤政夫 : 心血管系作用薬. 「医科薬理学 (改訂4版)」遠藤政夫・栗山欣弥他編, 南山堂, 2005 ; 345-383

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Endoh M : Mechanism of the positive inotropic effect of levosimendan . ESC Congress 2005 ,Stockholm; September 2005
- 2) Endoh M : Regulation of cardiac contraction and Ca^{2+} signaling in mammalian myocardium . Seminar , Columbus ; November 2005
- 3) Endoh M : ASCEPT Special Lecture : Characteristics of regulation of Ca^{2+} signal induced by endothelin . Australasian Society of Experimental Pharmacology and Toxicology, Melbourne ; December 2005
- 4) Endoh M : ISHR Keith Reimer Distinguished Lecture : Regulatory mechanisms of Ca^{2+} signaling in intact myocardial cells. Australasian Society of Experimental Pharmacology and Toxicology, Osaka ; December 2005
- 5) Ishii K, Endoh M : Effects of dronedarone on the currents of *Xenopus* oocytes co-expressing HERG and KvLQT 1/minK channels. The 22nd Annual Meeting, Japanese Section of the International Society for Heart Research, Osaka, December 2005
- 6) Nishimaru K, Endoh M : Paradoxical effects of endothelin-1 on myofilament Ca^{2+} sensitivity in twitch and tetanic contraction in mouse ventricular myocytes. The 22nd Annual Meeting, Japanese Section of the

International Society for Heart Research, Osaka, December 2005

(2) 国内の学会

- 1) 石井邦明, 遠藤政夫: HERGチャネルおよびS6点変異体のゲーティングにおけるS4-S5領域荷電アミノ酸の役割. 第22回日本心電学会学術集会, 富山; 2005年10月

(3) 国内地方会

- 1) 石井邦明, 中嶋和恵, 遠藤政夫: HERG+KvLQT1/minK電流に対するドロネダロンの作用. 第56会日本薬理学会北部会, 新潟; 2005年10月
- 2) 西丸和秀, 遠藤政夫: マウス心室筋細胞におけるendothelin-1のCa²⁺感受性低下作用に対するwortmanninの影響. 第56会日本薬理学会北部会, 新潟; 2005年10月

(4) 研究会

- 1) 遠藤政夫: 心疾患と薬物療法の変遷. 高松循環研究会, 高松; 2005年2月
- 2) 遠藤政夫: Intact心筋細胞におけるCa²⁺シグナル調節. 第30回日本学術会議薬理学研連シンポジウム, 東京; 2005年9月

(5) その他

- 1) 遠藤政夫: Regulation of Ca²⁺ signaling in the heart. China-Russia International Conference on Pharmacology, ハルビン; 2005年7月
- 2) 遠藤政夫: Endothelinの心臓作用の特徴. 河北医科大学講演, 石家庄; 2005年10月
- 3) 遠藤政夫: 心筋細胞Ca²⁺シグナル. 河北医科大学中医学院講演, 石家庄; 2005年10月
- 4) 遠藤政夫: 生活習慣病の薬物療法. 名古屋大学医学部薬理学講義, 名古屋, 2005年12月

3. その他

- 1) 第17回蔵王カンファレンス, 山形; 2005年1月
- 2) 創薬薬理フォーラム第36回談話会, 東京; 2005年3月
- 3) 創薬薬理フォーラム第37回談話会, 東京; 2005年6月
- 4) 創薬薬理フォーラム第13回シンポジウム, 東京; 2005年9月
- 5) 創薬薬理フォーラム第38回談話会, 東京; 2005年12月

血液・循環分子病態学 (分子病態学)

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kemkes-Matthes B, Matthes KJ, Souri M, Koseki-Kuno S, Ichinose A: R255H Amino Acid Substitution of Protein Z Identified in Patients with Factor V Leiden Mutation. *Brit J Haematol* 2005; 128: 248-252
- 2) Souri M, Koseki-Kuno S, Iwata H, Kemkes-Matthes B, Ichinose A: A naturally occurring E30Q mutation in the Gla domain of protein Z caused its impaired secretion and subsequent deficiency. *Blood* 2005; 105: 3149-3154
- 3) Iwata H, Souri M, Kemkes-Matthes B, Ichinose A: An additional Glu30Lys substitution in the Gla domain of the protein Z gene is not a common polymorphism but a rare mutation, which would cause its deficiency. *J Thromb Haemost* 2005; 3: 2360-2361
- 4) Sakuma T, Tanaka M, Inoue M, Mizota A, Souri M, Ichinose A: Efficacy of autologous plasmin for idiopathic macular hole surgery. *Eur J Ophthalmol* 2005; 15: 787-794

(2) 総説

- 1) Ichinose A: Extracellular Transglutaminase: Factor XIII. *Prog Exp Tumor Res* 2005; 38: 192-208
- 2) 一瀬白帝: 凝固第XIII因子欠損マウス. *血栓と循環* 2005; 13: 6-10
- 3) 一瀬白帝: プロテインZと血栓症について教えてください. *血栓と循環* 2005; 13: 39-43
- 4) 一瀬白帝: 血栓性素因と遺伝子多型. *呼吸器科* 2005; 7: 629-39
- 5) Ichinose A, Asahina T, Kobayashi T: Congenital blood coagulation factor XIII deficiency and perinatal management. *Curr Drug Targets* 2005; 6: 541-549

(3) 著書

- 1) 一瀬白帝: 血液作用学. 遠藤政夫・栗山欣弥・大熊誠太郎・田中利男・樋口宗史編, 医科薬理学 改訂4版, 東京; 南山堂, 2005; 409-430
- 2) 惣宇利正善, 一瀬白帝: XIII因子の分子病態学. 一瀬白帝編, 図説 血栓・止血・血管学 - 血栓症制圧のために -, 東京; 中外医学社, 2005; 286-294
- 3) 岩田宏紀, 一瀬白帝: プロテインZとZPIの分子病態学. 一瀬白帝編, 図説 血栓・止血・血管学 - 血栓症制圧のために -, 東京; 中外医学社, 2005; 510-516
- 4) 菅原宏文, 一瀬白帝: プラスミノーゲンの分子病態学. 一瀬白帝編, 図説 血栓・止血・血管学 - 血栓症制圧のために -, 東京; 中外医学社, 2005; 540-548
- 5) 一瀬白帝: リポプロテイン(a)と血栓症. 別冊 医学のあゆみ 血液疾患 - state of arts Ver.3 -, 東京; 医歯薬出版, 2005; 306-309

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Ichinose A: Transglutaminase-related diseases. The 49th Meeting of the Society of Thrombosis and Haemostasis (GTH), Mannheim, Germany, February 2005
- 2) Ichinose A: Current topics on factor XIII and other transglutaminase. 51st Annual SSC Meeting, Sydney, Australia, August 2005
- 3) Souri M, Kuno-Koseki S, Takeda N, Yamakawa M, Degen JL, Ichinose A: Cardiac involvement in pathologic findings of factor XIII knockout mice. 20th Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH), Sydney, Australia, August 2005
- 4) Ichinose A: Studies on the Structure and function of factor XIII in vitro and in vivo. Invited lecture, Symposium, 20th Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis (ISTH), Sydney, Australia, August 2005

5) Ichinose A : Molecular patho-biology of factor XIII . Invited lecture , 8th International Conference on Protein Crosslinking and Transglutaminases (PCL 8), Lubeck , Germany , September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 一瀬白帝 : 先天性血栓傾向と遺伝子多型 . 第24回 日本臨床化学会 夏期セミナー , 宮城 ; 2005年 7月
- 2) 惣宇利正善 , 張偉光 , 岩田宏紀 , 一瀬白帝 : ヒトプロテインZの - カルボキシラーゼ依存のかつワーファリン感受性細胞外分泌 . 第78回日本生化学会 , 神戸 ; 2005年10月
- 3) 惣宇利正善 , 岩田宏紀 , 張偉光 , 菅原宏文 , 一瀬白帝 : - カルボキシラーゼ依存的なヒトプロテインZの細胞外分泌 . 第28回日本血栓止血学会 , 福岡 ; 2005年11月
- 4) 菅原宏文 , 惣宇利正善 , 岩田宏紀 , 藤巻康一郎 , 一瀬白帝 : プロテインZ遺伝子の転写調節領域の解析 . 第28回日本血栓止血学会 , 福岡 ; 2005年11月

(3) 研 究 会

- 1) 岩田宏紀 , 佐々木真太郎 , 野崎直樹 , 久保田功 , 一瀬白帝 : Cytochrome P450 CYP2C9の遺伝子多型解析 . 第12回山形止血・血栓セミナー , 山形 ; 2005年 1月
- 2) Ichinose A : Functions of transglutaminases in relation to hemostasis, thrombosis and angiogenesis. 科学技術振興調整費・総合研究「血管壁の人為的機能制御技術の開発」公開シンポジウム , 東京 ; 2005年 3月
- 3) 岩田宏紀 , 野崎直樹 , 久保田功 , 一瀬白帝 : ワーファリン感受性に関するVitamin K代謝関連遺伝子の解析 . 第43回東北止血・血栓研究会 , 宮城 ; 2005年 5月
- 4) 惣宇利正善 , 小関 - 久野しおり , Degen J , 一瀬白帝 : XIII因子Aサブユニット遺伝子ノックアウトマウスにおける心臓障害 . 第43回東北止血・血栓研究会 , 宮城 ; 2005年 5月
- 5) 菅原宏文 , 惣宇利正善 , 岩田宏紀 , 藤巻康一郎 , 一瀬白帝 : プロテインZ遺伝子の転写調節領域の解析 . 第13回山形分子生物学セミナー , 山形 ; 2005年11月

(4) そ の 他

- 1) Ichinose A : Molecular patho-biology of factor XIIIa, a plasma transglutaminase . Second University of Naples , Naples , Italy , October 2005
- 2) Ichinose A : Molecular patho-biology of factor XIIIa, a plasma transglutaminase . University of Bologna , Bologna , Italy , October 2005
- 3) Ichinose A : The role of the blood coagulation factor XIIIa in pathophysiology . University of Rome Tor Vergata , Rome , Italy , October 2005

3 . そ の 他

- 1) 第12回山形止血血栓セミナー , 山形 ; 2005年 1月
- 2) 第 8 回山形県血小板と血管研究会 , 山形 ; 2005年 5月
- 3) 第12回血液の分子病態研究会 , 横浜 ; 2005年 9月
- 4) 第 1 回トランスグルタミナーゼ研究会 & ポリアミン研究会合同学術集会 , 神戸 ; 2005年10月
- 5) 第13回山形分子生物学セミナー , 山形 ; 2005年11月

循環・呼吸・腎臓内科学分野（内科学第一）

1 . 論 文

(1) 原 著

- 1) Takahashi H, Takeishi Y, Seidler T, Arimoto T, Akiyama H, Hozumi Y, Koyama Y, Shishido T, Tsunoda Y, Niizeki T, Nozaki N, Abe J, Hasenfuss G, Goto K, Kubota I : Adenovirus-mediated overexpression of diacylglycerol kinase- inhibits endothelin-1-induced cardiomyocyte hypertrophy. *Circulation* 2005 ; 111 : 1510-1516
- 2) Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I : Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with COPD. *Resp Med* 2005 ; 99 : 485-492
- 3) Arimoto T, Takeishi Y, Shiga R, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Nitobe J, Miyamoto T, Hoit BD, Kubota I : Prognostic value of elevated circulating heart-type fatty acid binding protein in patients with congestive heart failure. *J Card Fail* 2005 ; 11 : 56-60
- 4) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Inoue S, Shibata Y, Takeishi Y, Kubota I : Involvement of pulmonary endothelial cell injury in the pathogenesis of pulmonary fibrosis : clinical assessment by ¹²³I-MIBG lung scintigraphy. *Eur J Nucl Med Imaging* 2005 ; 32 : 221-228
- 5) Watanabe T, Takeishi Y, Hirono O, Itoh M, Matsui M, Nakamura K, Tamada Y, Kubota I : C-reactive protein elevation predicts the occurrence of atrial structural remodeling in patients with paroxysmal atrial fibrillation. *Heart Vessels* 2005 ; 20 : 45-49
- 6) Harada M, Qin Y, Takano H, Minamino T, Zou Y, Toko H, Ohtsuka M, Matsuura K, Sano M, Nishi J, Iwanaga K, Akazawa H, Kunieda T, Zhu W, Hasegawa H, Kunisada K, Nagai T, Nakaya H, Yamauchi-Takahara K, Komuro I : G-CSF prevents cardiac remodeling after myocardial infarction by activating the Jak-Stat pathway in cardiomyocytes. *Nat Med* 2005 ; 11 : 305-311
- 7) Tasaki K, Wakabayashi I, Shishido T, Takasaki S, Takeishi Y, Kubota I, Ito T, Katano Y, Tomoike H : Diminution of angiotensin II-induced contraction of the abdominal aorta isolated from Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. *J Smooth Muscle Res* 2005 ; 41 : 87-97
- 8) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Takahashi T, Okuyama H, Takabatake N, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Shishido T, Takahashi H, Koyama Y, Fukao A, Kubota I : Combination of heart-type fatty acid binding protein and brain natriuretic peptide can reliably risk stratify patients hospitalized for chronic heart failure. *Circ J* 2005 ; 69 : 922-927
- 9) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Takabatake N, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Fukui A, Takahashi H, Koyama Y, Shishido T, Kubota I : Serum heart-type fatty acid binding protein predicts cardiac events in elderly patients with chronic heart failure. *J Cardiol* 2005 ; 46 : 9-15
- 10) Watanabe T, Suzuki J, Yamawaki H, Sharma VK, Sheu S-S, Berk BC : Losartan metabolite EXP3179 activates Akt and endothelial nitric oxide synthase via vascular endothelial growth factor receptor-2 in endothelial cells : angiotensin II type 1 receptor-independent effects of EXP3179. *Circulation* 2005 ; 112 : 1798-1805
- 11) Watanabe T, Barker TA, Berk BC : Angiotensin II and the endothelium : diverse signals and effects. *Hypertension* 2005 ; 45 : 163-169
- 12) Katagiri Y, Ito T, Saino-Saito S, Hozumi Y, Suwabe A, Otake K, Sata M, Kondo H, Sakane F, Kanoh H, Kubota I, Goto K : Expression and localization of diacylglycerol kinase isozymes and enzymatic features in rat lung. *Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol* 2005 ; 288 : L1171-L1178
- 13) Takabatake N, Sata M, Inoue S, Shibata Y, Abe S, Wada T, Machiya J, Ji G, Matsuura T, Takeishi Y, Muramatsu M, Kubota I : A novel polymorphism in secretory phospholipase A₂-IID is associated with

body weight loss in chronic obstructive pulmonary disease. *Am J Respir Crit Care Med* 2005 ; 172 : 1097-1104

- 14) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Takabatake N, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Takahashi H, Koyama Y, Kubota I : Cystatin C, a novel measure of renal function, is an independent predictor of cardiac events in patients with heart failure. *J Card Fail* 2005 ; 11 : 595-601
- 15) Takabatake N, Arao T, Sata M, Inoue S, Abe S, Shibata Y, Kubota I : Circulating levels of soluble Fas ligand in cachexic patients with COPD are higher than those in non-cachexic patients with COPD. *Intern Med* 2005 ; 44 : 1137-1143
- 16) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Koyama Y, Okuyama H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Okada A, Takahashi K, Kubota I : Ongoing myocardial damage relates to cardiac sympathetic nervous distintegrity in patients with heart failure. *Ann Nucl Med* 2005 ; 19 : 535-540
- 17) Takahashi H, Takeishi Y, Arimoto T, Shishido T, Konta T, Koyama Y, Niizeki T, Kubota I : Pitavastatin inhibits cardiac hypertrophy in a rat model of progressive renal injury. *J Cardiovasc Pharmacol* 2005 ; 46 : 487-493
- 18) Hirose M, Takeishi Y, Miyamoto T, Kubota I, Laurita KR, Chiba S : Mechanism for atrial tachyarrhythmia in chronic volume overload-induced dilated atria. *J Cardiovasc Electrophysiol* 2005 ; 16 : 760-769
- 19) Inoue S, Sata M, Inage M, Kato S, Kubota I : Three cases of pulmonary actinomycosis diagnosed by fiberoptic bronchoscopy. *J Bronchol* 2005 ; 12 : 273-274
- 20) Itoh S, Ding B, Bains CP, Maekawa N, Wei H, Takeishi Y, Jalili T, King GL, Walsh RA, Yan C, Abe J : Role of p90 ribosomal S6 kinase (p90RSK) in reactive oxygen species and PKC β -mediated cardiac troponin I phosphorylation. *J Biol Chem* 2005 ; 280 : 24135-24142
- 21) 廣野撰, 福井昭男, 竹石恭知, 久保田功, 有海躬行, 佐藤洋樹 : 山形県急性心筋梗塞・突然死発症登録評価研究事業 平成15年のまとめ. 山形県医師会会報 2005 ; 641 : 18-22

(2) 総 説

- 1) 久保田功 : VALUE Expert Meeting in Tohoku. VALUE試験からの考察 心臓専門医の立場から. *Pharma Medica* 2005 ; 23 : 115-116
- 2) 久保田功, 廣野撰, 竹石恭知 : 第32回内科学の展望 生活習慣病と冠動脈硬化 7. 冠動脈疾患診断法の進歩 : 血液マーカー・心エコー・シンチグラム. *日本内科学会雑誌* 2005 ; 94 : 33-38
- 3) 竹石恭知 : 急性心筋梗塞と心不全における¹²³I-BMIPPの臨床応用. *動態核医学* 2005 ; 22 : 11-14
- 4) 福井昭男 : 退院時のケアとまとめ. *総合循環器ケア* 2005 ; 4 : 49-53
- 5) 二藤部文司, 中西宣文 : 救急患者の主訴と心電図診断 呼吸困難を主訴とする症例の心電図診断 - 心原性か否か ; 肺血栓・塞栓症を見逃さない -. *救急医学* 2005 ; 29 : 267-271
- 6) 久保田功 : 心電図判読の基礎知識. *山形県医師会学術雑誌* 2005 ; 30 : 36-40
- 7) 竹石恭知 : Computed tomography assessment of ischemia and atherosclerosis. *AHA Highlights* 2004 2005 : 188-192

(3) 著 書

- 1) 久保田功, 廣野撰 : レクチュア2 糖尿病専門医に必要な心血管疾患の診断に関する検査 1 生理検査. *糖尿病学の進歩2005* 日本糖尿病学会編, 東京 ; 診断と治療社, 2005 : 45-46
- 2) 野崎直樹, 久保田功 : A 急性心筋梗塞 11. 急性期に冠動脈造影・PCIを施行した例では退院前にどのような検査を行うか? (非侵襲検査を中心に) EBM 循環器疾患の治療 2006-2007 三田村秀雄, 山科章, 川名正敏, 桑島巖編, 東京 ; 中外医学社, 2005 : 69-74
- 3) 佐田誠 : COPDの増悪による入院・入院期間を減らすために. *呼吸器診療のコツと落とし穴* 閉塞性肺疾患・呼吸不全 工藤翔二編, 東京 ; 中山書店, 2005 : 220-221
- 4) 今田恒夫 : 18. エリスロポエチンが効きづらい症例. *逆引きPD事典* 石崎允監修, 政金生人・小山雄太編, 東京 ; 東京医学社, 2005 : 56-57
- 5) 今田恒夫 : IL-1(インターロイキン - 1) ~ IL-10 (インターロイキン - 10). *透析略語解説集* 斎藤明監修,

大阪；医薬ジャーナル社，2005：109-110

(4) その他

- 1) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Elevated serum cystatin C level is a predictor of cardiac events in chronic heart failure patients with normal creatinine level. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 130
- 2) Harada M, Qin Y, Minamino T, Toko H, Matsuura K, Sano M, Sakamoto M, Takano H, Nagai T, Komuro I : G-CSF prevents cardiac remodeling after myocardial infarction by activating Jak/STAT in cardiomyocytes. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 132
- 3) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Risk stratification using a combination of heart-type fatty acid binding protein and brain natriuretic peptide in chronic heart failure patients. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 179
- 4) Arimoto T, Takeishi Y, Shiga R, Niizeki T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Prognostic value of heart-type fatty acid binding protein in heart failure patients with preserved left ventricular systolic function. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 188
- 5) Hirono O, Okuyama H, Fukui A, Takeishi Y, Kubota I : Serum levels of fibrin-monomer reflect the atheromatous plaque rupture in the arch in patients with aortogenic brain embolism. *Circ J* 2005 ; 69 : 219
- 6) Okuyama H, Hirono O, Niizeki T, Koyama Y, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Tsunoda Y, Nozaki N, Tachibana H, Fukui A, Takeishi Y, Kubota I : Serum levels of fibrin-monomer directly reflect the left atrial appendage flow pattern alterations and predict the occurrence of cardioembolic stroke. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 228
- 7) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : H-FABP is associated with cardiac events in the elderly CHF patients. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 232
- 8) Takahashi H, Takeishi Y, Arimoto T, Koyama Y, Akiyama H, Shishido T, Niizeki T, Tsunoda Y, Goto K, Kubota I : Adenovirus-mediated overexpression of diacylglycerol kinase inhibits endothelin- 1 -induced cardiomyocyte hypertrophy. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 250
- 9) Arimoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Shishido T, Tsunoda Y, Niizeki T, Koyama Y, Shiga R, Nakajima O, Nishimaru K, Endoh M, Goto K, Kubota I : Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase prevents angiotensin II-induced cardiac hypertrophy in transgenic mice. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 251
- 10) Sano M, Zou Y, Minamino T, Toko H, Harada M, Hamada H, Asahara T, Komuro I : Critical role of cardiac angiogenesis in regulating cardiac hypertrophy and function. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 332
- 11) Shishido T, Nozaki N, Miyamoto T, Takahashi H, Arimoto T, Takeishi T, Kubota I : Toll-like receptor- 2 in the pathogenesis of cuff-induced vascular injury. *Circ J* 2005 ; 69 : 481
- 12) Ryu R, Hirono O, Okuyama H, Takeishi Y, Kubota I : Carotid arterial stiffness parameter at the non-infarcted side as a useful marker for intra-cranial atherothrombotic infarction. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 509
- 13) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Hyperuricemia is associated with cardiac events in the elderly CHF patients. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 513
- 14) Tachibana H, Okuyama H, Shishido T, Tsunoda Y, Miyashita T, Hirono O, Nozaki N, Fukui A, Takeishi Y, Yamaki M, Kubota I : The increments of A-A interval in common atrial flutter fluctuation relates to paroxysmal atrial fibrillation. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 543
- 15) Koyama Y, Takeishi Y, Takahashi H, Arimoto T, Niizeki T, Shishido T, Tsunoda Y, Kubota I : Azelnidipine inhibits H₂O₂-induced JNK activation in neonatal rat cardiac myocytes. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 599
- 16) Hao Z, Hosoya Y, Kubota I, Yamaki M : Fluctuation of activation sequence is determinant of ventricular

- fibrillation in LQT2. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 609
- 17) Nitobe J, Kyotani S, Oya H, Nakanishi N, Tomoike H : The efficacy of long-term use of bosentan for idiopathic pulmonary arterial hypertension. *Circ J* 2005 ; 69 (Suppl. I): 641
 - 18) Sata M : A novel polymorphism in secretory phospholipase A₂-IID is associated with body weight loss in chronic obstructive pulmonary disease. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar 2005 ; 42
 - 19) Konta T, ZhiMei H, Abiko H, Ishikawa M, Takahashi T, Ikeda A, Ichikawa K, Takasaki S, Kubota I : Prevalence of microalbuminuria in asymptomatic population in Takahata, Japan. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar 2005 : 89
 - 20) Tokairin Y, Sata M, Inoue S, Igarashi A, Wada T, Machiya J, Takabatake N, Shibata Y, Kubota I: Altered innate immune response to pneumococcal infection in mice with experimental emphysema. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar 2005 : 99
 - 21) Igarashi A, Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I : Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with COPD. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar 2005 : 100
 - 22) Sata M : A novel polymorphism in secretory phospholipase A₂- D is associated with body weight loss in chronic obstructive pulmonary disease. Yamagata University Graduate School of Medicine The 21st Century Center of Excellence (COE)Program International Symposium on Multifactorial diseases : Genetic Factors and Pathogenesis 2005 : 8
 - 23) Takeishi Y : Roles of toll-like receptors in heart failure. *J Card Fail* 2005 ; 11 (Suppl): S249
 - 24) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Kubota I : Cystatin C, a novel measure of renal function, is an independent predictor of cardiac events in patients with heart failure. *J Card Fail* 2005;11 (Suppl):S286
 - 25) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Hiroki T, Koyama Y, Kubota I: Diacylglycerol kinase attenuated left ventricular remodeling and improved survival after myocardial infarction. *J Mol Cell Cardiol* 2005 ; 39 : 1025
 - 26) Arimoto T, Takahashi H, Niizeki T, Koyama Y, Takeishi Y : Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase-zeta prevents phenylephrine-induced cardiac hypertrophy in transgenic mice. *Circulation* 2005 ; 112 : II-21
 - 27) Niizeki T, Arimoto T, Koyama Y, Takahashi H, Shishido T, Takeishi Y : Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase- attenuated left ventricular remodeling and improved survival after myocardial infarction. *Circulation* 2005 ; 112 : II-61
 - 28) Abe J, Itoh S, Lerner-Marmarosh N, Ding B, Wang N, Maekawa N, Takeishi Y, Blaxall BC, Yan C : Functional role of p90 ribosomal S 6 kinase (p90RSK)-mediated pro-renin converting enzyme (PRECE) induction : Implication in diabetic (DM) myocardium. *Circulation* 2005 ; 112 : II-274
 - 29) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Kubota I : Heart-type fatty acid-binding protein is more sensitive than troponin T to detect the ongoing myocardial damage in chronic heart failure patients. *Circulation* 2005 ; 112 : II-348
 - 30) Okuyama H, Hirono O, Ling L, Ishino M, Kubota I : Circulating platelet activation contributes to the thrombus formation in left atrial appendage in patients with cardioembolic stroke. *Circulation* 2005 ; 112 : II-460
 - 31) Hirono O, Okuyama H, Ling L, Ishino M : Association between transient hyperglycemia and the atheromatous plaque rupture in the arch in patients with aortogenic brain embolism. *Circulation* 2005 ; 112 : II-606
 - 32) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Kubota I : Cystatin C, a novel measure of renal function, is an independent predictor of cardiac events in heart failure patients with preserved left ventricular systolic function. *Circulation* 2005 ; 112 : II-669
 - 33) Machiya J, Shibata Y, Hirama N, Wada T, Tokairin Y, Igarashi A, Inoue S, Takabatake N, Sata M, Kubota I : Transcription factor MafB regulates COPD-related-gene expression in macrophage cell line.

- Proceedings of the American Thoracic Society 2005 ; 2 : A67
- 34) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Inoue S, Shibata Y, Takeishi Y, Kubota I : Involvement of the pulmonary endothelial cell injury in the pathogenesis of pulmonary fibrosis: Clinical assessment by iodine-123-metaiodobenzylguanidine lung scintigraphy. Proceedings of the American Thoracic Society 2005 ; 2 : A121
- 35) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Shibata Y, Honma T, Takeishi Y, Kubota I : In vivo evidence of endothelial injury in COPD by lung scintigraphic assessment of iodine-123-metaiodobenzylguanidine. Proceedings of the American Thoracic Society 2005 ; 2 : A136
- 36) Tokairin Y, Sata M, Inoue S, Igarashi A, Wada T, Machiya J, Takabatake N, Shibata Y, Kubota I : Altered innate immune response to pneumococcal infection in mice with experimental emphysema. Proceedings of the American Thoracic Society 2005 ; 2 : A287
- 37) Igarashi A, Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I : Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with COPD. Proceedings of the American Thoracic Society 2005 ; 2 : A402
- 38) Wada T, Sata M, Sato J, Igarashi A, Tokairin Y, Machiya J, Hirama N, Inoue S, Takabatake N, Shibata Y, Kubota I : Effects of clarithromycin on invasiveness of human lung adenocarcinoma cells. Proceedings of the American Thoracic Society 2005 ; 2 : A743
- 39) Igarashi A, Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I : Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with COPD. 日本呼吸器学会雑誌 2005 ; 43 (増刊号) : 297
- 40) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Shibata Y, Honma T, Takeishi Y, Kubota I : In vivo evidence of endothelial injury in COPD by lung scintigraphic assessment of iodine-123-metaiodobenzylguanidine. 日本呼吸器学会雑誌 2005 ; 43 (増刊号) : 297
- 41) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Inoue S, Shibata Y, Takeishi Y, Kubota I : Involvement of the pulmonary endothelial injury in the pathogenesis of pulmonary fibrosis assessed by iodine-123-MIBG lung scintigraphy. 日本呼吸器学会雑誌 2005 ; 43 (増刊号) : 298
- 42) Konta T, Hao Z, Abiko H, Ikeda A, Ichikawa K, Takasaki S, Kubota I : Prevalence of microalbuminuria in asymptomatic population in Takahata, Japan. J Am Soc Nephrol 2005 ; 16 : 324A
- 43) Takasaki S, Konta T, Abiko H, Ishikawa M, Takahashi T, Kubota I : Differential expressions of toll-like receptor-2 and -4 in progressive renal injury induced by subtotal nephrectomy. J Am Soc Nephrol 2005 ; 16 : 430A
- 44) Shishido T, Nozaki N, Takahashi H, Arimoto T, Takeishi Y, Kubota I : Toll-like receptor-2 modulates vascular remodeling after vascular injury. Coronary Club 第24回研究会プログラム 2005 : 3
- 45) Arimoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Shishido T, Niizeki T, Koyama Y, Goto K, Kubota I : Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase ζ prevents Gq α protein-coupled receptor agonist-induced cardiac hypertrophy in transgenic mice. Coronary Club 第25回研究会プログラム 2005 : 3
- 46) 竹石恭知 : AHA報告記. 日本心臓核医学会ニュースレター 2005 ; 6 : 52-53
- 47) 久保田功 : 糖尿病専門医に必要な心血管疾患の診断に関する検査 生理検査. 第39回糖尿病学の進歩プログラム・講演要旨 2005 : 113
- 48) 角田裕一, 宍戸哲郎, 野崎直樹, 宮下武彦, 廣野撰, 橘英忠, 福井昭男, 竹石恭知, 久保田功, 齋藤公男 : 77歳まで存命した修正大血管転位症の剖検所見. 第175回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 : 28
- 49) 郝志梅, 細谷幸雄, 八巻通安, 久保田功 : LQT 2型QT延長症候群における心室細動発生と興奮伝播及び再分極特性の変動. 第175回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 : 29
- 50) 井上純人, 五十嵐朗, 玉瀧智昭, 東海林佳兼, 町屋純一, 和田敏弘, 高島典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功 : 自宅環境が原因と考えられた夏型過敏性肺臓炎の1例. 第175回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 : 39
- 51) 池田亜美, 鈴木智人, 中野早紀子, 市川一誠, 安孫子広, 今田恒夫, 久保田功 : 白血球増多症を伴ったANCA陰性半月体形成性糸球体腎炎の1例. 第175回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 : 42
- 52) 竹石恭知 : テーマ2. 虚血心におけるMIBI-WO 虚血性心疾患におけるMIBI-WOについて. カーディオラ

- イトWO研究会記録集 2005 : 9-10
- 53) 有本貴範, 竹石恭知, 奥山英伸, 新関武史, 福井昭男, 橘英忠, 野崎直樹, 廣野撰, 角田裕一, 宮下武彦, 宍戸哲郎, 久保田功: 慢性心不全患者における心臓由来脂肪酸結合蛋白の測定と¹²³I-MIBGシンチグラムの比較. 日本心臓核医学会ニュースレター 2005 ; 7 : 34
- 54) 竹石恭知: ジアシルグリセロールキナーゼによるGq蛋白共役型受容体シグナルの制御. 13th William Ganz Symposium Program講演要旨 2005 : 7
- 55) 嘉山孝正, 久保田功, 加藤丈夫, 細矢貴亮, 近藤礼: 脳梗塞診療の現状と展望. 日経メディカル4月号山形版 2005 : 1-4
- 56) 安孫子広, 池田亜美, 市川一誠, 今田恒夫, 久保田功: 当院における膠原病関連疾患の腎生検組織の検討. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第14回国際リウマチシンポジウムプログラム・収録集 2005 : 252
- 57) 劉凌, 廣野撰, 奥山英伸, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 角田裕一, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功: アテローム血栓性脳梗塞における血漿フィブリンモノマーの測定意義. 第176回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 ; 17 : 29
- 58) 石川瑞恵, 池田亜美, 市川一誠, 安孫子広, 高橋俊之, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功, 井関憲: 中毒症状が遷延した有機リン中毒の1例. 第176回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 ; 17 : 31
- 59) 福崎幸治, 石川瑞恵, 井上純人, 五十嵐朗, 高畠典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功, 藤井俊司: 空洞性病変を形成し呼吸不全を合併した肺非定型抗酸菌症の1例. 第176回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 ; 17 : 36
- 60) 竹石恭知, 久保田功: 心筋細胞内脂質代謝とGq蛋白共役型受容体シグナルの制御. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特発性心筋症に関する調査研究」第1回総会プログラム 2005
- 61) 廣野撰, 奥山英伸, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 角田裕一, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功: 急性心筋梗塞に対する冠動脈内血栓吸引療法の臨床的有用性と短期予後に及ぼす影響. 第25回心筋梗塞研究会抄録 2005 : 33
- 62) 阿部富美子, 鈴木幸子, 川崎美穂, 軽部あけみ, 熊谷美恵, 川合由美子, 廣野撰, 福井昭男, 久保田功: 心臓カテーテル検査クリニカルパスの外来予約時より導入を試みて. 第11回日本心臓リハビリテーション学会抄録集 2005 : 118
- 63) 永野達也, 井関憲, 栗原正人, 土田浩之, 橘英忠, 久保田功, 川前金幸: 意識消失で来院したBrugada症候群の1例. 日本臨床救急医学会雑誌(別冊) 2005 ; 8 : 9-12
- 64) 有本貴範: 心臓特異的ジアシルグリセロール 過剰発現マウスにおいてGqa蛋白共役型受容体(GPCR)アゴニストによる心肥大は抑制される. 第8回最先端循環器フォーラム 2005 : 13
- 65) 岸宏幸, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 町屋純一, 和田敏弘, 阿部修一, 高畠典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功: 原発性肺癌との鑑別に苦慮した肺放射菌症の1例. 第177回日本内科学会東北地方会抄録集 2005 ; 17 : 23
- 66) 平間紀行, 寺下京子, 藤井俊司, 和田敏弘, 町屋純一, 阿部修一, 佐田誠, 久保田功: 肺結核後遺症による肺高血圧に対し, 非侵襲的陽圧換気療法が長期に奏功した一例. 第81回日本呼吸器学会東北地方会・第111回日本結核病学会東北地方会講演プログラム・抄録集 2005 : 21
- 67) 福崎幸治, 岸宏幸, 五十嵐朗, 町屋純一, 和田敏弘, 井上純人, 阿部修一, 高畠典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功: 前縦隔腫瘍との鑑別が困難であった原発性悪性心臓腫瘍の一例. 第81回日本呼吸器学会東北地方会・第111回日本結核病学会東北地方会講演プログラム・抄録集 2005 : 21
- 68) 新関武史, 竹石恭知, 有本貴範, 廣野撰, 久保田功: 高齢者心不全症例における高尿酸血症と心血管イベントについて. J Cardiol (第53回日本心臓病学会学術集会抄録集) 2005 ; 46 (Suppl. I) : 448
- 69) 小山容: 当院におけるpreserved systolic function心不全患者について. J Cardiol (第53回日本心臓病学会学術集会抄録集) 2005 ; 46 (Suppl. I) : 530
- 70) 山内啓子, 武田博明, 小林謙太郎, 渡邊慶太郎, 町田穰, 鈴木博貴: 血球貪食像を呈したMesalazineによる薬剤性胸膜炎の1例. 日本呼吸器学会雑誌 2005 ; 43 : 518-522
- 71) 竹石恭知, 久保田功: ジアシルグリセロールキナーゼは心筋梗塞後リモデリングを抑制する. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特発性心筋症に関する調査研究」2005年度第2回報告書 2005
- 72) 久保田功: 脳卒中の予防と心疾患. 「社」日本脳卒中協会第8回脳卒中市民シンポジウム講演録 2005 : 7-9
- 73) 町屋純一, 柴田陽光, 平間紀行, 和田敏弘, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 井上純人, 高畠典明, 佐田誠, 久保田

- 功：転写因子MafBによるCOPD関連遺伝子の発現調節．日本呼吸器学会雑誌 2005；43（増刊号）：256
- 74）和田敏弘，佐田誠，佐藤潤，安達咲智，高橋淑，五十嵐朗，東海林佳兼，町屋純一，井上純人，高嶋典明，柴田陽光，久保田功：肺腺癌に対するクラリスロマイシンの抗腫瘍効果に関する検討．日本呼吸器学会雑誌 2005；43（増刊号）：278
- 75）町屋純一，柴田陽光，平間紀行，五十嵐朗，東海林佳兼，和田敏弘，井上純人，高嶋典明，佐田誠，久保田功：喫煙曝露マウスにおける転写因子MafB発現の意義．第25回RMCB研究会抄録集 2005：22
- 76）竹石恭知，有本貴範，新関武史，廣野撰，久保田功：心不全症例における心臓由来脂肪酸結合蛋白質測定の有用性．日本内科学会雑誌 2005；94（臨時増刊号）：223
- 77）今田恒夫，安孫子広，池田亜美，市川一誠，久保田功：腎疾患患者における随時尿からの一日塩分蛋白摂取量の推定法の有用性．日本内科学会雑誌 2005；94（臨時増刊号）：244
- 78）高嶋典明，井上純人，齋藤弘，結城秀樹，柴田陽光，佐田誠，久保田功：慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者における細胞性免疫障害と易感染性についての検討．日本内科学会雑誌 2005；94（臨時増刊号）：249
- 79）今田恒夫，市川一誠，池田亜美，安孫子広，久保田功：5 / 6 腎摘による進行性腎不全モデルにおけるtoll-like receptor-2,4の発現について．日本腎臓学会誌 2005；47：362
- 80）安孫子広，今田恒夫，池田亜美，市川一誠，久保田功：腎疾患患者における随時尿からの一日塩分・カリウム・蛋白摂取量の推定法の有用性．日本腎臓学会誌 2005；47：352

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Arimoto T, Takahashi H, Niizeki T, Koyama Y, Takeishi Y: Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase-zeta prevents phenylephrine-induced cardiac hypertrophy in transgenic mice. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 2) Niizeki T, Arimoto T, Koyama Y, Takahashi H, Shishido T, Takeishi Y: Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase- attenuated left ventricular remodeling and improved survival after myocardial infarction. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 3) Abe J, Itoh S, Lerner-Marmarosh N, Ding B, Wang N, Maekawa N, Takeishi Y, Blaxall BC, Yan C: Functional role of p90 ribosomal S6 kinase (p90RSK)-mediated pro-renin converting enzyme (PRECE) induction: Implication in diabetic (DM) myocardium. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 4) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Kubota I: Heart-type fatty acid-binding protein is more sensitive than troponin T to detect the ongoing myocardial damage in chronic heart failure patients. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 5) Okuyama H, Hirano O, Ling L, Ishino M, Kubota I: Circulating platelet activation contributes to the thrombus formation in left atrial appendage in patients with cardioembolic stroke. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 6) Hirano O, Okuyama H, Ling L, Ishino M: Association between transient hyperglycemia and the atheromatous plaque rupture in the arch in patients with aortogenic brain embolism. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 7) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Kubota I: Cystatin C, a novel measure of renal function, is an independent predictor of cardiac events in heart failure patients with preserved left ventricular systolic function. American Heart Association Scientific Sessions 2005 (78th Scientific Sessions of Heart Association), Dallas; November 2005
- 8) Machiya J, Shibata Y, Hirano N, Wada T, Tokairin Y, Igarashi A, Inoue S, Takabatake N, Sata M, Kubota I: Transcription factor MafB regulates COPD-related-gene expression in macrophage cell line. American Thoracic Society 2005 International Conference, San Diego; May 2005
- 9) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Inoue S, Shibata Y, Takeishi Y, Kubota I: Involvement of the

pulmonary endothelial cell injury in the pathogenesis of pulmonary fibrosis: Clinical assessment by iodine-123-metaiodobenzylguanidine lung scintigraphy. American Thoracic Society 2005 International Conference, San Diego ; May 2005

- 10) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Shibata Y, Honma T, Takeishi Y, Kubota I : In vivo evidence of endothelial injury in COPD by lung scintigraphic assessment of iodine-123-metaiodobenzylguanidine. American Thoracic Society 2005 International Conference, San Diego ; May 2005
- 11) Tokairin Y, Sata M, Inoue S, Igarashi A, Wada T, Machiya J, Takabatake N, Shibata Y, Kubota I : Altered innate immune response to pneumococcal infection in mice with experimental emphysema. American Thoracic Society 2005 International Conference, San Diego ; May 2005
- 12) Igarashi A, Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I : Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with COPD. American Thoracic Society 2005 International Conference, San Diego ; May 2005
- 13) Wada T, Sata M, Sato J, Igarashi A, Tokairin Y, Machiya J, Hiramata N, Inoue S, Takabatake N, Shibata Y, Kubota I : Effects of clarithromycin on invasiveness of human lung adenocarcinoma cells. American Thoracic Society 2005 International Conference, San Diego ; May 2005
- 14) Takasaki S, Konta T, Abiko H, Ishikawa M, Takahashi T, Kubota I. Differential expressions of toll-like receptor-2 and -4 in progressive renal injury induced by subtotal nephrectomy. The 38th Annual Renal Week Meeting of American Society of Nephrology, Philadelphia ; November 2005
- 15) Konta T, Hao Z, Abiko H, Ishikawa M, Takahashi T, Ikeda A, Ichikawa K, Takasaki S, Kubota I. Prevalence of microalbuminuria in asymptomatic population in Takahata, Japan. The 38th Annual Renal Week Meeting of American Society of Nephrology, Philadelphia ; November 2005

(2) 国内の学会

- 1) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Elevated serum cystatin C level is a predictor of cardiac events in chronic heart failure patients with normal creatinine level. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 2) Harada M, Qin Y, Minamino T, Toko H, Matsuura K, Sano M, Sakamoto M, Takano H, Nagai T, Komuro I : G-CSF prevents cardiac remodeling after myocardial infarction by activating Jak/STAT in cardiomyocytes. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 3) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Risk stratification using a combination of heart-type fatty acid binding protein and brain natriuretic peptide in chronic heart failure patients. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 4) Arimoto T, Takeishi Y, Shiga R, Niizeki T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Prognostic value of heart-type fatty acid binding protein in heart failure patients with preserved left ventricular systolic function. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 5) Hirono O, Okuyama H, Fukui A, Takeishi Y, Kubota I : Serum levels of fibrin-monomer reflect the atheromatous plaque rupture in the arch in patients with aortogenic brain embolism. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 6) Okuyama H, Hirono O, Niizeki T, Koyama Y, Arimoto T, Takahashi H, Shishido T, Miyashita T, Tsunoda Y, Nozaki N, Tachibana H, Fukui A, Takeishi Y, Kubota I : Serum levels of fibrin-monomer directly reflect the left atrial appendage flow pattern alterations and predict the occurrence of cardioembolic stroke. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 7) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : H-FABP is associated with cardiac events in the elderly CHF patients. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005

- 8) Takahashi H, Takeishi Y, Arimoto T, Koyama Y, Akiyama H, Shishido T, Niizeki T, Tsunoda Y, Goto K, Kubota I : Adenovirus-mediated overexpression of diacylglycerol kinase inhibits endothelin- 1 -induced cardiomyocyte hypertrophy. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 9) Arimoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Shishido T, Tsunoda Y, Niizeki T, Koyama Y, Shiga R, Nakajima O, Nishimaru K, Endoh M, Goto K, Kubota I : Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase prevents angiotensin II-induced cardiac hypertrophy in transgenic mice. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 10) Sano M, Zou Y, Minamino T, Toko H, Harada M, Hamada H, Asahara T, Komuro I : Critical role of cardiac angiogenesis in regulating cardiac hypertrophy and function. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 11) Shishido T, Nozaki N, Miyamoto T, Takahashi H, Arimoto T, Takeishi T, Kubota I : Toll-like receptor- 2 in the pathogenesis of cuff-induced vascular injury. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 12) Ryu R, Hirono O, Okuyama H, Takeishi Y, Kubota I : Carotid arterial stiffness parameter at the non-infarcted side as a useful marker for intra-cranial atherothrombotic infarction. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 13) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Okuyama H, Fukui A, Tachibana H, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Miyashita T, Shishido T, Kubota I : Hyperuricemia is associated with cardiac events in the elderly CHF patients. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 14) Tachibana H, Okuyama H, Shishido T, Tsunoda Y, Miyashita T, Hirono O, Nozaki N, Fukui A, Takeishi Y, Yamaki M, Kubota I : The increments of A-A interval in common atrial flutter fluctuation relates to paroxysmal atrial fibrillation. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 15) Koyama Y, Takeishi Y, Takahashi H, Arimoto T, Niizeki T, Shishido T, Tsunoda Y, Kubota I : Azelnidipine inhibits H₂O₂-induced JNK activation in neonatal rat cardiac myocytes. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 16) Hao Z, Hosoya Y, Kubota I, Yamaki M : Fluctuation of activation sequence is determinant of ventricular fibrillation in LQT2. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 17) Nitobe J, Kyotani S, Oya H, Nakanishi N, Tomoike H : The efficacy of long-term use of bosentan for idiopathic pulmonary arterial hypertension. The 69th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Yokohama ; March 2005
- 18) Igarashi A, Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I : Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with COPD. 第45回日本呼吸器学会学術講演会 , 千葉 (幕張) ; 2005年 4 月
- 19) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Shibata Y, Honma T, Takeishi Y, Kubota I : In vivo evidence of endothelial injury in COPD by lung scintigraphic assessment of iodine-123-metaiodobenzylguanidine. 第45回日本呼吸器学会学術講演会 , 千葉 (幕張) ; 2005年 4 月
- 20) Takabatake N, Arao T, Sata M, Abe S, Inoue S, Shibata Y, Takeishi Y, Kubota I : Involvement of the pulmonary endothelial injury in the pathogenesis of pulmonary fibrosis assessed by iodine-123-MIBG lung scintigraphy. 第45回日本呼吸器学会学術講演会 , 千葉 (幕張) ; 2005年 4 月
- 21) Arimoto T, Takeishi Y, Niizeki T, Kubota I : Cystatin C, a novel measure of renal function, is an independent predictor of cardiac events in patients with heart failure. 第 9 回日本心不全学会学術集会 , 下関 ; 2005年10月
- 22) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Takahashi H, Koyama Y, Kubota I : Diacylglycerol kinase attenuated left ventricular remodeling and improved survival after myocardial infarction. The 22nd Annual Meeting of the Japanese Section of the International Society of Heart Research, Osaka ; December 2005

- 23) 久保田功：糖尿病専門医に必要な心血管疾患の診断に関する検査 生理検査。第39回糖尿病学の進歩，仙台；2005年2月
- 24) 有本貴範，竹石恭知，奥山英伸，新関武史，福井昭男，橘英忠，野崎直樹，廣野撰，角田裕一，宮下武彦，宍戸哲郎，久保田功：慢性心不全患者における心臓由来脂肪酸結合蛋白の測定と¹²³I-MIBGシンチグラムの比較。第13回日本心臓核医学会総会・学術大会，横浜；2005年3月
- 25) 町屋純一，柴田陽光，平間紀行，和田敏弘，五十嵐朗，東海林佳兼，井上純人，高嶋典明，佐田誠，久保田功：転写因子MafBによるCOPD関連遺伝子の発現調節。第45回日本呼吸器学会学術講演会，千葉（幕張）；2005年4月
- 26) 和田敏弘，佐田誠，佐藤潤，安達咲智，高橋淑，五十嵐朗，東海林佳兼，町屋純一，井上純人，高嶋典明，柴田陽光，久保田功：肺腺癌に対するクラリスロマイシンの抗腫瘍効果に関する検討。第45回日本呼吸器学会学術講演会，千葉（幕張）；2005年4月
- 27) 竹石恭知，有本貴範，新関武史，廣野撰，久保田功：心不全症例における心臓由来脂肪酸結合蛋白質測定の有用性。第102回日本内科学会総会，大阪；2005年4月
- 28) 今田恒夫，安孫子広，池田亜美，市川一誠，久保田功：腎疾患患者における随時尿からの一日塩分蛋白摂取量の推定法の有用性。第102回日本内科学会総会，大阪；2005年4月
- 29) 高嶋典明，井上純人，齋藤弘，結城秀樹，柴田陽光，佐田誠，久保田功：慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者における細胞性免疫障害と易感染性についての検討。第102回日本内科学会総会，大阪；2005年4月
- 30) 安孫子広，池田亜美，市川一誠，今田恒夫，久保田功：当院における膠原病関連疾患の腎生検組織の検討。第49回日本リウマチ学会総会学術集会・第14回国際リウマチシンポジウム，横浜；2005年4月
- 31) 今田恒夫，市川一誠，池田亜美，安孫子広，久保田功：5/6腎摘による進行性腎不全モデルにおけるToll-like receptor-2, -4の発現について。第48回日本腎臓学会学術総会，横浜；2005年6月
- 32) 安孫子広，今田恒夫，池田亜美，市川一誠，久保田功：腎疾患患者における随時尿からの一日塩分・カリウム・蛋白摂取量の推定法の有用性。第48回日本腎臓学会学術総会，横浜；2005年6月
- 33) 阿部富美子，鈴木幸子，川崎美穂，軽部あけみ，熊谷美恵，川合由美子，廣野撰，福井昭男，久保田功：心臓カテテル検査クリニカルパスの外来予約時より導入を試みて。第11回日本心臓リハビリテーション学会，大阪；2005年7月
- 34) 新関武史，竹石恭知，有本貴範，廣野撰，久保田功：高齢者心不全症例における高尿酸血症と心血管イベントについて。第53回日本心臓病学会学術集会，大阪；2005年9月
- 35) 小山容：当院におけるpreserved systolic function心不全患者について。第53回日本心臓病学会学術集会，大阪；2005年9月

(3) 国内地方会

- 1) 角田裕一，宍戸哲郎，野崎直樹，宮下武彦，廣野撰，橘英忠，福井昭男，竹石恭知，久保田功，齋藤公男：77歳まで存命した修正大血管転位症の剖検所見。第175回日本内科学会東北地方会，仙台；2005年2月
- 2) 郝志梅，細谷幸雄，八巻通安，久保田功：LQT 2型QT延長症候群における心室細動発生と興奮伝播及び再分極特性の変動。第175回日本内科学会東北地方会，仙台；2005年2月
- 3) 井上純人，五十嵐朗，玉瀧智昭，東海林佳兼，町屋純一，和田敏弘，高嶋典明，柴田陽光，佐田誠，久保田功：自宅環境が原因と考えられた夏型過敏性肺臓炎の1例。第175回日本内科学会東北地方会，仙台；2005年2月
- 4) 池田亜美，鈴木智人，中野早紀子，市川一誠，安孫子広，今田恒夫，久保田功：白血球増多症を伴ったANCA陰性半月体形成性糸球体腎炎の1例。第175回日本内科学会東北地方会，仙台；2005年2月
- 5) 有本貴範，竹石恭知，高橋大，宍戸哲郎，新関武史，小山容，志賀亮子，久保田功，中島修，西丸和秀，遠藤政夫，後藤薫：心臓特異的ジアシルグリセロールと過剰発現マウスにおいてアンジオテンシンIIによる心肥大は抑制される。第139回日本循環器学会東北地方会，仙台；2005年2月
- 6) 高橋大，竹石恭知，有本貴範，宍戸哲郎，小山容，新関武史，久保田功，後藤薫：Adenovirusによるdiacylglycerol kinase ϵ の過剰発現はendothelin-1による心筋細胞肥大を抑制する。第139回日本循環器学会東北地方会，仙台；2005年2月
- 7) 小山容，竹石恭知，高橋大，有本貴範，新関武史，宍戸哲郎，久保田功：培養心筋細胞にてazelnidipineはH₂O₂によるJNK活性化を抑制した。第139回日本循環器学会東北地方会，仙台；2005年2月

- 8) 新関武史, 竹石恭知, 有本貴範, 奥山英伸, 福井昭男, 橋英忠, 野崎直樹, 廣野撰, 宮下武彦, 角田裕一, 宍戸哲郎, 高橋大, 小山容, 久保田功: ヒト心臓型脂肪酸結合蛋白(H-FABP)と脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)の併用による心不全患者の層別化. 第139回日本循環器学会東北地方会, 仙台; 2005年2月
- 9) 奥山英伸, 廣野撰, 劉凌, 角田裕一, 二藤部丈司, 渡邊哲, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功: 心原性脳塞栓症再発予測および左心耳血流動態評価における血漿フィブリンモノマーの有用性. 第140回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2005年6月
- 10) 角田裕一, 野崎直樹, 奥山英伸, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 廣野撰, 橋英忠, 福井昭男, 竹石恭知, 久保田功: PCI後に2度の冠閉塞をきたした一例. 第140回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2005年6月
- 11) 宮下武彦, 奥山英伸, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 角田裕一, 二藤部丈司, 渡邊哲, 廣野撰, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功, 福井昭男: 基礎疾患のない若年男性に自然冠解離によるAMIを発症し, 亜急性冠閉塞と両側肺炎を合併した一例. 第140回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2005年6月
- 12) 野崎直樹, 角田裕一, 宮下武彦, 鈴木聡, 竹石恭知, 久保田功, 福井昭男: 心房中隔欠損症の術後に右室起源の心室頻拍が多発し治療に難渋した1例. 第140回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2005年6月
- 13) 劉凌, 廣野撰, 奥山英伸, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 角田裕一, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功: アテローム血栓性脳梗塞における血漿フィブリンモノマーの測定意義. 第176回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2005年6月
- 14) 石川瑞恵, 池田亜美, 市川一誠, 安孫子広, 高橋俊之, 高崎聡, 今田恒夫, 久保田功, 井関憲: 中毒症状が遷延した有機リン中毒の1例. 第176回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2005年6月
- 15) 福崎幸治, 石川瑞恵, 井上純人, 五十嵐朗, 高島典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功, 藤井俊司: 空洞性病変を形成し呼吸不全を合併した肺非定型抗酸菌症の1例. 第176回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2005年6月
- 16) 岸宏幸, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 町屋純一, 和田敏弘, 阿部修一, 高島典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功: 原発性肺癌との鑑別に苦慮した肺放射菌症の1例. 第177回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2005年9月
- 17) 平間紀行, 寺下京子, 藤井俊司, 和田敏弘, 町屋純一, 阿部修一, 佐田誠, 久保田功: 肺結核後遺症による肺高血圧に対し, 非侵襲的陽圧換気療法が長期に奏功した一例. 第81回日本呼吸器学会東北地方会・第111回日本結核病学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 18) 福崎幸治, 岸宏幸, 五十嵐朗, 町屋純一, 和田敏弘, 井上純人, 阿部修一, 高島典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功: 前縦隔腫瘍との鑑別が困難であった原発性悪性心臓腫瘍の一例. 第81回日本呼吸器学会東北地方会・第111回日本結核病学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月

(4) 研究会

- 1) Shishido T, Nozaki N, Takeishi Y, Arimoto T, Takeishi Y, Kubota T: Toll-like receptor- 2 modulates vascular remodeling after vascular injury. Coronary Club 第24回研究会, 仙台; 2005年1月
- 2) Arimoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Shishido T, Niizeki T, Koyama Y, Goto K, Kubota I: Cardiac-specific overexpression of diacylglycerol kinase prevents Gq protein-coupled receptor agonist-induced cardiac hypertrophy in transgenic mice. Coronary Club 第25回研究会, 山形; 2005年7月
- 3) Sata M: A novel polymorphism in secretory phospholipase A2-IIID is associated with body weight loss in chronic obstructive pulmonary disease. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar, Yamagata: August 2005
- 4) Konta T, ZhiMei H, Abiko H, Ishikawa M, Takahashi T, Ikeda A, Ichikawa K, Takasaki S, Kubota I: Prevalence of microalbuminuria in asymptomatic population in Takahata, Japan. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar, Yamagata: August 2005
- 5) Tokairin Y, Sata M, Inoue S, Igarashi A, Wada T, Machiya J, Takabatake N, Shibata Y, Kubota I: Altered innate immune response to pneumococcal infection in mice with experimental emphysema. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar, Yamagata: August 2005
- 6) Igarashi A, Takabatake N, Sata M, Abe S, Inoue S, Saito H, Yuki H, Shibata Y, Kubota I: Impaired systemic cell-mediated immunity and increased susceptibility to acute respiratory tract infections in patients with copd. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar, Yamagata: August 2005

- 7) Sata M: A novel polymorphism in secretory phospholipase A₂-D is associated with body weight loss in chronic obstructive pulmonary disease. Yamagata University Graduate School of Medicine The 21st Century Center of Excellence (COE) Program International Symposium on Multifactorial diseases: Genetic Factors and Pathogenesis, Yamagata; October 2005
- 8) 廣野撰, 他: 造影超音波法を用いた左心耳内周期性輝度変動量解析の有用性 - 血中凝固・線溶マーカーとの対比を介した新しい左心耳機能解析法の確立 - . 第12回山形止血・血栓セミナー, 山形; 2005年1月
- 9) 劉凌, 廣野撰, 奥山英伸, 竹石恭知, 久保田功: 頭蓋内アテローム血栓性脳梗塞の急性期鑑別診断における非梗塞側 stiffness parameter の有用性. 第38回山形心臓超音波研究会, 山形; 2005年2月
- 10) 宮本卓也, 竹石恭知, 久保田功, 弘瀬雅孝: 容量負荷による心房リモデリングと不整脈易誘発性: Connexin 蛋白発現の関与. 第45回東北不整脈研究会, 仙台; 2005年3月
- 11) 二藤部文司, 石野光則, 奥山英伸, 有本貴範, 高橋大, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 角田裕一, 渡邊哲, 廣野撰, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功: 当施設におけるアブレーションの経験. 第21回山形不整脈研究会, 山形; 2005年7月
- 12) 廣野撰, 奥山英伸, 宍戸哲郎, 宮下武彦, 角田裕一, 野崎直樹, 竹石恭知, 久保田功: 急性心筋梗塞に対する冠動脈内血栓吸引療法の臨床的有用性と短期予後に及ぼす影響. 第25回心筋梗塞研究会, 東京; 2005年7月
- 13) 廣野撰, 奥山英伸, 劉凌, 竹石恭知, 久保田功, 永井俊一: 重症頸動脈病変に対する抗高脂血症薬の退縮効果. 山形脳卒中と頸動脈病変セミナー, 山形; 2005年7月
- 14) 有本貴範: 心臓特異的ジアシルグリセロール 過剰発現マウスにおいてGq 蛋白共役型受容体 (GPCR) アゴニストによる心肥大は抑制される. 第8回最先端循環器フォーラム, 東京; 2005年8月
- 15) 町屋純一, 柴田陽光, 平間紀行, 五十嵐朗, 東海林佳兼, 和田敏弘, 井上純人, 高島典明, 佐田誠, 久保田功: 喫煙曝露マウスにおける転写因子MafB発現の意義. 第25回RMCB研究会, 東京; 2005年7月
- 16) 和田敏弘, 佐田誠, 山内啓子, 東海林佳兼, 五十嵐朗, 町屋純一, 阿部修一, 高島典明, 柴田陽光, 久保田功: 肺腺癌に対するクラリスロマイシンの抗腫瘍効果に関する検討. 第4回南東北マクロライド研究会, 仙台; 2005年10月
- 17) 和田敏弘, 福元剛, 福崎幸治, 町屋純一, 阿部修一, 高島典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功, 大泉弘幸, 加藤哲子: VATS肺生検を要した若年性びまん性肺疾患の一例. 第7回東北びまん性肺疾患研究会, 仙台; 2005年9月
- (5) そ の 他
- 1) 竹石恭知: 心不全治療における心臓核医学の役割. 第7回和歌山心臓核医学カンファレンス, 和歌山; 2005年1月
- 2) 竹石恭知: Diacylglycerol kinase の心筋細胞における役割. 循環器学研究振興財団平成16年度研究成果発表会, 東京; 2005年1月
- 3) 久保田功: 糖尿病専門医に必要な心血管疾患の診断に関する検査(1)生理検査. 第39回糖尿病学の進歩, 仙台; 2005年2月
- 4) 今田恒夫: 尿所見に基づいた高血圧を伴う腎疾患患者の診断と治療. 三都市医師会合同学術講演会, 天童; 2005年3月
- 5) 佐田誠: 肺がん. 厚生労働科学研究・がん医療均てん講演会(公開市民講演会)「がんの最新治療とQuality of Life」, 山形; 2005年3月
- 6) 久保田功: 心電図判読の基礎知識. 山形県医師会循環器検診研修会, 鶴岡; 2005年3月
- 7) 久保田功: 心電図判読の基礎知識. 山形県医師会循環器検診研修会, 山形; 2005年3月
- 8) 竹石恭知: ジアシルグリセロールキナーゼによるGq蛋白共役型受容体シグナルの制御. 13th William Ganz Symposium, 秋田; 2005年4月
- 9) 久保田功: 脳卒中の予防と心疾患. [社]日本脳卒中協会第8回脳卒中市民シンポジウム, 山形; 2005年5月
- 10) 佐田誠: COPDと易感染症. 日本化学療法学会認定学術集会, 仙台; 2005年5月
- 11) 竹石恭知: 障害心筋における^{99m}Tc-MIBI washout. カーディオライト心筋動態研究会, 札幌; 2005年6月
- 12) 竹石恭知, 久保田功: 心筋細胞内脂質代謝とGq蛋白共役型受容体シグナルの制御. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特発性心筋症に関する調査研究」第1回総会, 大阪; 2005年7月
- 13) Takeishi Y: Roles of toll-like receptors in heart failure. 第9回日本心不全学会学術集会シンポジウム, 下

- 関；2005年10月
- 14) 久保田功：わが国における急性心筋梗塞と脳卒中．上市市医師会学術講演会，上山；2005年10月
 - 15) 今田恒夫：全身性エリテマトーデスについての最新情報．在宅難病患者等医療福祉相談会，三川町；2005年10月
 - 16) 今田恒夫：高血圧のガイドラインについて．平成17年度日本臨床栄養研究会，やまがた；2005年10月
 - 17) 久保田功：わが国における急性心筋梗塞と脳卒中．第12回久留米循環器セミナー，久留米；2005年11月
 - 18) 佐田誠：職場における肺がんの予防と診断．平成17年度山形県医師会産業医研修会，鶴岡；2005年11月
 - 19) 佐田誠：職場における肺がんの予防と診断．平成17年度山形県医師会産業医研修会，天童；2005年11月
 - 20) 佐田誠：慢性閉塞性肺疾患（COPD）とは？～その多彩な病態像に迫る～．第124回新庄・最上臨床懇話会，新庄；2005年11月
 - 21) Takeishi Y：パネルディスカッション．The 22nd Annual Meeting of the Japanese Section of the International Society of Heart Research, Osaka；December 2005
 - 22) 竹石恭知，久保田功：ジアシルグリセロールキナーゼは心筋梗塞後リモデリングを抑制する．厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特発性心筋症に関する調査研究」2005年度第2回総会，大阪；2005年12月

3. その他

- 1) 第38回山形心臓超音波研究会，山形；2005年2月
- 2) 第10回山形心臓核医学懇話会，山形；2005年3月
- 3) 第4回COPD研究会，山形；2005年5月
- 4) 第16回山形吸入療法研究会，山形，2005年7月
- 5) 第26回樹氷循環器カンファレンス，山形，2005年7月
- 6) 第39回山形心臓超音波研究会，山形，2005年8月
- 7) 第6回文翔館呼吸器カンファレンス，山形，2005年9月
- 8) 第15回山形循環器カンファレンス，山形，2005年10月
- 9) 第2回山形高齢者肺炎研究会，山形，2005年11月
- 10) 第11回呼吸器感染症研究会，山形，2005年11月

消化器病態制御内科学分野（内科学第二）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Adachi T, Togashi H, Suzuki A, Kasai S, Ito J, Sugahara K, Kawata S : NAD(P)H oxidase plays a crucial role in PDGF-induced proliferation of hepatic stellate cells. *Hepatology* 2005 ; 41 : 1272-1281
- 2) Haga H, Saito T, Okumoto K, Sugahara K, Takeda T, Saito K, Togashi H, Kawata S : Successful percutaneous radiofrequency ablation of adrenal metastasis from hepatocellular carcinoma. *J Gastroenterol* 2005 ; 40 : 1075-1076
- 3) Honda T, Tamura G, Endoh Y, Nishizuka S, Kawata S, Motoyama T. Expression of tumor suppressor and tumor-related proteins in differentiated carcinoma, undifferentiated carcinoma with tubular component and pure undifferentiated carcinoma of the stomach. *Jpn J Clin Oncol* 2005 ; 35 : 580-586
- 4) Imanaka K, Tamura S, Ito N, Kiso S, Imai Y, Naka T, Kishimoto T, Kawata S, Shinomura Y : The Kansai Viral Hepatitis Research Group. Enhanced expression of suppressor of cytokine signaling- 1 in the liver of chronic hepatitis C : possible involvement in resistance to interferon therapy. *J Viral Hepat* 2005 ; 12 : 130-138
- 5) Ito JI, Saito T : Editorial. Expression of angiotensin II type I receptor in human cirrhotic livers : Its relation to fibrosis and portal hypertension. *Hepatol Res* 2005 ; 32 : 73-74
- 6) Kanazawa M, Yoshihara K, Abe H, Iwadate M, Watanabe K, Suzuki S, Endoh Y, Takita K, Sekikawa K, Takenoshita S, Ogata T, Ohto H : Effects of PSK on T and dendritic cells differentiation in gastric or colorectal cancer patients. *Anticancer Reserch* 2005 ; 25 : 443-450
- 7) Ogata T, Ohto H, Yasuda H, Kawabata K, Tsuchiya T, Saito T, Gotoh M : CD36 (Nak^a) sensitization with platelet-transfusion refractoriness in a liver transplant recipient. *Transplantation* 2005 ; 79 : 620
- 8) Okumoto K, Saito T, Hattori E, Ito JI, Suzuki A, Misawa K, Sanjo M, Takeda T, Sugahara K, Saito K, Togashi H, Kawata S : Expression of Notch signalling markers in bone marrow cells that differentiate into a liver cell lineage in a rat transplant model. *Hepatol Res* 2005 ; 31 : 7-12
- 9) Okumoto K, Saito T, Hattori E, Ito JI, Suzuki A, Misawa K, Ishii R, Karasawa T, Haga H, Sanjo M, Takeda T, Sugahara K, Saito K, Togashi H, Kawata S : Differentiation of rat bone marrow cells cultured on artificial basement membrane containing extracellular matrix into a liver cell lineage. *J Hepatol* 2005 ; 43 : 110-116
- 10) Otake S, Takeda H, Suzuki Y, Fukui T, Watanabe S, Ishihama K, Saito T, Togashi H, Nakamura T, Matsuzawa Y, Kawata S : Association of visceral fat accumulation and plasma adiponectin with colorectal adenoma : evidence for participation of insulin resistance. *Clin Cancer Res* 2005 ; 11 : 3642-3646
- 11) Tsuge k, Takeda H, Kawata S, Maeda K, Yamakawa M : Characterization of dendritic cells in differentiated thyroid cancer. *J Pathol* 2005 ; 205 : 565-576
- 12) Watanabe H, Saito T, Misawa K, Suzuki A, Sanjo M, Okumoto K, Hattori E, Adachi T, Takeda T, Ito JI, Sugahara K, Saito K, Togashi H, Kawata S : Direct cytopathic liver injury and acute respiratory distress syndrome associated with Gilliam-type *tsutsugamushi* disease. *J Gastroenterol Hepatol* 2005 ; 20 : 969-971
- 13) Watanabe H, Saito T, Karasawa T, Kudo S, Nakano K, Ito JI, Sugahara K, Saito K, Togashi H, Kawata S : Reduction of serum ghrelin concentration during interferon- therapy in patients with chronic hepatitis C. *Hepatol Res* 2005 ; 33 : 14-18
- 14) 武田弘明, 河田純男 : 当科における在宅中心静脈栄養法の現況と問題点 . *消化と吸収* 2005 ; 27 : 38-41
- 15) 藤嶋昌一郎, 前田邦彦, 石浜活義, 武田弘明, 河田純男, 山川光徳 : 潰瘍性大腸炎 (ulcerative colitis : UC) における glucocorticoid receptor (GR) の発現とプレドニゾロンの治療効果 . *消化器と免疫* 2005 ; 41 : 105-108
- 16) 斎藤貴史, 新沢陽英, 富樫 整, 村松正明, 河田純男 : 肝検診地域の住民におけるC型肝炎ウイルス感染感

受性遺伝子の解析．日本消化器集団検診学会雑誌 2005；43：13-19

- 17) 間部克裕，深瀬和利，熊谷孝：消化管出血と抗血小板剤，内視鏡検査・治療時における抗血小板剤の休薬期間の検討．CLINIC magazine 2005；5：27-31
- 18) 間部克裕，大泉晴史，門馬孝：*Helicobacter pylori*再除菌治療の検討，山形県臨床*Helicobacter pylori*研究会．新薬と臨床 2005；54：65-71
- 19) 松田徹，柴田亜希子：中規模地域における地域がん登録標準システム導入に関する研究 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業費 がん予防対策のためのがん罹患率・死亡動向の実態把握の研究 平成16年度総括・分担研究書 2005；29-31
- 20) 柴田亜希子，松田徹，佐藤幸雄：山形県地域がん登録における多重がん（第1報）JACR Monograph 2005；No.10：43-45
- 21) 金沢匡司，吉原和恵，阿部広幸，鈴木聡，遠藤良幸，小野木仁，大木進司，滝田賢一，関川浩司，竹之下誠一，高木忠之，入澤篤志，佐藤由紀夫，尾形隆，大戸斉：樹状細胞腫瘍内局注療法で反応を示した2症例．癌と化学療法 2005；32：1571-1573
- 22) 川端絹代，小幡悠子，安斎美知子，尾形隆，竹山邦彦，大戸斉：末梢血造血幹細胞における長期凍結保存の影響．医学検査 2005；54：123-127
- 23) 江月将史，伊藤貴俊，白濱憲昭，高木忠之，池田和彦，橋本真一，川畑絹代，尾形隆，大戸斉：高酸素透過性バッグによる高単位血小板の室温長期（9日間）保存．日本輸血学会雑誌 2005；51：578-584
- 24) 深瀬和利，上村直実，中塚俊博，上西紀夫，菅野健太郎：胃癌診療における内科医の役割について．日本内科学会雑誌 2005；94：103-123

（2）総説

- 1) 河田純男：「自己免疫肝炎」とはどのような病気でしょうか．今日の健康．NHK出版、2005；p124
- 2) 河田純男，石井里佳，柄沢哲，芳賀弘明，小野寺滋：疲労倦怠感．C型肝炎における疲労感、倦怠感．総合臨床 2005；55：93-96
- 3) 河田純男，三澤慶子，三條麻衣，大武さや香：内臓脂肪を基盤とした消化器病態とその発症機序 - アディポサイトカイン、特にアディポネクチンを中心に - ．日本消化器病学会誌 2005；102：1384-1391
- 4) 武田弘明，邵力，河田純男：H. pylori本邦分離株における菌体接着因子Sialic acid-binding adhesin (SabA)．日本臨床 2005；63（増刊号11）：84-88
- 5) 齋藤貴史、三沢慶子、河田純男：消化器疾患と生活習慣、脂肪肝と脂肪肝炎．日本内科学会雑誌 2005；94：1855-1859
- 6) 尾形隆，大戸斉：臨床医に必要な移植・輸血検査法．日本医師会雑誌 2005；134：S118-S122

（3）著書

- 1) 河田純男，三澤慶子：脂肪肝．消化器疾患最新の治療 2005-2006，南江堂，2005；p337-339
- 2) 河田純男，鈴木明彦：肝硬変．専門医のための消化器病学，医学書院，2005；p427-433
- 3) 河田純男：脂肪肝．看護のための最新医学講座（第2版）第5巻 肝胆膵疾患，2005；p198-200
- 4) 河田純男，鈴木明彦：ヘモクロマトーシスとヘモジデローシス．代謝性肝疾患．消化器疾患診療実践ガイド，文光堂，2005；p696-698
- 5) 河田純男，鈴木明彦：Wilson病．代謝性肝疾患．消化器疾患診療実践ガイド，文光堂，2005；p699-700
- 6) 河田純男，鈴木明彦：肝アミロイドーシス．代謝性肝疾患．消化器疾患診療実践ガイド，文光堂，2005；p700-701
- 7) 河田純男，鈴木明彦：肝ポルフィリン症．代謝性肝疾患．消化器疾患診療実践ガイド，文光堂，2005；p702-703
- 8) 河田純男，鈴木明彦：シトルリン血症．代謝性肝疾患．消化器疾患診療実践ガイド，文光堂，2005；p704-705
- 9) 河田純男，鈴木明彦：その他の代謝性肝疾患．消化器疾患診療実践ガイド，2005；p705
- 10) 斎藤孝治：ラジオ波焼灼療法．最新医学大辞典，医歯薬出版，2005；1882
- 11) 伊藤純一，齋藤貴史、河田純男：アンジオテンシン 1型受容体拮抗薬の肝線維化抑制作用の検討．消化器病学の進歩2005モノグラフ 肝・胆・膵編，荒川泰行編，東京；メディカルレビュー社，2005；123-126
- 12) 三沢慶子，齋藤貴史，河田純男：肝障害を伴う高血圧．堀内正嗣、浦信行、北風政史、光山勝慶、森下竜一

- 編, チャート式高血圧併用療法, 東京; メディカルレビュー社, 2005; 114-115
- 13) 奥本和夫, 齋藤貴史, 伊藤純一, 服部悦子, 菅原一彦, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: ラット骨髄由来肝様細胞の分化と移植に関する検討. 小俣政男編, 消化器疾患における自然免疫 (innate immunity), 東京; アークメディア, 2005; 82-83
- 14) 尾形隆, 大戸斉: 臨床医に必要な移植・輸血検査法. わかりやすい免疫疾患. 宮坂信之, 石井裕正, 小池隆夫, 他 監修・編, 南山堂, 2005; 118-122
- 15) 尾形隆, 大戸斉: 肝炎など感染症患者における自己血輸血の取り扱い. 麻酔科診療プラクティス第18巻 周術期の輸液・輸血療法 稲田英一編, 文光堂, 2005; 139

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Kawata S: Overview: What is going on in Yamagata COE 21 program? The 21st Century Center of Excellence (COE) Program. International symposium on multifactorial diseases: Genetic factors and pathogenesis. Yamagata, Japan: October 2005
- 2) Saito T, Muramatsu M, Hotta H, Kawata S: Genetic variations associated with susceptibility to hepatitis C virus infection and viral factors predicting the relative risk of developing liver cancer. The 21st Century Center of Excellence (COE) Program. International symposium on multifactorial diseases: Genetic factors and pathogenesis. Yamagata, Japan: October 2005
- 3) Ito JI, Saito T, Ishii R, Karasawa T, Sasaki T, Sugahara K, Watanabe H, Saito K, Togashi H, Kawata S: Effect of angiotensin II type 1 receptor antagonist on insulin resistance and liver fibrosis of chronic hepatitis C patients. The 56th Annual meeting AASLD, San Francisco, USA: November 2005
- 4) Saito T, Muramatsu M, Kawata S: Genetic variations associated with susceptibility to hepatitis C virus infection. The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 5) Fukui T, Otake S, Sato T, Suzuki Y, Nishise S, Ito N, Takeda H, Kawata S: One-piece resection for early gastric cancer lesions by endoscopic submucosal dissection (ESD). The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 6) Honda T, Tamura G, Makino N, Motoyama T, Kawata S, Nishizuka S, Murakami Y: Hypermethylation of the *TSLC1* gene promoter in gastric cancer. The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 7) Itoh N, Semba S, Ito M, Takeda H, Kawata S, Yamakawa M: Phosphorylation of Akt/PKB Is required for suppression of cancer cell apoptosis and tumor progression in human colorectal carcinoma. The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 8) Tozawa T, Tamura G, Honda T, Nawata S, Kimura W, Makino N, Kawata S, Sugai T, Suto T, Motoyama T: Promoter hypermethylation of *DAP-kinase* is associated with poor survival in primary biliary tract carcinoma patients. The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 9) Otake S, Takeda H, Suzuki Y, Fukui T, Watanabe S, Ishihama K, Saito T, Togashi H, Nakamura T, Matsuzawa Y, Kawata S: Association of visceral fat accumulation and plasma adiponectin with colorectal adenoma: Evidence for participation of insulin resistance. The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 10) Okumoto K, Saito T, Haga H, Onodera S, Ishii R, Karasawa T, Suzuki A, Misawa K, Sanjo M, Ito JI, Sugahara K, Saito K, Togashi H, Kawata S: Expression of Notch signaling markers in bone marrow cells that differentiate into a liver cell lineage. The 25th Sapporo Cancer Seminar, Yamagata, Japan: August 2005
- 11) Fukase K, Murakami M, Ugajin S, Mabe K, Abe T, Koseki T, Suzuki K, Kato C, Matsuda T, Saito S: Analysis of complications of endoscopic resection for early gastric cancers - Is the submucosal injection necessary under the double-channel method? -. 13th The World Congresses of Gastroenterology, Montreal, Canada: September 2005
- 12) Kato C, Sato K, Sasaki H, Ugajin S, Mabe M, Abe T, Koseki T, Suzuki K, Fukase K, Matsuda T, HSaito H: Is the risk of developing gastric cancer in the intestinal metaplastic mucosa reduced by eradication of

Helicobacter pylori? . The World Congress of Gastroenterology, Montreal, Canada ; September 2005

13) Shibata A, Sato Y, Matsuda T, Kato C, Fukase K : Incidence of second primary cancers in Yamagata, Japan. The 27th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries, Entebbe, Uganda : September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 芳賀弘明, 斎藤貴史, 奥本和夫, 小野寺滋, 石井里佳, 鈴木明彦, 柄沢哲, 石井里佳, 三沢慶子, 三條麻衣, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 菅原一彦, 斉藤孝治, 富樫整, 河田純男: 劇症肝炎における血清中造血増殖因子の検討. 日本肝臓学会総会, 大阪; 2005年6月
- 2) 芳賀弘明, 斎藤貴史, 奥本和夫, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 鈴木明彦, 三沢慶子, 三條麻衣, 伊藤純一, 菅原一彦, 斉藤孝治, 富樫整, 河田純男: 骨髄細胞の肝様細胞への分化と肝幹細胞への増殖に与える影響. 日本肝臓学会大会, 神戸; 2005年10月
- 3) 柄沢哲, 斎藤貴史, 小野寺滋, 石井里佳, 芳賀弘明, 鈴木明彦, 三沢慶子, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 菅原一彦, 斎藤孝治, 富樫整, 河田純男: インターフェロン・リバビリン併用療法における尿中尿酸値と溶血性貧血の検討. 第9回日本肝臓学会大会, 神戸; 2005年10月
- 4) 伊藤純一, 斎藤貴史, 河田純男: アンジオテンシンII 1型受容体拮抗薬の肝線維化抑制作用の検討 (シンポジウム: 肝線維化抑制の治療へのニューアプローチ). 第91回日本消化器病学会総会, 東京; 2005年4月
- 5) 伊藤純一, 斎藤貴史, 三條麻衣, 小野寺滋, 石井里佳, 芳賀弘明, 柄沢哲, 鈴木明彦, 三沢慶子, 奥本和夫, 菅原一彦, 斎藤孝治, 富樫整, 河田純男: C型慢性肝炎におけるIFNおよびIFN・ribavirin併用療法時の血中グレリン濃度の検討. 第41回日本肝臓病学会総会, 大阪; 2005年6月
- 6) 高橋美香子, 高橋牧郎, 佐藤満雄: 安全なPEG (経皮内視鏡的胃瘻造設術) を目指して - セルジンガー PEG キットの試み -. 第69回日本消化器内視鏡学会, 東京; 2005年5月
- 7) 高橋美香子: セルジンガー法による胃瘻造設術の経験 (ランチョンセミナー). 第70回日本消化器内視鏡学会, 神戸; 2005年10月
- 8) 安藤嘉章, 牧野直彦, 河田純男, 前田邦彦, 山川光徳: ヒト膵癌細胞株に対する樹状細胞の抗腫瘍免疫についての検討. 第45回日本リンパ網内系学会学術総会, 岡山; 2005年7月
- 9) 白幡名香雄, 牧野直彦, 戸澤智浩, 本田悌一郎, 安藤嘉章, 河田純男: 膵IPMN症例における膵切離線決定に対する術前内視鏡的超音波診断の有用性. 第70回日本消化器内視鏡学会総会, 神戸; 2005年10月
- 10) 三沢慶子, 斎藤貴史, 三條麻衣, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 芳賀弘明, 鈴木明彦, 奥本和夫, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 菅原一彦, 斉藤孝治, 富樫整, 河田純男: 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) と脂肪肝における臨床的差異についての検討. 第41回日本肝臓病学会総会, 大阪市; 2005年6月
- 11) 斎藤貴史, 河田純男: 脂肪肝と脂肪肝炎 (シンポジウム: 消化器疾患と生活習慣), 第102回日本内科学会総会・講演会, 大阪; 2005年4月
- 12) 斎藤貴史, 奥本和夫, 河田純男: 骨髄細胞の肝幹細胞へ及ぼす増殖効果と実験的肝移植 (シンポジウム: 消化器領域における幹細胞研究の進歩), 第47回日本消化器病学会大会, 神戸; 2005年10月
- 13) 西瀬雄子, 斎藤貴史, 菅原一彦, 伊藤純一, 斉藤孝治, 富樫整, 尾形哲, 具英成, 長野基子, 堀田博, 河田純男: C型肝炎ウイルス1bのNS3領域2次構造を基にしたサブグループ分類と肝細胞癌発生の関連性に関する後向きコホート研究 (ワークショップ: 肝発癌機序), 第41回日本肝臓学会総会, 大阪; 2005年6月
- 14) 福井忠久, 佐藤剛司, 伊藤ななみ, 大武さや香, 鈴木康之, 西瀬祥一, 武田弘明, 河田純男: ESDによるEMR適応外病変の根治性を目指した検討 - 山形県における多施設研究 -. 第47回日本消化器病学会大会, 神戸; 2005年10月
- 15) 鈴木明彦, 富樫整, 安達徹, 葛西重信, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 芳賀弘明, 三沢慶子, 三條麻衣, 奥本和夫, 服部悦子, 武田忠, 菅原一彦, 伊藤純一, 斎藤孝治, 斎藤貴史, 河田純男: 肝星細胞におけるReactive Oxygen Species (ROS) の産生源の解明とその役割. 第41回日本肝臓学会総会, 大阪; 2005年6月
- 16) 戸澤智浩, 牧野直彦, 白幡名香雄, 本田悌一郎, 安藤嘉章, 河田純男, 秋山直: 経副乳頭的にドレナージを施行した膵仮性嚢胞の一例 - 内視鏡的副乳頭開口法について -. 第70回日本消化器内視鏡学会総会, 神戸; 2005年10月
- 17) 奥本和夫, 斎藤貴史, 伊藤純一, 服部悦子, 河田純男: マトリゲル培養によるヒト骨髄細胞の肝様細胞への分化. 第4回日本再生医療学会総会, 大阪; 2005年3月

- 18) 奥本和夫, 斎藤貴史, 伊藤純一, 服部悦子, 武田忠, 菅原一彦, 斎藤孝治, 富樫整, 河田純男: 肝硬変患者における血清Stem cell factor (SCF) の検討. 第102回日本内科学会総会, 大阪; 2005年4月
- 19) 奥本和夫, 斎藤貴史, 鈴木明彦, 小野寺滋, 柄沢哲, 芳賀弘明, 石井里佳, 三沢慶子, 三條麻衣, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 菅原一彦, 斎藤孝治, 富樫整, 河田純男: 肝硬変患者における造血増殖因子の検討. 第41回日本肝臓学会総会, 大阪; 2005年6月
- 20) 奥本和夫, 菅原一彦, 小野寺滋, 柄沢哲, 芳賀弘明, 石井里佳, 三條麻衣, 伊藤純一, 菅原一彦, 斎藤孝治, 斎藤貴史, 富樫整, 河田純男: 食道静脈瘤に対するアルゴンプラズマ凝固療法 (APC) の有用性について. 第12回日本門脈圧亢進症学会総会, 東京; 2005年9月
- 21) 奥本和夫, 斎藤貴史, 河田純男: 肝疾患における造血増殖因子についての検討 (ワークショップ: 肝再生医療の研究と臨床応用). 第47回日本消化器病学会大会, 神戸; 2005年10月
- 22) 中沢雄一, 武田弘明, 河田純男, 前田邦彦, 山川光徳: 融合樹状細胞によるマウス大腸癌に対する肝転移抑制の検討. 第45回日本リンパ網内系学会総会, 福岡; 2005年7月
- 23) 邵力, 武田弘明, 大谷勝実, 福井忠久, 石井健一, 河田純男, 深尾彰: 本邦におけるHelicobacter pylori分離株にcagA, babA, sabA遺伝子陽性率の検討. 第47回日本消化器病学会大会, 神戸; 2005年10月
- 24) 西瀬祥一, 武田裕司, 武田弘明, 河田純男: 顆粒球吸着および随伴する生物学的反応における補体活性化物質の必要性に関する研究. 第25回日本アフエリシス学会学術大会, 奈良; 2005年11月
- 25) 石井里佳, 芳賀弘明, 菅原一彦, 鈴木明彦, 小野寺滋, 柄沢哲, 三沢慶子, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 斎藤孝治, 斎藤貴史, 富樫整, 河田純男: ラジオ波焼灼療法を施行した肝細胞癌右副腎転移の1例. 第41回日本肝癌研究会学術集会, 千葉; 2005年6月
- 26) 安西秀聡, 茂古沼達之, 竹越聡, 良田裕平, 熊田哲, 若林博人, 入澤篤志: リンパ節腫大が発見の契機であった皮膚筋炎に合併した食道表在癌の一例. 第47回日本消化器病学会大会, 神戸; 2005年10月
- 27) 半田和広: 一般開業医院における内視鏡検査の環境管理・危機管理と医療経済面からみた問題点 (ワークショップ). DDW-Japan 2005, 神戸; 2005年10月
- 28) 本田悌一郎, 田村元, 遠藤誠, 本間直之, 河田純男, 本山悌一, 長浜千秋: 「メチル化診断チップ」の開発とその可能性. 第94回日本病理学会総会, 横浜; 2005年4月
- 29) 本田悌一郎, 田村元, 本間直之, 遠藤誠, 宗幹之, 牧野直彦, 河田純男, 本山悌一, 外川直之: 「メチル化診断チップ」の開発とその可能性. 第64回日本癌学会学術総会, 札幌; 2005年9月
- 30) 間部克裕: 潰瘍・胃炎治療の現状と将来を探る (ランチョンセミナー), 第91回日本消化器病学会総会, 東京; 2005年4月
- 31) 間部克裕, 中村正, 山口俊憲, 沼沢正則, 高橋信夫, 斎藤徹: 当院における段階的電子化の試み - 医療情報プロジェクトチームの設立 -. 第7回日本医療マネジメント学会総会, 福岡; 2005年6月
- 32) 間部克裕, 鈴木克典, 深瀬和利: 内視鏡における患者の動線に基づくリスクマネジメント (ワークショップ). DDW2005, 神戸; 2005年10月
- 33) 間部克裕, 熊谷孝, 深瀬和利: 抗血小板, 抗凝固剤服用者に対する大腸内視鏡時の対策 (パネルディスカッション). 第23回日本大腸検査学会総会, 名古屋; 2005年11月
- 34) 菅原一彦, 斎藤貴史, 西瀬雄子, 芳賀弘明, 石井里佳, 柄沢哲, 鈴木明彦, 三沢慶子, 三條麻衣, 小野寺滋, 奥本和夫, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 斎藤孝治, 富樫整, 河田純男: B型慢性肝炎に対するLamivudineの隔日投与による長期経過. 第41回日本肝臓学会総会, 大阪; 2005年6月
- 35) 鶴飼克明, 鈴木義広, 秋山直, 渡辺晋一郎, 大村清成, 宗幹之, 佐藤剛司, 佐々木悠, 伊藤美保: NASHに合併した高分化型腺癌を内包する腺腫様過形成の1例. 第47回日本消化器学会大会, 神戸; 2005年10月
- 36) 秋山直, 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 鈴木義広, 鶴飼克明, 戸沢智浩, 牧野直彦, 白幡名香雄, 本田悌一郎, 安藤嘉章: 肝嚢胞腫瘍2例の臨床病理学的特徴. 第47回日本消化器学会大会, 神戸; 2005年10月
- 37) 佐々木悠, 伊藤美保, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 当院におけるGIST症例の検討. 第47回日本消化器学会大会, 神戸; 2005年10月
- 38) 佐々木悠, 伊藤美保, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: カルボプラチン, 塩酸イリノテカンを用いた化学療法が奏功した高齢者の食道小細胞癌の一例. 第69回日本消化器内視鏡学会総会, 東京; 2005年5月

39) 渡辺晋一郎, 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 当院で施行された早期胃癌術前超音波内視鏡検査におけるover diagnosis症例の検討. 第70回日本消化器内視鏡学会総会, 神戸; 2005年10月

(3) 国内地方会

- 1) 佐藤俊浩: 介護予防を中心とした地域リハビリテーション. 第50回山形県国保地域医療学会シンポジウム, 山形; 2005年7月
- 2) 尾形隆, 三浦里織, 川畑絹代, 安田広康, 大戸斉, 土屋貴男, 斎藤拓朗, 後藤満一: 広範囲HLA抗原に対して抗体を産生し, 血小板輸血不応をきたした肝移植例. 第87回日本輸血学会東北支部例会, 盛岡; 2005年9月
- 3) 白幡名香雄, 牧野直彦, 戸澤智浩, 河田純男: 「IPMNの診断と治療」 膵IPMN手術例における膵切離線の画像診断(シンポジウム). 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 4) 白幡名香雄, 牧野直彦, 戸澤智浩, 本田悌一朗, 安藤嘉章, 宗幹之, 河田純男: 胆嚢結石症を合併したcystohepatic ductの1例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 5) 三沢慶子, 斎藤貴史, 三條麻衣, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 芳賀弘明, 鈴木明彦, 奥本和夫, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 菅原一彦, 斉藤孝治, 富樫整, 河田純男: 当科における非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の臨床的検討. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 6) 三沢慶子, 斎藤貴史, 三條麻衣, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 芳賀弘明, 鈴木明彦, 奥本和夫, 西瀬雄子, 伊藤純一, 菅原一彦, 斉藤孝治, 富樫整, 河田純男: NASHに合併した肝細胞癌の一例; 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 7) 福井忠久, 武田弘明, 河田純男: ESDによる早期胃癌治療と安全性に関する検討. 第134回日本消化器内視鏡学会東北支部例会(シンポジウム), 仙台; 2005年2月
- 8) 戸澤智浩, 牧野直彦, 白幡名香雄, 本田悌一朗, 安藤嘉章, 河田純男, 秋山直: 内視鏡的に副乳頭を開口させドレナージを施行した膵仮性嚢胞の一例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 9) 菅原一彦, 斉藤孝治, 斎藤貴史, 富樫整, 河田純男: 当科における非B非C型肝細胞癌の検討(ワークショップ). 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 10) 武田弘明, 鈴木康之, 河田純男: 潰瘍性大腸炎における顆粒球吸着療の効果発現予測ならびに除菌併用治療(パネル). 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 11) 福崎淳子, 西瀬祥一, 伊藤ななみ, 大武さや香, 鈴木康之, 佐藤剛司, 福井忠久, 武田弘明, 富樫整, 河田純男: 除菌薬剤の変更にて改善した直腸MALTリンパ腫の1例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 12) 佐藤剛司, 武田弘明, 渡辺晋一郎, 伊藤美保, 佐々木悠, 宗幹之, 木村清成, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明, 佐藤伸二: 消化管多発ポリポ-ジスを呈したマントル細胞リンパ腫の1例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 13) 佐藤剛司, 渡辺晋一郎, 伊藤美保, 佐々木悠, 宗幹之, 大村清成, 秋山直, 鈴木義弘, 鶴飼克明: Clostridium difficile迅速トキシンA検出キットの有用性の検討. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 14) 竹越聡, 若林博人, 良田裕平, 熊田哲, 茂古沼達之, 安西秀聡: 経過中著明な好酸球増多を認めた原発性硬化性胆管炎の一例. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 15) 茂古沼達之, 竹越聡, 若林博人, 良田裕平, 熊田哲, 安西秀聡, 入澤篤志: 十二指腸狭窄を初発症候とし経過中に黄疸を呈した自己免疫性膵炎の一例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 16) 武田由美子, 武田義雄: 柴胡桂枝湯, 十全大補湯を使用した慢性C型肝炎の1経験例. 第9回日本東洋医学会東北支部山形県部会, 山形; 2005年3月
- 17) 本田悌一朗, 牧野直彦, 河田純男: 胆膵内視鏡の偶発症予防と工夫(パネルディスカッション). 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 18) 長谷川和住, 堀内英和, 八戸茂美, 山中祥弘, 佐野嘉紘, 佐々木隆志, 桜本基嗣: 潰瘍性大腸炎に合併した腸管嚢胞様気腫症の一例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 19) 宇賀神智, 間部克裕, 村上弥沙子, 加藤喜信, 間部克裕, 阿部貴志, 小関大平, 鈴木克典, 加藤智恵子, 松田徹, 深瀬和利: 当院におけるESDの現状. 第134回日本内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 20) 宇賀神智, 間部克裕, 深瀬和利: 食道・胃病変に対するESDの偶発症と対策(パネルディスカッション). 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月

- 21) 宇賀神智, 斎藤博, 村上弥沙子, 加藤喜信, 間部克裕, 阿部貴志, 小関大平, 鈴木克典, 加藤智恵子, 松田徹, 深瀬和利, 桜井直樹, 佐藤敏彦: 多発肝転移を来たした直腸癌で切除4年後に肝切除にて腫瘍の残存を認めなかった1症例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 22) 鈴木耕太郎, 小関大平, 村上弥沙子, 宇賀神智, 間部克裕, 阿部貴志, 鈴木克典, 加藤智恵子, 松田徹, 斎藤博, 深瀬和利: コンセンサスインターフェロン少量長期投与によりSVRを得た肝癌術後C型慢性肝炎の一例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 23) 長澤純子, 小関大平, 村上弥沙子, 宇賀神智, 間部克裕, 阿部貴志, 鈴木克典, 加藤智恵子, 松田徹, 斎藤博, 深瀬和利: 増大傾向を示した肝血管筋脂肪腫の一例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 24) 松田徹, 鈴木克典: 病院勤務医の立場から高齢者の胃がん検診を考える (シンポジウム: 胃集検における高齢者の現状と問題点). 日本消化器集団検診学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 25) 佐々木悠, 伊藤美保, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 繰り返す腸閉塞にて発見され, 術前に診断し得た小腸悪性腫瘍の一例. 第134回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 26) 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 膵管ステントが奏功した膵仮性嚢胞の一例. 第134回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 27) 大村清成, 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 宗幹之, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明, 新澤陽英: 当院に於けるIPMN症例の検討 (シンポジウム: IPMNの診断と治療). 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 28) 宗幹之, 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明, 新澤陽英: 当院に於ける膵癌に対するGemcitabine投与例の検討. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 29) 鈴木義広, 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鶴飼克明, 新澤陽英: 山形県に於けるコンセンサスインターフェロンの治療成績. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 30) 秋山直, 伊藤美保, 佐々木悠, 佐藤剛司, 宗幹之, 大村清成, 渡辺晋一郎, 鈴木義広, 鶴飼克明, 新澤陽英: 卵巣様間質を有した肝嚢胞性腺腫の1例. 第178回日本消化器病学会東北支部例会, 仙台; 2005年2月
- 31) 鈴木義広, 佐藤剛司, 伊藤美保, 佐々木悠, 服部悦子, 大村清成, 武田忠, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鶴飼克明: 飲酒が契機となり発症したバルプロ酸脳症の1例. 第176回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2005年6月
- 32) 服部悦子, 大村清成, 伊藤美保, 佐々木悠, 武田忠, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 広範な中心壊死を伴った小型肝細胞癌の1例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 33) 渡辺晋一郎, 佐藤剛司, 伊藤美保, 佐々木悠, 服部悦子, 大村清成, 武田忠, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 腹水中ヒアルロン酸が高値を示した一症例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 34) 佐々木悠, 伊藤美保, 服部悦子, 大村清成, 武田忠, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 意識障害を契機に発見された巨大門脈瘤を伴う肝内門脈肝静脈短絡の一例. 第179回日本消化器病学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 35) 鈴木義広, 武田忠, 伊藤美保, 佐々木悠, 服部悦子, 大村清成, 渡辺晋一郎, 秋山直, 鶴飼克明: 癌性髄膜炎をきたした胃癌の一部検例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 36) 佐々木悠, 秋山直, 伊藤美保, 服部悦子, 大村清成, 武田忠, 渡辺晋一郎, 鈴木義広, 鶴飼克明: 扁平上皮癌由来と考えられた食道小細胞癌の一例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 37) 佐々木悠, 秋山直, 伊藤美保, 服部悦子, 大村清成, 武田忠, 渡辺晋一郎, 鈴木義広, 鶴飼克明: 膵管ステントが奏功した脾静脈血栓合併慢性膵炎急性増悪の一例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 38) 伊藤美保, 渡辺晋一郎, 佐々木悠, 服部悦子, 大村清成, 武田忠, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 腸重積にて発見された小腸悪性リンパ腫の1例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月
- 39) 大村清成, 伊藤美保, 渡辺晋一郎, 佐々木悠, 服部悦子, 武田忠, 秋山直, 鈴木義広, 鶴飼克明: 超音波内視鏡にて発見し得た膵胆管合流異常の2例. 第135回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 盛岡; 2005年7月

(4) 研究会

- 1) 芳賀弘明, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 鈴木明彦, 三沢慶子, 三條麻衣, 奥本和夫, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 菅原一彦, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男: 多発性肝腫瘍性病変の1例. 第53回山形肝疾患研究会, 山形; 2005年3月
- 2) 柄沢哲, 石井里佳, 小野寺滋, 鈴木明彦, 芳賀弘明, 三沢慶子, 三條麻衣, 奥本和夫, 伊藤純一, 菅原一彦, 齋藤孝治, 齋藤貴史, 富樫整, 河田純男, 田嶋克史: フェロン投与により著効した特発性血小板減少性紫斑病を合併したC型肝炎の1例. 第6回東北肝疾患病態・治療研究会, 福島; 2005年11月
- 3) 柄沢哲, 齋藤貴史, 鈴木明彦, 小野寺滋, 三沢慶子, 石井里佳, 芳賀弘明, 三條麻衣, 奥本和夫, 菅原一彦, 伊藤純一, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: インターフェロン・リバビリン併用療法に伴う溶血性貧血と尿酸値測定の意味について. 第38回東北肝シンポジウム, 山形; 2005年7月
- 4) 伊藤純一, 齋藤貴史, 芳賀弘明, 小野寺滋, 石井里佳, 柄沢哲, 鈴木明彦, 三沢慶子, 三條麻衣, 奥本和夫, 菅原一彦, 齋藤孝治, 富樫整, 河田純男: 肝細胞癌との鑑別診断に苦慮した異所性静脈環流域に生じた限局性脂肪肝の一例. 東北肝炎肝癌研究会, 盛岡; 2005年9月
- 5) 高橋美香子, 高橋牧郎: セルジンガーPEG法の経験. 第10回HEQ研究会, 名古屋; 2005年9月
- 6) 高橋美香子, 高橋牧郎: セルジンガー法による胃瘻造設術の経験. 第3回北海道胃瘻研究会, 札幌; 2005年11月
- 7) 高橋美香子, 高橋牧郎: セルジンガー法による胃瘻造設術の経験. 北庄内内視鏡研究会, 酒田; 2005年11月
- 8) 高橋美香子, 高橋牧郎: セルジンガー法による胃瘻造設術の経験. 第26回山形県消化器治療内視鏡研究会, 山形; 2005年12月
- 9) 大泉晴史, 須藤剛, 笹生俊一: 多発早期胃癌の例. 第23回山形県胃と腸勉強会, 山形; 2005年1月
- 10) 大泉晴史, 佐藤敏彦, 桜井直樹, 笹生俊一: 三重複癌(食道・胃・大腸)の例. 第24回山形県胃と腸勉強会, 山形; 2005年6月
- 11) 大泉晴史, 福島紀雅, 笹生俊一: 表層拡大型早期胃癌(Oc+a)の例. 第25回山形県胃と腸勉強会, 山形; 2005年11月
- 12) 大泉晴史, 佐藤敏彦, 笹生俊一: 集検発見早期大腸癌(c+a)の例. 第24回山形県大腸疾患研究会, 山形; 2005年11月
- 13) 大泉晴史: 開業医における医用画像デジタル化のメリット. 開業医における医用画像デジタル化のメリット講演会, 山形; 2005年2月
- 14) 大泉晴史: 経鼻的胃内視鏡検査の有用性と実際. 山形経鼻的胃内視鏡検査講演会, 山形; 2005年9月
- 15) 大泉晴史: 当院におけるNSAIDs潰瘍の実態. 日本人の酸関連疾患をめぐる新しい流れ-ガスター発売20周年記念学術講演会-, 山形; 2005年10月
- 16) 大泉晴史: ストレスと胃・腸. ケーブルTV(テレビカウンセリング), 山形; 2005年1月
- 17) 尾形隆: 血液製剤の適正使用について. 福島県病院薬剤師会研修会, 福島; 2005年4月
- 18) 尾形隆, 池田和彦, 高木忠之, 柳堀浩克, 橋本真一, 佐藤馨, 高橋敦史, 大戸斉, 横川順子, 入澤篤志, 大平弘正, 佐藤由紀夫, 櫻村省吾, 星野実加, 神崎憲雄, 寺島雅典, 後藤満一, 金沢匡司, 竹之下誠一: 当院で施行された樹状細胞療法の集計. 第6回免疫細胞療法研究会, 福島; 2005年5月
- 19) 佐藤俊浩: 当院において経験した特異な発育を示す肝門部胆管癌と早期食道癌・胃癌の同時性三重複癌の一例. 第47回新庄最上消化器症例検討会, 新庄; 2005年10月
- 20) 佐藤俊浩: 血小板減少に対する治療により手術が可能となった慢性硬膜下血腫の一例. 第3回新庄・最上血液免疫疾患症例検討会, 新庄; 2005年11月
- 21) 福井忠久: 当科でのESDの現状. 置賜消化器勉強会, 川西; 2005年2月
- 22) 福井忠久: GERDとLPRDの実際(シンポジウム). 第9回山形県臨床H.pylori研究会, 山形; 2005年3月
- 23) 福井忠久, 佐藤剛司, 伊藤ななみ, 大武さや香, 鈴木康之, 西瀬祥一, 武田弘明, 河田純男: ESDによるEMR適応外病変の根治性を目指した検討~山形県における多施設研究~. 治療内視鏡研究会, 山形; 2005年12月
- 24) 鈴木明彦: 慢性肝疾患における^{99m}Tc-GSA SPECT解析の有用性について. 平成17年度山形県消化器病懇話会, 山形; 2005年10月
- 25) 奥本和夫, 齋藤貴史, 河田純男: 骨髄由来肝様細胞を用いた肝再生療法の可能性についての基礎的検討. 第

- 5 回肝疾患フォーラム，大阪；2005年10月
- 26) 奥本和夫，齋藤孝治，菅原一彦，小野寺滋，柄沢哲，芳賀弘明，石井里佳，三條麻衣，三沢慶子，鈴木明彦，伊藤純一，齋藤貴史，富樫整，河田純男：肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の再発の検討．第4回山形県肝癌局所治療研究会，山形；2005年11月
- 27) 遠藤昭博，奥本和夫，小野寺滋，芳賀弘明，柄沢哲，石井里佳，三條麻衣，三沢慶子，鈴木明彦，伊藤純一，菅原一彦，齋藤孝治，齋藤貴史，富樫整，河田純男：食道静脈瘤の血行動態評価における3D-CTの有用性．第9回山形県食道胃静脈瘤研究会，山形；2005年12月
- 28) 武田弘明，福井忠久，西瀬祥一，大武さや香，鈴木康之，佐藤剛司，伊藤ななみ，河田純男：直腸MALTリンパ腫の1例．第18回早期大腸癌研究会，盛岡；2005年11月
- 29) 佐藤剛司，武田弘明，渡辺晋一郎，伊藤美保，佐々木悠，宗幹之，木村清成，秋山直，鈴木義広，鶴飼克明，佐藤伸二：消化管多発ポリポプシスを呈したマントル細胞リンパ腫の1例．第18回早期大腸癌研究会，盛岡；2005年11月
- 30) 武田弘明，福井忠久，大武さや香，西瀬祥一，伊藤ななみ，鈴木康之，佐藤剛司，福崎淳子，河田純男：顆粒球除去療法抵抗例に対して除菌療法が有効であった潰瘍性大腸炎の1例．第7回山形県炎症性腸疾患研究会，山形；2005年6月
- 31) 福井忠久，大武さや香，佐藤剛司，鈴木康之，西瀬祥一，武田弘明，河田純男：ESDによるEMR適応外病変の根治性を目指した検討 - 山形県における多施設研究 - ．第3回山形ESD研究会，山形；2005年11月
- 32) 佐藤剛司，福井忠久，大武さや香，鈴木康之，西瀬祥一，武田弘明，河田純男：ESDの1症例．第3回山形ESD研究会，山形；2005年11月
- 33) 佐藤剛司，武田弘明，福井忠久，大武さや香，西瀬祥一，鈴木康之，伊藤ななみ，大泉晴史，河田純男：sm癌であったLST-NG型大腸腫瘍の1例．第23回山形県大腸疾患研究会，山形；2005年6月
- 34) 福崎淳子，武田弘明，大泉晴史，福井忠久，大武さや香，鈴木康之，西瀬祥一，伊藤ななみ，佐藤剛司，河田純男：遡及的に1年前の病変が確認できたs+c, sm癌の1例．第23回山形県大腸疾患研究会，山形；2005年6月
- 35) 佐藤剛司，武田弘明，福井忠久，大武さや香，西瀬祥一，鈴木康之，河田純男：特異な表面微細構造を呈した早期大腸癌の1例．第24回山形県大腸疾患研究会，山形；2005年11月
- 36) 武田弘明，福井忠久，大武さや香，西瀬祥一，佐藤剛司，伊藤ななみ，河田純男：白血球除去療法抵抗例に対して除菌が奏功した潰瘍性大腸炎の1例．第7回山形県IBD研究会，山形；2005年6月
- 37) 武田弘明，福井忠久，大武さや香，西瀬祥一，佐藤剛司，伊藤ななみ，河田純男：深達度診断にEUSが有用であった早期直腸癌の1例．第9回山形県超音波内視鏡研究会，山形；2005年9月
- 38) 武田弘明：知っておきたい大腸癌の話あれこれ．山形大学医学部附属病院ボランティア研修会，山形；2005年2月
- 39) 武田弘明：炎症性腸疾患 病気と上手につきあうために．潰瘍性大腸炎・クローン病の療養相談会（置賜保健所），南陽；2005年10月
- 40) 武田弘明：炎症性腸疾患の最新情報．在宅難病治療等医療福祉相談会（庄内保健所），三川町；2005年10月
- 41) 石井里佳，菅原一彦，小野寺滋，柄沢哲，芳賀弘明，鈴木明彦，三沢慶子，三條麻衣，奥本和夫，伊藤純一，齋藤孝治，齋藤貴史，富樫整，河田純男：静脈瘤治療におけるクリニカルパスの現状と問題点．第18回東北食道・胃静脈瘤硬化療法研究会（吾妻シンポジウム），福島；2005年9月
- 42) 石井里佳，菅原一彦，遠藤昭博，小野寺滋，柄沢哲，芳賀弘明，鈴木明彦，三沢慶子，三條麻衣，奥本和夫，西瀬雄子，伊藤純一，齋藤孝治，齋藤貴史，富樫整，河田純男：静脈瘤治療におけるクリニカルパスの現状と問題点．第9回山形県食道・胃静脈瘤硬化療法研究会，山形；2005年12月
- 43) 堀内英和，八戸茂美，山中祥弘，佐野嘉紘，佐々木隆志，桜本基嗣：潰瘍性大腸炎治療経過中に合併した腸管嚢胞様気腫症の一例．第7回山形県炎症性腸疾患（IBD）研究会，山形；2005年6月
- 44) 深瀬和利：食中毒に気をつけよう．県政テレビ番組TUY「ピックアップ山形」，山形；2005年7月
- 45) 深瀬和利：早期胃癌に対する内視鏡的切除術の治療戦略 - 当院における2チャンネル法とESDの選択 - ．2005 - 第34回多地点合同メデイカルカンファレンス，山形；2005年11月
- 46) 間部克裕：H.pyloriと胃がん，山形での取り組みについて．上市市医師会学術講演会，上山；2005年1月
- 47) 間部克裕：H.pyloriと胃がん，山形県における取り組み．第1回山形県胃がん対策研究機構講演会，山形；

2005年1月

- 48) 間部克裕：山形県における除菌療法の実際．第3回21世紀の酸関連疾患をみつけて，仙台；2005年2月
- 49) 間部克裕：山形県立中央病院における電子化への取り組みと山形県内の病院における電子化の現状．山形市医師会情報委員会主催研修会，山形；2005年3月
- 50) 山村明寛，間部克裕：大腸sm癌について．山形市検診委員会，山形；2005年3月
- 51) 間部克裕：H.pylori除菌療法の現状と今後の方向性．今後の胃潰瘍診療を考える - ガイドライン発表から2年が経過して - ．東京；2005年6月
- 52) 間部克裕：保険適用から5年経過した“H.pylori除菌療法”の現状と今後の展望．第373回青葉会学術講演会，山形；2005年8月
- 53) 間部克裕：山形におけるGERDの現状と今後．日本人の酸関連疾患をめぐる新しい流れ ガスター発売20周年記念学術講演会．東京；2005年10月
- 54) 宇賀神智，間部克裕，村上弥沙子，加藤喜信，間部克裕，阿部貴志，小関大平，鈴木克典，加藤智恵子，宇賀神智，間部克裕，加藤智恵子，深瀬和利，松田徹：GERDにおける除菌の影響．第10回山形県食道・胃疾患研究会，山形；2005年2月
- 55) 宇賀神智，間部克裕，深瀬和利：当院におけるESDの現状．ESD研究会，山形；2005年11月
- 56) 宇賀神智，間部克裕，村上弥沙子，阿部貴志，小関大平，鈴木克典，加藤智恵子，松田徹，斎藤博，深瀬和利：ESDを施行した十二指腸カルチノイドの一例．第26回山形県消化器治療内視鏡研究会，山形；2005年12月
- 57) 宇賀神智，斎藤博：癌性腹膜炎による消化管閉塞に対するサンドスタチンの有効性．学術講演会「緩和医療フォーラムin山形」，山形；2005年10月
- 58) 宇賀神智，斎藤博，柳川直樹，笹生俊一：進行食道癌で放射線化学療法中に急死し，部検した1症例．第5回山形消化器癌研究会，山形；2005年12月
- 59) 小関大平，鈴木克典：Real-time Virtual Sonographyを使用して経皮下ラジオ波焼灼術を施行した一例．第4回山形県肝癌局所療法研究会，山形；2005年11月
- 60) 小関大平，阿部貴志，鈴木克典：肝Angiomyolipomaの一例．第53回山形県肝疾患研究会，山形；2005年3月
- 61) 鶴飼克明：当院に於ける感染性腸炎～臨床の立場から～．山形県臨床衛生検査技師会，山形；2005年7月
- 62) 鶴飼克明：C型慢性肝炎を対象とした医療連携．C型肝炎に関する講習会（山形県医師会主催），米沢；2005年1月
- 63) 鶴飼克明：C型慢性肝炎を対象とした医療連携．C型肝炎に関する講習会（山形県医師会主催），山形；2005年2月
- 64) 鶴飼克明：肝発癌を予防するための治療戦略 - ウイルス性肝炎の治療戦略 - ．病態解析シリーズ「ウイルス性肝炎を治す」（宮臨技学術部主催合同研修会），仙台；2005年11月
- 65) 鈴木義広：肝癌の総論．肝癌撲滅運動医療従事者向け講演会，山形；2005年10月
- 66) 武田忠：肝癌の局所療法，肝癌撲滅運動医療従事者向け講演会，山形；2005年10月
- 67) 服部悦子：肝癌の化学療法．肝癌撲滅運動医療従事者向け講演会，山形；2005年10月
- 68) 鈴木義広：山形県内のペガシス使用状況について．置賜PEGASYS発売1周年記念講演会，南陽；2005年5月

液性病態診断医学分野（臨床検査医学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Tominaga M, Makino H, Yoshino G, Kuwa K, Takei I, Aono Y, Hohino T, Umemoto M, Shimatsu A, Sanke T, Kuwashima M, Taminato T, Ono J: Japanese standard reference material for JDS Lot 2 haemoglobin A1c: comparison of Japan Diabetes Society-assigned values to those obtained by the Japanese and USA domestic standardization programmes and by the International Federation of Clinical Chemistry reference laboratories. *Ann Clin Biochem* 2005; 2 (No.1): 41-46
- 2) Tominaga M, Makino H, Yoshino G, Kuwa K, Takei I, Aono Y, Hohino T, Umemoto M, Shimatsu A, Sanke T, Kuwashima M, Taminato T, Ono J: Japanese standard reference material for JDS Lot 2 haemoglobin A1c: Present state of standardization of haemoglobin A1c in Japan using the new reference material in routine clinical assays. *Ann Clin Biochem* 2005; 42 (No.1): 47-50
- 3) Igarashi M, Jimbu Y, Hirata A, Tominaga M: Characterization of plasma brain natriuretic peptide level in patients with Type 2 diabetes. *Endocrine Journal* 2005; 52: 353-362
- 4) Kameda W, Daimon M, Oizumi T, Jimbu Y, Kimura M, Hirata A, Yamaguchi H, Ohnuma H, Igarashi M, Tominaga M, Kato T: Association of decrease in serum dehydroepiandrosterone sulfate levels with the progression to type 2 diabetes in men of a Japanese population. The Fungata Study. *Metabolism* 2005; 54: 669-676
- 5) Daimon M, Kido T, Baba M, Oizumi T, Jimbu Y, Kameda W, Yamaguchi H, Ohnuma H, Tominaga M, Muramatsu M, Kato T: Association of the ABCA1 gene polymorphisms with type 2 DM in a Japanese population. *Biochem Biophys Res Comm* 2005; Vol. 329: 205-210
- 6) 茂木節子, 中川美智子, 関由美子, 山賀三紀, 富永真琴: 血糖自己測定機器メディセーフミニの基本性能に関するin vitro検討. *プラクティス* 2005; 22 (No.1): 83-88
- 7) 茂木節子, 中川美智子, 関由美子, 山賀三紀, 遠藤宏子, 富永真琴: 血糖自己測定値の精確性に関するISO 15197に準ずる検討. *プラクティス* 2005; 22 (No.1): 89-93
- 8) 茂木節子, 中川美智子, 関由美子, 山賀三紀, 遠藤宏子, 富永真琴: 国際規格ISO 15197に準拠した自己測定機器の測定値の精確さに関する検討. *糖尿病* 2005; 48(7): 507-511
- 9) 富永真琴, 牧野英一, 芳野原, 桑克彦, 武井泉, 青野悠久子, 星野忠夫, 梅本雅夫, 島津章, 三家登喜夫, 桑島正道, 田港朝彦, 小野順子: 国際標準化と関連したHbA1cに関する本邦のアンケート調査. *糖尿病* 2005; 48(7): 541-547
- 10) 五十嵐雅彦: 血漿脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) が高値の糖尿病患者に対する利尿薬による治療とその問題点. *医薬の門* 2005; 45(5): 358-366

(2) 総説

- 1) 富永真琴: 糖尿病患者における脳卒中の危険因子と発症予防. *プラクティス* 2005; 22 (No.1): 38-41
- 2) 山口宏, 富永真琴: 糖尿病と身体運動: 疫学的研究成績. *臨床スポーツ医学* 2005; Vol.22 (No.2): 107-112
- 3) 山口宏, 富永真琴: なぜ早期診断, IGTや境界型の早期治療が求められているか *Progress in Medicine* 2005; Vol.25 (No.1): 9-14
- 4) 平田昭彦, 富永真琴: グリコヘモグロビン (HbA1c). *Medicina* 2005; Vol.42 (No.12) Suppl: 224-226
- 5) 平田昭彦, 富永真琴: グリコアルブミン. *Medicina* 2005; Vol.42 (No.12) Suppl: 227-229
- 6) 富永真琴: 糖尿病. *検査と技術* 2005; Vol.33 (No.11) Supple: 1013-1017
- 7) 富永真琴, 五十嵐雅彦: 糖尿病治療の新時代: 心血管疾患への挑戦. *糖尿病合併症* 2005; Vol.19 (No.1): 16-18
- 8) 五十嵐雅彦, 富永真琴: 大血管障害進展からみたIFG, IGTの評価. *日本臨牀* 2005; Vol.63 Supple 2: 55-60
- 9) 平田昭彦, 富永真琴: 耐糖能障害のスクリーニングに関する研究. *日本臨牀* 2005; Vol.63 Supple 2: 366-

- 10) 五十嵐雅彦, 富永真琴: 糖尿病と虚血性心疾患一疫学調査成績から. プラクティス 2005; 22(6): 649-655
- 11) 五十嵐雅彦, 富永真琴: 検査. 内分泌・糖尿病科 特別増刊号「臨床糖尿病学」2005; 20 (Suppl 2): 22-30.
- 12) 平田昭彦, 富永真琴: 動脈硬化症. 診断と治療 2005; Vol.93 (No.10): 104-110

(3) 著 書

- 1) 富永真琴: 生化学・免疫学検査. 香川靖雄・近藤和雄・石田均・門脇孝編, 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 南江堂, 2005; pp.239-pp.254
- 2) 富永真琴: 微生物学検査. 香川靖雄・近藤和雄・石田均・門脇孝編, 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 南江堂, 2005; pp.254-pp.261
- 3) 富永真琴: 舟形町研究. 河盛隆造, 山岸昌一編, ファーマナビゲーター糖尿病編 メディカルレビュー社, 2005; 252-255
- 4) 平田昭彦, 富永真琴: 糖尿病の死因としての心血管事故の脅威. 山田信博編, 糖尿病患者の大血管障害予防ガイド: 血糖値だけを診ては危ない メジカルビュー社 2005; pp.20-27
- 5) 富永真琴: 食後高血糖と動脈硬化: 舟形町研究, Stop-NIDDM研究から. 柏木厚典編, 糖尿病と動脈硬化. 文光堂, 2005; pp.1-6
- 6) 五十嵐雅彦, 富永真琴: A. 検査項目の選択と臨床検査の総合評価 8. 代謝性疾患. Medical Practice編集委員会編, 臨床検査ガイド 2005-2006文光堂, 2005; 40-50

2. 学 会 報 告

(1) 国内の学会

- 1) 富永真琴, 清野由美子: メディカルカンファランスVII 脳血管障害. 第8回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都; 2005年1月
- 2) 富永真琴: 糖尿病治療の新時代: 心血管疾患への挑戦. 第39回糖尿病学の進歩, 仙台; 2005年2月
- 3) 芳野原, 富永真琴, 平野勉, 柴輝男, 柏木厚典, 田中明, 多田紀夫, 小沼富男, 江草玄士, 桑島正道, 三家登喜夫, 及川眞一, 本田佳子, 立川俱子: 食後高血糖と食後高脂肪血症を同時に観察するテストミールのパイロットモデルの開発(テストミールAについての報告). 食事療法に関する公開シンポジウム, 東京; 2005年2月
- 4) 富永真琴: HbA1c標準化の国際的動向と日本の対応. 日本臨床検査自動化学会第19回春季セミナー, 盛岡; 2005年4月
- 5) 富永真琴: 糖尿病治療新時代に求められる臨床検査. 第24回日本臨床化学会夏期セミナー, 宮城県刈田郡蔵王; 2005年7月
- 6) 富永真琴: SMBGとISO 15197 - 国際標準化ならびに適正使用について. 第24回日本臨床化学会夏期セミナー, 宮城県刈田郡蔵王; 2005年7月
- 7) 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 神部裕美, 山下英俊, 富永真琴: p38 活性阻害薬による糖尿病ラットバルーン内膜傷害モデルに対する検討. 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸; 2005年5月
- 8) 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 野寄久枝, 富永真琴: 「生活習慣病と臨床化学」学生採血実習における生活習慣病関連検査値の変化について. 第24回日本臨床化学会夏期セミナー, 宮城町; 2005年7月
- 9) 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 野寄久枝, 菅江尚央子, 門元夕子, 神部裕美, 富永真琴: 糖尿病由来培養血管平滑筋細胞の細胞内インスリンシグナル伝達機構に対するolmesartanの効果. 第37回日本動脈硬化学会, 東京; 2005年7月
- 10) 神部裕美, 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 菅江尚央子, 野寄久枝, 加藤丈夫, 富永真琴: 糖尿病由来培養ラット血管平滑筋細胞に対するthrombospondin-1の影響. 第20回日本糖尿病合併症学会, 東京; 2005年10月
- 11) 平田昭彦, 五十嵐雅彦, 神部裕美, 山口宏, 菅江尚央子, 野寄久枝, 大沼寛, 大門真, 加藤丈夫, 富永真琴: メトホルミンの血管内皮機能改善作用に関する効果~ヒト臍帯静脈由来血管内皮細胞を用いた検討~. 第20回日本糖尿病合併症学会, 東京; 2005年10月

(2) 国内地方会

- 1) 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 富永真琴: 血漿脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)が高値の糖尿病患者に対する利尿薬による治療とその問題点. 日本糖尿病学会第43回東北地方会, 仙台; 2005年11月

- 2) 野崎久枝, 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 富永真琴: 学生の採血実習における生活習慣病関連検査値の変化について. 日本糖尿病学会第43回東北地方会, 仙台; 2005年11月
- 3) 山口宏, 平田昭彦, 神部裕美, 大泉俊英, 大沼寛, 大門真, 五十嵐雅彦, 富永真琴, 加藤丈夫: 2型糖尿病とGERD. 日本糖尿病学会第43回東北地方会, 仙台; 2005年11月
- 4) 大沼沖雄, 叶内和範, 佐藤牧子: 脳梗塞患者における可溶性フィブリンの動態. 第46回東北医学検査学会, 福島; 2005年10月
- 5) 大沼沖雄, 五十嵐雅彦, 富永真琴: ISO15189認定取得に向けて. 第27回山形県医学検査学会, 山形; 2005年11月
- 6) 大津信博, 富永真琴: シンポジウム「支援部門の充実と管理部門への検査部の新展開」; NST活動における検査部からのアプローチ. 第37回日本臨床検査医学会東北支部総会・第16回日本臨床化学会東北支部総会, 秋田; 2005年7月
- 7) 太田玲子, 高橋長一郎, 白石正, 富永真琴: MRSA減少と使用抗菌薬の関連性. 第79回日本感染症学会総会, 名古屋; 2005年4月
- 8) 斉藤友則, 佐藤美由紀, 平田美智子, 奥山洋子: 尿試験紙を用いた蛋白/クレアチニン比測定の有用性. 第27回山形県医学検査学会, 山形; 2005年11月

(3) 研究会

- 1) 富永真琴: 舟形町研究のうら話. 第9回糖尿病データマネジメント研究会, 東京; 2005年2月
- 2) 富永真琴: 山形大学医学部附属病院におけるNST活動の現状. 第7回みちのく免疫検査研究会, 福島; 2005年6月
- 3) 富永真琴: 糖尿病関連検査の標準化 - HbA_{1c}、SMBGを中心として. 第5回豊の国「糖尿病と眼」研究会, 小倉; 2005年7月
- 4) 富永真琴: 糖尿病と心血管疾患 - 舟形スタディからのメッセージ. 第4回倉敷チーム医療研究会, 倉敷; 2005年10月
- 5) 富永真琴: Reversed CPC: 左脛骨外顆骨折後の手術後に急変した67歳の女性. 第3回東北凝固線溶症例研究会, 福島; 2005年11月
- 6) 富永真琴: 臨検食後高血糖と心血管疾患 - 舟形スタディからのメッセージ. 第32回弘前糖尿病研究会, 弘前; 2005年11月
- 7) 富永真琴: ISO 15189と標準化: とくにHbA_{1c}について. 第44回イムノアッセイ研究会, 東京; 2005年12月
- 8) Masahiko Igarashi, Hisae Nozaki: A p38-specific inhibitor, FR167653, reduces carotid intimal thickening and ameliorates insulin resistance in balloon-injured diabetic rats. 第6回木更津カンファレンス(Kisarazu Conference 2005), 木更津; 2005年8月
- 9) 加賀谷茂: 大動脈炎症候群の頸部超音波像. 第26回山形超音波検査研究会, 山形; 2005年12月

(4) その他

- 1) 富永真琴: 低栄養者情報からみた当院の現状. 第14回NST研究会セミナー, 山形; 2005年1月
- 2) 富永真琴: 糖尿病治療の新時代に求められる臨床検査. 第9回江東区糖尿病懇話会, 東京; 2005年2月
- 3) 富永真琴: 食後高血糖と心血管疾患: 舟形町研究からのメッセージ. 糖尿病学術講演会, 那覇; 2005年5月
- 4) 富永真琴: 糖尿病治療の新時代に求められる臨床検査. 第5回福島県中地域糖尿病医療連携フォーラム, 郡山; 2005年6月
- 5) 富永真琴: 生活習慣と糖尿病予防. 公開講座「山形の魅力発見パート3」, 山形; 2005年6月
- 6) 富永真琴: 食後高血糖と心血管疾患 - 舟形町研究からのメッセージ. 第90回鈴鹿市医師会臨床集談会, 鈴鹿; 2005年7月
- 7) 富永真琴: 疫学から臨床糖尿病学へのメッセージ - 舟形研究. 群馬県医師会講演会, 前橋; 2005年7月
- 8) 富永真琴: 糖尿病と心血管疾患: 舟形研究のメッセージ. 第5回埼玉県糖尿病治療セミナー, さいたま; 2005年8月
- 9) 富永真琴: 食後高血糖と心血管疾患 - 舟形スタディからのメッセージ. 新潟県医師会生涯教育講座学術講演会, 新発田; 2005年9月
- 10) 富永真琴: 療養指導各論(6)慢性合併症(3)大血管障害. 日本糖尿病療養指導士認定機構主催第6回講習会, 仙台; 2005年9月

- 11) 富永真琴：山形県民から世界に発信した糖尿病研究．糖尿病シンポジウム in 山形，山形；2005年10月
- 12) 富永真琴：血糖自己測定（DMBG）機器におけるMはメジャメントかモニタリングか - ISO（国際規格）と我々が取り組むべきこと．第45回近畿医学検査学会ランチョンセミナー，大津；2005年10月
- 13) 富永真琴：血糖自己測定（SMBG）とISO - 国際規格と適性使用について．第2回東北糖尿病療養指導セミナー，山形；2005年11月
- 14) 富永真琴：糖尿病関連検査の標準化の動向と将来 - ヘモグロビンA1cの国際標準化を中心に．HDL直接法発売10周年記念講演会，東京；2005年11月
- 15) 富永真琴：心血管疾患と食後高血糖 - 舟形研究からのメッセージ．秋田県生活習慣病セミナー，秋田；2005年11月
- 16) 富永真琴：凝固・線溶と心血管疾患．上市市糖尿病症例検討会，上山；2005年11月
- 17) 五十嵐雅彦：糖尿病患者におけるBNPとその臨床的意義．第48回日本糖尿病学会年次学術集会ランチョンセミナー，神戸；2005年5月
- 18) 五十嵐雅彦：糖尿病患者における血圧管理の重要性．山形高血圧シンポジウム，山形；2005年1月
- 19) 五十嵐雅彦：2型糖尿病患者の脂質動態および循環動態に対するアクトスの影響．Getting to know the Pioglitazone Meeting，盛岡；2005年3月
- 20) 五十嵐雅彦：心血管系疾患の進展阻止を目指した糖尿病患者の治療．福島県病院薬剤師会郡山支部学術講演会，郡山；2005年5月
- 21) 五十嵐雅彦：糖尿病トピックス「自己血糖測定器関連の最近の話題 - 薬事法改正を含めて - ．第3回DMサークル，高島町；2005年5月
- 22) 五十嵐雅彦：高脂血症診療の実際について．動脈硬化オピニオン・リーダーの会，東京；2005年7月
- 23) 五十嵐雅彦：糖尿病患者におけるBNPとその臨床的意義．食後血糖を考える会，鶴岡；2005年7月
- 24) 五十嵐雅彦：脳卒中予防に対するスタチンの有効性について．山形J-LIT研究会，山形；2005年7月
- 25) 五十嵐雅彦：日本人に最適な高脂血症治療とは...？．リピトール発売5周年記念講演会，山形；2005年9月
- 26) 五十嵐雅彦：心血管系疾患の進展阻止を目指した糖尿病患者の治療．第12回リスクファクターフォーラム，東京；2005年9月
- 27) 五十嵐雅彦：心血管系疾患の進展阻止を目指した糖尿病患者の治療．寒河江・西村山若手医師会講演会，寒河江；2005年10月
- 28) 平田昭彦：メタボリックシンドロームの診断と治療法．新庄糖尿病懇話会，新庄；2005年11月

3. その他

- 1) 第39回糖尿病学の進歩～糖尿病治療の新時代：心血管疾患への挑戦～，仙台；2005年2月
- 2) 第24回日本臨床化学会夏期セミナー，宮城県刈田郡蔵王；2005年7月

環境病態医学分野（衛生学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Marumo M, Wakabayashi I : Monensin augments capacitative Ca^{2+} entry and subsequent aggregation of platelets via an intracellular alkalosis-mediated mechanism. *Pharmacol Res* 2005 ; 51 : 141-145
- 2) Wakabayashi I, Masuda H : Obesity increases the risk of development of atherosclerosis in elderly type 2 diabetic patients, *Geriatr Gerontol Int* 2005 ; 5 : 17-21
- 3) Tasaki K, Wakabayashi I, Shishido T, Takasaki S, Takeishi Y, Kubota I, Ito T, Katano Y, Tomoike H : Diminution of angiotensin II-induced contraction of the abdominal aorta isolated from Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. *J Smooth Muscle Res* 2005 ; 41 : 87-97
- 4) Wakabayashi I : Sensitivity of circulatory response to alcohol influences the relationship between alcohol consumption and blood pressure in Orientals. *Blood Press* 2005 ; 14 : 238-244
- 5) Matsusaka S, Wakabayashi I : 5-Hydroxytryptamine augments migration of human aortic smooth muscle cells through activation of RhoA and ERK. *Biochem Biophys Res Commun* 2005 ; 337 : 916-921
- 6) Negoro M, Wakabayashi I : Enhancement of alcohol dehydrogenase activity in vitro by acetylsalicylic acid. *Eur J Pharmacol* 2005 ; 523 : 25-28
- 7) Matsusaka S, Wakabayashi I : 5-Hydroxytryptamine as a potent migration enhancer of human aortic endothelial cells. *FEBS Lett* 2005 ; 579 : 6721-6725
- 8) Saito F, Matsusaka S, Kato H, Wakabayashi I : Inhibitory action of daunorubicin on lipopolysaccharide-stimulated inducible-type nitric oxide synthase induction in alveolar macrophages. *J Pharmacol Sci* 2005 ; 99 : 364-372
- 9) Kato H, Negoro M, Wakabayashi I : Effects of acute ethanol administration on LPS-induced expression of cyclooxygenase-2 and inducible nitric oxide synthase in rat alveolar macrophages. *Alcohol Clin Exp Res* 2005 ; 29 (12 Suppl) : 285S-93S
- 10) Negoro M, Wakabayashi I : Interactions of alcohol dehydrogenase to *p*-hydroxyacetophenone-sepharose and *p*-acetamidophenol-sepharose. *Alcohol Clin Exp Res* 2005 ; 29 (12 Suppl) : 304S-308S
- 11) Matsusaka S, Tohyama Y, He J, Shi Y, Hazama R, Kadono T, Kurihara R, Tohyama K, Yamamura H : Protein-tyrosine kinase, Syk, is required for CXCL12-induced polarization of B cells. *Biochem Biophys Res Commun* 2005 ; 328 : 1163-1169
- 12) Matsusaka S, Nagareda T, Yamasaki H : Does cisplatin (CDDP) function as a modulator of 5-fluorouracil (5-FU) antitumor action? A study based on a clinical trial. *Cancer Chemother Pharmacol* 2005 ; 55 : 387-392.
- 13) 根来宗孝, 丸茂幹雄, 高橋裕二, 若林一郎 : 耐糖能におよぼすアルコールの影響とALDH2 遺伝子多型 . 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2005 ; 40 : 434-440 .
- 14) 田崎勝成, 若林一郎 : 摘出ラット大動脈におけるhuman urotensin による血管収縮のメカニズム . 岐阜聖徳学園大学短期大学部紀要 2005 ; 37 : 93-103.

(2) 総説

- 1) 若林一郎, 定期健康診断の結果からみた山形県内の産業従事者の血中脂質異常について . 秋田県公衆衛生学会誌 2005 ; 2 : 7-11
- 2) 若林一郎, 諏佐真治, 後藤薫, 細胞内アルカリ化と血管機能 . 循環制御 2005 ; 26 : 135-139
- 3) 若林一郎, 丸茂幹雄, 垣下榮三, 血小板, 血管機能調節における細胞内pHとカルシウム動態 . 日本血栓止血学会誌 2005 ; 16 : 160-167

(3) その他

- 1) 根来宗孝, 若林一郎 : アルコール脱水素酵素と*p*-Hydroxyacetophenone-sepharoseおよび*p*-Acetamidophenol-sepharoseとの相互作用 . アルコールと医学生物学 2005 ; 25 : 55-59

- 2) 若林一郎：山形県における事業所健診での血中脂質異常について，さんぼ山形，2005；26：1

2. 学 会 報 告

(1) 国内の学会

- 1) 加藤博久，根来宗孝，若林一郎：ラット肺胞マクロファージにおけるエタノールのERKを介するCOX-2発現への抑制作用．第78回日本薬理学会，横浜；2005年3月
- 2) 斎藤史明，松阪諭，加藤博久，若林一郎：マクロファージのiNOS発現におよぼすダウノルビシンの抑制作用．第78回日本薬理学会，横浜；2005年3月
- 3) 田崎勝成，堀正敏，尾崎博，唐木英明，若林一郎：ラット大動脈におけるウロテンシンによる血管収縮のメカニズム．第78回日本薬理学会，横浜；2005年3月
- 4) 加藤博久，根来宗孝，若林一郎：肺胞マクロファージにおけるiNOS及びCOX-2発現へのアルコールの効果．第5回日本NO学会，札幌；2005年4月
- 5) 佐藤真里子，若林一郎：山形県内の産業従事者の血中脂質異常の現状とその対策．第78回日本産業衛生学会，東京；2005年4月
- 6) 加藤博久，若林一郎，大類真嗣，深尾彰，大泉弘幸，貞弘光章：山形県における地区別の肺癌死亡率の変遷．第64回日本公衆衛生学会，札幌；2005年9月
- 7) 若林一郎：飲酒と呼吸器疾患に関する最近の知見．第39回日本アルコール・薬物医学会総会シンポジウム，金沢；2005年9月
- 8) 加藤博久，大泉弘幸，貞弘光章，根来宗孝，若林一郎：肺胞マクロファージにおけるCOX-2及びiNOS発現へのアルコールの効果．第58回日本胸部外科学会定期学術集会，岡山；2005年10月
- 9) 丸茂幹雄，常見幸，徳川多津子，澤田暁宏，角田ちぬよ，紺屋浩之，日笠聡，末廣謙，垣下榮三，若林一郎，難波光義：血小板における容量性Ca²⁺流入へのgliclazideの効果についての検討．第28回日本血栓止血学会，福岡；2005年11月

(2) 国内地方会

- 1) 佐藤真里子，若林一郎：山形県内の動脈硬化性疾患による死亡率の地域差．第31回山形県公衆衛生学会，山形；2005年3月

(3) 研 究 会

- 1) 根来宗孝，若林一郎：アルコール脱水素酵素と*p*-Hydroxyacetophenone-sepharoseおよび*p*-Acetamidophenol-sepharoseとの相互作用．第25回アルコール医学生物学研究会学術集会，東京；2005年3月
- 2) 加藤博久，塩野知志，佐藤徹，若林一郎：山形県における地区別の肺癌死亡率の変遷．第37回山形肺癌懇話会，酒田；2005年6月

(4) そ の 他

- 1) 若林一郎：生活習慣病予防 - 県内の実情を踏まえて．平成16年度新庄市最上郡医師会産業医研修会，新庄；2005年1月
- 2) 若林一郎：細胞内アルカリ化と情報伝達．兵庫医科大学第二内科同窓会垣下榮三教授退職記念講演会，大阪；2005年1月
- 3) 若林一郎：特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識．特定化学物質等作業主任者技能講習，山形；2005年1月
- 4) 若林一郎：有機溶剤による健康障害及びその予防措置に関する知識．有機溶剤作業主任者技能講習，山形；2005年2月
- 5) 若林一郎：健康診断結果と職場の健康確保対策．第2回新庄・最上地区健康保持増進大会，新庄；2005年2月
- 6) 若林一郎：労働生理・衛生管理者（第一種）免許試験受験準備講習会，山形；2005年5月
- 7) 若林一郎：特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識．特定化学物質等作業主任者技能講習，山形；2005年6月
- 8) 若林一郎：有機溶剤による健康障害及びその予防措置に関する知識．有機溶剤作業主任者技能講習，山形；2005年7月
- 9) 若林一郎：酸素欠乏症及び硫化水素発生の原因及び防止措置に関する知識．第二種酸素欠乏危険作業主任者

技能講習，山形；2005年7月

10) 若林一郎：特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識．特定化学物質等作業主任者技能講習，山形；2005年9月

11) 若林一郎：糖尿病とアルコール動脈硬化との関連から．糖尿病シンポジウムin山形，山形；2005年10月

12) 若林一郎：酸素欠乏症及び硫化水素発生の原因及び防止措置に関する知識．第二種酸素欠乏危険作業主任者技能講習，山形；2005年10月

法医病態診断学分野（法医学）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Horiuchi H, Osawa M, Furutani R, Morita M, Tian W, Awatsu Y, Shimazaki H, Umetsu K : Polymerase chain reaction-based analysis using deaminated DNA of dodecamer expansions in CSTB, associated with Unverricht-Lundborg myoclonus epilepsy. *Genet Test* 2005 ; 9 : 328-333
- 2) Horiuchi H, Sasaki A, Osawa M, Kijima K, Ino Y, Matoba R, Hayasaka K : Sensitive detection of polyalanine expansions in PHOX 2 B by polymerase chain reaction using bisulfite-converted DNA. *J Mol Diagn* 2005 ; 7 : 638-640
- 3) Kanai M, Kijima K, Shirahata E, Sasaki A, Akaba K, Umetsu K, Tezuka N, Kurachi H, Aikawa S, Hayasaka K : Neonatal hyperbilirubinemia and the bilirubin uridine diphosphate-glucuronosyltransferase gene: The common -3263T > G mutation of phenobarbital response enhancer module is not associated with the neonatal hyperbilirubinemia in Japanese. *Pediatr Int* 2005 ; 47 : 137-141
- 4) Kato Y, Kaneko M, Sata M, Fujita N, Tsuruo T, Osawa M : Enhanced expression of aggrus (T1 alpha/podoplanin), a platelet-aggregation-inducing factor in lung squamous cell carcinoma. *Tumor Biol* 2005 ; 26 : 195-200
- 5) Kijima K, Numakura C, Izumino H, Umetsu K, Nezu A, Shiiki T, Ogawa M, Ishizaki Y, Kitamura T, Shozawa Y, Hayasaka K : Mitochondrial GTPase mitofusin 2 mutation in Charcot-Marie-Tooth neuropathy type 2 A. *Hum Genet* 2005 ; 116 : 23-27
- 6) Kijima K, Numakura C, Goto T, Takahashi T, Otagiri T, Umetsu K, Hayasaka K : Small heat shock protein 27 mutation in a Japanese patient with distal hereditary motor neuropathy. *J Hum Genet* 2005 ; 50 : 473-476
- 7) Kitano T, Saitou N : Evolutionary conservation of 5' upstream sequence of nine genes between human and great apes. *Genes Genet Syst* 2005 ; 80 : 225-232
- 8) Nishio H, Takai S, Miyazaki M, Horiuchi H, Osawa M, Uemura K, Yoshida K, Mukaida M, Ueno Y, Suzuki K : Usefulness of serum mast cell-specific chymase levels for postmortem diagnosis of anaphylaxis. *Int J Legal Med* 2005 ; 119 : 331-334
- 9) Osawa M, Tian W, Horiuchi H, Kaneko M, Umetsu K : Association of α 2-HS glycoprotein (AHSG, fetuin-A) polymorphism with AHSG and phosphate serum levels. *Hum Genet* 2005 ; 116 : 146-151
- 10) Umetsu K, Tanaka M, Yuasa I, Adachi N, Miyoshi A, Kashimura S, Park KS, Wei YH, Watamabe G, Osawa M : Multiplex amplified product-length polymorphism analysis of 36 mitochondrial single-nucleotide polymorphisms for haplogrouping of East Asian populations. *Electrophoresis* 2005 ; 26 : 91-98
- 11) Shimada MK, Kim CG, Kitano T, Ferrell RE, Kohara Y, Saitou N : Nucleotide sequence comparison of a chromosome rearrangement on the human chromosome 12 and corresponding ape chromosomes. *Cytogenet Genome Res* 2005 ; 108 : 83-90
- 12) 安達登, 坂上和弘, 百々幸雄, 篠田謙一, 梅津和夫, 大島直行 : 北海道伊達市有珠モシリ遺跡出土人骨のミトコンドリアDNA多型解析. *DNA多型* 2005 ; 13 : 242-245
- 13) 梅津和夫, 渡辺剛太郎, 久合田伸子, 田煒, 北野誉, 大澤資樹 : DXS10011のタイプ特異的プライマーを用いた簡易判定法について. *法医学実研* 2005 ; 48 : 91-94
- 14) 大澤資樹, 田煒, 堀内英和, 金子美華, 梅津和夫 : α 2-HS glycoprotein (AHSG) 多型とカルシウム・リン酸代謝との関係. *DNA多型* 2005 ; 13 : 266-269
- 15) 中川真由美, 湯浅勲, 梅津和夫 : ドイツ人におけるC1R遺伝子の多様性について. *DNA多型* 2005 ; 13 : 256-258.
- 16) 堀内英和, 梅津和夫, 大澤資樹 : Unverricht-Lundborg型ミオクローヌスてんかんの原因となるシスタチンB遺伝子内dodecamer repeat expansionのPCR検出. *DNA多型* 2005 ; 13 : 228-231

- 17) 湯浅勲, 入澤淑人, 梅津和夫, 渡辺剛太郎, 中村博明: 集団・祖先マーカーとしてのMATP遺伝子のL374F変異. DNA多型 2005; 13: 239-241
- 18) 渡辺剛太郎, 梅津和夫, 大澤資樹, 湯浅勲: 犯人像推定のためのDNAプロファイリングシステムの構築. DNA多型 2005; 13: 29-33

(2) 総 説

- 1) Umetsu K, Yuasa I: Recent progress in mitochondrial DNA analysis. Legal Med 2005; 7: 259-262
- 2) Yuasa I, Umetsu K: Molecular aspects of biochemical markers. Legal Med 2005; 7: 251-254
- 3) 北野誉, 斎藤成也: ヒトと類人猿のゲノム比較からわかること. 分子精神医学 2005; 5: 381-385

(3) 著 書

- 1) 北野誉, 斎藤成也: DDBJのホームページを用いた配列解析. 「バイオ研究者のためのデータベース利用術」金久實・小川温子・西原祥子編, 学進出版, 2005; 15-29

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Osawa M, Matoba R, Sasaki A, Hayasaka K: Absence of polyalanine expansions in the PHOX 2 gene among cases of sudden infant death. Sixth International Symposium on Advances in Legal Medicine, Hamburg, Germany; September 2005

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 浅利優, 安積順一, 清水恵子, 梅津和夫, 塩野寛: ミトコンドリアDNA HV1, 2領域多型検出とハプログループ判定による頻度解析. 第89次日本法医学会総会, 高松; 2005年4月
- 2) 梅津和夫, 湯浅勲, 大澤資樹: 疾患関連ミトコンドリアDNAの遺伝子異常を検出する高感度スクリーニング法について. 第89次日本法医学会総会, 高松; 2005年4月
- 3) 堀内英和, 大澤資樹, 伊野由紀子, 的場梁次: 中枢性肺胞低換気症候群の遺伝子診断法の確立と乳幼児突然死例における遺伝子変異検出の試み. 第89次日本法医学会総会, 高松; 2005年4月
- 4) 湯浅勲, 入澤淑人, 梅津和夫, 針原伸二, 三好綾: コーカソイド系遺伝子 (MATP, CCR5, Duffy) の分布について. 第89次日本法医学会総会, 高松; 2005年4月
- 5) 大澤資樹: 山形県における孤独死の実態. 日本警察医会第11回総会, 山形; 2005年6月
- 6) 北野誉, 劉玉華, 植田信太郎, 斎藤成也: ヒトと類人猿におけるタンパク質コード遺伝子103個の比較. 日本遺伝学会第77回大会, 東京; 2005年7月
- 7) 田煒, 加藤幸成, 大澤資樹: 前立腺におけるaggrus (T1 α /podoplanin) 発現. 日本アンドロロジー学会第24回学術大会, 横浜; 2005年7月
- 8) 北野誉, 梅津和夫, 斎藤成也, 大澤資樹: 遺伝子重複前後でのRh式血液型遺伝子の進化パターンの変化. 第7回日本進化学会, 仙台; 2005年8月
- 9) 安達登, 篠田謙一, 梅津和夫, 坂上和弘, 大島直行, 百々幸雄: 北海道縄文・続縄文人骨のミトコンドリアDNA解析. 日本DNA多型学会第14回学術集会, 前橋; 2005年11月
- 10) 梅津和夫, 湯浅勲, 安達登, 三好綾, 渡辺剛太郎, 田中雅嗣, 大澤資樹: APLP法によるミトコンドリアハプログループの東アジア集団における出現頻度. 日本DNA多型学会第14回学術集会, 前橋; 2005年11月
- 11) 大澤資樹, 堀内英和, 田煒, 北野誉, 梅津和夫: 高GC含量領域のPCR増幅におけるDNA脱アミノ化処理の有効性. 日本DNA多型学会第14回学術集会, 前橋; 2005年11月
- 12) 北野誉, 梅津和夫, 田煒, 大澤資樹: ミトコンドリアの12S及び16SリボソームRNA遺伝子を利用した種属識別. 日本DNA多型学会第14回学術集会, 前橋; 2005年11月
- 13) 橋谷田真樹, 梅津和夫, 湯浅勲, 田村明敬, 三好綾, 舟山真人: 日本人におけるY-STR 17座位の遺伝頻度分布. 日本DNA多型学会第14回学術集会, 前橋; 2005年11月
- 14) 渡辺剛太郎, 梅津和夫, 湯浅勲, 大澤資樹: マルチプレックスSNP検査法による個人識別. 日本DNA多型学会第14回学術集会, 前橋; 2005年11月
- 15) 北野誉: 発語と言語に関与する遺伝子FOXP 2の分子進化. 第59回日本人類学会大会, 横浜; 2005年11月

(3) 国 内 地 方 会

- 1) 梅津和夫, 渡辺剛太郎, 久合田伸子, 田煒, 北野誉, 大澤資樹: DXS10011のタイプ特異的プライマーを用

- いた簡易判定法について. 法医学談話会第92回例会・第6回日本法医学会北日本地方会, 山形; 2005年10月
- 2) 大澤資樹, 久合田伸子: 山形県内における孤独死の統計. 法医学談話会第92回例会・第6回日本法医学会北日本地方会, 山形; 2005年10月
- 3) 北野誉, 梅津和夫, 田煒, 大澤資樹: ミトコンドリアの12S及び16SリボソームRNA遺伝子を利用した種属識別. 法医学談話会第92回例会・第6回日本法医学会北日本地方会, 山形; 2005年10月
- 4) 佐々木綾子, 金井雅代, 木島一巳, 小田切徹州, 大澤資樹, 早坂清: 先天性中枢性低換気症候群と乳幼児突然死症候群との関係: PHOX 2 B遺伝子の検索. 法医学談話会第92回例会・第6回日本法医学会北日本地方会, 山形; 2005年10月
- 5) 渡辺剛太郎, 梅津和夫, 大澤資樹: 30年前の嬰兒骨からの身元確認. 法医学談話会第92回例会・第6回日本法医学会北日本地方会, 山形; 2005年10月

人体病理病態学分野（病理学第二）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Homma N, Tamura G, Honda T, Jin Z, Ohmura K, Kawata S, Motoyama T : Hypermethylation of Chfr and hMLH 1 in gastric noninvasive and early invasive neoplasias. *Virchows Arch* 2005 ; 446 : 120-126
- 2) Saitoh M, Hayasaka T, Ohmichi M, Kurachi H, Motoyama T : Primary mucinous adenocarcinoma of the vagina : Possibility of differentiating from metastatic adenocarcinomas. *Pathol Int* 2005 ; 55 : 372-375
- 3) Kato N, Honma K, Hojo H, Sasou S, Matsuzaki O, Motoyama T : KIT expression in normal and neoplastic renal tissues: Immunohistochemical and molecular genetic analysis. *Pathol Int* 2005 ; 55 : 479-483
- 4) Kubota Y, Tomita Y, Tsukigi M, Kurachi H, Motoyama T, Mir LM : A case of perineal malignant melanoma successfully treated with electrochemotherapy. *Melanoma Res* 2005 ; 15 : 133-134
- 5) Tsuchiya T, Osanai T, Ogose A, Tamura G, Chano T, Kaneko Y, Ishikawa A, Orui H, Wada T, Ikeda T, Namba M, Takigawa M, Kawashima H, Hotta T, Tsuchiya A, Oginio T, Motoyama T : Methylation status of EXT 1 and EXT 2 promoters and two mutations of EXT 2 in chondrosarcoma. *Cancer Genet Cytogenet* 2005 ; 158 : 148-155
- 6) Honda T, Tamura G, Endoh Y, Nishizuka S, Kawata S, Motoyama T: Expression of tumor suppressor and tumor-related proteins in differentiated carcinoma, undifferentiated carcinoma with tubular component and pure undifferentiated carcinoma of the stomach. *Jpn J Clin Oncol* 2005 ; 35 : 580-586
- 7) Endoh M, Tamura G, Honda T, Homma N, Terashima M, Nishizuka S, Motoyama T : RASSF2, a potential tumor suppressor, is silenced by CpG island hypermethylation in gastric cancer. *Br J Cancer* 2005 ; 93 : 1395-1399
- 8) 本山悌一：子宮体部の腫瘍性病変 . 内膜由来病変の鑑別診断の進め方 . *診断病理* 2005 ; 22 : 141-148
- 9) 柳川直樹, 笹生俊一, 池田栄一, 林洋毅, 緒形真也：胆嚢原発腺内分泌細胞癌の1例, *診断病理* 2005 ; 22 : 261-263
- 10) 関口真紀, 刑部光正, 早坂直, 倉智博久, 本山悌一: 迅速病理診断に対する婦人科側と病理側とのギャップ . *日婦腫瘍誌* 2005 ; 23 : 551-555

(2) 著書

- 1) 本山悌一(分担): 細胞像と組織像の対比. 「細胞診を学ぶ人のために」, 第4版, 坂本穆彦編, 医学書院, 2005 ; 30-37

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 本間直之, 田村元, 本田悌一郎, 遠藤誠, 本山悌一: RUNX 3 CpG Islandにおけるメチル化の進展について . 第94回日本病理学会総会, 横浜 ; 2005年4月
- 2) 本山悌一, 齋藤真紀: 子宮頸部病変の総合診断精度の向上 . 第94回日本病理学会総会, 横浜 ; 2005年4月
- 3) 加藤哲子, 本間慶一, 条洋, 田村元, 本山悌一: 正常腎および腎腫瘍におけるKIT発現 . 第94回日本病理学会総会, 横浜 ; 2005年4月
- 4) 野沢佳弘, 阿部正文, 小田島肇, 本山悌一: 卵管採漿膜部由来の限局性悪性上皮腫の1例 . 第94回日本病理学会総会, 横浜 ; 2005年4月
- 5) 本田悌一郎, 田村元, 遠藤誠, 本間直之, 本山悌一, 長浜千秋: <メチル化診断チップ>の開発とその可能性 . 第94回日本病理学会総会, 横浜 ; 2005年4月
- 6) 狩野正昭, 殿岡幸一, 緒形真也, 加藤哲子, 田村元, 本山悌一: 子宮頸部病変の総合診断としての細胞診と組織診との診断一致への試み . 第46回日本臨床細胞学会総会, 福岡 ; 2005年5月
- 7) 関口真紀, 早坂直, 刑部光正, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久, 加藤哲子, 本山悌一: 教育シンポジウム

「迅速病理診断の現状と問題点～臨床医と病理医のクロストーク～」迅速病理診断に対する婦人科側と病理側とのギャップ」. 第38回日本婦人科腫瘍学会, 和歌山; 2005年7月

- 8) 本山悌一, 加藤哲子, 関口真紀, 早坂直, 倉智博久: 子宮頸部扁平上皮系病変の生検診断の精度向上をめざして. 第38回日本婦人科腫瘍学会, 和歌山; 2005年7月
- 9) 刑部光正, 関口真紀, 早坂直, 中原健次, 倉智博久, 本山悌一: 組織亜型の分類に迷う卵巣腺癌の1例について. 第38回日本婦人科腫瘍学会, 和歌山; 2005年7月
- 10) 刑部光正, 本山悌一, 加藤哲子, 田村元, 倉智博久: 日本人の外陰扁平上皮癌の病理学的特性. 第64回日本癌学会学術総会, 札幌; 2005年9月
- 11) 本田悌一朗, 田村元, 本間直之, 遠藤誠, 宗幹之, 牧野直彦, 河田純男, 本山悌一, 外川直之: 「メチル化診断チップ」の開発とその可能性. 第64回日本癌学会学術総会, 札幌; 2005年9月
- 12) 宗幹之, 秋山直, 田村元, 本山悌一: 胃の純型肝様腺癌の特性と発生. 第64回日本癌学会学術総会, 札幌; 2005年9月
- 13) 東海林道子, 加藤哲子, 浅沼いづみ, 下嶋時子, 田村元, 本山悌一, 狩野正昭: 乳腺の髓様癌とリンパ球浸潤を伴う充実腺管癌との細胞像の比較. 第44回日本臨床細胞学会秋期大会, 奈良; 2005年11月

(2) 国内地方会

- 1) 遠藤誠, 田村元, 柳川直樹, 大泉弘幸, 加藤博久, 本山悌一: 若年女性の両側多発肺結節. 第60回日本病理学会東北支部学術集会, 仙台; 2005年2月
- 2) 朴正華, 関口真紀, 加藤哲子, 本山悌一: 手術中に偶然発見された卵管間膜腫瘍. 第61回日本病理学会東北支部学術集会, 函館; 2005年7月
- 3) 緒形真也, 田村元, 本山悌一: 脾破裂をきたした伝染性単核球症の1例. 第61回日本病理学会東北支部学術集会, 函館, 2005年7月
- 4) 加藤哲子, 田村元, 本山悌一: 背部腫瘍の1例. 第61回日本病理学会東北支部学術集会, 函館; 2005年7月

(3) 研究会

- 1) 本山悌一: 総合的診断精度向上における病理医の役割. 第18回新潟病理研究会, 新潟; 2005年5月
- 2) 関口真紀, 刑部光正, 本山悌一: 腹膜病変を伴った子宮内膜癌. 第22回婦人科病理研究会, 山形; 2005年6月

(4) その他

- 1) 本山悌一: 機能性腫瘍の病理と臨床. 新潟大学歯学部講義, 新潟; 2005年7月

3. その他

- 1) 第50回Scientific Pathology Seminar, 山形; 2005年2月
- 2) 第51回Scientific Pathology Seminar, 山形; 2005年3月
- 3) 第52回Scientific Pathology Seminar, 山形; 2005年6月
- 4) 第53回Scientific Pathology Seminar, 山形; 2005年11月

映像解析制御学分野（放射線医学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Adachi M, Kawanami T, Ohshima F, Hosoya T : (Case report) Cerebellar atrophy attributed to cerebellitis in two patients. Magnetic Resonance in Medical Sciences 2005 ; 4 : 103-107
- 2) Nagahata M, Abe Y, Ono S, Hosoya T : Surface appearance of the vertebrobasilar artery revealed a basiparallel anatomic scanning (BPAS)-MR imaging : its role for brain MR examination. AJNR Am J Neuroradiol 2005 ; 26 : 2508-2513
- 3) Ishiyama H, Suzuki K, Niino K, Hosoya T, Hayakawa K : Geometrical verification system using Adobe Photoshop in radiotherapy. Radiation Medicine 2005 ; 23 : 80-83
- 4) 和田仁, 細矢貴亮, 高橋ちあき, 皆川靖子, 衛田文, 滝口栄 : 山形市立済生館における呼吸同期下体幹部定位放射線治療, 北日本放射線腫瘍学研究会 2005 ; 44 : 21-26
- 5) 駒谷昭夫 : 糖尿病の脳血流について. 東北脳循環 2005 ; 11 : 25-27

(2) 総説

- 1) 日下部きよ子, 駒谷昭夫, 笹木寛治, 松田博史, 岡村光英, 佐藤幸光, 丸野広大. (報告) 放射性医薬品副作用事例調査報告 第26報. 核医学 2005 ; 42 : 33-45
- 2) 根本健二, 和田仁, 小川芳弘, 山田章吾, 伊藤芳久, 平栄, 佐々木一也, 滝田佳克, 高橋健 : 遠隔放射線治療支援の現状と将来 - 遠隔放射線治療計画を中心に -. インナービジョン 2005 ; 7 : 104-109

(3) 著書

- 1) 駒谷昭夫 : (共著) イメージング機器と精度管理, 核医学 (セミナー特集号) 2005 ; 61-67
- 2) 駒谷昭夫 : (共著) 放射線物理・測定原理の基礎知識, 核医学 (セミナー特集号) 2005 ; 159-167
- 3) 細矢貴亮 : (編著者) & 総論 序論 診療放射線技師に知って欲しい画像診断 中枢神経 (医療科学社, 東京) 2005 ; 2-19
- 4) 駒谷昭夫 : (共著) 撮影法とピットホール : 核医学検査, 診療放射線技師に知って欲しい画像診断. 中枢神経 (医療科学社, 東京) 2005 ; 72-82
- 5) 鹿戸将史 : (共著) メタノール中毒, これでわかる拡散MRI (秀潤社), 2005 ; 328-329

(4) その他

- 1) 駒谷昭夫, 川勝忍 : 133Xe-rCBF vs 99mTc-ECD/eZIS (精神神経疾患の脳SPECT : 追加症例). みちのく核医学 2005 ; 13 : 3-5
- 2) 駒谷昭夫 : 統計画像 (eZIS) が有効と思われた症例. 北日本核医学 2005 ; 1-2
- 3) 駒谷昭夫 : 深部病変でeZISが有用であった2例. 北日本核医学 2005 ; 5-6
- 4) 駒谷昭夫, 新野恵司 : 甲状腺がんNaI-131治療の一例. 北日本核医学 2005 ; 7-8

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 花輪千智, 菅井幸雄, 本間次男, 菊田学, 小田敦子, 五十嵐歩, 細矢貴亮, 小山内俊久, 土屋登嗣 : 遺残坐骨動脈に生じた類上皮血管内皮腫の1例. 第41回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 広島 : 2005年10月
- 2) 駒谷昭夫, 菅井幸雄, 間中友季子, 小田敦子, 岡田明男, 細矢貴亮 : 糖尿病の脳血流 第45回日本核医学会, 東京 : 2005年11月
- 3) 和田仁, 細矢貴亮, 川井久雄, 笹木義正, 伊東一志, 山口昂一, 香坂浩之, 根本健二 : CMS-BBを利用した遠隔放射線治療計画支援システムの構築. 第18回日本放射線腫瘍学会, 川崎市 : 2005年11月

(2) 国内地方会

- 1) 駒谷昭夫, 間中友季子, 菅井幸雄, 小田敦子, 鹿戸将史, 細矢貴亮, 加藤丈夫 : 糖尿病の脳血流 (第2報) - 脳血流予備能について -. 第57回日本核医学会北日本地方会, 新潟 : 2005年6月
- 2) 花輪千智, 菅井幸雄, 本間次男, 菊田学, 鈴木歩, 細矢貴亮 : 遺残坐骨動脈に生じた類上皮血管内皮腫の1

例．第112回日本医学放射線学会北日本地方会，新潟：2005年6月

- 3) 和田仁，細矢貴亮，川井久雄，笹木義正，伊東一志，山口昂一：CMS-BBを利用した遠隔放射線治療計画支援システムの構築．第112回日本医学放射線学会北日本地方会，新潟：2005年6月
- 4) 鹿戸将史，小田敦子，五十嵐歩，細矢貴亮，板垣孝知，黒川克朗：スギヒラタケ脳症の2例．第113回日本医学放射線学会北日本地方会，仙台：2005年10月
- 5) 花輪千智，朽木恵，駒谷昭夫，間中友季子，細矢貴亮：造影CTによる乳癌リンパ節転移の診断．第113回日本医学放射線学会北日本地方会，仙台：2005年10月
- 6) 菊田学，菅井幸雄，和田仁，本間次男，細矢貴亮 卵巣腫瘍の茎捻転に子宮捻転を合併した1例 第113回日本医学放射線学会北日本地方会 仙台 2005.10.28 c

(3) 研究会

- 1) 細矢貴亮：(講演) 頭蓋内動脈解離の臨床と画像診断．小野薬品セミナー，山形：2005年3月
- 2) 菅井幸雄，本間次男，花輪千智，細矢貴亮，渡邊順久：Y-graft 術後に生じた総腸骨動脈瘤の塞栓，ステントグラフトの一例．第12回山形県IVR研究会，山形：2005年5月
- 3) 花輪千智，菅井幸雄，本間次男，菊田学，鈴木歩，小田敦子，鹿戸将史，細矢貴亮：遺残坐骨動脈に生じた類上皮血管内皮腫の1例．第14回山形CT・MRI研究会，山形：2005年9月
- 4) 細矢貴亮：(特別講演) 脳神経と血管の画像診断．第8回ニューロイメージング実道，島根：2005年10月

(4) その他

- 1) 駒谷昭夫：(講義) 放射線と放射能，およびその単位について．福島医科大学 医学物理学講義，福島：2005年4月
- 2) 駒谷昭夫：(講演) 放射線物理・測定原理の基礎知識 日本核医学会第5回春季合同セミナー：核医学専門医教育セミナー，名古屋：2005年5月
- 3) 駒谷昭夫：(講演) イメージング機器と精度管理．日本核医学会第5回春季合同セミナー：初心者のための講習会，名古屋：2005年5月
- 4) 駒谷昭夫：(講義) 核医学物理学．2005年度医学物理学講習会，東京：2005年8月

3. その他

- 1) 第54回山形神経放射線懇話会，山形；2005年1月
- 2) 第19回山形県放射線科医の会，山形；2005年1月
- 3) 第5回山形デジタル画像セミナー，山形；2005年3月
- 4) 第55回山形神経放射線懇話会，山形；2005年4月
- 5) 第12回山形IVR研究会，山形；2005年7月
- 6) 第25回神経放射線ワークショップ，上山；2005年8月
- 7) 第14回山形CT・MRI研究会，山形；2005年9月
- 8) 第56回山形神経放射線懇話会，山形；2005年11月

基礎看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 沼館紀子, 高橋みや子: 分娩中の看護援助における助産師・産婦の発語・発言の分析. 北日本看護学会誌 2005; 8(1): 13-26
- 2) 小山田信子, 高橋みや子: 明治6年から明治15年までの史料に見る宮城県における公文書の伝達経路. 日本看護歴史学会誌 2005; 18(18): 60-68
- 3) 小川恵一, 鈴木克彦, 藤井浩美, 佐藤寿晃, 中野春樹, 寒河江正明, 宮坂卓治, 内藤輝, 渡辺皓: 機械的条件刺激を用いた筋電図平均加算法によるヒト母子球筋から橈側手根伸筋への速通の解析. 山形医学 2005; 23: 107-115
- 4) 小山奈都子, 高橋有里, 石田陽子, 菊池和子, 渡辺皓: 筋肉注射を安全に施行するための部位の検討 - 三角筋と中殿筋について -. 岩手県立大学看護学部紀要 2005; 7: 97-100
- 5) 布施淳子: 臨地実習における看護学生のヒヤリハット体験. 日本看護管理学会誌 2005; 8(2): 37-47
- 6) 布施淳子: 臨地実習における転倒のヒヤリハットの実態と危険予測. 看護展望 2005; 30(12): 1394-1399

(2) 著書

- 1) 布施淳子, 松澤洋子, 齊藤明子, 渡辺皓: 東北地方における保健医療施設が求める看護系大学卒業者像. 看護教育 2005; 46(6): 448-457

(3) その他

- 1) 布施淳子: 看護師の転倒・転落に対する危険性を察知するアセスメント能力の関する研究. 「21世紀の安心・安全の医療を目指す研究・活動への助成」報告書. 横浜市立大学医学部創立60周年記念事業 2005: 19-22

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 小山田信子, 高橋みや子: 宮城県における看護教育制度と身分法の成立過程. 日本看護歴史学会第19回大会, 伊勢原; 2005年8月
- 2) 大沼優子, 高橋みや子: 第二次世界大戦後のGHQの看護教育改革と山形市立病院済世館における甲種看護婦養成所の設立の経緯. 日本看護歴史学会第19回大会, 伊勢原; 2005年8月
- 3) 沼館紀子, 高橋みや子: 分娩時の看護援助における助産師と産婦の会話・発言の分析. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 4) 門馬靖武, 高橋みや子, 濃沼信夫: 経尿道的尿管採石術中の看護実践場面における看護行為分析の試み - 疼痛の対応場面を対象として -. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 5) 門馬靖武, 竹内真理, 佐藤美樹, 田窪茂子, 高山喜志子, 籾家真理子, 後藤マキ子, 清石幸子, 萩野千鶴, 原玲子, 高橋みや子: 臨床の看護師が実践している看護倫理の実態(1). 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 6) 佐藤美樹, 竹内真理, 田窪茂子, 高山喜志子, 籾家真理子, 門馬靖武, 後藤マキ子, 清石幸子, 萩野千鶴, 原玲子, 高橋みや子: 臨床の看護師が実践している看護倫理の実態(2) - 自由記載回答に見られる看護師の倫理意識 -. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 7) 門馬靖武, 高橋みや子: 看護実践国際分類 (ICNP) を用いた看護行為分類の試み. 第25回日本看護科学学会学術集会, 青森; 2005年11月
- 8) 島次麻美, 渡辺皓: 注射部位における神経線維の分布密度に関する比較観察. コ・メディカル形態機能研究会学術集会, 金沢; 2005年3月
- 9) 瀬川真澄, 渡辺皓: 人工創傷の治癒過程における筋線維芽細胞の分布様式. コ・メディカル形態機能研究会学術集会, 金沢; 2005年3月
- 10) 松田友美, 小野綾, 渡辺皓: 解剖実習遺体にみられる褥瘡に関する調査研究. コ・メディカル形態機能研究会学術集会, 金沢; 2005年3月

- 11) 松田友美, 渡辺皓: 仙骨部皮膚組織を養う動脈の走行と分布の特徴. コ・メディカル形態機能研究会学術集会, 金沢; 2005年3月
- 12) 瀬川真澄, 渡辺皓: 人工創傷の治癒過程における創収縮機構と筋線維芽細胞の役割. 第7回日本褥瘡学会学術集会, 横浜; 2005年3月
- 13) 松田友美, 渡辺皓: 仙骨部を養う動脈の走行 - 萎縮した大殿筋内を走行する動脈に注目して -. 第7回日本褥瘡学会学術集会, 横浜; 2005年8月
- 14) 武田美言, 松田友美, 渡辺皓: 褥瘡好発部位における皮膚組織の形態学的特徴. 第7回日本褥瘡学会学術集会, 横浜; 2005年8月
- 15) 森谷麻衣子, 渡辺皓: マウス卵巣における黄体の退縮に関する形態学的研究. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 16) 松澤洋子, 布施淳子: 基礎看護学実習における看護技術の学生の事前準備と実施状況. 第15回日本看護学教育学会学術集会, 埼玉; 2005年7月
- 17) 網淵智子, 松澤洋子, 小松万喜子: 一般病棟に入院する終末期患者の療養場所の選択に関する現状. 第19日本がん看護学会学術集会, 仙台; 2005年2月
- 18) 平賀愛美, 布施淳子: プリセプター- から見た新卒看護師のリアリティショックに関する認識. 第15回日本看護学教育学会学術集会, 埼玉; 2005年7月
- 19) 平賀愛美, 布施淳子: 新卒看護師とプロセプターとのリアリティショックに関する認識の相違. 第31回日本看護研究学会学術集会, 札幌; 2005年7月
- 20) 平賀愛美, 布施淳子: 新卒看護師のリアリティショックに関する認識 - 新卒看護師のリアリティ職に関する文献を用いた構成要因の分類 -. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月

(2) その他

- 1) 高橋みや子: 大学教育での看護学教育の問題点とこれからの看護学教育の展望. 第1回東北大学看護教育ワークショップ, 仙台; 2005年9月
- 2) 渡辺皓: 骨の成長と老化 - 骨粗鬆症にならないために -. 市民公開講座, 山形; 2005年6月
- 3) 渡辺皓: 褥瘡の生物学的・社会的要因. 平成17年度山形大学医学部公開講座, 山形; 2005年9月

3. その他

- 1) 山形看護教育研究会1月例会, 山形; 2005年1月
- 2) 山形看護教育研究会2月例会, 山形; 2005年2月
- 3) 山形看護教育研究会3月例会, 山形; 2005年3月
- 4) 山形看護教育研究会4月例会, 山形; 2005年4月
- 5) 山形看護教育研究会5月例会, 山形; 2005年5月
- 6) 山形看護教育研究会6月例会, 山形; 2005年6月
- 7) 山形看護教育研究会7月例会, 山形; 2005年7月
- 8) 山形看護教育研究会8月例会, 山形; 2005年8月
- 9) 山形看護教育研究会9月例会, 山形; 2005年9月
- 10) 山形看護教育研究会10月例会, 山形; 2005年10月
- 11) 山形看護教育研究会11月例会, 山形; 2005年11月
- 12) 山形看護教育研究会12月例会, 山形; 2005年12月
- 13) 第4回コ・メディカル形態機能学学術集会, 金沢; 2005年3月
- 14) 第10回解剖実習講習会, 山形; 2005年8月

1. 論文

(1) 原著

- 1) Tasaki K, Wakabayashi I, Shishido T, Takasaki S, Takeishi Y, Kubota I, Katano Y, Tomoike H ; Diminution of Angiotensin II-Induced Contraction of Abdominal Aortas Isolated from Watanabe Hereditary Hyperlipidemic Rabbits. J Smooth Muscle Res 2005 ; 41 : 87-97
- 2) Ishihata A, Ogaki T, Aita T, Katano Y : Role of prost glandins in urotensin II - induced vasodilatation in aged rat coronary arteries. Eur J Pharmacol 2005 ; 523 ; 119-126
- 3) 下田智子, 石幡明, 伊藤恒賢, 大和田一雄, 會田智美, 利美賀子, 片野由美: 遺伝性高中性脂肪血症家兔における動脈硬化病変の進展および大腿動脈圧. 山形医学 2005 ; 23 : 17-26
- 4) 利美賀子, 石幡明, 會田智美, 下田智子, 片野由美: 老化血管に対するポリフェノール含有ワイン凍結乾燥物の内皮依存性弛緩作用とその機序: 若齢血管との比較. 山形医学 2005 ; 23 : 27-36
- 5) 會田智美, 今野絹子, 石幡明, 片野由美: 加齢によって膀胱体部 受容体を介する平滑筋収縮反応性は増加する. 山形医学 2005 ; 23 : 43-52
- 6) 白石正, 仲川義人, 富永真琴, 吉谷須磨子: 風疹 ムンプスおよび水痘, 帯状疱疹ウイルスに対する血清抗体の測定と解析. 感染症雑誌 2005 ; 79(5): 322-328
- 7) 吉谷須磨子, 松木康倫: クリニカルパスシステムをサーバークライアント型で運用可能な試作開発を病院内の運用試験を行なう. 山形県地域研究開発促進支援事業研究成果育成型論文集 2005 ; 28-32
- 8) 吉谷須磨子: 術後の発熱に対するPOMR記録の特性. POS医療雑誌 2005 ; 10(1): 21-25
- 9) 遠藤芳子, 後藤順子, 青木実枝, 遠藤恵子, 山田皓子, 佐藤幸子: 看護学生の小児看護学実習におけるインシデントの実態と教育上の課題. 山形保健医療研究 2005 ; 8 : 65-72
- 10) 東海林まり子, 泉則子, 佐竹美香, 渡辺菜美, 古瀬みどり: 家族の理解度から捉えた入院診療計画書の有用性. 日本看護学会論文集 - 成人看護 - 2005 ; 35 : 27-29
- 11) 古瀬みどり: 訪問看護師がとらえた医療依存度の高い療養者の在宅療養安定化のプロセス. 家族看護学研究 2005 ; 10(3): 78-86
- 12) 古瀬みどり: 医療依存度の高い療養者の介護者の主体性獲得に向けた訪問看護師の支援プロセス. 日本在宅ケア学会誌 2005 ; 9(1): 31-38
- 13) 佐藤富美子: 乳がん患者の術式選択に向けた医師の情報提供と患者の認識. 日本保健医療行動科学会年報 2005 ; 20 : 132-145
- 14) 脇屋友美子, 佐藤富美子: 集中治療室の看護師が直面する倫理上の「戸惑い」と対処. 日本看護学会誌 2005 ; 14(2): 32-39
- 15) 遠藤由美子, 才門尚美, 藤田愛, 吉田友美, 大貫義人, 遠藤洋志: 更年期女性のための運動処方. 山形県母性衛生学会誌 2005 ; 6 : 3-6
- 16) 才門尚美, 藤田愛, 遠藤由美子, 加藤道代: 不妊治療を受けた女性の妊娠体験 (第2報). 山形県母性衛生学会誌 2005 ; 6 : 27-30

(2) 総説

- 1) 片野由美; 最近の話題「赤ワイン・ポリフェノールの健康効果について」. 日薬理誌 2005 ; 125 ; 56-57

(3) 著書

- 1) 片野由美: 一人勝ちシリーズ「薬理学」. 片野由美監修, メディカルレビュー社, 2005 ; 1-279
- 2) 片野由美: コメディカルのための薬理学. 渡邊泰秀, 岩月和彦編集, 朝倉書店, 2005 ; 94-105
- 3) 森岡由起子 (分担執筆): 心の健康4-2 心理学的検査. 「改訂 精神看護学」宮本眞己編, 中央法規, 2005
- 4) 佐藤富美子: 改訂版 看護のための薬辞典. 石橋晃・寺崎明美・藤田恵子, 黒山政一編, 中央法規出版, 2005 ; 281-296, 301-330
- 5) 佐藤富美子: 考える基礎看護技術 - 看護技術の実際 第3版. 坪井良子, 松田たみ子 編, ヌーベルヒロカワ, 2005 ; 473-499

(4) その他

- 1) 吉谷須磨子, 板垣英治: 看護業務後の白衣, 予防衣の汚染状態の調査 - 病床環境・看護業務後の予防衣の汚染状況調査から - . 感染防止 2005; 15(6): 53-66
- 2) 吉谷須磨子, 小早川明美: MRSA感染患者に対する感染看護の評価 - . 感染防止 2005; 14(5): 27-29
- 3) 生地新, 森岡由起子, 三浦真理, 鈴木飛鳥: ひきこもりの発現との関連からみた仲間集団および引きこもり支援としての仲間集団の発達論的研究. 厚生労働科学研究費補助金・こころの健康科学事業 思春期・青年期の「ひきこもり」に関する精神医学的研究(主任研究者: 井上洋一)平成17年度総括・分担報告書
- 4) 生地新, 森岡由起子, 渡部京太, 小出ひろ美, 嶋津尚子: 児童・思春期強迫性障害の診断・治療についての力動精神医学的立場からの検討(1). 厚生労働科学研究補助金・こころの健康科学事業 児童思春期強迫性障害(OCD)の実態解明と診断・治療法の標準化に関する研究(主任研究者: 斉藤万比古)平成17年度総括・分担報告書
- 5) 森岡由起子, 佐々木和子, 玉井真理子, 平山史朗: 不妊カウンセリングをするにあたってのアセスメントとカウンセリング治療技法選択について. 厚生労働科学研究費補助金・子ども家庭総合研究事業 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む総合的運用システムに関する研究(主任研究者: 吉村泰典)平成17年度総括・分担報告書
- 6) 森岡由起子, 生地新: 地域における産後の母親のうつ状態と母子の関係性障害の早期発見に関する研究. 日本学術振興会平成17年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)
- 7) 藤田愛: ナースのためのアロマセラピー. メディカ出版 2005; 220

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Katano Y, Ishihata A; Role of angiotensin and endothelin receptors in the aging-related functional changes in rat cardiovascular system. 11Th Congress of the International Association of Biomedical Gerontology (IABG), Aarhus, Denmark; August 2005
- 2) Ishihata A, Katano Y; Investigation of differentially expressed genes in the ventricular myocardium of senescent rats. 11Th Congress of the International Association of Biomedical Gerontology (IABG), Aarhus, Denmark; August 2005
- 3) Ishihata A, Murata M, Aita T, Yamada A, Shimoda T, Ogaki T, Katano Y: Coronary vasodilating mechanisms of red wine with polyphenols in young and old rats. 2nd International Conference on Polyphenols and Health, Davis California; October 2005
- 4) Ishihata A, Katano Y: Vascular dysfunction in the newly developed heritable post-prandial hypertriglyceridemic rabbits. 22th International Society for Heart Research (Japanese section) Osaka; December 2005
- 5) Furuse M; The process through which visiting nurses support caregivers in attaining independence. The 3RD International Conference on Community Health Nursing Research, Tokyo; September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 大堀直美, 北目文郎: 注射器内筒に付着した細菌の薬液内移行に関する研究. 第31回日本看護研究学会学術集会, 札幌; 2005年7月
- 2) 石幡明, 大垣友子, 会田智美, 片野由美: 老化ラット冠動脈におけるウロテンシンII刺激によるプロスタグランジンと一酸化窒素の産生. 第78回日本薬理学会年会, 横浜; 2005年3月
- 3) 下田智子, 会田智美, 利美賀子, 石幡明, 大和田一雄, 伊藤恒賢, 友池仁暢, 片野由美: 遺伝性高中性脂肪血症家兔における循環導体および加齢変化. 第78回日本薬理学会年会, 横浜; 2005年3月
- 4) 会田智美, 会田梢, 山田晃子, 今野絹子, 石幡明, 片野由美: 膀胱平滑筋収縮機構における加齢変化. 第78回日本薬理学会年会, 横浜; 2005年3月
- 5) 利美賀子, 石幡明, 片野由美: ラット大動脈におけるポリフェノール化合物による血管弛緩作用の加齢変化. 第78回日本薬理学会年会, 横浜; 2005年3月
- 6) 佐藤和佳子, 舟山恵美: 山形県正しい排泄ケアマネジメント指導員養成事業の取り組みと成果. 第18回日本老年泌尿器科学会, 岩手; 2005年5月

- 7) 佐藤和佳子, Jean Wyman: 米国ミネソタ州と山形県における高齢者長期ケア施設尿失禁ケアに関する比較研究. 日本老年看護学会第10回学術集会, 宇都宮; 2005年11月
- 8) 井部俊子, 梅田恵, 江波戸和子, 太田勝正, 太田加代, 数間恵子, 佐居由美, 佐藤和佳子, 高橋真理, 筒井真由美, 宮崎美砂子, 渡邊千登世, 高畠有理子: 「看護行為用語分類」の普及と洗練に向けて. 交流集会, 第25回日本看護科学学会学術集会, 青森; 2005年11月
- 9) 佐藤幸子: 子どもの情動表現の表示規則の獲得に関する検討. 日本発達心理学会第16回大会, 神戸; 2005年3月
- 10) 佐藤幸子, 塩飽仁, 山本三奈, 藤田愛: 神経症児の不応行動の分析. 第25回日本看護科学学会学術集会, 青森; 2005年11月
- 11) 中村郷子, 古瀬みどり: 看護系大学学生の卒業研究における課題探求プロセス. 第31回日本看護研究学会学術集会, 札幌; 2005年7月
- 12) 長谷川文子, 奥山洋美, 折原雪子, 古瀬みどり: 脳血管疾患患者・家族の理想とするADLとは - 退院計画チェックリストの有効性について -. 第36回日本看護学会 成人看護, 青森; 2005年7月
- 13) 佐藤富美子: 乳がん患者の術式選択プロセスにおける意思決定タイプとその特性. 第19回日本がん看護学会学術集会, 宮城; 2005年2月
- 14) 佐藤富美子: 胃切除術を受けたがん体験者の生活経験- 術後機能障害の克服と困難に焦点をあてた分析. 第25回日本看護科学学会学術集会, 青森; 2005年12月

(3) 国内地方会

- 1) 菖蒲靖子, 下田智子, 岡崎有恵, 小川祐子, 新里悦子, 片野由美: 赤ワインの健康効果と飲用に際し注意すべきこと - 心拍数への影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 2) 五十嵐祐子, 長谷川由希, 利美賀子, 下田智子, 片野由美: 食餌性高コレステロール血症ラットの血管機能に対するポリフェノール化合物含有赤ワイン凍結乾燥品 (RWPC) の長期投与の影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 3) 小川裕子, 岡崎有恵, 新里悦子, 下田智子, 片野由美: 食餌性高コレステロール血症ラットの冠循環に対するポリフェノール化合物含有赤ワイン凍結乾燥品の長期投与の影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 4) 岡崎有恵, 小川裕子, 新里悦子, 下田智子, 利美賀子, 片野由美: 高コレステロール血症における血小板凝集能の異常は, 赤ワイン長期摂取によって改善される. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 5) 白田裕子, 伊藤京子, 有海久美, 秋葉江里子, 齋藤スミ, 阿彦忠之, 後藤裕, 佐藤幸子: 児童虐待予防活動における保健所の役割. 山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年3月
- 6) 佐藤幸子, 山本三奈: 小児看護学教育における学内演習項目の検討. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 7) 鈴木祐子, 塩飽仁, 佐藤幸子: ゲームによる生活リズムの乱れから体調不良を訴えた子どもに対する看護介入. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 8) 藤田愛, 塩飽仁, 佐藤幸子: 自己効力感や自尊心感情が低く, 身体症状を呈した患児に対する看護介入の検討. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 9) 藤田愛, 塩飽仁, 佐藤幸子: リストカットをくりかえす不登校児に対する看護介入の検討. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 10) 長島弥生, 塩飽仁, 富澤弥生, 佐藤幸子: 高機能自閉症の兄をもつ女兒と母親への看護介入の検討. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 11) 山本三奈, 塩飽仁, 佐藤幸子: 高機能自閉症の子どもを持つ母親の同胞に対するかわりの変容過程. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 12) 近藤理美, 佐藤幸子, 山本三奈: 祖父母の果たす役割機能が孫の自己受容・共感性に及ぼす影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 13) 布施智美, 佐藤幸子, 山本三奈: 花粉症症状が小学校5, 6年生の生活の質 (QOL) に与える影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 14) 福田大祐, 佐藤幸子, 山本三奈: 高校生・看護学生の「子どもの権利条約」の認知度と権利に対する被遵守度, 重要度の実態について. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月

- 15) 三井寺英美, 佐藤幸子, 山本三奈: 病院ボランティアによる集団遊びの現状と今後の課題. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 16) 高橋佐和, 佐藤幸子, 山本三奈: 小児科外来で想定される場面における子どもの気持ちと看護師に対する期待. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 17) 日野原奈保子, 佐藤幸子, 山本三奈: きょうだいの有無・子どもが感じる両親の養育態度が友人との心理的距離に及ぼす影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 18) 大宅綾野, 古瀬みどり, 松浪容子: 尿路ストーマ造設患者のストーマセルフケア確立過程. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 19) 菊地早苗, 古瀬みどり, 松浪容子: 患者の自己決定と看護師の支援. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 20) 斉藤あゆみ, 秋場由美子, 川田弘子, 渡部ひとみ, 古瀬みどり: 安静臥床患者の入院中の心理状態と変化 - 脊椎疾患患者の聞き取り調査から -. 平成17年度北海道・東北地区看護研究学会, 郡山; 2005年9月
- 21) 遠藤貴子, 佐藤富美子, 小竹佐智代: 中途視覚障害者の日常生活における困難さと影響要因. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 22) 鈴木真梨子, 佐藤富美子, 小竹佐智代: 2型糖尿病患者が家族に期待する療養上の支援. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 23) 遠藤由美子, 才門尚美, 藤田愛, 大貫義人, 遠藤洋志: 軽運動による更年期症状軽減効果の検証. 第28回山形県母性衛生学会, 山形; 2005年10月
- 24) 才門尚美, 藤田愛, 遠藤由美子, 加藤道代: 不妊治療を受けた女性の出産体験. 第28回山形県母性衛生学会, 山形; 2005年10月
- 25) 山本三奈, 塩飽仁, 藤田愛, 遠藤由美子, 才門尚美: 母親の更年期症状が思春期・青年期にある子の自覚する心身の健康とアイデンティティ形成に与える影響. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 26) 高田恵子, 中村勝: 思春期のリプロダクティブヘルスに関する研究 - 高校生の自尊感情と性行動の関連 -. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 27) 高橋深雪, 吉田純子, 中村勝, 齋藤深雪: 精神障害者小規模作業所の通所者における服薬管理に関する研究. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 28) 石橋ちなつ, 伊坪宏美, 中村勝, 齋藤深雪: 地域で生活する精神障害者の余暇活動の実態に関する研究. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月
- 29) 新沼剣悟, 中村勝, 齋藤深雪: 小規模作業所に通所する精神障害者の金銭管理に関する実態調査研究. 第9回北日本看護学会学術集会, 秋田; 2005年8月

(4) 研究会

- 1) 新里悦子, 小川裕子, 岡崎有恵, 五十嵐祐子, 長谷川由希, 下田智子, 利美賀子, 会田智美, 石幡明, 片野由美: 老化とポリフェノールの冠循環改善効果 第3報 高コレステロール血症ラットにおけるポリフェノール化合物含有赤ワイン凍結乾燥品(RWPC)長期投与効果. 第16回実験動物セミナー研究成果発表会, 山形; 2005年12月
- 2) 伊藤充里, 舟山恵美, 佐藤和佳子: 在宅脳卒中患者の日常生活における自発的運動状況の実際と主観的健康感について. 第14回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2005年7月

(5) その他

- 1) 佐藤和佳子: 特別講演「日本の強みを活かした, 排泄ケアマネジメント相談員養成の試み». 第2回排泄ケア・排泄機能指導研究会, 愛知; 2005年11月
- 2) 佐藤和佳子: 山形市高齢者排泄介護検討委員会委員(パンフレット: 高齢者の快適な排泄ケアをめざして)作成, 山形; 2005年8月, 10月, 11月, 12月
- 3) 佐藤富美子: 在宅ケアシリーズ 高齢者のフィジカルアセスメント. 社団法人日本看護協会 神戸研修センター研修会, 神戸; 2005年1月
- 4) 佐藤富美子: 心身の調和リラクゼーションのすすめ. 平成17年度「虹の会」講演, 山形; 2005年1月
- 5) 佐藤富美子: フィジカルアセスメント. 済生会山形済生病院看護師研修会, 山形; 2005年5月
- 6) 佐藤富美子: 訪問看護基礎「高齢者のフィジカルアセスメント». 平成17年度訪問看護師養成講習会 社団法人山形県看護協会, 山形; 2005年6月

- 7) 遠藤由美子：更年期なんてこわくない．看護学科市民公開講座，山形；2005年6月
- 8) 舟山恵美：(講師)山形県排泄ケアマネジメント相談員養成事業，山形；2005年9-12月
- 9) 藤田愛：アロマセラピーと看護研究．日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，東京；2005年6月
- 10) 藤田愛：精油の理論．日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，仙台；2005年8月
- 11) 藤田愛：精油の基礎．日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，仙台；2005年8月
- 12) 藤田愛：ベビーマッサージにおける植物油の副作用．日本アロマセラピー学会東北地方会，仙台；2005年8月
- 13) 藤田愛：ワークショップ．スピーカー．日本アロマセラピー学会学術総会，大阪；2005年12月
- 14) 藤田愛：アロマセラピーと看護研究．日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，東京；2005年12月
- 15) 藤田愛：アロマセラピーと看護研究．日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，大阪；2005年12月
- 16) 藤田愛：アロマセラピーマッサージの基礎．日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，仙台；2005年12月
- 17) 藤田愛：ボンディング概論．国際ボンディング協会セミナー，東京；2005年2月
- 18) 藤田愛：ボンディング概論．国際ボンディング協会セミナー，東京；2005年4月
- 19) 藤田愛：ベビーマッサージにおける植物油の安全性と副作用．国際ボンディング協会セミナー，東京；2005年12月

3. その他

- 1) 第9回日本ロールシャッハ学会，山形；2005年10月
- 2) 第6回山形ロールシャッハ研究会，山形；2005年
- 3) 第6回山形こどもの虐待防止ネットワーク，山形；2005年
- 4) 平成17年山形デイケア連絡会，山形；2005年5月
- 5) 第8回国際看護研究会学術集会，東京；2005年9月
- 6) 平成17年日本看護協会山形県支部看護実習指導者講習会，山形；2005年7月
- 7) 平成17年日本精神科看護技術協会山形県支部看護研究会，山形；2005年8月
- 8) 平成17年山形大学公開講座，山形；2005年9月
- 9) 平成17年日本精神科看護技術協会山形県支部リーダー研修会，山形；2005年10月
- 10) 看護学科市民公開講座，山形；2005年6月
- 11) 第28回山形県母性衛生学会，山形；2005年10月
- 12) 日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，東京；2005年6月
- 13) 日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，仙台；2005年8月
- 14) 日本アロマセラピー学会東北地方会，仙台；2005年8月
- 15) 日本アロマセラピー学会学術総会ワークショップ，大阪；2005年12月
- 16) 日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，東京；2005年12月
- 17) 日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，大阪；2005年12月
- 18) 日本アロマセラピー学会看護研究会セミナー，仙台；2005年12月
- 19) 国際ボンディング協会セミナー，東京；2005年2月
- 20) 国際ボンディング協会セミナー，東京；2005年4月
- 21) 国際ボンディング協会セミナー，東京；2005年12月

地域看護学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 叶谷由佳, 大竹まり子, 田代久男, 井澤照美, 佐藤洋子, 齋藤明子, 小林淳子, 鈴木育子, 佐藤千史: 平成16年度研究助成論文概要 特定機能病院における退院支援のための早期スクリーニング方法に関する研究. 医療経済研究機構レター 2005; 13(11): 30-33
- 2) 齋藤明子, 大竹まり子, 小林淳子: 在宅筋萎縮性側索硬化症患者の家族介護者の介護に関する認識. 日本難病看護学会誌 2005; 10(2): 117-129
- 3) 李玉玲, 小林淳子, 齋藤明子, 右田周平, 大竹まり子: 中国における介護を要する高齢者の家族介護負担感に関する研究. 日本在宅ケア学会誌 2005; 9(1): 20-30
- 4) 片川久美子, 小林淳子: 乳幼児健康診査に対する母親の満足感に関連する要因の検討. 日本地域看護学会誌 2005; 8 : 5-12
- 5) 鈴木直子, 小林淳子: 高齢者のランニングアディクションに関する要因の分析. 北日本看護学会誌 2005; 8 : 5-12
- 6) 上田雅子, 叶谷由佳, 井上望, 池田清子, 佐藤千史: 急性期病院の地域連携部署の実態と平均在院日数への影響. 日本看護管理学会 2005; 8(2): 30-36
- 7) 清水由香里, 叶谷由佳, 佐藤千史: 聴覚障害者の医療機関受診時の不安と実際の病院の対応. 看護管理 2005; 15(1): 20-23
- 8) 鈴木英子, 叶谷由佳, 北岡和代, 佐藤千史: 大学病院に勤務する新卒看護職の職場環境及びアサーティブネスとバーンアウト. 日本看護研究学会雑誌 2005; 28(2): 89-97

(2) 総説

- 1) 森鍵祐子, 右田周平, 大竹まり子, 齋藤明子, 叶谷由佳, 小林淳子: 主観的介護負担を測定する尺度の使用状況に関する文献的考察. 日本在宅ケア学会誌 2005; 9(1): 104-113

(3) 著書

- 1) 鈴木育子: 訪問看護を利用している患者. ナーシング・グラフィカ23成人看護学 - 健康危機状況, 吉田澄江責任編集, メディカ出版, 2005; 195-207
- 2) 鈴木育子: 関係機関の機能と関係職種役割. 最新訪問看護研修テキスト ステップ1 - , . 在宅ケアシステム論, 川越博美・山崎摩耶・佐藤美穂子総編集, 石垣和子責任編集, 日本看護協会出版会, 2005; 154-164

(4) その他

- 1) 小林淳子: 妊娠期から育児期にある女性の健康観と母性意識が禁煙行動に及ぼす影響. 科学研究費助成報告書 基盤研究(C), 2005年2月
- 2) 叶谷由佳: なぜ, 新人ナースは離職するのか-. 看護展望 2005; 30(10): 17-23
- 3) 叶谷由佳: 地域ニーズに応じた地域連携システムの構築. 看護部長通信 2005; 3(5): 12-16
- 4) 大竹まり子, 小林淳子, 叶谷由佳, 右田周平, 齋藤明子, 高島梨江, 矢萩美幸, 尾崎孝, 小川恵一: 生きがい活動支援通所事業(生きがいデイサービス)における転倒予防体操の効果の検討. ヘルスサポートニュース 2005; 8(7): 13-16
- 5) 山形県健康福祉部長寿社会課介護保険推進室, 山形大学医学部看護学科地域看護学講座, 山形県介護支援専門員協議会: 介護支援専門員業務の実態に関する調査報告書. 山形県健康福祉部長寿社会課介護保険推進室 2005
- 6) 高橋和子, 小林淳子: 高齢者夫婦世帯で在宅療養している要介護高齢者の介護者の精神的健康状態の良好群と低群における介護状況の比較. 宮城大学看護学部紀要 2005; 8 : 37-45
- 7) 齋藤美華, 小林淳子: 前期高齢者における「お茶飲み」の実態と関連要因の分析. 日本地域看護学会誌 2005; 7 : 41-47
- 8) 片川久美子, 小林淳子: 乳幼児健康診査に対する母親の満足感を測定する質問項目の検討. 保健師ジャーナル 2005; 61 : 844-849

- 9) 安村誠司, 芳賀博, 蘭牟田洋美, 高戸二郎, 安田誠史, 村井千賀, 大竹まり子, 叶谷由佳: 閉じこもり予防支援マニュアル. 厚生労働省老健局老人保健課 2005
- 10) 安村誠司, 右田周平, 大竹まり子: 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護予防事業の有効性の評価とガイドラインの作成」平成15年度～平成16年度総合研究報告書 2005; 44-51
- 11) 布施淳子, 松澤洋子, 齋藤明子, 渡辺皓: 東北地方における保健医療施設が求める看護系大学卒業者像. 看護教育 2005; 46(6): 448-457
- 12) 加藤丈夫, 高橋早苗, 佐藤加代子, 佐藤千尋, 増川令子, 田代久男, 齋藤明子: ALS患者 事例の退院に向けた看護介入と課題. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の地域支援体制の構築に関する研究」平成16年度研究報告書 2005; 60-63

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Kanoya Y, Izuha K, Sato C; Hospitals instructions on the word-type used by the nurses and their relations with patients satisfaction. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 2) Kanoya Y, Ueda M, Inoue N, Ikeda S, Sato C: The present situation of cooperative sections with community in acute-care hospitals and their influence on the length of stay. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 3) Kanoya Y, Inoue N, Ueda M, Ikeda S, Yoshiya F, Sato C: Education system for safety management and nurses' recognition in hospitals. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 4) Ohtake M, Kanoya Y, Saito A, Migita S, Kobayashi A, Tashiro H, Isawa T, Sato C: A study on the methods of screening to detect patients' needs for early discharge. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 5) Katsuki T, Kanoya Y, Suzuki E, Kusaka K, Sato C: Bibliographical consideration of psychiatric effects of terrorism-related media coverage on general population. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 6) Kusaka K, Kanoya Y, Katsuki T, Kusaka C, Yanagawa H, Sato C: Study on the relevance among mentally handicapped persons' QOL, ego attitudes and stress copings to them. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 7) Kusaka K, Kanoya Y, Katsuki T, Kusaka C, Yanagawa H, Sato C: Study on factors related to early discharge and support in public in chronic mentally handicapped people. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 8) Suzuki E, Kanoya Y, Sato C: Workplace Environment, Assertiveness and Burnout among Novice Nurses in University Hospitals. ICN 23nd Quadrennial Congress, Taipei; May 2005
- 9) Yamamoto-Mitani N, Nagano M, Okada S, Suzuki I, Ogata Y, Kitaike T, Kanagawa K, Masaki H, Suzuki M, Yamada R, Abe T, Amatsu E, Fukada J, Okamoto Y, Ishigaki K: Developing Quality Indicators of Home Care Nursing for Older Adults in Japan. The 23rd International Conference on Community Health Nursing Research, Japan; September 2005

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 叶谷由佳: 奨学会研究発表 褥瘡に対する訪問看護のケア標準化に関する研究, 第31回日本看護研究学会学術集会, 札幌; 2005年7月
- 2) 大竹まり子, 右田周平, 齋藤明子, 叶谷由佳, 小林淳子, 田代久男: 一大学病院における地域医療連携センターの利用に関する調査, 第9回日本在宅ケア学会学術集会, 横浜; 2005年1月
- 3) 藤村由希子, 片川久美子, 小林淳子: インターネットを活用して禁煙に挑戦する女性の実態と禁煙継続要因の検討. 第64回日本公衆衛生学会総会, 札幌; 2005年8月
- 4) 片川久美子, 藤村由希子, 小林淳子: インターネットを活用して禁煙に挑戦する妊産婦の実態と禁煙を妨げる要因の検討. 第64回日本公衆衛生学会総会, 札幌; 2005年8月
- 5) 穴見翠, 叶谷由佳, 佐藤千史: CCU入室した心筋梗塞患者に対するリラクゼーションプログラムの効果. 第69回日本循環器学会総会・学術集会・コメディカルセッション, 東京; 2005年4月

- 6) 鈴木英子, 堀井さやか, 太田香苗, 丸山昭子, 叶谷由佳: 大学病院に勤務した新卒看護職の重度バーンアウトに影響を及ぼすアサーティブネス. 日本精神保健看護学会, 札幌; 2005年6月
- 7) 清水博, 嘉山孝正, 木村理, 小谷直樹, 船田孝夫, 叶谷由佳: 地域のニーズに応じた医療連携システムに応じた医療連携システムの構築. 第7回医療マネジメント学会, 熊本; 2005年6月
- 8) 鈴木英子, 叶谷由佳, 佐藤昇子, 佐藤千史: 大学病院に勤務する新卒看護師のバーンアウト発症に関する縦断研究. 第31回日本看護研究学会学術集会, 札幌; 2005年7月
- 9) 胡秀英, 辻村真由子, 鈴木育子, 山本則子, 石垣和子, 井上洋士: 中国帰国者高齢期の健康維持・増進を目指す看護 援助に関する研究 - 健康実態調査から. 第63回日本公衆衛生学会, 札幌; 2005年9月
- 10) 岡本有子, 鈴木育子, 岡田忍, 石垣和子, 山本則子: 高齢者の訪問看護における排尿ケアの質評価に関する指標開発. 日本老年看護学会第10回学術集会, 栃木; 2005年11月

(3) 国内 地方会

- 1) 大竹まり子, 叶谷由佳, 齋藤明子, 小林淳子, 田代久男, 井澤照美, 山本ツナ子: 特定機能病院における早期退院スクリーニングの試行. 第2回医療マネジメント学会山形地方会, 山形; 2005年7月
- 2) 井上京子, 沼沢さとみ, 三澤寿美, 齋藤明子, 槌谷由美子, 小関美代, 横山つね子: 小学生の体脂肪率経年変化. 東北学校保健学会会誌53. 青森; 2005年9月
- 3) 有本昌子, 齋藤明子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 右田周平, 小林淳子: 職域における健康習慣の現状とその関連要因. 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 4) 尾崎孝, 大竹まり子, 齋藤明子, 右田周平, 小林淳子, 叶谷由佳: 山形県における乳幼児う蝕率に関連する生活背景と市町村の歯科保健事業, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 5) 小山陽子, 齋藤明子, 大竹まり子, 右田周平, 叶谷由佳, 小林淳子: 保健所と市町村で働く新任保健師の職務満足感に関連する要因, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 6) 高島梨江, 大竹まり子, 齋藤明子, 右田周平, 小林淳子, 叶谷由佳: 生きがい活動支援事業における転倒予防体操の効果, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 7) 矢萩美幸, 大竹まり子, 齋藤明子, 右田周平, 小林淳子, 叶谷由佳: デイケア利用高齢者の入浴回数および自宅浴室満足度, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 8) 小山香織, 齋藤明子, 大竹まり子, 右田周平, 叶谷由佳, 小林淳子: 山形大学における看護学科と他学部的女子学生の喫煙に関する調査, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 9) 佐々木保枝, 齋藤明子, 大竹まり子, 右田周平, 叶谷由佳, 小林淳子: 健康増進法施行後の山形市内公立小学校における受動喫煙対策の実態と影響, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 10) 森谷さとり, 齋藤明子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 右田周平, 小林淳子: 山形県における双子をもつ母親の育児状況の把握と支援の検討, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 11) 富澤敬子, 齋藤明子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 右田周平, 小林淳子: 中学校における性感染症教育の実態調査とピアエデュケーションの意識調査, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月
- 12) 石井聖知子, 齋藤明子, 大竹まり子, 叶谷由佳, 右田周平, 小林淳子: 高校生における学ぶ必要があると考える性教育内容とこれまでに受講した性教育内容について, 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年2月

(4) そ の 他

- 1) 大竹まり子: 平成17年度「まちの保健室」成果発表会, 東京; 2005年7月

3. そ の 他

- 1) 地域看護学講座: 山形県健康福祉部保健薬務課, 訪問看護推進事業受託研究, 山形; 2005年
- 2) 地域看護学講座:(準備委員) 第2回医療マネジメント学会山形地方会. 山形; 2005年7月
- 3) 小林淳子, 大竹まり子:(スーパーバイザー)「まちの保健室」推進委員会, 山形; 2005年
- 4) 小林淳子:(講師) 個別援助から家族・地域支援へ. 平成16年度山形県新任保健師研修会(フォローアップコース), 山形; 2005年3月
- 5) 小林淳子:(講師) 看護研究の基礎. 平成17年度山形県看護協会研修会, 山形; 2005年6月
- 6) 小林淳子:(講師) 地域の健康ニーズの把握, 平成17年度新任保健師研修会, 山形; 2005年7月
- 7) 小林淳子:(講師) 研究抄録の書き方と学会発表, 平成17年度山形県看護協会置賜支部第2回研修会, 山形; 2005年9月

- 8) 小林淳子:(講師)健康増進へのアプローチ,平成17年度山形県看護協会生涯学習,山形;2005年11月
- 9) 小林淳子:(看護研究発表助言)山形県看護協会置賜支部第3回研修会,山形;2005年11月
- 10) 叶谷由佳:(シンポジスト)第2回医療マネジメント学会山形地方会「シームレスな地域医療連携について」,山形;2005年7月
- 11) 叶谷由佳:山形県訪問看護推進事業協議会委員,山形;2005年
- 12) 叶谷由佳:山形県看護職員需給計画検討委員,山形;2005年
- 13) 叶谷由佳:日本看護管理学会評議員,2005年
- 14) 叶谷由佳:今井病院看護部顧問,足利市;2005年
- 15) 叶谷由佳:日本看護協会認定看護管理者教育運営委員,2005年
- 16) 叶谷由佳:(非常勤講師)東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科,2005年
- 17) 叶谷由佳:(研究支援)山形大学医学部附属病院看護部,山形;2005年
- 18) 叶谷由佳:(研究支援)山形県立新庄病院看護部,山形;2005年
- 19) 叶谷由佳:(研究支援)山形県立日本海病院看護部研究支援,山形;2005年
- 20) 叶谷由佳:(臨床研究支援)日本整形外科看護研究会2005年
- 21) 叶谷由佳:(運営委員)山形県看護協会認定看護管理者研修セカンドレベル,山形;2005年
- 22) 叶谷由佳:(講師)労働者健康福祉機構管理者研修「看護管理概説」「看護サービス提供論」,川崎;2005年10月
- 23) 叶谷由佳:(講師)山形県看護協会認定看護管理者研修セカンドレベル「組織論・変化理論」「組織行動論:アサーティブネス」「組織行動論:意思決定と動機づけ」「演習:人的資源活用論 管理実践計画書作成」,山形;2005年9月
- 24) 叶谷由佳:(講師)山梨県看護協会認定看護管理者研修ファーストレベル「看護管理概説」,甲府;2005年8月
- 25) 叶谷由佳:(シンポジスト)平成16年度山形大学医学部看護学科看護セミナー「新人看護師の実践能力の育成について」「教育の立場から」,山形;2005年3月
- 26) 叶谷由佳:(企画責任者)平成17年度山形大学医学部看護学科市民公開講座「あなたの健康な生活のために」,山形;2005年
- 27) 叶谷由佳:(講師)平成17年度山形大学医学部看護学科市民公開講座「転ばぬ先の杖」,山形;2005年6月
- 28) 叶谷由佳:(企画責任者)平成17年度山形大学医学部公開講座「高齢者ケアに必要な知識と技術」,山形;2005年
- 29) 叶谷由佳:(講師)平成17年度山形大学医学部公開講座「褥瘡ケアの最新の管理」,山形;2005年9月
- 30) 叶谷由佳:(出張講義)新庄北高校「地域看護学とは」,山形;2005年11月
- 31) 叶谷由佳:(企画委員)第25回日本看護科学学会,青森;2005年
- 32) 叶谷由佳:(講師)埼玉県看護協会主催講演会「看護必要度について」,埼玉;2005年8月
- 33) 叶谷由佳:(講師)山形県保健業務課主催新任看護師管理者研修「看護管理概説」,山形;2005年10月
- 34) 大竹まり子:(講師)看護研究における統計学の知識,北村山公立病院看護部研修会,山形;2005年6月
- 35) 大竹まり子:(研究支援)北村山公立病院看護部,山形;2005年
- 36) 齋藤明子:(講師)看護研究について,公立学校共済組合東北中央病院平成17年度院内研修,山形;2005年5月
- 37) 齋藤明子:(講師)看護研究の統計と発表について,公立学校共済組合東北中央病院平成17年度院内研修,山形;2005年9月
- 38) 齋藤明子:(講師)看護研究発表会,公立学校共済組合東北中央病院平成17年度院内研修,山形;2005年12月
- 39) 齋藤明子:(研究支援)公立学校共済組合東北中央病院,山形;2005年
- 40) 齋藤明子(講師):山形県看護協会東西村山支部平成17年度第3回研修会,寒河江;2005年2月
- 41) 小林淳子:(研究代表者)平成17年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C),「妊娠期から育児期にある女性の健康感と母性意識が禁煙行動に及ぼす影響」;2005年
- 42) 叶谷由佳:(研究分担者)平成17年度厚生労働科学研究「へき地医療体制の充実及び評価に関する研究」(主任研究者:清水博);2005年
- 43) 叶谷由佳:(研究分担者)ユニバーサル財団研究助成「健康な高齢者におけるフットケアの効果」(主任研究者:

池田清子): 2005年

44) 大竹まり子:(研究代表者) 平成17年度社団法人ヘルスサポート協会研究助成「フットエクササイズを取り入れた転倒予防体操の効果」: 2005年

45) 大竹まり子(研究代表者): 平成17年度日本訪問看護振興財団訪問看護研究助成「急性期病院と訪問看護ステーションとの連携に関する研究」: 2005年

46) 齋藤明子:(研究代表者) 平成17年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究B)「医療依存度の高い在宅療養患者の介護負担感尺度の開発」: 2005年

[生命環境医科学専攻]

社会環境予防医学部門

公衆衛生学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Murakami M, Ohmichi M, Takahashi T, Shibata A, Fukao A, Morisaki N, Kurachi H : Prepregnancy body mass index as an important predictor of perinatal outcomes in Japanese. Arch Gynecol Obstet. 2005 ; 271(4): 311-315.
- 2) Niizeki T, Takeishi Y, Arimoto T, Takahashi T, Okuyama H, Takabatake N, Nozaki N, Hirono O, Tsunoda Y, Shishido T, Takahashi H, Koyama Y, Fukao A, Kubota I : Combination of heart-type fatty acid binding protein and brain natriuretic peptide can reliably risk stratify patients hospitalized for chronic heart failure. Circ J. 2005 ; 69(8): 922- 7
- 3) Shao L, Devenport M, Fujioka H, Ghosh A, Jacobs-Lorena M : Identification and characterization of a novel peritrophic matrix protein, Ae-Aper50, and the microvillar membrane protein, AEG12, from the mosquito, Aedes aegypti. Insect Biochem Mol Biol. 2005 Sep ; 35(9): 947-59
- 4) Tian Y, Ishikawa H, Yamaguchi T, Yamauchi T, Yokoyama K : Teratogenicity and developmental toxicity of chlorpyrifos maternal exposure during organogenesis in mice. Reproductive Toxicology 2005 ; 20 : 267-271
- 5) 柴田亜希子, 高橋達也, 大内憲明, 深尾彰 : 地域がん登録を用いた視触診による乳がん検診の評価 . 日本公衆衛生雑誌 2005 ; 52 : 128-136

(2) 総説

- 1) 深尾彰 : 公衆衛生とがん検診 . 日本消化器集団検診学会雑誌 . 2005 ; 43(6): 615-622

(3) 著書

- 1) 深尾彰 : 公衆衛生学分野での応用 . 今日の疫学 . 東京 ; 医学書院 , 2005 : 212-227 分担執筆
- 2) 武田弘明, 邵力, 河田純男 : *H. pylori* 本邦分離株における菌体接着因子 sialic acid-binding adhesin (SabA) . 日本臨床 . 東京 ; 2005 ; 63 : 84-88

(4) その他

- 1) 深尾彰, 佐藤洋樹, 有海清彦, 阿彦忠之, 秋葉俊一, 土屋菜歩, 大類真嗣 : こころの健康に関する地域疫学調査 (山形県天童市) . 平成16年度厚生労働科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業) 「こころの健康についての疫学調査に関する研究」分担報告書 . 2005 : 53-73

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 栗原和生, 石川仁, 上島通浩, 酒井潔, 宮津優, 那須民江, 横山和仁 : シックハウス症候群に伴う遺伝毒性影響の検討 . 第78回日本産業衛生学会, 東京 ; 2005年4月
- 2) 宮津優, 石川仁, 栗原和生, 横山和仁 : ALDH2, CYP 2 E 1 遺伝子多型および飲酒習慣と小核頻度との関連, 第78回日本産業衛生学会, 東京 ; 2005年4月
- 3) 土屋菜歩, 深尾彰 : 山形県在住外国人の医療ニーズに関する研究 (第1報) ~ 医療通訳への質問票調査から ~ . 第64回日本公衆衛生学会, 札幌 ; 2005年9月
- 4) 邵力, 武田弘明, 大谷勝実, 福井忠久, 石井健一, 河田純男, 深尾彰 : 本邦における *Helicobacter pylori* 分離株の cagA・babA・sabA 遺伝子陽性率の検討 . 第47回日本消化器病学会大会, 神戸 ; 2005年10月

(2) 国内地方会

- 1) 大谷勝実, 最上久美子, 池田辰也, 工藤勝博, 早坂晃一, 邵力 : 環境・便からのPCRによる *Helicobacter pylori* 遺伝子検出法の検討 . 第31回山形県公衆衛生学会, 山形 ; 2005年3月
- 2) 大類真嗣, 土屋菜歩, 邵力, 高橋達也, 三澤俊昭, 深尾彰 : 山形県での自殺の地域較差とその要因に関する研究 . 第31回山形県公衆衛生学会, 山形 ; 2005年3月
- 3) 朽木恵, 柴田亜希子, 松田徹, 村上真紀, 高橋達也, 深尾彰 : 山形県における女性乳がんの罹患の推移 (1981

年 - 2001年). 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年3月

- 4) 土屋菜歩, 大類真嗣, 邵力, 高橋達也, 深尾彰, 三澤俊昭, 有海清彦, 阿彦忠之, 阿部邦敏: こころの健康についての疫学調査に関する研究(こころの健康やまがた). 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年3月
- 5) 阿部義裕, 深尾彰: 骨代謝マーカー(血清NTXと尿中NTX)を利用した骨粗鬆症に対する介入(治療)効果の評価及び踵骨超音波法の骨量測定機器としての有用性の検討. 第54回東北公衆衛生学会, 福島; 2005年7月
- 6) 邵力, 大谷勝実, 土屋菜歩, 大類真嗣, 石井健一, 朽木恵, 福井忠久, 武田弘明, 深尾彰: *Helicobacter pylori* 病原因子検出用multiplex PCR法の開発とその応用. 第54回東北公衆衛生学会, 福島; 2005年7月
- 7) 土屋菜歩, 小野崎郁史, 深尾彰: ザンビアにおけるHIV/AIDS対策の現状と課題. 第54回東北公衆衛生学会, 福島; 2005年7月

(3) 研究会

- 1) 深尾彰, 邵力, 大谷勝実, 高橋達也, 武田弘明, 福井忠久, 河田純男: *Helicobacter pylori* 本邦分離株におけるcagA, babA2, sabA遺伝子保有率の検討. 東北乳酸菌研究会, 仙台; 2005年7月

医療政策学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 清水博, 船田孝夫: 労働基準法と医師需給, 労働者派遣法と医師の需給, 育児支援関連法と医師需給, 外国人医師の就業と医師, 平成16年度厚生労働科学特別研究報告書「医師需給と医学教育に関する研究(主任研究者 長谷川敏彦)」309-319, 2005
- 2) 船田孝夫: 診療科偏在と学会の取組, 東北地方の医師分布状況, 女性医師に関する動向, 平成16年度厚生労働科学特別研究報告書「医師需給と医学教育に関する研究(主任研究者 長谷川敏彦)」248-257, 350-352, 2005
- 3) 船田孝夫, 清水博: 山形県内医療施設による患者動向及び医療従事者等に係る現状調査報告, 山形大学医学部現代GP「生涯教育と地域医療」増刊号 1-107, 2005
- 4) 船田孝夫, 清水博: 地域医療の推進に関するアンケート調査報告, 山形大学医学部現代GP「生涯教育と地域医療」1-15, 2005

(2) その他

- 1) 清水博: 最近の医療行政の課題とこれからの展望. 平成16年度山形県医師会学術雑誌 2005; 29: 18-49
- 2) 清水博: 現代的教育ニーズ取組支援プログラム「生涯医学教育拠点形成プログラム - 包括的地域医療支援機構創設 -」について, 「山形県医師会会報」2005; 7649: 9

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 清水博, 嘉山孝正, 木村理, 小谷直樹, 船田孝夫, 叶谷由佳: 地域のニーズに応じた医療連携システムの構築. 第7回医療マネジメント学会学術総会, 福岡; 2005年6月

(2) 国内地方会

- 1) 船田孝夫, 星孝浩, 清水博: 自治体病院の再編・ネットワーク化による効果と課題 - 山形県置賜広域病院組合サテライト方式の検証 - 第31回山形県公衆衛生学会, 山形; 2005年3月

(3) その他

- 1) 清水博: 今後の地域医療のあり方について. 地域医療研修会(最上広域市町村圏事務組合), 山形; 2005年2月
- 2) 清水博: 医療政策. 国立病院機構熊本医療センター付属看護学校特別講演, 熊本; 2005年3月
- 3) 清水博: これからの医療政策と医療政策学. 新任教授講演会, 山形; 2005年3月
- 4) 清水博: 生涯教育の拠点形成について. 現代的教育ニーズ取組支援プログラムポスターセッション, 尼崎 2005年3月
- 5) 後藤薫, 船田孝夫: 生涯教育の拠点形成について. 現代的教育ニーズ取組支援プログラムポスターセッション, 横浜; 2005年3月
- 6) 清水博: 医療制度の課題とこれからの展望. 熊本大学医学部麻酔学講座開講40周年記念講演会, 熊本; 2005年5月
- 7) 清水博: これからの医療政策の行方. 学校法人諏訪学園山形県医療技術専門学校創立10周年記念講演会, 山形; 2005年6月
- 8) 清水博: 医療政策の課題とこれからの展望. 宮城県官公立病院事務(局・部)長会講演会, 仙台; 2005年7月
- 9) 清水博: 高齢者ケアとシームレスな保健・医療・福祉の連携. 第8回山形大学公開講座, 山形; 2005年9月
- 10) 清水博: 最近の医療行政について. 国立病院機構岩手病院講演会, 岩手; 2005年11月
- 11) 清水博: 最近の医療行政の話題から - 同規模病院の取り組みから -. 国立病院機構熊本南病院講演会, 熊本; 2005年11月
- 12) 清水博: これからの医療政策と医療安全. 社団法人山形県看護協会研修会, 山形; 2005年11月
- 13) 清水博: これからの医療政策. 山形県立病院事業運営懇話会, 山形; 2005年11月

3. そ の 他

- 1) 山形大学医学部生涯教育セミナー (第2回 - 第7回), 山形; 2005年
- 2) 医療マネジメント学会第2回山形地方会, 山形; 2005年7月

臨床的機能再生部門

神経機能再生学講座（脳神経外科学）

1. 論文

(1) 原著

- 1) Sonoda Y, Sakurada K, Saino M, Kondo R, Sato S, Kayama T; Multimodal strategy for managing meningiomas in the elderly. *Acta Neurochir* 2005; 147; 131-136
- 2) Matsumori Y, Shwuhuey MH, Aoyama K, Yang F, Kayama T, R Ann S, Zinaida SV, Donna MF, Philip R Weinstein, Liu J; Hsp70 overexpression sequensters AIF and reduces neonatal hypoxic/ischemic brain injury. *Journal of cerebral blood flow and metabolism* 2005; 25; 899-910
- 3) Kato N, Sato S, Yokoyama H, Kayama T, Yoshimura T; Sequential changes of nitric oxide levels in the temporal lobes of kainic acid-treated mice following application of nitric oxide synthase inhibitors and phenobarbital. *Epilepsy Res* 2005; 65; 81-91
- 4) Matsumori Y, Kayama T, Kokubo Y, Tsuchiya D; Heat Shock Protein 70 Protects the Neonatal Brains Against Ischemic Stress. *Yamagata Medical Journal* 2005; 23; 129-138
- 5) 隈部俊宏, 高井良尋, 嘉山孝正, 富永悌二; 悪性星細胞腫の治療成績の変遷と手術療法の意義, in脳神経外科ジャーナル 2005; 14; 132-137
- 6) 園田順彦, 櫻田香, 斎野真, 佐藤慎哉, 嘉山孝正; 高齢者悪性神経膠腫の治療. *Geriatric Neurosurgery*, 2005, 17; 3-6
- 7) 園田順彦, 嘉山孝正; 悪性脳腫瘍治療の新しい展開; 外科治療の展開. 癌と化学療法, 2005, 32; 437-441
- 8) 竹村直, 久下淳史, 佐藤慎哉, 黒木亮, 嘉山孝正; ラトケ嚢胞の治療方針の検討. *日本内分泌学会雑誌*, 2005, 81; 121-123
- 9) 黄木正登, 嘉山孝正, 小久保安昭, 斎藤伸二郎, 近藤礼, 長畑守雄, 江面正幸; 下錐体静脈洞経由塞栓術のみでは治癒しえなかった海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻症例の検討. *脳卒中の外科* 2005; 33; 180-186
- 10) 斎藤伸二郎, 嘉山孝正; 頭蓋底外科における術中モニタリング. *日本臨床* 2005; 63; 347-352
- 11) 近藤礼, 嘉山孝正; 脳卒中の外科的治療. *脳卒中支援シンポジウム講演録* 2005; 8; 25-33
- 12) 土屋裕人, 小久保安昭, 櫻田香, 園田順彦, 斎藤伸二郎, 嘉山孝正; 環椎骨巨細胞腫の1手術例. *脳神経外科* 2005; 33; 817-823
- 13) 土谷大輔, 嘉山孝正, 小久保安昭, 久下敦史, 舟生勇人, 近藤礼; 高齢者脳卒中の治療 - 超高齢者脳梗塞症例の検討 -. *第27回東北脳血管障害懇話会誌* 2005; 23-26
- 14) 佐藤慎哉, 嘉山孝正; 転移性能腫瘍に対する臨床試験. *脳神経外科速報* 2005; 15; 937-942
- 15) 園田順彦, 嘉山孝正; 上衣腫. *日本臨床* 2005; 63; 116-121
- 16) 松森彦彦, 土谷大輔, 小久保安昭, 嘉山孝正; Apoptotic protease activating factor-1介在アポトーシス経路に関連した新生仔マウス低酸素虚血モデルにおけるHeat shock protein 70の脳保護効果. *第27回東北脳血管障害懇話会誌* 2005; 51-55
- 17) 佐藤篤, 櫻田香, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 嘉山孝正; 急速な視力視野障害を呈した80歳の頭蓋咽頭腫に対して可及的摘出術と放射線療法が奏効した1例. *脳神経外科* 2005; 33; 1183-1189
- 18) 小久保安昭, 土谷大輔, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 近藤礼; 閉塞性能血管障害におけるMTE (mean time to enhance) とXe-SPECTとの比較検討. *東北脳循環カンファランス講演集* 2005; 11; 31-33

(2) 総説

- 1) 嘉山孝正; 日本での治験研究の反省と今後 脳卒中医療薬での経験からJCOGまで. *医薬品相互作用研究* 2005; 28; 105-106
- 2) 嘉山孝正; 標準医療の意義と解釈 外科の立場から. *脳神経外科ジャーナル* 2005; 14; 245
- 3) 櫻田香, 嘉山孝正; 脳腫瘍. *ブレインナーシング* 2005; 21; 41-47
- 4) 嘉山孝正, 園田順彦, 櫻田香, 佐藤慎哉, 斎藤伸二郎; Multimodalityを用いたpetroclival meningiomaの治療. *脳神経外科ジャーナル* 2005; 14; 462-468
- 5) 嘉山孝正, 毛利渉, 櫻田香, 佐藤慎哉; 悪性脳腫瘍に対する最近の治療 2. Low Grade Glioma. *脳と神*

経 2005 ; 57 ; 1035-1042

(3) 著 書

- 1) 嘉山孝正, 櫻田香, 毛利渉, 斎野真, 佐藤慎哉; 優位半球頭頂葉腫瘍の手術; 「脳腫瘍の外科」, 山下純宏編, メディカ出版, 2005 ; 24-29
- 2) 佐藤慎哉, 嘉山孝正; グリオーマ手術における覚醒下手術の現況と展望. 「脳腫瘍の外科」, 山下純宏編, メディカ出版, 2005 ; 110-118
- 3) 斎藤伸二郎, 嘉山孝正; 不随意運動の手術, 痙性斜頸. 「脳神経外科学大系10 定位 / 機能神経外科」山浦晶, 児玉南海男, 河瀬武, 吉田純, 橋本信夫編, 中山書店, 2005 ; 179-184
- 4) 斎藤伸二郎, 嘉山孝正; 痙性斜頸. 脳神経外科学大系10定位 / 機能神経外科」片山容一編, 中山書店, 2005; DVD

(4) そ の 他

- 1) 嘉山孝正; 医学の勉強. 学園だより 2005 ; 94 : 1
- 2) 嘉山孝正; 山形大学「生涯医学教育拠点形成プログラム - 包括的地域医療支援機構創設 - 」 「山形大学医学部生涯教育拠点形成プログラム」の意義, 中身. 医学教育 2005 ; 36 ; 119
- 3) 嘉山孝正; 蔵王協議会の更なる機能発揮を目指して. 山形大学 蔵王協議会だより 2005 ; 5 ; 2
- 4) 嘉山孝正; 大学病院の医療事故対策に関する委員会委員長挨拶. 全国医学部長会議 (AJMC) 広報 2005 ; 46 : 4
- 5) 嘉山孝正; 蔵王協議会の更なる機能発揮を目指して. 山形大学病院ニュース 2005 ; 12 ; 1
- 6) 嘉山孝正; 研修病院における問題点(4) - 大学病院の場合. 日本医師会雑誌 2005 ; 134 ; 1258-1260
- 7) 嘉山孝正; 自己チェック 言語障害. 日本脳神経財団ニュース 2005 ; 80 ; 2 - 3
- 8) 佐藤慎哉, 嘉山孝正; - 脳腫瘍摘出時の言語機能マッピング - 覚醒下手術が有効. Medical Tribune , 2005 , 38 ; 16

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Sato S, Kayama T ; Clinical application of Videoscope for Neuroendoscopic surgery. 6 th International Congress on Minimally Invasive Neurosurgery, Nagoya, Japan ; March 2005
- 2) Sato S, Kayama T ; Imaged Guided Endoscopic Pituitary Surgery through Nostril. 6 th International Congress on Minimally Invasive Neurosurgery, Nagoya, Japan ; March 2005
- 3) Sonoda Y, Kayama T ; Minimum invasive surgery for patients with malignant gliomas. 6 th International Congress on Minimally Invasive Neurosurgery, Nagoya, Japan ; March 2005
- 4) Kayama T ; Advances in surgical management. Second quadreminal meeting of the World Federation of NeuroOncology, Edinburgh, UK ; May, 2005
- 5) Sonoda Y, Takemura T, Sakurada K, Saino M, Sato S, Saito S, Kayama T ; Contribution of radiosurgery in the surgical treatment of skull base meningioma. Second quadreminal meeting of the World Federation of NeuroOncology, Edinburgh, UK ; May, 2005
- 6) Saino M, Sakurada K, Sonoda Y, Sato S, Kayama T ; Hypoxia inducible factor- 1 alpha expression correlates with histological grading in human glioma. Second quadreminal meeting of the World Federation of NeuroOncology, Edinburgh, UK ; May, 2005
- 7) Sakurada K, Sonoda Y, Kitanaka C, Mori W, Kayama T ; Inhibition of mammalian target of rapamycin sensitizes glioma cells to anticancer drugs. Second quadreminal meeting of the World Federation of NeuroOncology, Edinburgh, UK ; May, 2005
- 8) Mori W, Kayama T, Kitanaka C ; Role of c-Jun N-terminal kinase (JNK) in Ras-mediated non-apoptotic programmed cell death. Second quadreminal meeting of the World Federation of NeuroOncology, Edinburgh, UK ; May, 2005
- 9) Kayama T, Sakurada K, Sonoda Y, Sato S, Saito S ; Advances in surgical management of malignant glioma. 13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005
- 10) Kayama T, Sato S, Sakurada K, Sonoda Y, Saito S ; Awake surgery for tumors around language areas.

13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005

- 11) Sato S, Kuge A, Takemura S, Akasaka M, Kuroki A, Kayama T ; Image guided endoscopic pituitary surgery through nostril. 13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005
- 12) Kondo R, Takemura S, Tsuchiya D, Katakura K, Saito S, Kayama T ; Motor evoked potential monitoring for intrinsic brain tumors adjacent to primary motor cortex. 13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005
- 13) Kokubo Y, Kondo R, Kayama T, Tsuchiya D ; Surgical treatment for giant aneurysms of internal carotid artery. 13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005
- 14) Kawakami K, Kuge A, Katakura K, Sato S, Kayama T ; Clinical application of videoscope for neuroendoscopic surgery. 13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005
- 15) Kuge A, Kokubo Y, Takemura S, Sato S, Kayama T ; Cortical neurogenesis in periinfarcted zone and proliferation of neural progenitors in subventricular zone and dentate gyrus following transient focal cerebral ischemia in rats. 13th World Congress of Neurological Surgery, Marrakesh, Morocco ; June, 2005

(2) 国内の学会

- 1) 齋藤伸二郎, 久下淳史, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 中里信和: DNT症例のてんかん原性. 第28回日本てんかん外科学会, 大阪; 2005年1月
- 2) 佐藤慎哉, 櫻田香, 園田順彦, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 言語野近傍腫瘍における脳機能マッピング - 腫瘍摘出時の覚醒下手術の重要性 -. 第44回日本定位・機能神経外科学会, 大阪; 2005年1月
- 3) 竹村直, 久下淳史, 佐藤慎哉, 黒木亮, 嘉山孝正: ラトケ嚢胞の長期治療成績と治療方針の検討. 第15回日本間脳下垂体腫瘍学会, 東京; 2005年2月
- 4) 園田順彦, 櫻田香, 佐藤慎哉, 斉野真, 嘉山孝正: 当科における5-ALAを用いた悪性神経膠腫手術の経験. 第1回日本脳神経外科光線力学研究会, 東京; 2005年2月
- 5) 佐藤慎哉, 櫻田香, 園田順彦, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 脳腫瘍手術における言語機能マッピング - 何を優先させるか -. 第28回日本脳神経CI学会総会, 高松; 2005年3月
- 6) 佐藤慎哉, 櫻田香, 園田順彦, 嘉山孝正: 脳腫瘍におけるBroca area局在に関する検討. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京; 2005年3月
- 7) 松森保彦, 嘉山孝正, 齋藤伸二郎, 小久保安昭, 土谷大輔, 小久保安昭, 近藤礼: 高齢者未破裂脳動脈瘤に対する外科治療. 第18回日本老年脳神経外科学会, 富山; 2005年4月
- 8) 土谷大輔, 竹村直, 小久保安昭, 片倉康喜, 齋藤伸二郎, 近藤礼, 嘉山孝正: 脳動脈瘤手術における術中Motor Evoked Potential (MEP) monitoring. 第14回脳神経外科手術と機器学会, 富山; 2005年4月
- 9) 斉野真, 園田順彦, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 第4脳室近傍腫瘍に対するcerebellomedullary fissure approach. 第14回脳神経外科手術と機器学会, 富山; 2005年4月
- 10) 近藤礼, 嘉山孝正, 佐藤慎哉, 小久保安昭, 土谷大輔, 松森保彦: 山形県の脳卒中の実態 - 全県の脳卒中専門医の参加による質の高いデータをもとに -. 第30回日本脳卒中学会総会, 盛岡; 2005年4月
- 11) 小久保安昭, 土谷大輔, 近藤礼, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脳主幹動脈閉塞・狭窄症例におけるMTEと¹³³Xe-SPECTによるCBFとの比較検討. 第30回日本脳卒中学会総会, 盛岡; 2005年4月
- 12) 加藤直樹, 嘉山孝正, 近藤礼, 小久保安昭, 土谷大輔: くも膜下出血 (SAH) 症例の入院日の再検討 - 弛まぬ啓蒙を目指して -. 第30回日本脳卒中学会総会, 盛岡; 2005年4月
- 13) 松森保彦, 嘉山孝正, 土谷大輔, 小久保安昭, 近藤礼: 新生仔マウスにおけるApaf-1介在アポトーシスに関連したHsp70の脳保護効果. 第30回日本脳卒中学会総会, 盛岡; 2005年4月
- 14) 近藤礼, 嘉山孝正, 小久保安昭, 加藤直樹, 松森保彦, 舟生勇人: 未破裂脳動脈瘤の治療: Overall resultを解析して. 第34回日本脳卒中の外科学会, 盛岡; 2005年4月
- 15) 小久保安昭, 嘉山孝正, 舟生勇人, 近藤礼, 佐藤慎哉: 巨大脳動脈瘤に対する治療. 第34回日本脳卒中の外科学会, 盛岡; 2005年4月
- 16) 土谷大輔, 嘉山孝正, 片倉康喜, 小久保安昭, 齋藤伸二郎, 近藤礼: 脳動脈瘤手術における術中Motor Evoked Potential (MEP) monitoringの有用性と限界. 第34回日本脳卒中の外科学会, 盛岡; 2005年4月
- 17) 嘉山孝正: グリオーマのawake surgery - その適応と限界 -. 第23回日本脳腫瘍病理学会, 東京; 2005年4月

- 18) 齋野真, 櫻田香, 園田順彦, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: ヒト神経膠腫におけるHypoxia inducible factor- 1 の発現と組織学的悪性度に関する検討. 第23回日本脳腫瘍病理学会, 東京; 2005年 4月
- 19) 櫻田香, 齋野真, 園田順彦, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: Extraventricular neurocytomaの一例. 第23回日本脳腫瘍病理学会, 東京; 2005年 4月
- 20) 嘉山孝正: 標準医療の意義と解釈- 外科の立場から. 第25回日本脳神経外科コンgres, 北九州; 2005年 5月
- 21) 齋藤伸二郎: 術中MEPモニタリング. 第25回日本脳神経外科コンgres, 北九州; 2005年 5月
- 22) 佐藤慎哉: 運動性失語を呈した左前頭葉神経膠腫. 第25回日本脳神経外科コンgres, 北九州; 2005年 5月
- 23) 嘉山孝正: 未破裂脳動脈瘤の安全な外科治療. 第14回日本脳ドック学会総会, 名古屋; 2005年 7月
- 24) 竹村直, 櫻田香, 園田順彦, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 無症候性髄膜腫の治療方針と治療結果. 第14回日本脳ドック学会総会, 名古屋; 2005年 7月
- 25) 竹村直, 園田順彦, 櫻田香, 齋野真, 齋藤伸二郎, 城倉英史, 嘉山孝正: 頭蓋底腫瘍に対する手術療法後のRadiosurgeryの役割. 第17回日本頭蓋底外科学会, 豊中; 2005年 7月
- 26) 久下淳史, 竹村直, 小久保安昭, 園田順彦, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: Subtemporal and trans-tentorial approachにより摘出した脳幹部海綿状血管腫の一例. 第17回日本頭蓋底外科学会, 豊中; 2005年 7月
- 27) 千田裕一郎, 小久保安昭, 松森保彦, 久下淳史, 竹村直, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: ラット慢性脳虚血モデルにおけるオリゴデンドロサイトの再生. 第6回日本分子脳神経外科学会, 豊中; 2005年 9月
- 28) 齋藤伸二郎, 竹村直, 嘉山孝正: ボツリヌス治療を受けた顔面痙攣に対する減圧術. 第8回脳神経減圧術研究会, 横浜; 2005年10月
- 29) 嘉山孝正: 脳腫瘍の治療 - multimodalityを用いて -. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 30) 嘉山孝正: 転移性脳腫瘍治療のスタンダード: JCOG studyを踏まえて. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 31) 佐藤慎哉, 櫻田香, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 脳機能マッピング・モニタリングの脳腫瘍手術への応用 - その有効性と問題点 -. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 32) 近藤礼, 加藤直樹, 松森保彦, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 山形県における脳卒中登録事業. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 33) 齋野真, 櫻田香, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: ヒト神経膠腫におけるHypoxia inducible factor- 1 alpha の発現と組織学的悪性度及び増殖能に関する検討. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 34) 齋野真, 櫻田香, 毛利渉, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 神経膠腫におけるLOH 1 p, 19q異常に基づいた術後補助療法. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 35) 櫻田香, 北中千史, 毛利渉, 嘉山孝正: mTOR阻害剤の抗がん剤誘導グリオーマ細胞死に対する影響. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 36) 小久保安昭, 松森保彦, 土谷大輔, 近藤礼, 櫻田香, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 脳虚血に対する神経保護: 生化学的变化およびMRIによる検討. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 37) 土谷大輔, 小久保安昭, 近藤礼, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 脳動脈瘤直達手術における術中Motor Evoked Potential (MEP) monitoring. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 38) 久下淳史, 佐藤慎哉, 櫻田香, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 巨大下垂体腺腫の治療方針, 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 39) 松森保彦, 嘉山孝正, 土谷大輔, 小久保安昭, 近藤礼: 新生仔マウスにおけるApaf- 1 介在アポトーシスに関連したHsp70の脳低酸素虚血に対する保護効果. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 40) 加藤直樹, 近藤礼, 小久保安昭, 櫻田香, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 脳動脈瘤破裂因子の検討. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 41) 竹村直, 櫻田香, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 無症候性髄膜腫患者におけるfollow-up期間中の増大の予測. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 42) 毛利渉, 北中千史, 櫻田香, 横田淳, 嘉山孝正: Ras依存的non-apoptoticプログラム細胞死制御におけるJNKの役割. 第64回日本脳神経外科学会総会, 横浜; 2005年10月
- 43) 毛利渉, 櫻田香, 立花研, 嘉山孝正, 北中千史: Ras依存的non-apoptoticプログラム細胞死制御におけるJNKの役割. 第23回日本脳腫瘍学会, 霧島; 2005年10月

- 44) 齋野真, 櫻田香, 毛利涉, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: ヒト神経膠腫におけるHIF-1 alphaの発現と組織学的悪性度及び増殖能に関する検討. 第23回日本脳腫瘍学会, 霧島; 2005年10月
- 45) 櫻田香, 毛利涉, 北中千史, 嘉山孝正: 神経膠腫の化学療法抵抗性におけるAkt-mTOR経路の関与に関する検討. 第23回日本脳腫瘍学会, 霧島; 2005年10月
- 46) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: Medulloblastomaの手術. 第10回日本脳腫瘍の外科学会, 佐賀; 2005年11月
- 47) 櫻田香, 齋野真, 毛利涉, 佐藤篤, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: Low grade glioma長期生存例のADLの検討. 第10回日本脳腫瘍の外科学会, 佐賀; 2005年11月
- 48) 佐藤篤, 久下淳史, 櫻田香, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: Helical CTを用いたバーチャル・ナビゲーション画像の内視鏡的経鼻孔手術における有用性. 第10回日本脳腫瘍の外科学会, 佐賀; 2005年11月
- 49) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 内視鏡的経鼻的経蝶形骨洞の手術におけるドレナージシステムの工夫 - 関節鏡用外套管を用いた持続吸引法 -. 第12回日本神経内視鏡学会, 東京; 2005年12月
- 50) 久下淳史, 佐藤慎哉, 毛利涉, 櫻田香, 嘉山孝正: 松果体部腫瘍治療における神経内視鏡手術の意義. 第12回日本神経内視鏡学会, 東京; 2005年12月

(3) 国内地方会

- 1) 小久保安昭, 近藤礼, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 脳梗塞診断におけるMRIの有用性: 拡散強調画像及び脳灌流画像を用いた検討. 第76回日本神経学会東北地方会, 仙台; 2005年3月
- 2) 園田順彦, 嘉山孝正: 脳腫瘍治療の最前線 - 欧米で進行中のRandomized clinical trial -. 第39回東北脳腫瘍研究会, 仙台; 2005年4月
- 3) 竹村直, 園田順彦, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 下位脳神経から発生した神経鞘腫による顔面痙攣の一例. 第29回北日本脳神経外科連合会学術集会, 山形; 2005年5月
- 4) 久下淳史, 竹村直, 佐藤慎哉, 黒木亮, 嘉山孝正: ラトケ嚢胞の長期治療成績と治療方針の検討. 第29回北日本脳神経外科連合会学術集会, 山形; 2005年5月
- 5) 伊藤美以子, 黄木正登, 金城利彦: 初発時4度の脳血管撮影で動脈瘤が発見されず14年後に再破裂して硬膜下血腫を伴った右中大脳動脈瘤の一治験例. 第29回北日本脳神経外科連合会学術集会, 山形; 2005年5月
- 6) 佐藤篤, 久下淳史, 櫻田香, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 嘉山孝正: 第四脳室, 延髄, 上位頸髄腫瘍摘出時の自発呼吸モニタリングの経験. 第40回日本脳神経外科学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 7) 松田憲一郎, 櫻田香, 佐藤慎哉, 齋藤伸二郎, 中里洋一, 嘉山孝正: Isomorphic astrocytomaの一手術例. 第40回日本脳神経外科学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 8) 小久保安昭, 松森保彦, 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 近藤礼: 虚血性脳血管障害における¹³³Xe-SPECTと頸動脈エコーに関する検討. 第15回東北脳SPECT研究会, 盛岡; 2005年9月
- 9) 齋藤伸二郎, 竹村直, 嘉山孝正: 舌咽神経痛に対する神経減圧術, 第77回日本神経学会東北地方会, 盛岡; 2005年9月
- 10) 園田順彦: 良性脳腫瘍. 第12回東北脳神経外科セミナー, 山形; 2005年5月
- 11) 佐藤慎哉: 小児脳神経外科. 第12回東北脳神経外科セミナー, 山形; 2005年5月
- 12) 小久保安昭, 松森保彦, 近藤礼, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脳虚血評価における¹³³Xe-SPECTと^{99m}Tc-ECDによるeZISの比較検討. 第12回東北脳循環カンファランス, 仙台; 2005年11月
- 13) 佐藤篤, 櫻田香, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 再増大を繰り返した延髄・上位頸髄gangliogliomaの1例. 第5回東北脊髄外科学研究会, 仙台; 2005年11月
- 14) 小久保安昭, 松森保彦, 土谷大輔, 近藤礼, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 山形県における脳卒中登録事業. 第28回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2005年12月
- 15) 松森保彦, 加藤直樹, 小久保安昭, 近藤礼, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脳卒中患者におけるMRI T2*強調画像の検討. 第28回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2005年12月
- 16) 千田裕一郎, 久下淳史, 竹村直, 松森保彦, 小久保安昭, 佐藤慎哉, 嘉山孝正: ラット慢性脳虚血モデルにおけるオリゴデンドロサイトの再生. 第28回東北脳血管障害研究会, 仙台; 2005年12月

(4) 研究会

- 1) 小久保安昭, 嘉山孝正, 近藤礼: 後方向き前交通動脈瘤に対するアプローチの検討. 第40回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2005年2月
- 2) 土谷大輔, 嘉山孝正, 小久保安昭, 近藤礼, 梁瀬文子, 阿部みずえ: くも膜下出血症例における高次脳機能

の経時的検討．第17回山形痴呆研究会，山形；2005年3月

- 3) 千田裕一郎，久下淳史，竹村直，小久保安昭，佐藤慎哉，嘉山孝正：ラット慢性脳虚血モデルにおけるオリゴデンドロサイトの動態．第6回山形ニューロサイエンス研究会，山形；2005年6月
- 4) 嘉山孝正：未破裂脳動脈瘤治療の考え方．第5回山形県脳ドック研究会，山形；2005年7月
- 5) 近藤礼，嘉山孝正，黄木正登，小久保安昭：頸部頸動脈狭窄症に対する外科治療．山形脳卒中と頸動脈病変セミナー，山形；2005年7月
- 6) 小久保安昭，嘉山孝正，松森保彦，近藤礼：虚血性脳血管障害例における頸動脈エコーの検討．山形脳卒中と頸動脈病変セミナー，山形；2005年7月
- 7) 小久保安昭，近藤礼，佐藤慎哉，嘉山孝正：めまいと脳卒中．山形B.H.R. Conference，山形；2005年8月
- 8) 伊藤美以子，佐藤慎哉，嘉山孝正：髄膜炎にて発症したSacroccygeal dermal sinusの一例．第42回山形脳神経外科懇話会，山形；2005年9月
- 9) 小久保安昭，嘉山孝正：出血にて発症し緊急手術を行った脳動脈静脈奇型の一例．第16回山形大学脳神経外科手術カンファレンス，山形；2005年10月
- 10) 竹村直，小久保安昭，斎藤伸二郎，嘉山孝正：大きな聴神経腫瘍の一手術例．第17回山形大学脳神経外科手術カンファレンス，山形；2005年11月
- 11) 小久保安昭，松森保彦，近藤礼，佐藤慎哉，嘉山孝正：虚血性脳血管障害例における経動脈エコーの検討．第15回山形県対脳卒中治療研究会，山形；2005年11月
- 12) 小久保安昭，松森保彦，近藤礼，佐藤慎哉，嘉山孝正：脳卒中における高血圧症の関わり - 山形県対脳卒中治療研究会における検討 - ．山形脳卒中と高血圧セミナー，山形；2005年11月
- 13) 久下淳史，櫻田香，佐藤慎哉，斎藤伸二郎，嘉山孝正：頭蓋咽頭腫の治療．第43回山形脳神経外科懇話会，山形；2005年12月

(5) その他

- 1) 嘉山孝正：安全な脳腫瘍の手術．第10回北里脳神経外科微小解剖セミナー，相模原；2005年2月
- 2) 嘉山孝正：言語野脳腫瘍の治療．第7回めまい研究会，松山；2005年3月
- 3) 嘉山孝正：血栓症（脳こうそく，心筋こうそく）．日本血栓止血学会市民公開講座in山形，山形；2005年3月
- 4) 園田順彦：脳腫瘍．厚生労働省科学研究・がん医療均てん講演会公開市民講演会，山形；2005年3月
- 5) 嘉山孝正：脳動脈瘤手術におけるMEPの有用性．第22回山梨脳神経外科懇話会，甲府；2005年5月
- 6) 近藤礼：脳卒中の外科治療．第8回脳卒中市民シンポジウム，山形；2005年5月
- 7) 嘉山孝正：Multi modality時代の脳腫瘍の治療．第1回長崎脳疾患研究会，長崎；2005年6月
- 8) 嘉山孝正：Multi-Modalityを用いた脳腫瘍手術．第30回栃木脳腫瘍懇話会，宇都宮；2005年7月
- 9) 嘉山孝正：医療マネジメント改革の実行 - イノベーションの実践 - ．化学及血清療法研究所研修会，熊本；2005年8月
- 10) 嘉山孝正：最近の脳神経外科手術．第24回本荘由利地区医学講座，本荘；2005年9月
- 11) 嘉山孝正：健やかな老後を送るために - 脳卒中の予防と脳卒中になったら．しあわせの会，仙台；2005年9月
- 12) 嘉山孝正：脳卒中克服，山新健康フォーラム，山形；2005年9月
- 13) 嘉山孝正：組織改革について．山形県立日本海病院特別講演会，酒田；2005年10月
- 14) 嘉山孝正：Multi modality時代の脳腫瘍の治療．第8回島根脳神経外科さんべセミナー，出雲；2005年10月
- 15) 嘉山孝正：脳卒中の最新治療と山形県の現状．第1回米沢地区脳卒中連携セミナー，米沢；2005年11月
- 16) 嘉山孝正：組織改革について．平成17年度秋田大学関連病院協議会総会，秋田；2005年11月
- 17) 嘉山孝正：Multi-modalityを用いた脳腫瘍手術．第1回信州脳神経外科研究会，松本；2005年11月
- 18) 嘉山孝正：代表症例解説 脳腫瘍：治療と看護のポイント．BRAIN NURSING SEMINAR；脳神経外科看護の臨床ポイント，大坂；2005年11月

3. その他

- 1) 第8回脳神経減圧術研究会，横浜；2005年10月
- 2) 第3回日本awake surgery研究会，佐賀；2005年11月
- 3) 第39回東北脳腫瘍研究会，仙台；2005年3月

- 4) 第29回北日本脳神経外科連合会, 山形; 2005年5月
- 5) 第5回東北脳神経外科セミナー, 山形; 2005年5月
- 6) 第40回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2005年2月
- 7) 厚生労働省科学研究・がん医療均てん講演会, 山形; 2005年3月
- 8) 第8回脳卒中市民シンポジウム, 山形; 2005年5月
- 9) 第41回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2005年6月
- 10) 第6回山形ニューロサイエンス研究会, 山形; 2005年6月
- 11) 第5回山形県脳ドッグ研究会, 山形; 2005年7月
- 12) 第14回山形県対脳卒中治療研究会, 山形; 2005年7月
- 13) 山形脳卒中和頸動脈病変セミナー, 山形; 2005年7月
- 14) 第1回山形B.H.R. Conference, 山形; 2005年8月
- 15) 第42回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2005年9月
- 16) 第16回山形大学脳神経外科手術カンファレンス, 山形; 2005年10月
- 17) 第17回山形大学脳神経外科手術カンファレンス, 山形; 2005年11月
- 18) 第15回山形対脳卒中治療研究会, 山形; 2005年11月
- 19) 第56回山形神経放射線懇話会, 山形; 2005年11月
- 20) 山形脳卒中和高血圧症セミナー, 山形; 2005年11月
- 21) 急性期脳卒中Conference in 山形2005, 山形; 2005年12月
- 22) 第43回山形脳神経外科懇話会, 山形; 2005年12月

言語分析学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) 丸田忠雄, 山岸 達也; 仮名1文字および2モーラ仮名非語の音読に特異な語彙化を呈した音韻性失読とみられる症例について - 視覚単語認知のコホートモデルから. 山形医学 2005; 22- 3 ; 97-106
- 2) 丸田忠雄: メンタルレキシコンの包括的デザイン - 正書法レキシコンと音読メカニズムに焦点を当てて. 現代形態論の潮流 (くろしお出版) 2005; 199-219
- 3) 門間 政亮, 本多 薫, 渡邊 洋一; チャットコミュニケーションにおける昼夜間の違いに関する基礎的検討. 人間工学 2005; 41- 6 ; 367-370

(2) その他

- 1) 丸田 忠雄; 形容詞の項構造からの形容詞主要構文の分析 - tough 構文と W 類形容詞構文. 平成15-16年度科学研究費補助金 (基盤研究(C)) (課題番号15520303) 研究成果報告書. 2005年3月

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 山岸 達也, 丸田 忠雄; 活性化モデルによる言語性保続の考察 - 保続的混成語のデータから -. 第16回東北神経心理懇話会, 仙台; 2005年1月
- 2) 門間 政亮; チャット通信における昼夜間の発話内容の違いに関する検討. 第46回日本人間工学会大会, 東京; 2005年6月
- 3) 山岸達也, 丸田 忠雄; 音読課題における隠れた活性化に基づく保続について. 第29回高次脳機能障害学会, 倉敷; 2005年11月

(2) 国内地方会

- 1) 門間 政亮; チャットコミュニケーションにおける昼夜間の違い. 東北心理学会第59回大会. いわき; 2005年8月28日

(3) 研究会

- 1) 丸田 忠雄; ことばの産出メカニズム. 第1回山形高次脳機能障害研究会, 山形; 2005年4月
- 2) 山岸 達也; 音韻性失読呈した一症例. 第2回山形高次脳機能障害研究会, 山形; 2005年5月
- 3) 丸田 忠雄; 特異な保続について - 過去の課題の答えが今. 第3回山形高次脳機能障害研究会, 山形; 2005年6月

(4) その他

- 1) 丸田 忠雄; 認知神経心理学からみた失読症 - 漢字と仮名はどう読まれるのだろうか? 第6回山形県言語聴覚士会研修会, 山形; 2005年5月
- 2) 丸田 忠雄; 加齢に伴う構音障害と失語症. 平成17年度山形大学医学部公開講座, 山形大学; 2006年9月

生命情報内科学講座（内科学第三）

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Kameda W, Daimon M, Oizumi T, Jimbu Y, Kimura M, Hirata A, Yamaguchi H, Ohnuma H, Igarashi M, Tominaga M, Kato T ; Association of decrease in serum dehydroepiandrosterone sulfate levels with the progression to type 2 diabetes in men of a Japanese population ; The Funagata Study. *Metabolism* 2005 ; 54 ; 669-676
- 2) Ren C-H, Wada M, Koyama S, Kimura H, Arawaka S, Kawanami T, Kurita K, Kadoya T, Aoki M, Itoyama Y, Kato T ; Neuroprotective effect of oxidized galectin- 1 in a transgenic mouse model of amyotrophic lateral sclerosis. *Exp Neurol* 2005 ; 194 ; 203-211
- 3) Kato T, Ren C-H, Wada M, Kawanami T ; Galectin- 1 as a potential therapeutic agent for amyotrophic lateral sclerosis. *Curr Drug Targets* 2005 ; 6 ; 407-418
- 4) Ikezawa Y, Yamatani K, Ohnuma H, Daimon M, Manaka H, Sasaki H ; Insulin inhibits glucagon-induced glycogenolysis normally in perivenous hepatocytes of Wistar fatty rats. *Diabetes Res Clin Pract* 2005 ; 69 ; 120-123
- 5) Tajima K, Harada H, Karube H, Yamamoto H, Honma R, Hiroshima Y, Shimizu K, Yamamoto M, Kato Y, Akiba J, Yamada K, Kurane I, Kato T ; Early detection of a case of dengue fever in Yamagata University Hospital. *Yamagata Med J* 2005 ; 23 ; 125-128
- 6) Daimon M, Kido T, Baba M, Oizumi T, Jimbu Y, Kameda W, Yamaguchi H, Ohnuma H, Tominaga M, Muramatsu M, Kato T ; Association of the ABCA 1 gene polymorphisms with type 2 DM in a Japanese population. *Biochem Biophys Res Commun* 2005 ; 329 ; 205-210
- 7) Adachi M, Kawanami T, Ohshima H, Hosoya T ; Cerebellar atrophy attributed to cerebellitis in two patients. *Magn Reson Med Sci* 2005 ; 4 ; 103-107
- 8) Maeda K, Takahashi T, Saitoh C, Watarai K, Wada K, Tajima K, Harada Y, Hiroshima Y, Yamakawa M ; Interdigitating cell sarcoma - A report of an autopsy case and literature review - . *J Clin Exp Hematopathol* 2005 ; 45 ; 37-44
- 9) Nagasawa H, Kurita K, Wada M, Kawanami T, Kato T ; Blood transfusion-induced irreversible brain damage. *J Neurol* 2005 ; 252 ; 1541-1542
- 10) Sato T, Nakanishi T, Yamamoto Y, Andersen PM, Ogawa Y, Fukada K, Zhou Z, Aoike F, Sugai F, Nagano S, Hirata S, Ogawa M, Nakano R, Ohi T, Kato T, Nakagawa M, Hamasaki T, Shimizu A, Sakoda S ; Rapid disease progression correlates with instability of mutant SOD 1 in familial ALS. *Neurology* 2005 ; 65 ; 1954-1957
- 11) 永沢光, 伊関千書, 和田学, 栗田啓司, 加藤丈夫 ; 外転神経麻痺にて発症し, 海綿静脈洞に病変をみとめたサルコイドーシス. *臨床神経学* 2005 ; 45 ; 38-40
- 12) 永沢光, 和田学, 小山信吾, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫 ; 視神経病変をMRIにて抽出できたメタノール中毒の1例. *臨床神経学* 2005 ; 45 ; 527-530
- 13) 黒川克朗, 佐藤裕康, 中嶋凱夫, 川並透, 加藤丈夫 ; スギヒラタケ摂食後に発症した脳炎の2症例: 脳画像の経時的変化および脳波所見. *臨床神経学* 2005 ; 45(2) ; 111-116

(2) 総 説

- 1) Daimon M ; Feature articles ; International symposium on non-digestible carbohydrate(3) Clinical aspects of postprandial hyperglycemia. *Foods Food Ingredients J. Jpn.* 2005 ; 210 ; 1108-1113
- 2) 大門真 ; 耐糖能障害 - 基礎・臨床研究の最新情報 - , IX . 特論, 低血清アディポネクチン値は2型糖尿病発症の危険因子か . *日本臨床* 2005 ; 63 ; 642-645
- 3) 亀田亘, 加藤丈夫 ; 糖尿病の脳卒中の特徴は? 糖尿病の人はどんな脳梗塞になりやすいですか? *肥満と糖尿病* 2005 ; 4 ; 821-822

- 4) 川並透, 加藤丈夫; 脳の感染症 抗体の評価. CLINICAL NEUROSCIENCE 2005; 23; 750-751
- 5) 山口宏, 富永真琴; 糖尿病と身体運動: 疫学的研究成績. 臨床スポーツ医学 2005; 22; 107-112
- 6) 山口宏, 富永真琴; 糖尿病発症予防のエビデンスと治療の実際. なぜ早期診断, IGTや境界型の早期治療が求められているのか? Progress in Medicine 2005; 25; 9-14
- 7) 加藤丈夫; 糖尿病に伴う脳障害. 日本内科学会雑誌 2005; 94(3): 88-94

(3) 著 書

- 1) 加藤丈夫; 進行性多巣性白質脳症. 富野康日己編, 「内科疾患診療マニュアル」. 東京; 中外医学社, 2005; 945-946
- 2) 加藤丈夫; 傍腫瘍性症候群. 富野康日己編, 「内科疾患診療マニュアル」. 東京; 中外医学社, 2005; 947-949
- 3) 永沢光, 加藤丈夫; 代謝性脳症. 富野康日己編, 「内科疾患診療マニュアル」. 東京; 中外医学社, 2005; 950-952
- 4) 和田学, 加藤丈夫; 薬物中毒性脳症. 富野康日己編, 「内科疾患診療マニュアル」. 東京; 中外医学社, 2005; 953-954
- 5) 栗田啓司, 加藤丈夫; 多発性硬化症, 急性散在性脳脊髄炎. 富野康日己編, 「内科疾患診療マニュアル」. 東京; 中外医学社, 2005; 982-987
- 6) 川並透, 加藤丈夫; てんかん. 富野康日己編, 「内科疾患診療マニュアル」. 東京; 中外医学社, 2005; 1039-1043
- 7) 大門真, 加藤丈夫; 急性ポルフィリン症. 祖父江元編, 「看護のための最新医学講座」(第 2 版). 東京; 中山書店, 2005; 538-540
- 8) 加藤丈夫; 悪性腫瘍の遠隔効果による神経障害. 「今日の治療指針」. 東京; 医学書院, 2005; 656
- 9) 加藤丈夫; ウィルソン病, 肝性脳症. 祖父江元編, 「看護のための最新医学講座: 脳神経系疾患」(第 1 巻) 第 2 版. 東京; 中山書店, 2005; 535-537

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Daimon M; Large-scale search of SNPs for type 2 DM susceptibility genes. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata; 2005年 8 月
- 2) Kato T; Molecular epidemiology and functional study on Parkinson's disease. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata; 2005年 8 月
- 3) Kikuchi K, Arawaka S, Koyama S, Kimura H, Ren C-H, Wada M, Kawanami T, Kurita K, Daimon M, Kaswakatsu S, Goto K, Kato T; An N-terminal fragment of pro SAAS (a granin-like neuroendocrine peptide precursor) is associated with tau inclusions in Pick's disease. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata; 2005年 8 月
- 4) Oizumi T, Daimon M, Kameda W, Jimubu Y, Yamaguchi H, Ohnuma H, Tominaga M, Kato Y; Impaired glucose tolerance is a risk factor for stroke, but not coronary heart disease, in a large Japanese sample. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata; 2005年 8 月
- 5) Kameda W, Daimon M, Oizumi T, Jimbu Y, Susa S, Arawaka N, Hirata A, Yamaguchi H, Ohnuma H, Igarashi M, Tominaga M, Kato T; Association of decrease of serum DHEAS levels with the progression to type 2 diabetes in men of a Japanese population- The Funagata Study. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata; 2005年 8 月
- 6) Nagasawa H, Wada M, Kawanami T, Kurita K, Daimon M, Kato T; A polymorphism of the aldehyde dehydrogenase 2 (ALDH2) gene is a risk factor for multiple lacunar infarcts in Japanese, the Takahata Study. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata; 2005年 8 月
- 7) Ren C-H, Wada M, Koyama S, Kimura H, Arawaka S, Kawanami T, Kurita K, Kadoya T, Aoki M, Itoyama Y, Kato T; Neuroprotective effect of oxidized galectin-1 in a transgenic mouse model of amyotrophic sclerosis. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in

Yamagata, Yamagata ; 2005年 8 月

- 8) Can C, Ohnuma H, Daimon M, Yamaguchi H, Kameda W, Jimbu Y, Oizumi T, Kato T ; The effect of ghrelin on insulin secretion from portal vein in normal rat. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar Foundation in Yamagata, Yamagata ; 2005年 8 月
- 9) Ohnuma H, Can C, Daimon M, Kameda W, Jimbu Y, Oizumi T, Kato T ; Ghrelin inhibits insulin response to glucose infusion into the portal vein through an adrenergic mechanism. The 41th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD), Athens ; 2005年 9 月
- 10) Daimon M, Matsuura T, Oizumi T, Kido T, Jimbu Y, Baba M, Kameda W, Sato H, Arawaka N, Yamaguchi H, Ohnuma H, Tominaga M, Muramatsu M, Kato T ; Association of the tumor necrosis factor- (TNF-) gene IVS 1 +123G/A polymorphism with type 2 diabetes. The 41th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD), Athens ; 2005年 9 月
- 11) Oizumi T, Daimon M, Jimbu Y, Kameda W, Yamaguchi H, Ohnuma H, Kato T, Sasaki H ; Improvement in glucose tolerance, serum free fatty acid levels and body fat composition with a novel palatinose-based balanced formula. The 41th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD), Athens ; 2005年 9 月
- 12) Kato T ; Molecular epidemiology functional study on Parkinson's disease. The 21st Century COE (Center of Excellence) Program Supported by Japan Society for the Promotion of Science, International Symposium on Multifactorial Diseases ; Genetic Factors and Pathogenesis, Yamagata ; 2005年10月
- 13) Daimon M ; Large scale search of SNPs for type 2 DM susceptibility genes in a Japanese population. The 21st Century COE (Center of Excellence) Program Supported by Japan Society for the Promotion of Science, International Symposium on Multifactorial Diseases ; Genetic Factors and Pathogenesis, Yamagata ; 2005年10月

(2) 国内の学会

- 1) 山本雅一, 後藤薫, 加藤丈夫 ; 炎症反応下の免疫担当細胞におけるジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの発現誘導 . 第110回日本解剖学会総会, 富山市 ; 2005年 3 月
- 2) 大泉俊英, 神部裕美, 木村美奈子, 亀田亘, 山口宏, 大沼寛, 五十嵐雅彦, 大門真, 富永真琴, 加藤丈夫 ; 脳卒中および虚血性心疾患の危険因子としての糖尿病の疫学調査 . 第102回日本内科学会総会, 大阪市 ; 2005年 4 月
- 3) 永沢光, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 大門真, 加藤丈夫, 村松正明 ; 無症候性脳梗塞, 頸部血管動脈硬化に対する分子疫学的検討 ~ 高畠町研究 ~ . 第102回日本内科学会総会, 大阪市 ; 2005年 4 月
- 4) 大泉俊英, 亀田亘, 山口宏, 大沼寛, 大門真, 加藤丈夫, 佐々木一 ; 糖質調整流動食 (Inslow^R) の長期投与における脂肪蓄積予防効果と諸相 . 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸市 ; 2005年 5 月
- 5) 大門真, 大泉俊英, 神部裕美, 亀田亘, 木村美奈子, 荒若信子, 山口宏, 大沼寛, 加藤丈夫, 村松正明 ; TNF- 遺伝子イントロン 1 の多型IVS+123G/Aと 2 型糖尿病との関連 . 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸市 ; 2005年 5 月
- 6) 大沼寛, Can Cui, 神部裕美, 亀田亘, 木村美奈子, 大泉俊英, 山口宏, 大門真, 加藤丈夫 ; 正常耐糖能ラットのブドウ糖負荷時インスリン反応に及ぼすグレリン門脈内投与の影響 . 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸市 ; 2005年 5 月
- 7) 五十嵐雅彦, 平田昭彦, 富永真琴, 山下英俊, 神部裕美 ; p38活性阻害薬による糖尿病ラットパルレーン内臓傷害モデルに対する検討 . 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸市 ; 2005年 5 月
- 8) 加藤丈夫, 川並透, 黒川克朗, 野本達也, 瀬田健博, 亀井徹正, 吉野英, 柄沢繁, 木村英紀, 田川朝子, 安藤志穂里 ; スギヒラタケ摂食後に腎不全患者に多発した亜急性脳症 . 第46回日本神経学会総会, 鹿児島市 ; 2005年 5 月
- 9) 和田学, 永沢光, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫 ; 地域住民を対象とした脳血管障害危険因子の疫学的研究 . 第46回日本神経学会総会, 鹿児島市 ; 2005年 5 月
- 10) 寒河江理生, 大本英次郎, 川並透, 永沢光, 小山信吾, 和田学, 栗田啓司, 加藤丈夫 ; 70歳地域住民における無症候性脳梗塞の危険因子の検討 . 第46回日本神経学会総会, 鹿児島市 ; 2005年 5 月
- 11) 永沢光, 和田学, 小山信吾, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫, 村松正明 ; 無症候性脳梗塞, 頸部動脈硬化とア

ルコール代謝遺伝子多型に関する検討．第46回日本神経学会総会，鹿児島市；2005年5月

- 12) 小山信吾，荒若繁樹，任長虹，永沢光，大竹浩也，和田学，栗田啓司，加藤丈夫；Hsp70/Hsp40による変異型SOD1の可溶性変化．第46回日本神経学会総会，鹿児島市；2005年5月
- 13) 荒若信子，大門真，大泉俊英，亀田亘，山口宏，大沼寛；体重ではなく，その増減が血清アディポネクチン値の変化と関連している．第78回日本内分泌学会学術総会，東京都；2005年7月
- 14) 崔 燦，大沼寛，神部裕美，亀田亘，大泉俊英，山口宏，大門真；グレリンの門脈内投与の糖負荷時インスリン反応に及ぼす影響，正常ラットを用いた検討．第78回日本内分泌学会学術総会，東京都；2005年7月
- 15) 山本雅一，田嶋克史，清水桂，加藤裕一，秋葉次郎；炎症反応下の免疫担当細胞におけるアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの発現．第67回日本血液学会総会，第47回日本臨床血液学会総会合同総会，横浜市；2005年9月
- 16) 田嶋克史，山本久史，清水桂，山本雅一，加藤裕一，秋葉次郎，軽部宏紀，加藤丈夫；新規ホモ接合体プロテインC欠乏症．第67回日本血液学会総会，第47回日本臨床血液学会総会合同総会，横浜市；2005年9月
- 17) 加藤裕一，清水桂，軽部宏紀，山本雅一，秋葉次郎，田嶋克史，加藤丈夫；Fludarabine/Rituximabが奏効したhairy cell leukemiaの1例．第67回日本血液学会総会，第47回日本臨床血液学会総会合同総会，横浜市；2005年9月
- 18) 清水桂，山本久史，軽部宏紀，山本雅一，加藤裕一，秋葉次郎，田嶋克史，加藤丈夫；左視神経腫瘍で急性転化を来したimatinib投与中の慢性期慢性骨髄性白血病の1例．第67回日本血液学会総会，第47回日本臨床血液学会総会合同総会，横浜市；2005年9月
- 19) 大泉俊英，大門真，和田学，栗田啓司，亀田亘，神部裕美，諏佐真治，山口宏，大沼寛，加藤丈夫；McLeod症候群の1症例で認められた新たなXK遺伝子異常．第50回日本人類遺伝学会，倉敷市；2005年9月
- 20) 神部裕美，五十嵐雅彦，山口宏，平田昭彦，菅江尚央子，野寄久枝，加藤丈夫，富永真琴；糖尿病由来培養ラット血管平滑筋細胞に対するthrombospondin-1の影響．第20回日本糖尿病合併症学会，東京都；2005年10月

(3) 国内地方会

- 1) 渡會文果，山本久史，田嶋克史，廣島由紀，加藤裕一，秋葉次郎，加藤丈夫；ムコール症の1例．第175回日本内科学会東北地方会，仙台市；2005年2月
- 2) 大通尚，神部裕美，亀田亘，大泉俊英，荒若信子，山口宏，大沼寛，大門真，加藤丈夫；持続性ソマトスタチンアナログによる先端巨大症の治療経験．第175回日本内科学会東北地方会，仙台市；2005年2月
- 3) 前川慶之，田嶋克史，山本久史，廣島由紀，加藤裕一，秋葉次郎，加藤丈夫；移植後18年目に再発した慢性骨髄性白血病の1例．第44回日本臨床血液学会，第99回日本血液学会合同東北地方会，仙台市；2005年2月
- 4) 奥平志野，小山信吾，大竹浩也，永沢光，和田学，川並透，栗田啓司，加藤丈夫；Adie瞳孔と小脳失調を呈し，抗GQ16抗体と抗GT1a抗体が陽性であった1例．第76回日本神経学会東北地方会，仙台市；2005年3月
- 5) 永沢光，和田学，小山信吾，大竹浩也，川並透，栗田啓司，加藤丈夫；アデノウィルス2型感染後に発症した辺縁系脳炎の1例．第76回日本神経学会東北地方会，仙台市；2005年3月
- 6) 黒川克朗，佐藤裕康，中嶋凱夫，川並透，加藤丈夫；スギヒラタケ摂食後に発症した脳症の2例．第76回日本神経学会東北地方会，仙台市；2005年3月
- 7) 加藤丈夫；スギヒラタケ脳症の臨床と脳画像．第176回日本内科学会東北地方会（第45回生涯教育講演会），仙台市；2005年6月
- 8) 亀田亘，神部裕美，諏佐真治，大泉俊英，荒若信子，山口宏，大沼寛，大門真，加藤丈夫；オクトレオスキャンによる局在診断を試みたクッシング症候群の1例．第176回日本内科学会東北地方会，仙台市；2005年6月
- 9) 伊関千書，永沢光，小山信吾，和田学，川並透，栗田啓司，加藤丈夫；イブプロフェン服用後に発症した無菌性髄膜炎を契機に診断された結合性組織病の1例．第176回日本内科学会東北地方会，仙台市；2005年6月
- 10) 梁秀蘭，江口英行，佐藤伸二，山本雅一，軽部宏紀；両側副腎腫大と血小板減少を示した悪性リンパ腫と考えられる1例．第177回日本内科学会東北地方会，盛岡市；2005年9月
- 11) 齋藤祐規，永沢光，伊関千書，小山信吾，和田学，川並透，栗田啓司，加藤丈夫；MRI拡散強調画像が病巣検出に有用であった間欠型CO中毒の2症例．第177回日本内科学会東北地方会，盛岡市；2005年9月
- 12) 豊野まり子，山本雅一，清水桂，田嶋克史，加藤裕一，秋葉次郎，加藤丈夫；前駆Bリンパ芽球リンパ腫（precursor B-lymphoblastic lymphoma；B-LBL）の1例．第100回日本血液学会，第45回日本臨床血液学会合同東北地方会，盛岡市；2005年9月

- 13) 伊関千書, 小山信吾, 永沢光, 川並透, 和田学, 栗田啓司, 加藤丈夫, 船越慶, 結城伸泰; 著明な深部感覚低下を伴ったFisher症候群の1例. 第77回日本神経学会東北地方会, 盛岡市; 2005年9月
- 14) 小山信吾, 伊関千書, 永沢光, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫; Chronic compartment syndromeの2例. 第77回日本神経学会東北地方会, 盛岡市; 2005年9月
- 15) 山口宏, 神部裕美, 大泉俊英, 大沼寛, 大門真, 加藤丈夫, 平田昭彦, 五十嵐雅彦, 富永真琴; 2型糖尿病とGERD. 第43回日本糖尿病学会東北地方会, 仙台市; 2005年11月

(4) 研究会

- 1) 大門真; 生活習慣病と体質. 南陽市東置賜郡医師会講演会, 南陽市; 2005年2月
- 2) 山口宏; 糖尿病治療の過去と未来. 第3回小児糖尿病研究会, 山形市; 2005年5月
- 3) 山口宏; 日常診療における糖尿病治療のポイント. 第1回新庄・最上地区糖尿病研究会, 新庄市; 2005年6月
- 4) 大沼寛; 糖尿病治療次の一歩. 長井市西置賜郡医師会学術講演会, 長井市; 2005年6月
- 5) 山口宏; 糖尿病合併高血圧の治療. 庄内糖尿病勉強会, 酒田市; 2005年6月
- 6) 大沼寛; 山形県糖尿病患者実態調査報告. 山形県臨床内科医学会学術講演会, 山形市; 2005年7月
- 7) 佐藤誠, 永沢光, 小山信吾, 和田学, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫; Trousseau症候群の1例. 第14回山形県対脳卒中治療研究会, 山形市; 2005年7月
- 8) 山口宏; 心血管系の予後を考慮した糖尿病の治療. 第3回心不全研究会, 鶴岡市; 2005年7月
- 9) 清水桂, 山本雅一, 軽部宏紀, 加藤裕一, 秋葉次郎, 田嶋克史, 加藤丈夫, 前田邦彦; 頸髄腫瘍で発症したlarge cell sclerosing B-cell lymphomaの1例. 第4回福島・新潟・山形スライドカンファレンス, 福島市; 2005年10月
- 10) 伊関千書, 川並透, 加藤丈夫; 住民検診における脳MR画像と神経症候からみた水頭症の疫学的検討. 第19回山形神経内科懇話会, 山形市; 2005年10月
- 11) 山本雅一, 秋葉次郎, 加藤裕一, 清水桂, 軽部宏紀, 田嶋克史, 加藤丈夫; EBV関連血球貧血症候群の1例. 第9回山形造血管器疾患研究会, 山形市; 2005年10月
- 12) 清水桂, 山本雅一, 軽部宏紀, 加藤裕一, 秋葉次郎, 田嶋克史, 加藤丈夫; 当科における血液疾患の治療成績について. 第9回山形造血管器疾患研究会, 山形市; 2005年10月
- 13) 川並透; パーキンソニズムを呈したスギヒラタケ脳症の1剖検例. 第10回東北パーキンソン病治療研究会, 仙台市; 2005年11月
- 14) 山本雅一; 重症再生不良性貧血移植後, 5年目にネフローゼ症候群を来した1例. 第8回山形腎と免疫研究会, 山形市; 2005年11月
- 15) 永沢光, 和田学, 小山信吾, 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫; 頸部血管動脈硬化と生活習慣病との関連~高島町研究~. 山形脳卒中と高血圧セミナー, 山形市; 2005年11月
- 16) 山口宏; 糖尿病治療の新たな挑戦. - 心血管系疾患をどう抑制するか -. 第3回臓器保護研究会, 郡山市; 2005年12月

(5) その他

- 1) 川並透, 栗田啓司, 加藤丈夫, 亀谷剛, 小笠原真佐子, 荒木京子; 「草の根難病ネットワーク」は可能だろうか; 山形県難病医療ネットワーク平成16年アンケート調査報告からの考察. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特定疾患の地域支援体制の構築に関する研究班」平成16年度班会議, 東京都; 2005年1月
- 2) 高橋早苗, 佐藤加代子, 佐藤千尋, 増川令子, 加藤丈夫, 田代久男, 斉藤明子; ALS患者2事例の退院に向けた看護介入と課題. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「特定疾患の地域支援体制の構築に関する研究班」平成16年度班会議, 東京都; 2005年1月
- 3) 小山信吾, 荒若繁樹, 加藤丈夫; H46R Tgマウスと細胞モデルにおける変異型SOD1の可溶性変化についての検討. 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「筋萎縮性側索硬化症の病因・病態に関わる新規治療法の開発に関する研究班」平成16年度班会議, 東京都; 2005年1月
- 4) 加藤丈夫; 糖尿病における心血管疾患の病態解明の現状(6)神経内科専門医の立場から. 第39回糖尿病学の進歩, 仙台市; 2005年2月
- 5) 加藤丈夫; スギヒラタケと脳症(山形の経験から). 第76回日本神経学会東北地方会(生涯教育講演), 仙台市; 2005年3月

- 6) 伊関千書, 川並透, 加藤丈夫; 住民検診における脳MR画像と神経症候からみた水頭症の疫学的検討. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究班」夏季ワークショップ, 市川市; 2005年8月
- 7) 川並透; スギヒラタケ摂食後に腎不全患者に多発した脳症; 山形県の10症例の臨床的検討. 第11回山形県医師会学術大会, 山形市; 2005年11月
- 8) 加藤丈夫; 遺伝子の個性と個別化医療. 第11回山形県医師会学術大会, 山形市; 2005年11月
- 9) 伊関千書, 川並透, 加藤丈夫, 森悦朗; 特発性正常圧水頭症の有病率の推定 - 山形県高畠町, 山形県寒河江市における住民検診から. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究班」平成17年度班会議, 市川市; 2005年12月
- 10) Can C, Ohnuma H, Daimon M, Yamaguchi H, Kameda W, Jimbu Y, Oizumi T, Kato T; Ghrelin inhibits glucose-stimulated insulin secretion by autonomic nervous system in wister rats. 第16回実験動物セミナー研究成果発表会, 山形市; 2005年12月

生体分子機能学講座（生化学第二）

1 . 論 文

(1) 原 著

- 1) Cheng G, Ikeda Y, Iuchi Y, Fujii J : Detection of S-glutathionylated proteins by glutathione S-transferase overlay. *Arch Biochem Biophys* 2005 ; 435 : 42-49
- 2) Tanito M, Kwon Y W, Kondo N, Bai J, Masutani H, Nakamura H, Fujii J, Ohira A, Yodoi J : Cytoprotective effects of geranylgeranylacetone against retinal photooxidative damage. *J Neurosci* 2005 ; 25 : 2396-2404
- 3) Nagaoka Y, Otsu K, Okada F, Sato K, Ohba Y, Kotani N, Fujii J ; Specific inactivation of cysteine protease-type cathepsin by singlet oxygen generated from naphthalene endoperoxides. *Biochem Biophys Res Commun* 2005 ; 331 : 215-223
- 4) Otsu K, Sato K, Ikeda Y, Imai H, Nakagawa Y, Ohba Y, Fujii J : An abortive apoptotic pathway induced by singlet oxygen is due to the suppression of caspase activation. *Biochem J* 2005 ; 389 : 197-223
- 5) Ishii T, Matsuki S, Iuchi Y, Okada F, Toyosaki S, Tomita Y, Ikeda Y, Fujii J ; Accelerated impairment of spermatogenic cells in sod 1 -knockout mice under heat stress. *Free Radic Res* 2005 ; 39 : 697-705
- 6) Suto D, Sato K, Ohba Y, Yoshimura T, Fujii J ; Suppression of the pro-apoptotic function of cytochrome c by singlet oxygen via a haem redox state-independent mechanism. *Biochem J* 2005 ; 392 : 399-406
- 7) Wang X, Inoue S, Gu J, Miyoshi E, Noda K, Li W, Mizuno-Horikawa Y, Nakano M, Asahi M, Takahashi M, Uozumi N, Ihara S, Lee SH, Ikeda Y, Yamaguchi Y, Aze Y, Tomiyama Y, Fujii J, Suzuki K, Kondo A, Shapiro SD, Lopez-Otin C, Kuwaki T, Okabe M, Honke K, Taniguchi N : Dysregulation of TGF- β 1 receptor activation leads to abnormal lung development and emphysema-like phenotype in core fucose-deficient mice. *Proc Natl Acad Sci USA* 2005 ; 102 : 15791-15796
- 8) Zhao W, Darmanin S, Fu Q, Chen J, Cui H, Wang J, Okada F, Hamada J-I, Hattori Y-I, Kondo T, Hamuro J, Asaka M, Kobayashi M : Hypoxia suppresses the production of matrix metalloproteinases and migration of human monocyte-derived dendritic cells. *Eur J Immunol* 2005 ; 35 : 3468-3477
- 9) Hayashi E, Kuramitsu Y, Okada F, Fujimoto M, Zhang X, Kobayashi M, Iizuka N, Ueyama Y, Nakamura K. : Proteomic profiling for cancer progression : Differential display analysis for the expression of intracellular proteins between regressive and progressive cancer cell lines. *Proteomics* 2005 ; 5 : 1024-1032

(2) 総 説

- 1) Fujii J, Iuchi Y, Okada F : Fundamental roles of reactive oxygen species and protective mechanisms in the female reproductive system. *Reprod Biol Endocrinol* 2005 ; 3 : 43-52
- 2) Okada F, Fujii J : Prevention of tumor progression as the ultimate goal of cancer therapy. *Cancer Therapy*, 2005 ; 3 : 219-226

(3) 著 書

- 1) Cheng G, Ikeda Y, Iuchi Y, Fujii J : A novel method to detect S-glutathionylated proteins by glutathione S-transferase. *The 3rd International Symposium on Natural Antioxidants-Molecular Mechanisms and Health Effects (ISNA) and the 2nd Meeting of the Society for Free Radical Research Asia (SFRR Asia) Medimond*, 2005 ; 155-158
- 2) Suto D, Sato K, Ohba Y, Yoshimura T, Fujii J : Abolished pro-apoptotic function of cytochrome c by singlet oxygen via heme redox state-independent mechanism. *The 3rd International Symposium on Natural Antioxidants-Molecular Mechanisms and Health Effects (ISNA) and the 2nd Meeting of the Society for Free Radical Research Asia (SFRR Asia) Medimond*, 2005 ; 87-90
- 3) Fujii J ; Chapter 5. Catalytic Protein-Enzymes in *Medical Biochemistry* 2nd ed. Eds. Dominiczak MH, Baynes JW. Mosby, 2005 ; 51-62

(4) その他

- 1) 岡田太: 炎症による発癌・プログレッションモデルと化学予防. 日本がん予防学会 News Letter 2005 ; 45 : 8-9

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Okada F, Tazawa H, Kobayashi M, Hosokawa M : Infiltrated neutrophils as an endogenous factor for accelerating tumor progression. The 96th Annual Meeting of the American Association for Cancer Research. Anaheim ; April 2005
- 2) Okada F, Kawaguchi T, Kitagawa T, Kobayashi T, Tazawa H, Kobayashi M, Murakami A, Ohigashi H. Hosokawa M : Prevention of chronic-inflammation-based conversion of human colonic adenoma cells to adenocarcinoma cells by auraptene, a citrus coumarin derivatives. The ISCAP Symposium. Kyoto ; May 2005
- 3) Cheng G, Ikeda Y, Iuchi Y, Fujii J ; Detection of glutathionylated proteins by glutathione S-transferase overlay. The 3rd International Symposium on Natural Antioxidants-Molecular Mechanisms and Health Effects (ISNA) and the 2nd Meeting of the Society for Free Radical Research Asia (SFRR Asia). Shanghai; June 2005
- 4) Nagaoka Y, Otsu K, Okada F, Sato K, Ohba Y, Kotani N, Fujii J ; Specific inactivation of cysteine protease-type cathepsin by singlet oxygen generated from naphthalene endoperoxides. The 3rd International Symposium on Natural Antioxidants-Molecular Mechanisms and Health Effects (ISNA) and the 2nd Meeting of the Society for Free Radical Research Asia (SFRR Asia). Shanghai ; June 2005
- 5) Suto D, Otsu K, Sato K, Ohba Y, Yoshimura T, Fujii J ; Suppression of the pro-apoptotic function of cytochrome c by singlet oxygen via a heme redox state-independent mechanism. The 3rd International Symposium on Natural Antioxidants-Molecular Mechanisms and Health Effects (ISNA) and the 2nd Meeting of the Society for Free Radical Research Asia (SFRR Asia). Shanghai ; June 2005
- 6) Okada F, Nakai K., Kobayashi T, Shibata T, Suzuki K, Taniguchi N, Kobayashi M. Hosokawa M : Inflammation-accelerated proneness of benign tumors to acquire malignant phenotypes is inversely related with intracellular antioxidative enzyme levels. The 25th International Symposium of the Sapporo Cancer Seminar. Yamagata ; August 2005
- 7) Fujii J, Iuchi Y, Okada F, Mikami T, Onuma K, Kobayashi M : ; Oxidative stress caused by SOD 1 - deficiency induces anemia by increasing vulnerability of erythrocytes. International Redox Network, Kyoto ; November 2005
- 8) Suto D, Iuchi Y, Sato K, Yoshimura T, Ohba Y, Fujii J : Cytotoxic effects of singlet oxygen : ; Induction of abortive apoptosis by suppressing apoptotic machinery. International Redox Network. Kyoto ; November 2005
- 9) Okada F, Iuchi Y, Fujii, J : Impact of inflammatory-cell-derived reactive oxygen species as an endogenous factor in acquisition of tumor progression. Third Joint Meeting of the Society for Free Radical Research Australasia and Japan. Gold Coast ; December 2005
- 10) Iuchi Y, Okada F, Mikami T, Onuma K, Kobayashi M, Fujii J : Enhanced oxidative damage of erythrocytes-induces anemia in SOD1-knock-out mice. Third Joint Meeting of the Society for Free Radical Research Australasia and Japan. Gold Coast ; December 2005

(2) 国内の学会

- 1) 程光, 池田義孝, 藤井順逸: ニトロソグルタチオン (GSNO) はタンパク質のS- グルタチオン化を促進する. 第5回日本NO学会, 札幌; 2005年4月
- 2) 岡田太, 藤井順逸: NOの炎症を基盤とした大腸発がんにおける役割. 第5回日本NO学会, 札幌; 2005年4月
- 3) 須藤大輔, 大津芳, 佐藤和昭, 大場好弘, 吉村哲彦, 藤井順逸: 酸化型Cyt cの惹起するカスパーゼ経路活性化の一重項酸素による阻害機構. 第27回日本フリーラジカル学会, 岡山; 2005年6月

- 4) 岡田太, 井内良仁, 藤井順逸: 炎症による発癌・プログレッションにおける活性酸素の意義. 第27回日本フリーラジカル学会学術集会, 岡山; 2005年6月
 - 5) 岡田太: 転移能賦与因子としての炎症細胞由来活性酸素の証明. 第14回日本がん転移学会, 大阪; 2005年6月
 - 6) 岡田太, 河口徳一, 北川知行, 赤池孝章, 村上明, 大東肇, 細川眞澄男: 炎症を背景とした実験的大腸発癌のauraptene投与による化学予防. 第12回日本がん予防研究会, 岐阜; 2005年7月
 - 7) 小林正伸, 岡田太: 癌細胞から癌組織へ: 臨床癌発症過程における癌組織環境の果たす役割. 第64回日本癌学会, 札幌; 2005年9月
 - 8) 岡田太, 河口徳一, 田澤大, 小林正伸, 北川知行, 細川眞澄男: 炎症による大腸腺腫プログレッションに伴う蛋白質fascinの変化とその機能解析. 第64回日本癌学会, 札幌; 2005年9月
 - 9) ダーマニン ステファニー, 趙温利, 陳健, 崔紅艶, 岡田太, 浜田淳一, 羽室淳爾, 付強, 浅香正博, 小林正伸: 低酸素環境は樹状細胞のMMP産生を低下させて浸潤能を抑制する. 第64回日本癌学会, 札幌; 2005年9月
 - 10) Suto D, Sato K, Ohba Y, Yoshimura T, Fujii J: Suppression of the pro-apoptotic function of cytochrome c by singlet oxygen via a heme redox state-independent mechanism. 第78回日本生化学会, 神戸; 2005年10月
 - 11) Suto D, Iuchi D, Sato K, Ohba Y, Fujii J: Analysis of caspase 3 inhibition by singlet oxygen. 第78回日本生化学会, 神戸; 2005年10月
 - 12) 斧秀勇, 大津芳: タンパク質リン酸化及び膜電位によるミトコンドリアタンパク質合成の調節. 第78回日本生化学会, 神戸; 2005年10月
 - 13) 藤井順逸, 須藤大輔, 井内良仁, 佐藤和昭, 吉村哲彦, 大場好弘: 一重項酸素によるアポトーシス抑制の分子機構. 第29回日本過酸化脂質・フリーラジカル学会, 神戸; 2005年10月
 - 14) 井内良仁, 岡田太, 三上剛, 小沼邦重, 小林正伸, 藤井順逸: SOD1ノックアウトマウスの赤血球老化による貧血発症機構の解析. 第28回日本分子生物学会, 福岡; 2005年12月
- (3) 国内地方会
- 1) 岡田太: 慢性炎症を背景とした実験的大腸発癌に伴うタンパク質変化の解析. 日本生化学会東北支部第71回例会, 仙台; 2005年4月
- (4) 研究会
- 1) 岡田太, 藤井順逸: 発癌・プログレッションにおける炎症細胞由来活性酸素の意義. 第20回発癌病理研究会, 旭川; 2005年8月
 - 2) 須藤大輔, 井内良仁, 佐藤和昭, 吉村哲彦, 大場好弘, 藤井順逸: 一重項酸素によるアポトーシス制御の分子機構. 第13回山形分子生物学セミナー, 山形; 2005年11月
 - 3) 山辺拓也, 岡田太, 井内良仁, 小沼邦重, 富田善彦, 藤井順逸: SOD1欠損により腎臓の虚血再灌流傷害は悪化する. 第16回動物実験セミナー, 山形; 2005年12月
- (5) その他
- 1) 藤井順逸: 活性酸素からの防御に働く遺伝子. 山形大学理学部公開講座「健康と長生きの先端科学」, 山形; 2005年6月
 - 2) 藤井順逸: 活性酸素と細胞死: カスパーゼ経路抑制による不完全なアポトーシスの誘導. 岩手医科大学オープン・リサーチ 特別講演, 盛岡; 2005年7月
 - 3) 大津芳: ECLプラスを使ったウエスタンブロッティング法. 大学院研究手法コース, 山形; 2005年10月
 - 4) 岡田太: 慢性炎症によるヒト大腸腺腫の悪性転化とfascin蛋白発現増加. がん研ゲノムセンター細胞生物部セミナー, 東京; 2005年11月

生命情報工学講座

1. 論文

(1) 原著

- 1) Feng Z, Matsumoto T, Nomura Y, Nakamura T; An electro-tensile bioreactor for 3-D culturing of cardiomyocytes. *IEEE Engineering in Medicine and Biology Magazine* 2005 (Jul-Aug); 24(4); 73-79
- 2) Kusunoki M, Tsutsumi K, Iwata K, Yin W, Nakamura T, Ogawa H, Nomura T, Mizutani K, Futenma A, Utsumi K, Miyata T; NO-1886 (ibrolipim), a lipoprotein lipase activator, increases the expression of uncoupling protein 3 in skeletal muscle and suppresses fat accumulation in high-fat diet-induced obesity in rats. *Metabolism* 2005; 54; 1587-1592
- 3) Nomura Y, Okamoto S, Sakamoto M, Feng Z, Nakamura T; Effect of cobalt on the liver glycogen content in the streptozotocin-induced diabetic rats. *Molecular and Cellular Biochemistry* 2005; 277; 127-130
- 4) Nomura Y, Aragane A, Feng Z, Nakamura T; Vanadate-induced expression of hypoxia inducible factor-1 α via oxygen-dependent and -independent pathways. *Biomed. Res. Trace Elements* 2005; 16(4); 318-320
- 5) 小野寿樹, 斉藤正男, 中村孝夫: 静磁界暴露下における細胞挙動の変化. *日本生体磁気学会論文誌* 2004 (March 2005); 17(2); 25-30
- 6) 高橋智之, 中村孝夫, 楠正隆, 磯部祐輔, 菓子勉: 交感神経鎖電気刺激による血行動態制御の可能性. *山形ニューロサイエンス研究会会誌* 2005; 5; 50-54
- 7) 中村孝夫: 末梢筋収縮の糖代謝に及ぼす効果. *豊田研究報告* 2005; 58; 49-53
- 8) 新澤剛, 高橋智之, 楠正隆, 中村孝夫: 末梢交感神経複合活動のアクションポテンシャル振幅分布を用いた評価. *第20回生体理工学シンポジウム論文集* 2005; 19-22
- 9) 佐藤実, 佐藤大介, 鈴木亮司, 楠正隆, 中村孝夫: 糖尿病モデルラット末梢筋収縮の血糖値低下へ及ぼす効果. *信学技報* 2005; MBE 2005-85; 1-4

(2) その他

- 1) 中村孝夫: フジサンケイビジネスアイ・コラム「i&s eye」; 2005年8月1日

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Feng Z, Nakamura T, Nomura Y; Mechanical properties of cell contracted collagen gels. 6th Asian-Pacific Conference on Medical and Biological Engineering (APCMBE2005), Tsukuba, April 2005
- 2) Nomura Y, Okamoto S, Sakamoto M, Feng Z, Nakamura T; Effect of cobalt on the liver glycogen content in the streptozotocin-induced diabetic rats. 35th International Congress of Physiological Sciences, San Diego, April 2005
- 3) Ishida K, Miyata T, Nakamura T, Ogawa T, Utsumi K, Futenma A, Mizutani K, Sakakibara F, Nakaya Y; The efficacy of Pioglitazone in combination with the LPL activator NO-1886 in suppressing the increase in body weight caused by Pioglitazone administration. American Diabetes Association 65th Annual Scientific Sessions, San Diego, June 2005

(2) 国内の学会

- 1) 小野寿樹, 石井良一, 村岡正文, 中村孝夫: 静磁界暴露による細胞グルコース取り込みの変化. 第44回日本生体医工学会(日本ME学会)大会, つくば; 2005年4月
- 2) 新澤剛, 高橋智之, 楠正隆, 中村孝夫: 静脈内グルコース負荷試験(IVGTT)の末梢交感神経活動に及ぼす効果. 第44回日本生体医工学会(日本ME学会)大会, つくば; 2005年4月
- 3) 楠正隆, 榎原文彦, 中村孝夫, 宮田哲朗, 中屋豊: リポプロテインリパーゼ活性薬NO-1886によるアンカップリングプロテイン3産生促進と抗肥満作用. 第48回日本糖尿病学会年次学術集会, 神戸; 2005年5月
- 4) 藤原宏之, 淵上弥史, 野村保友, 馮忠剛, 中村孝夫: 過酸化水素の細胞毒性に対するコバルトの効果. 第82回日本生理学会大会, 仙台; 2005年5月

- 5) 荒金篤央, 坂部純一, 淵上弥史, 野村保友, 馮忠剛, 中村孝夫: バナジウムによる低酸素誘導因子の活性化. 第82回日本生理学会大会, 仙台; 2005年5月
- 6) 小野寿樹, 石井良一, 中村孝夫: 静磁界曝露による神経芽細胞種のグルコース取り込み変化. 第6回山形ニューロサイエンス研究会, 山形; 2005年6月
- 7) 中村孝夫, 楠正隆, 高橋智之, 新澤剛: ラット座骨神経内筋交感神経活動アクションポテンシャルの振幅分布. 第18回ニューログラム研究会, 東京; 2005年6月
- 8) 野村保友, 荒金篤央, 馮忠剛, 中村孝夫: バナジウムによる低酸素誘導因子の活性化: コバルトとの比較. 第16回微量元素学会, 京都; 2005年7月
- 9) 石井良一, 小野寿樹, 中村孝夫: 培養細胞グルコーストランスポータ遺伝子発現に及ぼす静磁界曝露の効果. 第20回生体磁気学会, 大阪; 2005年7月
- 10) 新澤剛, 高橋智之, 楠正隆, 中村孝夫: 末梢交感神経複合活動のアクションポテンシャル振幅分布を用いた評価(オーガナイズドセッション). 第20回生体生理工学シンポジウム, 東京; 2005年9月
- 11) 高橋智之, 楠正隆, 中村孝夫: 末梢交感神経活動のアクションポテンシャル振幅分布を用いた評価. 第58回日本自律神経学会, 千葉; 2005年10月
- 12) 佐藤実, 佐藤大介, 鈴木亮司, 楠正隆, 中村孝夫: 糖尿病モデルラット末梢筋収縮の血糖値低下へ及ぼす効果. 電子情報通信学会 MEとバイオサイバネティクス研究会, 仙台; 2005年11月
- 13) 野村保友, 藤原宏之, 佐藤道比古, 高橋英嗣, 馮忠剛, 中村孝夫: コバルトによる過酸化水素の細胞毒性の抑制. 日本生物物理学会第43回年会, 札幌; 2005年11月
- 14) Feng Z, Tateishi Y, Nomura Y, Kitajima T, Nakamura T: Construction of fibroblast-collagen gels with orientated fibrils induced by static or dynamic stress -Towards the fabrication of small tendon grafts. 第43回日本人工臓器学会大会, 東京; 2005年12月

(3) その他

- 1) 中村孝夫: 人工心臓と工学技術. 第10回技術職員研修会, 山形; 2005年8月

放 射 線 部

1. 論 文

(1) 総 説

- 1) 江口陽一：被ばく線量推定ソフトSkin Doseについて．日本放射線技術学会計測分科会誌 2005；13(2)：10-13
- 2) 鈴木隆二，榊原俊文：撮影技術と品質管理の誌上講座 第7回 撮影機器の品質管理．インナービジョン 2005；20(9)：72-75
- 3) 堀田勝平，鈴木隆二：撮影技術と品質管理の誌上講座 第8回 画像管理．インナービジョン 2005；20(10)：87-89
- 4) 鈴木隆二，榊原俊文：撮影技術と品質管理の誌上講座 第9回 線量管理．インナービジョン 2005；20(11)：87-89
- 5) 山田金市：心機能解析の基礎．東北循環器撮影研究会誌 2005；16：59-62
- 6) 才田壽一，吉岡孝之，清水幸三，荒井剛，高橋健，佐藤俊光，吉岡大輔：IVRにおける術者負担の少ない防護用具の開発(第一報) 現有の防護用具の見直しと新しい防護用具の開発．全国循環器撮影研究会誌 2005；17：19-24

(2) 著 書

- 1) 細矢貴亮，小松田泰，児玉潤一郎，江口陽一，駒谷昭夫，白玉美，近野みゆき，石山綾，安達真人：診療放射線技師に知ってほしい画像診断 中枢神経．医療科学社，2005

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Hiroko Ohuchi, Norimichi Jutou, Toshimitsu Satoh, Yoichi Eguchi, Takashi Sasaki, Mmoru Baba : Estimating Effective Energies and $H^*(10)$ of Scatters In Diagnostic X-ray Rooms Using Imaging Plates . Third International Symposium on Radiation Safety and Detection Technology ,China; July 2005

(2) 国 内 の 学 会

- 1) 江口陽一：臨床技術講座4 腹部血管造影で知っておきたい基礎知識．日本放射線技術学会第61回総会学術大会講演，横浜；2005年4月
- 2) 江口陽一：被ばく線量推定ソフトSkin Doseについて．日本放射線技術学会第33回秋季学術大会第26回計測分科会討論会シンポジウム，鹿児島；2005年10月
- 3) 佐藤俊光，江口陽一，石井英夫，高橋和榮，大内浩子，森啓司：イメージングプレートによるIVR時の患者被曝線量測定 - 第2報 臨床応用に向けて - ．日本放射線技術学会第61回総会学術大会，横浜；2005年4月
- 4) 山崎裕子，堀田浩，春木秀敏，黒藤邦夫，石岡亮，鈴木隆二：北海道のマンモグラフィに関する精度管理の実態 第2報 画質と線量の実態．第15回日本乳癌検診学会総会，京都；2005年11月

(3) 国 内 地 方 会

- 1) 鈴木幸司：信頼回復に向けて - 山形大学の取り組み - ．日本放射線技術学会第43回東北部会学術大会シンポジウム「安心される放射線治療をめざして」，仙台；2005年9月
- 2) 佐藤俊光，江口陽一，石井英夫，高橋和榮，大内浩子，森啓司：イメージングプレートによるIVR時の患者被曝線量測定 - 第1報 測定レンジの拡大 - ．日本放射線技師会第41回山形県放射線技師学術大会，米沢；2005年5月
- 3) 佐藤俊光，江口陽一，石井英夫，高橋和榮，大内浩子，森啓司：イメージングプレートによるIVR時の患者被曝線量測定 - 第2報 臨床応用に向けて - ．日本放射線技師会第41回山形県放射線技師学術大会，米沢；2005年5月
- 4) 藤村雅彦，山田金市，大沼千津，丹義雄，鈴木隆二：立位股関節正面における生殖腺防護具の考案．日本放射線技師会第41回山形県放射線技師学術大会，米沢；2005年6月
- 5) 藤村雅彦，山田金市，大沼千津，丹義雄，鈴木隆二：立位股関節撮影における生殖腺防護具の作製．日本放

射線技術学会第43回東北部会学術大会，仙台；2005年9月

- 6) 大沼千津，藤村雅彦，伊藤由紀子，山田金市，丹義雄，鈴木隆二：大腿骨上顆軸撮影法における撮影台の検討．日本放射線技師会第41回山形県放射線技師学術大会，米沢；2005年5月
- 7) 大沼千津，藤村雅彦，伊藤由紀子，山田金市，丹義雄，鈴木隆二：大腿骨上顆軸撮影法における撮影台の検討．日本放射線技術学会第43回東北部会学術大会，仙台；2005年9月
- 8) 柏葉綾子，平田良昭，鈴木隆二：当院における乳腺微細石灰化に対するマンモトーム生検の現状．日本放射線技術学会第61回北海道部会秋季大会，札幌；2005年11月

(4) 研究会

- 1) 江口陽一：臨床における血管造影画像の画質評価 血管の画質に影響する因子．第6回千葉アンギオ技術研究会講演，千葉；2005年5月
- 2) 伊藤由紀子，渡辺道子，児玉潤一郎：当院における乳房撮影法．第4回東北MR技術研究会，山形；2005年7月
- 3) 大沼千津：CCマンモグラフィポジショニング．第19回乳房撮影研究会，山形；2005年5月
- 4) 才田壽一，吉岡孝之，清水幸三，荒井剛，高橋健，佐藤俊光，吉岡大輔：IVRにおける術者負担の少ない防護用具の開発（第二報）- 現有の防護用具の見直しと新しい防護用具の開発 - ．第19回全国循環器撮影研究会総会，横浜；2005年4月

(5) その他

- 1) 鈴木隆二：マンモグラフィの基礎．秋田県医師会マンモグラフィ読影講習会，秋田；2005年5月
- 2) 鈴木隆二：マンモグラフィの基礎．青森県マンモグラフィ読影講習会，弘前；2005年7月
- 3) 鈴木隆二：マンモグラフィの基礎．山形県医師会マンモグラフィ講習会，山形；2005年8月
- 4) 鈴木隆二：新画像評価基準．NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 教育・研修委員会主催 第15回マンモグラフィ試験，名古屋；2005年10月
- 5) 鈴木隆二：マンモグラフィの基礎．川崎市医師会マンモグラフィ読影講習会，川崎；2005年12月
- 6) 佐藤俊光：救急における臨床応用 - 技術編 - ．シーメンスユーザーズセミナー，仙台；2005年12月
- 7) 佐藤俊光：肝ダイナミック造影CTにおける高濃度低容量製剤と中濃度高容量製剤との比較．オムニパーク学術講演会，仙台；2005年6月
- 8) 大沼千津：フィルムおよびCRのX線照射野，光照射野，圧迫板の整合性．シーメンスユーザーズセミナー，仙台；2005年12月

3. その他

- 1) 山形県放射線技師会，第50回血管撮影研究会，山形；2005年4月
- 2) 山形県放射線技師会，第19回乳房撮影研究会，山形；2005年5月
- 3) 日本放射線技師会，第41回山形県放射線技師学術大会，山形；2005年5月
- 4) 山形県放射線技師会，第5回放射線治療研究会，山形；2005年5月
- 5) 山形県放射線技師会，山形県マンモグラフィ撮影技術・読影技術講習会，山形；2005年8月
- 6) 山形県放射線技師会，核医学研究会，山形；2005年10月
- 7) 山形県放射線技師会，第20回乳房撮影研究会，山形；2005年10月
- 8) 山形県放射線技師会，放射線施設研究会，山形；2005年11月
- 9) 山形県放射線技師会，第6回コンピュータ研究会，山形；2005年12月
- 10) 山形県放射線技師会，第25回MR研究会，山形；2005年12月

輸 血 部

1. 学 会 報 告

(1) 国内の学会

- 1) 波多野寛治ほか：県内医療機関に対する出張サポート体制の構築，第53回日本輸血学会総会，千葉；2005年5月

(2) 国内地方会

- 1) 高橋俊二，波多野寛治，上川明子，田嶋克史，富永真琴：当院における不規則抗体検査の見直し．第86回日本輸血学会東北支部例会，秋田；2005年3月
- 2) 石川志保，高橋俊二，波多野寛治，上川明子，田嶋克史，富永真琴：看護師を対象とした輸血に関する院内教育の試み．第86回日本輸血学会東北支部例会，秋田；2005年3月
- 3) 田嶋克史，高橋俊二，波多野寛治，上川明子，庄司佐絵，石川志保，富永真琴：末梢血幹細胞採取時の自動採取設定時のピットホール．第87回日本輸血学会東北支部例会，盛岡；2005年9月

(3) そ の 他

- 1) 高橋俊二：認定輸血検査技師のアンケート調査から．平成16年度東北臨床衛生検査技師会輸血・移植検査部門研修会，仙台；2005年2月
- 2) 波多野寛治：平成17年度輸血・移植分野精度管理報告．山形県臨床衛生検査技師会精度管理報告会，山形；2005年12月

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Kawaji H, Koistinen M, Takagi M, Lappalainen R, Santavirta S : Effect of surface condition of metallic pins simulating cemented femoral stem on subsidence in cyclic fatigue testing. *Journal of Finnish Orthopaedics and Traumatology* 2005 ; 28 : 161-166
- 2) Osanai T, Kashiwa H, Ishikawa A, Takahara M, Ogino T : Improved shoulder contour following forequarter amputation with an osteomyocutaneous free flap from the amputated extremity : two cases. *Br J Plast Surg* 2005 ; 58 : 165-169
- 3) Otsuji M, Takahara M, Naruse T, Guan D, Harada M, Zhe P, Takagi M, Ogino T : Developmental abnormalities in rat embryos leading to tibial ray deficiencies induced by busulfan. *Birth Defects Res A Clin Mol Teratol* 2005 ; 73 : 461-467
- 4) Tsuchiya T, Osanai T, Ogose A, Tamura G, Chano T, Kaneko Y, Ishikawa A, Orui H, Wada T, Ikeda T, Namba M, Takigawa M, Kawashima H, Hotta T, Tsuchiya A, Ogino T, Motoyama T. Methylation status of EXT 1 and EXT 2 promoters and two mutations of EXT 2 in chondrosarcoma. *Cancer Genet Cytogenet* 2005 ; 15 : 148-155
- 5) Watanabe T, Owashi K, Kanauchi Y, Mura N, Takahara M, Ogino T : The short-term reliability of grip strength measurement and the effects of posture and grip span. *J Hand Surg Am* 2005 ; 30 : 603-609
- 6) 後藤康夫, 鶴田大作, 村成幸, 佐々木淳也, 荻野利彦, 松田雅彦, 桃井義敬 : 腱板断裂術後の握力の変化と手術成績との関係. *肩関節* 2005 ; 29 : 559-562
- 7) 橋本淳一, 武井寛, 寒河江正明, 伊藤友一, 荻野利彦 : RA患者における頸椎手術. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 617-622
- 8) 本間龍介, 小山内俊久, 土屋登嗣, 荻野利彦, 石川朗 : 手に発生した未熟神経外胚葉性腫瘍の1例. *臨整外* 2005 ; 40 : 201-204
- 9) 石井政次, 浦山安広, 浜崎允, 高木理彰, 小林真司, 井田英雄 : 50才以下の進行期・末期変形性股関節症に対する当院での外反骨切術の成績. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 647-652
- 10) 石井政次, 浦山安広, 佐々木幹, 浜崎允, 高木理彰, 小林真司, 佐藤哲也, 大楽勝之, 井田英雄 : Impaction bone grafting (IBG) におけるステム周囲骨折. *日本人工関節学会誌* 2005 ; 35 : 279-280
- 11) 石川朗, 小山内俊久, 大類広, 土屋登嗣, 菅原正登, 荻野利彦 : 軟部肉腫に対する電撃化学療法の可能性. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 609-612
- 12) 菊地憲明, 小山内俊久, 土屋登嗣, 荻野利彦, 大類広 : 人工血管 (アンスロン R) による大腿動静脈の術中一時バイパスを併用した大腿部MFH切除後の血行再建の経験. *日本マイクロサージャリー学会会誌* 2005 ; 18 : 15-20
- 13) 小林真司, 高木理彰, 佐々木幹, 佐藤哲也, 大楽勝之, 石井政次, 浦山安広, 浜崎允, 大利昌宏, 井田英雄 : 自家大腿骨頸部による臼蓋形成術を併用した人工股関節全置換術の成績. *Hip Joint* 2005 ; 31 : 596-600
- 14) 村成幸, 高原政利, 佐々木淳也, 原田幹生, 荻野利彦, 後藤康夫 : 高校野球選手における投球時肩痛と肩関節の可動域, ゆるみおよび筋力との関係. *肩関節* 2005 ; 29 : 655-658
- 15) 桃井義敬, 村成幸, 後藤康夫, 松田雅彦, 佐々木淳也, 鶴田大作, 荻野利彦 : 上腕骨近位端骨折の保存的治療中の転位と初診時X線所見. *東日本整災会誌* 2005 ; 17 : 637-641
- 16) 桃井義敬, 村成幸, 後藤康夫, 荻野利彦 : 高校野球選手に発生した肩甲関節窩離断性骨軟骨炎の1例. *臨整外* 2005 ; 40 : 1277-1281
- 17) 小山内俊久, 関根康雅, 石川朗, 土屋登嗣, 荻野利彦, 三井哲夫, 川上貴子 : メトトレキサートの初回投与でアナフィラキシー様反応を呈した骨肉腫の1例. *臨整外* 2005 ; 40 : 73-76
- 18) 小山内俊久, 石川朗, 土屋登嗣, 荻野利彦 : 難治性軟部肉腫に対する電撃化学療法. *整形外科* 2005 ; 56 : 1474-1475

- 19) 小山内俊久, 土屋登嗣, 石川朗, 菅原正登, 荻野利彦: 骨腫瘍における骨代謝マーカーの臨床的評価. 臨整外 2005; 40: 1199-1203
- 20) 高木理彰, 小林真司, 川路博之, 大楽勝之, 佐々木幹, 石井政次, 浦山安広, 井田英雄: KTプレート併用亜脱臼・脱臼性臼蓋再建における移植骨とプレート安定性に関する検討. 日本人工関節学会誌 2005; 35: 359-360
- 21) 高木理彰, 清重佳郎: 関節リウマチ手関節形成的滑膜切除術における伸筋腱リアライメントと手関節尺側安定化の有用性. 日本手の外科学会誌 2005; 22: 228-232
- 22) 高原政利, 荻野利彦, 村成幸, 菊地憲明, 佐々木淳也, 原田幹生: 成長期の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎. 骨・関節・靭帯 2005; 18: 985-990
- 23) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦, 後藤薫: ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食能の検討. 東日本整災会誌 2005; 17: 211-218
- 24) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦, 石井政次: ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食後の細胞動態. 日本人工関節学会誌 2005; 35: 87-88
- 25) 鶴田大作, 村成幸, 佐々木淳也, 荻野利彦, 後藤康夫, 桃井義敬, 松田雅彦: 腱板修復時における腱板断端の張力と術後成績の関係. 肩関節 2005; 29: 599-602
- 20) 佐々木淳也, 高原政利, 村成幸, 原田幹生, 伊藤友一, 荻野利彦: 中学野球選手の肘関節内側動揺性の超音波検査. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 2004; 24: 220-226
- 21) 鈴木克彦, 仲野春樹, 佐藤寿晃, 藤井浩美, 小川恵一, 渡辺皓, 内藤輝: 筋電図平均加算法を用いた手の筋支配の正中神経から橈側手根伸筋への促進の解析. 山形医学 2004; 23: 59-68
- 22) 高木理彰, 清重佳郎: 晩期RA肘に対する近位棚形成術の中期成績. 日本肘関節学会誌 2004; 11: 31-32
- 23) 鶴田大作, 高原政利, 村成幸, 土田浩之, 小山内俊久, 荻野利彦: 著明な滑膜炎を合併したvalgus extension overload syndromeの1例. 臨整外 2004; 39: 1017-1021
- 24) 浦山安広, 清重佳郎, 高木理彰, 小林真司: 股関節後方脱臼骨折における支えプレートによる固定法. 整形外科 2004; 55: 515-517
- 25) 山川淳一, 小林真司, 高木理彰, 浦山安広, 平山朋幸, 井田英雄: プレノルフィンとヒドロキシジンの持続静注による術後鎮痛法. - THAを対象として -. 東日本整災誌 2004; 16: 603-605

(2) 総 説

- 1) Konttinen YT, Zhao D, Beklen A, Ma G, Takagi M, Kiviela-Rajamaki M, Ashammakhi N, Santavirta S: The microenvironment around total hip replacement prostheses. Clin Orthop Relat Res 2005; 430: 28-38
- 2) 伊藤和生, 高原政利, 荻野利彦: 上肢の画像診断 - 読影のポイントとピットフォール - 手関節外傷 (手根骨). 関節外科 2005; 24: 304-310
- 3) 荻野利彦: 形態異常をきたす疾患. THE BONE 2005; 19: 59-64
- 4) 荻野利彦: 手の先天異常の治療. 日整会誌 2005; 79: 314-320
- 5) 荻野利彦: 特集 / 四肢先天異常診療マニュアル, 尺側列形成障害. PEPARS 2005; 5: 25-31
- 6) 高木理彰, 小林真司, 川路博之, 高窪祐弥, 玉木康信, 塚元重治, 佐々木幹, 石井政次: 人工股関節周囲の微小環境. 骨・インプラント境界面の生体反応. バイオマテリアル 2005; 23: 422-430
- 7) 高木理彰, 清重佳郎: RA手関節治療における筋腱リアライメントと手関節尺側安定化の意義. Monthly Book Orthopaedics 2005; 18: 49-60

(3) 著 書

- 1) 荻野利彦: 先天異常 (手指形成異常) 「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編) 文光堂, 東京 2005; 579-584
- 2) 荻野利彦: 分化障害 「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編) 文光堂, 東京, 2005; 584-585
- 3) 荻野利彦: 手関節・手部の炎症性疾患 「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編) 文光堂, 東京 2005; 585-587
- 4) 荻野利彦: 手部の骨壊死 「整形外科学・外傷学」(岩本幸英編) 文光堂, 東京, 2005; 587-588

2. 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Kikuchi N, Kashiwa H, Ogino T: Radial polydactyly: Report of three cases; two vanishing types and one pedunculated type. The 4th Combined Meeting of the American Society for Surgery of the Hand and

Japanese Society for Surgery of the Hand, Hawaii ; March 2005

- 2) Kobayashi S, Ida H, Ishii M, Takagi M, Sato T, Kawaji H, Dairaku K, Sasaki K, Urayama Y, Ootoshi M, Hamasaki M : Long-term follow-up of collared and grooved titanium stem in cemented total hip arthroplasty, The 18th Annual Symposium of The International Society for Technology in Arthroplasty, Kyoto, Japan ; October 2005
- 3) Ogino T : History of congenital hand anomalies and unclassifiable cases. Annual Meeting of International Congenital Anomaly Study Group Pretoria, South Africa ; March 2005
- 4) Ogino T, Takahara M, Kikuchi N, Naruse T : Concept of abnormal induction of digital rays. Annual Meeting of International Congenital Anomaly Study Group, Pretoria, South Africa ; March 2005
- 5) Ogino T, Takahara M, Kikuchi N, Ishigaki D, Naruse T : Treatment of delta phalanx Annual Meeting of International Congenital Anomaly Study Group, Pretoria, South Africa ; March 2005
- 6) Piao Z, Takahara M, Harada M, Orui H, Otsuji M, Takagi M, Ogino T : The response of costal cartilage to mechanical injury in mice. The 51st Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, Washington DC, USA ; February 2005
- 7) Takagi M : Recovery of bone stock and implant stability after total hip arthroplasty with Kerboul type cross-plate system against extensive acetabular bone defect. The 18th Annual Symposium of the International Society for Technology in Arthroplasty, Kyoto, Japan ; October 2005,
- 8) Takagi M : Biocompatibility of total hip joint. Macrophagic reaction to implant debris. European Co-operation in the Field of Science and Technical Research (COST) Action 533 ; Biotribology, Helsinki, Finland ; October 2005
- 9) Takei H, Osanai T, Kikuchi N, Hashimoto J, Utsumi H, Ogino T : Wide marginal resection including spinal cord for primary malignant spinal cord tumor. The 9th international ARGOS symposium, Paris, France, February 2005
- 10) Tamaki Y, Hasegawa H, Sasaki K, Sasaki A, Kawaji H, Ogino T, Santavirta S, Konttinen YT, Goto K, Takagi M : Suppression of diacylglycerol kinase (DGK) zeta in bone marrow macrophages after phagocytosis of titanium particles. The 51st Orthopedic Research Society, Washington DC, USA; February 2005
- 11) Tamaki Y, Takagi M, Sasaki K, Sasaki A, Hasegawa H, Kawaji H, Kobayashi S, Ogino T, Ishii M, Santavirta S, Konttinen YT, Goto K : Detection of diacylglycerol kinase (DGKs) in primary cultured macrophages derived from rat bone marrow. The 18th Annual Symposium of the International Society for Technology in Arthroplasty, Kyoto, Japan ; September 2005
- 12) Watanabe T, Takagi M, Ishii M, Kobayashi S, Sato T, Kawaji H, Ida H : Long-term follow-up of cemented titanium long stem in revision hip arthroplasty. The 18th Annual Symposium of the International Society of Technology in Arthroplasty, Kyoto ; September 2005

(2) 国内の学会

- 1) 古川孝志, 伊藤和生, 奴賀賢, 荻野利彦, Magnus Hook, 篠村多摩之 : Epiphyseal/Biglycanのノックアウトマウスでは椎間板の変性が加速する . 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重 ; 2005年10月
- 2) 橋本淳一, 武井寛, 寒河江正明, 古川孝志, 笹木勇人, 荻野利彦 : 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折後の椎体偽関節に対する後方進入脊椎短縮術 . 第54回東日本整形災害外科学会, 東京 ; 2005年 9 月
- 3) 本間龍介, 菊地憲明, 大辻美和子, 柏英雄 : 頭蓋骨に発生した骨内脂肪腫の 1 例 . 第48回日本形成外科学会, 東京 ; 2005年 4 月
- 4) 石川朗, 小山内俊久, 大類広, 土屋登嗣, 生越章, 堀田哲夫, 荻野利彦 : 多発する悪性線維性組織球腫の再発病変に対する電撃化学療法の効果の検討 . 第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京 ; 2005年 7 月
- 5) 菊地憲明, 荻野利彦, 高原政利, 伊藤和生, 鳴瀬卓爾 : 指欠損を伴わないUlnar Cleftの病態の検討 . 第48回日本手の外科学会, 下関市 ; 2005年 4 月
- 6) 菊地憲明, 柏 英雄, 大辻美和子, 鳴瀬卓爾, 石垣大介, 金内ゆみ子, 荻野利彦 : Nuss法変法で胸郭形成を行った窒息性胸郭異形成症 (Jeune症候群) の姉弟例 . 第45回日本先天異常学会, 東京 ; 2005年 7 月

- 7) 小林真司, 高木理彰, 仲野春樹, 武井寛, 橋本淳一, 小山内俊久, 大類広, 荻野利彦: 原発性脊髄悪性腫瘍に対し脊髄切断を含めた広範囲切除が施行された一例. 第42回日本リハビリテーション学会, 金沢; 2005年6月
- 8) 小林真司, 室岡久爾夫, 小林なぎさ: 交通事故後に遷延した腰背部痛に対し選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)が有効であった一例. 第39回日本ペインクリニック学会, 宇都宮; 2005年7月
- 9) 小林真司, 岩崎聖, 高木理彰, 浦山安広, 佐々木幹: 早期に荷重を行った同種骨impaction bone grafting法による人工股関節再置換術の短期成績. 第54回東日本整形災害外科学会, 東京; 2005年9月
- 10) 小林真司, 岩崎聖, 高木理彰, 浦山安広, 佐々木幹: 非外傷性股関節脱臼の一例. 第32回日本股関節学会, 新潟; 2005年11月
- 11) 村成幸, 松田雅彦, 後藤康夫, 桃井義敬, 荻野利彦: 外傷性肩関節前方不安定症術後の肩筋力の推移 - Caspari変法とBankart & Bristow変法. 第32回日本肩関節学会, 浦安; 2005年9月
- 12) 仲野春樹, 内藤輝, 小林真司, 高木理彰, 荻野利彦: PSTH法を用いた円回内筋から橈側手根伸筋への反射回路の解析. 第42回日本リハビリテーション学会, 金沢; 2005年6月
- 13) 小山内俊久, 石川朗, 土屋登嗣, 菅原正登, 荻野利彦: 小児骨肉腫に対する延長型人工膝関節の短~長期成績. 「シンポジウム: QOLからみた発育期患者の悪性骨腫瘍に対する患肢温存手術」第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2005年7月
- 14) 小山内俊久, 土屋登嗣, 石川朗, 大類広, 菅原正登, 荻野利彦: 膝蓋骨全切除後に腓腹筋・アキレス腱弁で膝伸展機構を再建した軟部肉腫の1例. 第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2005年7月
- 15) 小山内俊久, 土屋登嗣, 大類広, 石川朗, 菅原正登, 荻野利彦: 三角筋全切除を行った低悪性度線維粘液性肉腫の術後肩関節機能. 第38回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2005年7月
- 16) 佐々木明子, 高木理彰, 高窪祐弥, 玉木康信, 大類広, 荻野利彦: 低用量プレドニゾン投与のRA患者におけるアレンドロネートの効果. 第49回日本リウマチ学会学術集会, 横浜; 2005年4月
- 17) 佐々木明子, 高窪祐弥, 菊地憲明, 佐々木幹, 高木理彰: 関節リウマチ経過中に原疾患の異なる足趾壊疽を来した2例. 第22回日本臨床リウマチ学会総会, 神戸; 2005年11月
- 18) 高木理彰: KTプレート併用亜脱臼・脱臼性臼蓋再建における移植骨とプレート安定性に関する検討. 第35回日本人工関節学会, 沖縄; 2005年2月
- 19) 高木理彰: 十字プレート併用初回人工関節股臼再建における移植骨とプレート安定性に関する検討. 第49回日本リウマチ学会学術集会, 横浜; 2005年4月
- 20) 高木理彰: 関節リウマチ手関節形成術における伸筋腱リアライメントと尺側安定化の有用性. 第48回日本手の外科学会学術集会, 下関; 2005年4月
- 21) 高木理彰: 弛緩人工股関節周囲組織ジアシルグリセロールキナーゼの局在と細胞機能に関する検討. 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2005年10月
- 22) 高木理彰: 人工股関節素材摩耗粉に対する生体反応. 第54回東日本整形災害外科学会, 東京; 2005年10月
- 23) 高木理彰: 骨インプラント境界面における破骨細胞非依存性骨吸収の可能性. 第32回日本股関節学会学術集会, 新潟; 2005年11月
- 24) 高原政利, 荻野利彦, 村成幸, 佐々木淳也, 原田幹生: 野球肘の自然経過, 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎. 第17回日本肘関節学会, 東京; 2005年1月
- 25) 高窪祐弥, 高木理彰, 福島重宣, 荻野利彦: 関節リウマチ(RA)の滑膜組織におけるCXCR5の局在とリンパ濾胞形成との関連. 第49回日本リウマチ学会, 横浜; 2005年4月
- 26) 高野満夫, 土田浩之, 橋本淳一, 荻野利彦: 同種異型移植モデルを用いたrhBMP2併用骨髄間葉系前駆細胞移植による骨再生に関する研究. 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2005年10月
- 27) 高野満夫, 橋本淳一, 土田浩之, 荻野利彦: rhBMP2併用同種骨髄間葉系幹細胞移植による骨再生に対するFK506投与効果に関する研究. 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2005年10月
- 28) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦: ラット骨髄由来初代培養マクロファージのチタン顆粒貪食後の細胞動態. 第35回日本人工関節学会, 沖縄; 2005年2月
- 29) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦: チタン顆粒貪食骨髄マクロファージのサイトカイン, 蛋白分解酵素産生能に関する検討. 第49回日本リウマチ学会学術集会, 横浜; 2005年4月
- 30) 玉木康信, 高木理彰, 佐々木幹, 佐々木明子, 長谷川浩士, 荻野利彦: ラット骨髄マクロファージのチタン顆粒貪食によるMMP-TIMP産生能の検討. 第20回日本整形外科学会基礎学術集会, 三重; 2005年10月

- 31) 玉木康信, 高木理彰, 石井政次, 小林真司, 川路博之, 佐藤哲也, 佐々木幹, 大楽勝之, 浦山安広, 井田英雄: 骨・インプラント境界面における破骨細胞非依存性骨吸収の可能性. 第32回日本股関節学会, 新潟; 2005年11月
- 32) 玉木康信, 高木理彰, 小林真司, 浦山安広, 長谷川浩士, 石井政次, 佐々木幹: 弛緩人工股関節周囲組織と培養マクロファージにおけるジアシルグリセロールキナーゼ・ゼータ発現に関する検討. 第36回日本人工関節学会, 京都; 2006年2月
- 33) 土屋登嗣, 小山内俊久, 石川朗, 大類広, 荻野利彦: 線維性骨異形成と同様の点突然変異をもつ低悪性骨内骨肉腫の1例. 第38回日本整形外科骨・軟部腫瘍学術集会, 横浜; 2005年7月
- 34) 土屋登嗣, 小山内俊久, 長谷川匡, 平賀博明, 石川朗, 大類広, 荻野利彦: 低悪性度線維粘液性肉腫において融合遺伝子FUS/CREB 3L2について. 第38回日本整形外科骨・軟部腫瘍学術集会, 横浜; 2005年7月
- 35) 浦山安広, 高木理彰, 小林真司: セラミック対セラミック使用人工股関節全置換術の中期成績. 第54回東日本整形災害外科学会, 東京; 2005年9月

(3) 国内地方会

- 1) 伊藤和生, 菊地憲明, 鳴瀬卓爾, 佐竹寛史, 高原政利, 荻野利彦: 糖尿病性足部病変に対する治療 - 人工真皮移植と繊維芽細胞増殖因子 (bFGF) の併用療法 -. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 2) 小林真司, 高木理彰, 仲野春樹, 村川美幸, 橋本淳一, 荻野利彦: 銃弾による多発外傷をうけた脊髄損傷の一例. 第18回日本リハビリテーション医学会東北地方会, 秋田; 2005年11月
- 3) 成田亜矢, 伊藤和生, 井上林, 土屋登嗣, 小山内俊久, 高原政利, 荻野利彦: 尺骨遠位部に発生した類骨骨腫の1例. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 4) 小山内俊久, 土屋登嗣, 長谷川匡, 高窪祐弥, 山川光徳, 荻野利彦: 軟部肉腫との鑑別を要した良性リウマトイド結節の1例. 第15回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 仙台; 2005年9月
- 5) 佐々木明子, 高窪祐弥, 菊地憲明, 佐々木幹, 高木理彰: 関節リウマチ経過中に原疾患の異なる足趾壊疽を来した2例. 第15回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 仙台; 2005年9月
- 6) 富樫栄太, 福島重宣, 浅野多聞, 成田淳, 荻野利彦: MISUKAの成績と筋力回復. 第103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年4月
- 7) 土屋登嗣, 小山内俊久, 石川朗, 荻野利彦: FDG-PETで高度集積を示した褐色脂肪腫の2例. 103回東北整形災害外科学会, 山形; 2005年5月
- 8) 土屋登嗣, 小山内俊久, 佐々木明子, 荻野利彦: 関節リウマチ患者の手掌部に生じた滑膜肉腫の1例. 第15回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 仙台; 2005年10月

(4) 研究会

- 1) 高原政利, 荻野利彦, 菊地憲明, 伊藤和生, 加藤義洋: 特異な病態が背景にあった神経因性疼痛の2例. 第3回神経因性疼痛研究会, 東京; 2005年9月
- 2) 武居功, 村成幸, 荻野利彦, 後藤康夫: 成人に発症した三角筋拘縮症を疑った1例. 第16回東北肩関節研究会, 仙台; 2005年6月

(5) その他

- 1) Takagi M: Biocompatibility Research of Total Hip Arthroplasty - Past, Present, and Future. Research Seminar, University of Kuopio, Sigrid Juselius Foundation, Kuopio, Finland; October 2005 (招待講演)
- 2) Takagi M: Biocompatibility of total hip joint. ORTON Research Seminar, Helsinki, Finland; October 2005 (招待講演)
- 3) 荻野利彦: 手の先天異常の基本的診療. 第43回山陰整形外科集団会, 松江; 2005年7月 (招待講演)
- 4) 荻野利彦: 上肢先天異常の分類と治療. 中国・四国地区整形外科教育研修会, 高知; 2005年7月 (招待講演)
- 5) 荻野利彦: 上肢の末梢神経絞扼性障害について. ヤング整形外科セミナー, 群馬; 2005年8月 (招待講演)
- 6) 荻野利彦: 絞扼性末梢神経障害. 兵庫医科大学学術講演会, 兵庫; 2005年9月 (招待講演)
- 7) 荻野利彦: 関節リウマチ肘・手障害に対する手術療法. リウマチ診療研究会, 仙台; 2005年10月 (招待講演)
- 8) 荻野利彦: 手の先天異常について. SAPPORO ORTHOPAEDIC SEMINAR, 札幌; 2005年11月 (招待講演)
- 9) 荻野利彦: 上肢先天異常の治療. 第77回日本整形外科学会学術総会, 神戸; 2004年5月 (教育研修講演)
- 10) 荻野利彦: 上肢のスポーツ障害 - 肘と手を中心に. 北海道臨床整形外科医会, 北海道; 2005年12月 (招待講演)

- 11) 荻野利彦：上肢のスポーツ傷害．第4回中信整形外科医会学術講演会，松本；2005年6月（招待講演）
- 12) 高木理彰：人工股関節の生体親和性の研究 - 過去，現在，未来 - ．第141回宮城股関節研究会，仙台；2005年12月（教育研修講演）
- 13) 高木理彰：関節リウマチの診断と治療 - 最近の話題から - ．三郡市医師会学術記念講演会，山形；2005年9月（招待講演）
- 14) 高木理彰：リウマチ性骨関節障害のリハビリテーション．平成17年度北海道東北地区リウマチ教育研修会，山形；2005年4月（教育研修講演）

3 . そ の 他

- 1) 第4回山形股関節セミナー，山形；2005年3月
- 2) 山形地区リウマチ研修会，山形；2005年5月
- 3) 第19回山形整形外科セミナー，山形；2005年6月
- 4) 第13回山形リウマチ研究会，山形；2005年9月
- 5) 第3回山形抗TNF リウマチ研究会，山形；2005年11月

1. 学 会 報 告

(1) 国内地方会

- 1) 鈴木俊紀, 情野文恵, 布施恒和: 膵管内乳頭粘液産生腫瘍 (IPMT) の免疫組織化学的検討. 第46回東北医学検査学会, 福島; 2005年10月

(2) 国内学会

- 1) 鈴木俊紀, 布施恒和, 東海林道子, 浅沼いづみ, 下嶋時子, 前田邦彦, 斉藤仁昭, 山川光徳: 指状嵌入細胞肉腫 (IDC sarcoma) の一例. 第44回日本臨床細胞学会秋期大会, 奈良; 2005年11月

薬 劑 部

1. 論 文

(1) 原 著

- 1) Toyogutchi T, Ebihara M, Ojima F, Hosoya J, and Nakagawa Y : in vitro study of the adsorption characteristics of drugs. Biol Pharm Bull. 2005 ; 28(5): 841-844
- 2) S hiraishi T, Nakagawa Y, Nakagawa M, Tominaga M : Measurement of antibodies against Measles Rubella. Mumps and varicella viruses in healthcare workers with a view to Prevention of nosocomial infection. Jpa. J. Pharm. Health Care Sci. 2005 ; 31(7): 533-536
- 3) 豊口禎子, 細谷順, 海老原光孝, 小嶋文良, 本田麻子, 富永綾, 仲川義人, 三井哲夫: スルファメトサゾール, トリメトプリムの体内動態に及ぼすメトトレキサート大量療法の影響. 医薬品相互作用研究, 2005 ; 29(1): 11-14
- 4) 中川美貴子, 大友えつ子, 長岡栄子, 高橋長一郎, 白石正, 吉谷須磨子, 北目文郎: 山形大学医学部附属病院におけるメチシリン耐性黄色ぶどう球菌検出数の年次推移. 北日本看護学会誌, 2005 ; 7(2): 31-37
- 5) 豊禎子, 細谷順, 海老原光孝, 小嶋文良, 仲川義人, 伊関憲, 大田浩之, 川前金幸: 救急医療および薬物中毒における薬剤師の役割. TDM研究, 2005 ; 28(3): 208-213
- 6) 丘龍祥, 仲川義人, 東海林徹, 清野由美子, 柏倉美幸, 水谷雅臣, 木村理, 竹下光弘: 山形大学病院における栄養アセスメントシステムの構築. 日本静脈経腸栄養, 2005 ; 28(3): 47-52
- 7) 小嶋文良, 櫻井可奈子, 伊藤順子, 岡寄千賀子, 武田直子, 半田貢康, 武田真美子, 相原由香, 峯田 純, 東海林徹, 仲川義人, 渡辺康弘: 山形県内の保険薬局におけるお薬手帳の活用度調査. 医療薬学, 2005; 31(4): 290-294
- 8) 白石正, 中川美貴子, 仲川義人, 富永真琴, 吉谷須磨子: 医療従事者における麻疹, 風疹, ムンプスおよび水痘, 帯状疱疹ウイルスに対する血清抗体価の測定とその解析. 感染症誌, 2005 ; 79(5): 322-328
- 9) 小嶋文良, 半田貢康, 武田直子, 櫻井可奈子, 伊藤順子, 岡寄千賀子, 武田真美子, 相原由香, 峯田 純, 東海林徹, 仲川義人, 渡辺康弘: 山形県病院薬局におけるお薬手帳の活用度調査, 日本病院薬剤師会誌, 2005; 40(7): 845-847
- 10) 小嶋文良, 相原由香, 武田真美子, 峯田純, 伊藤順子, 岡寄千賀子, 櫻井可奈子, 半田貢康, 武田直子, 東海林徹, 仲川義人, 渡辺康弘, 山形県におけるお薬手帳の活用度調査 , - アンケート調査 - . 日本病院薬剤師会雑誌, 2005 ; 57(7): 1, 195-1, 198
- 11) 細谷順, 白石正, 高橋長一郎, 武田律子, 小野久実子, 仲川義人: 鼻咽喉ファイバースコープ消毒法の検討と分離菌の消毒剤感受性. 日本病院薬剤師会雑誌, 2005 ; 41(10): 1237-1239
- 12) 豊口禎子, 細谷順, 海老原光孝, 小嶋文良, 仲川義人, 岡本安弘, 大谷尚也, 鳥居慎一: イトラコナゾール製剤の比較検討(1)- 製剤学的比較試験 - 新薬と臨床, 2005 ; 54(11): 1401-1407
- 13) 豊口禎子, 細谷順, 海老原光孝, 小嶋文良, 仲川義人, 岡本安弘, 大谷尚也, 鳥居慎一: イトラコナゾール製剤の比較検討(2)- イヌ体内動態比較試験 - 新薬と臨床, 2005 ; 54(11): 1408-1412 .

(2) 総 説

- 1) 仲川義人: 病気と薬の説明ガイド2005. 肺結核治療薬と患者への説明. 薬局, 2005 ; 56(1): 722-737
- 2) 東海林徹: 静脈栄養剤の基礎知識. 薬局, 2005 ; 56(1): 31-42 .
- 3) 白石正: 注射部位の消毒. INFECTION CONTROL, 2005 ; 14(1): 78-80
- 4) 仲川義人: 薬剤管理とセーフティマネージメント. 山形県医師会会報, 2005 ; 64(2): 69-74
- 5) 白石正: 臨床における消毒薬の使い方. 感染制御, 2005 ; 1(3): 249-251
- 6) 仲川義人: 感染症専門薬剤師の役割について. 薬剤学, 2005 ; 65(5): 258-261
- 7) 白石正: 消毒薬の副作用. 月刊薬事, 2005 ; 47(6): 59-62
- 8) 豊口禎子, 仲川義人: 根拠がわかる! 押さえておくべきポイント, 成人以外の患者における注意点. 月刊ナーシング, 2005 ; 25(10): 34-39
- 9) 高橋修二, 仲川義人: 根拠がわかる! 押さえておくべきポイント, 輸液・注射剤混注時の注意点. 月刊ナー

シング, 2005 ; 25(10): 40-47

10) 豊口禎子, 仲川義人: 薬剤別処方箋チェックのポイント, 抗生物質. 薬局, 2005 ; 56(11): 2895-2900

(3) 著 書

- 1) 仲川義人: 病院感染対策における薬剤師の役割 - 総論 - 薬剤師のための感染制御マニュアル. 日本病院薬剤師会編. 東京; 薬事日報社, 2005 ; 31-41
- 2) 白石正 (分筆): 感染対策における薬剤師の役割. 薬剤師のための感染制御マニュアル. 日本病院薬剤師会編, 東京; 薬事日報社, 2005 ; 43-48
- 3) 白石正 (分筆): 器具消毒, ICTのための感染対策トレーニングブック. 秋季増刊, 2005 ; 80-83
- 4) 豊口禎子, 仲川義人: SSI対策における薬剤師の役割. 手術部位感染 (SSI) 対策の実践. 竹末芳生編, 大阪; 医療ジャーナル, 2005 ; 224-228
- 5) 仲川義人: 薬 イミダス. 東京; 集英社, 2005 ; 687-694
- 6) 仲川義人, 白石正: 感染管理と薬剤師. 東京; 日本薬剤師会, 2005 ; 31-41

(4) そ の 他

- 1) 小嶋文良, 武田直子, 武田真美子, 峯田純, 相原由香, 半田貢康, 岡崎千賀子, 櫻井可奈子, 伊藤順子, 東海林徹, 仲川義人, 渡辺康弘: アンケート調査による「かかりつけ診療お薬手帳」に対する各種要望. 薬苑, 2005 ; 53(10): 1 - 5
- 2) 仲川義人: 長期実務実習の課題と今後の展望 - 東北編- ファーマシー & セラピー, 2005 ; 43 : 2 - 4
- 3) 仲川義人: 最近話題の新薬について. 秋薬, 秋田, 2005 ; 22(15): 16-28
- 4) 仲川義人: 輸液管理と感染対策に見る薬剤師の役割. Carlisle, 2005 ; 9(4): 4 - 6
- 5) 古川雄彦, 仲川義人: リスクマネジメントを考慮した注射薬セットの運用と評価. Medical Forum CHUGAI . 2005 ; 9(6): 30-35
- 6) 仲川義人: 消毒薬の特性と適正使用. DIAs, 2005 ; 8 : 1 - 5
- 7) 仲川義人: 「感染制御専門薬剤師」認定について. Pallete, 2005 ; 51 : 7 - 8
- 8) 仲川義人: 手指消毒剤と抵抗性菌. DIAs, 2005 ; 9 : 1 - 4

2 . 学 会 報 告

(1) 国 際 学 会

- 1) Ryusho Oka, Tohru Shoji, Yoshito Nakagawa, Masaomi Mizutani and Wataru Kimura : Construction of an original database management for the nutrition assessment system in Yamagata University Hospital. The 4th Japan-Korea Joint Symposium For Clinical On Parenteral Drugs in Sendai ; April 30 May 1 2005
- 2) Yoshito Nakagawa, tadashi Shiraishi, Shigehiro Okada, Yuko Takeda, Yuko Arai, Yasuko Harada, Hajime Matsubara : A Survey of Appropriate Use of Antiseptic Agents in Several Health-care Settings. The 5th Asian Pacific Congress on Antisepsis. CAIRNS, Australia ; July 2005
- 3) Shiraishi T, Nakagawa Y, Matsubara H, Takeda Y, Okada S, Harada Y ; A survey of the Appropriate use of antiseptics agents in the operating room of Several key Health care Facilities. The 5th Asian Pacific congress on Antisepsis. Cairns, Australia ; July 2005

(2) 国 内 学 会

- 1) 仲川義人: 平成16年度感染制御専門薬剤師育成セミナー, 神戸; 2005年2月
- 2) 白石正, 中川美貴子, 仲川義人, 富永真琴, 早坂清: 医療従事者の麻疹, 風疹, ムンプス. 水痘, 抗体価測定とその解析. 第20回日本環境感染学会総会, 神戸; 2005年2月
- 3) 細谷順, 白石正, 高橋長一郎, 武田律子, 小野久実子, 仲川義人: 鼻咽喉ファイバースコープ消毒法の検討と検出菌の消毒剤感受性. 第20回日本環境感染学会, 神戸; 2005年2月
- 4) 丘龍祥, 東海林徹, 仲川義人, 清野由美子, 水谷雅臣, 木村理: 栄養アセスメントシートの構築と評価. 第20回日本静脈経腸栄養学会, 名古屋; 2005年2月
- 5) 豊口禎子, 海老原光孝, 細谷順, 小嶋文良, 仲川義人, 岡本安弘, 大谷尚也. 鳥居慎一: 後発医薬品の評価 (4)トラコナゾール内服製剤における検討. 第125年会日本薬学会, 東京; 2005年4月
- 6) 仲川義人: 第4回日韓合同注射薬臨床情報学会, 仙台; 2005年4 - 5月

- 7) 仲川義人：第37回山形県病院薬剤師会総会並びに第44回実務研修会，山形；2005年5月
- 8) 仲川義人：第60回医薬品相互作用研究会シンポジウム／創立30周年記念式典，仙台；2005年7月
- 9) 白石正：消毒薬の選択と経済性．山形県臨床微生物研究会，山形；2005年8月
- 10) 白石正：消毒薬使用の適正指導．第15回日本医療薬学会年会シンポジウム，岡山；2005年10月
- 11) 武田真美子，武田直子，半田貢康，相原由香，峯田純，新田幸男，櫻井可奈子，伊藤順子，岡寄千賀子，小嶋文良，渡辺康弘：山形県におけるお薬手帳活用度調査-第4報医師に対するアンケート調査-．第8回日本病院薬剤師会学術大会，広島；2005年10月
- 12) 仲川義人：第7回日本注射薬臨床情報学，大阪；2005年11月

(3) 国内の地方会

- 1) 高橋洋子，鈴木亨，海老原光孝，丘龍祥，本田麻子，富永綾，有川宗平，斉藤順，豊口禎子，東海林徹，仲川義人：第51回山形県薬学大会，山形；2005年3月
- 2) 仲川義人：第4回（通算13回）山形県インフェクションコントロール研究会，山形；2005年9月
- 3) 白石正：消毒薬の選択と経済性．青森滅菌消毒研究会，弘前；2005年10月
- 4) 富永綾，豊口禎子，仲川義人：皮膚科領域におけるミクロスポリン療法の一考察．第44回日本薬学会東北支部大会，仙台；2005年10月
- 5) 仲川義人：第25回山形県病院薬剤師会実務研修会，山形；2005年11月

(4) 研究会

- 1) 小嶋文良：山形のターミナルを考える会．第46回勉強会，山形；遊学館2005年1月
- 2) 仲川義人：ICT活動と薬剤師の役割．東京都病院薬剤師会，東京；2005年2月
- 3) 仲川義人：めまい誘発薬剤への留意点と最近話題の治療薬．第7回めまい研究会，山形；2005年2月
- 4) 仲川義人：最近話題の新薬について．第26回秋田県薬学懇話会学術大会，秋田；2005年2月
- 5) 小嶋文良，武田真美子，櫻井可奈子，伊藤順子，岡寄千賀子，半田貢康，峯田純，相原由香，小嶋文良，武田直子：お薬の正しい飲み方について．お薬手帳に対する患者様の“声” - アンケート調査から - ．第51回山形県薬学大会，山形；2005年3月
- 6) 武田直子，櫻井可奈子，伊藤順子，半田貢康，武田真美子，峯田純，相原由香，岡寄千賀子，小嶋文良：お薬手帳活用による薬局のメリット - アンケート調査から - ．第51回山形県薬学大会，山形；2005年3月
- 7) 仲川義人：感染対策チーム（ICT）と薬剤師の役割．ファイザー薬剤師フォーラム2005，東京；2005年4月
- 8) 小嶋文良：カルベジロールの新しい使い方（プロッカー）．第28回山形臨床薬学研究会，山形；2005年4月
- 9) 小嶋文良：薬学教育6年制に伴う認定実務実習のモデル・コアカリキュラムならびに指導薬剤師（病院薬局編）．第44回山形県病院薬剤師研修会，山形；2005年5月
- 10) 小嶋文良：薬学教育6年制に伴う認定実務実習指導薬剤師ならびに長期実務実習のモデル・コアカリキュラム（保険薬局編）．平成17年度山形県薬剤師会実務実習研修，山形；2005年5月
- 11) 仲川義人：感染管理と薬剤師．平成17年度病院・診療所薬剤師研修会，福岡；2005年6月
- 12) 仲川義人：感染管理と薬剤師．平成17年度病院・診療所薬剤師研修会，広島；2005年6月
- 13) 仲川義人：感染管理と薬剤師．平成17年度病院・診療所薬剤師研修会，仙台；2005年7月
- 14) 仲川義人：薬学教育6年制と病院薬局実務実習・平成17年度県薬剤師会・病院薬剤師会合同研修会山形；2005年7月
- 15) 仲川義人：くすりとかからだの化学．山形放送大学，山形；2005年7月
- 16) 小嶋文良：薬学教育6年制に伴う指導薬剤師とモデル・コアカリキュラム．平成17年度山形県薬・病薬合同研修会，シンポジウム「薬学教育6年制に向けて」．山形；2005年7月
- 17) 白石正：消毒薬の選択と経済性．山形県臨床微生物研究会，山形；2005年8月
- 18) 仲川義人：これからの薬学教育における微生物・化学療法教育．第7回微生物シンポジウム，東京；2005年9月
- 19) 小嶋文良：サプリメントについて及び食と薬の相互作用について．平成17年度山形県栄養士会生涯学習研修会，山形；2005年9月
- 20) 白石正：消毒薬の選択と経済性．青森滅菌消毒研究会，弘前；2005年10月
- 21) 仲川義人：尿路感染症に使用した抗生剤に関する調査報告（薬剤師部会）．第7回国立大学病院感染対策協議

会，弘前；2005年11月

22) 仲川義人：Infectious Diseases and Pharmacists；JICA：the Group Training in Hospital Pharmacy．東京；2005年11月

23) 仲川義人：感染管理と薬剤師．平成17年度病院・診療所薬剤師研修会，名古屋；2005年11月

24) 仲川義人：感染管理と薬剤師．平成17年度病院・診療所薬剤師研修会，大阪；2005年11月

(5) その他

1) 白石正：専門薬剤師の最新情報．宮城県病院薬剤師会，仙台；2005年1月

2) 白石正：感染対策のシステム化．管制御専門薬剤師育成セミナー，神戸；2005年2月

3) 小嶋文良：たばこ，お酒，薬物の害について．薬物乱用防止教室，山形；2005年2月

4) 白石正：ICTにおける薬剤師の役割．福岡病院薬剤師研修会，福岡；2005年3月

5) 小嶋文良：お薬の話，薬はなぜ効くのか，なぜ副作用が起きるのか．8階西病棟看護師学習会，山形；2005年3月

6) 小嶋文良：吸入剤の試験法と臨床/薬効評価．技術情報協会セミナー，東京；2005年4月

7) 白石正：感染制御専門薬剤師認定制度．山形県病院薬剤師研修会，山形；2005年5月

8) 白石正：院内感染対策の充実．17年度国公立大学病院薬剤部職員研修会，東京；2005年5月

9) 豊口禎子：後発医薬品の一考察．Dermaフォーラム2005，東京；2005年5月

10) 白石正：院内感染対策の基礎知識，宮城県病院薬剤師研修会，仙台；2005年6月

11) 豊口禎子：薬剤師の処方選択への関与．病院薬剤師会福島支部研修会，福島；2005年6月

12) 小嶋文良：禁煙推進山形県大会，世界禁煙デー in やまがた2005．四師会活動報告，山形県薬剤師会禁煙活動報告，山形；2005年6月

13) 小嶋文良：お薬の正しい飲み方．5階東病棟看護師学習会，山形；2005年6月

14) 白石正：感染制御専門薬剤師に必要な知識．札幌病院薬剤師研修会，札幌；2005年7月

15) 白石正：感染対策と専門薬剤師認定制度．福島県病院薬剤師学術講演会，福島；2005年7月

16) 小嶋文良：薬学教育6年制に伴う指導薬剤師とモデル・コアカリキュラム．8階東病棟看護師学習会，山形；2005年7月

17) 小嶋文良：吸入剤の患者指導．8階東病棟看護師学習会，山形；2005年7月

18) 海老原光孝：ポリ塩化ビニル製輸液セットから可塑剤の溶出．第60回医薬品相互作用研究会シンポジウム，仙台；2005年7月

19) 仲川義人：輸液療法と衛生管理．第20回NSTセミナー，山形；2005年9月

20) 白石正：感染管理と薬剤師．17年度病院診療所薬剤師研修会，札幌；2005年9月

21) 白石正：感染制御薬剤師に必要な知識．岐阜県病院薬剤師研修会，岐阜；2005年9月

22) 白石正：ICTにおける薬剤師の役割．17年度院内感染対策講習会，東京；2005年9月

23) 小嶋文良：吸入剤とその試験法および臨床的な評価と問題点．技術情報協力セミナー，東京；2005年9月

24) 白石正：院内感染対策における薬剤師の役割．新潟県病院薬剤師研修会，新潟；2005年10月

25) 豊口禎子：ジェネリック医薬品選択の一考察．第14回次世代薬剤師を育てる会セミナー，東京；2005年10月

26) 豊口禎子：後発医薬品評価の一考察．置賜皮膚医会，米沢；2005年10月

27) 白石正：感染対策における薬剤師の関わりと専門薬剤師．茨城県厚生連研修会，取手；2005年11月

28) 丘龍祥，仲川義人，東海林徹，清野由美子，水谷雅臣，木村理：当院の栄養アセスメントシステムを利用した神経性食思不振症に対する栄養介入．第2回福島県NSTフォーラム，郡山；2005年11月

29) 小嶋文良：心臓のお薬．5階東病棟入院患者勉強会，山形；2005年11月

30) 仲川義人：輸液療法の留意点．平成17年度看護師静脈・注射教育プログラム，山形；2005年12月

31) 白石正：感染対策における薬剤師の役割．網走病院薬剤師会講演会，網走；2005年12月

32) 小嶋文良：煙草，お酒，薬物の乱用防止．薬物乱用防止教室，山形；2005年12月

3. その他

1) 仲川義人：第27回山形臨床薬学研究会，山形；2005年1月

2) 仲川義人：第1回山形がん化学療法研修会，山形；2005年2月

3) 仲川義人：おくすりなんでも相談．市民公開講座，山形；2005年3月

- 4) 仲川義人：第2回山形がん化学療法研修会，山形；2005年4月
- 5) 仲川義人：第28回山形臨床薬学研究会，山形 2005年4月
- 6) 仲川義人：第3回山形がん化学療法研修会．山形；2005年6月
- 7) 仲川義人：第29回山形臨床薬学研究会，山形；2005年7月
- 8) 仲川義人：第4回山形がん化学療法研修会，山形；2005年9月
- 9) 仲川義人：感染対策ディスカッション（司会）．平成17年度院内感染対策講習会，東京，2005年9月
- 10) 仲川義人：院内感染対策のシステム化 - ICTにおける薬剤師の役割 - ．平成17年度院内感染対策講習会，福岡；2005年10月
- 11) 白石正：消毒滅菌の基礎と実際．17年度院内感染対策講習会，札幌；2005年10月
- 12) 白石正：感染管理と薬剤師．17年度病院診療所薬剤師研修会，東京；2005年10月
- 13) 仲川義人：第30回山形臨床薬学研究会，山形；2005年11月
- 14) 仲川義人：第5回山形がん化学療法研修会，山形；2005年11月

動物実験施設

1. 論文

(1) 原著

- 1) Tomoko Shimoda, Akira Ishihata, Tsunekata Ito, Kazuo Owada, Tomomi Aita, Mikako Kaga, Yumi Katano: Progression of Atherosclerosis and Femoral Arterial Blood Pressure In Heritable Hypertriglyceridemic Rabbits. Yamagata Med J, 23(1), 23-32, 2005
- 2) Tsunekata Ito, Kazuo Ohwada, Hitonobu Tomoike: A hereditary postprandial hypertriglyceridemic (PHT) rabbit model. Folia Pharmacol. Jpn, 125, 301-306, 2005
- 3) Katsunari Tasaki, Ichiro Wakabayashi, Tetsuro Shishido, Satoshi Takasaki, Yasuchika Takeishi, Isao Kubota, Tsunekata Ito, Yumi Katano, Hitonobu Tomoike: Diminution of angiotensin -induced contraction of abdominal aorta isolated from Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. J. Smooth Muscle Res, 41(2): 87-97, 2005

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Tsunekata Ito, Kazuo Ohwada, Hitonobu Tomoike: A hereditary postprandial hypertriglyceridemic (PHT) rabbit model. The 1st International Conference on Transgenic Rabbits, Tsukuba, Japan, June 18, 8-8, 2005

(2) 国内の学会

- 1) 下田智子, 會田智美, 利美賀子, 友池仁暢, 伊藤恒賢, 大和田一雄, 石幡明, 片野由美: 遺伝性高中性脂肪血症家兎における循環動態および加齢変化 (Effects of aging and elevated level of plasma triglyceride on blood). 第78回日本薬理学会年会講演要旨集, 横浜, 182-182, 2005年3月
- 2) 伊藤恒賢, 秦正充, 三ツ口陽子, 大和田一雄, 友池仁暢: 食後高トリグリセリド血症 (PHT) 家兎におけるTG産生と分解に関する基礎的検討. 第52回日本実験動物学会総会講演要旨集, 東京; 122-122, 2005年5月
- 3) 秦 正充, 伊藤恒賢, 大和田一雄: ジャンガリアンハムスターにおける体外受精条件に関する基礎的検討. 第52回日本実験動物学会総会講演要旨集, 東京; 163-163, 2005年5月
- 4) 三ツ口陽子, 伊藤恒賢, 大和田一雄: 当施設で開発した遺伝性高TG血症家兎 (TGH) の病理組織学的基本特性の検索, 第52回日本実験動物学会総会講演要旨集, 東京; 188-188, 2005年5月
- 5) 伊藤恒賢, 秦正充, 三ツ口陽子, 大和田一雄, 斯波真理子, 友池仁暢: 食後高トリグリセリド血症家兎 (PHT) の平時における血中脂質とインスリン動態. 第39回日本実験動物技術者協会総会講演要旨集, 金沢; 113-113, 2005年6月
- 6) 秦正充, 伊藤恒賢, 大和田一雄, 斯波真理子, 友池仁暢: 食後高トリグリセリド血症家兎 (PHT) の食後におけるアポ蛋白プロファイル, 第39回日本実験動物技術者協会総会講演要旨集, 金沢; 114-114, 2005年6月
- 7) 三ツ口陽子, 伊藤恒賢, 大和田一雄, 斯波真理子, 友池仁暢: 食後高トリグリセリド血症家兎 (PHT) の基本的病理組織像の特性検索, 第39回日本実験動物技術者協会総会講演要旨集, 金沢市, 110-110, 2005年6月
- 8) 尾崎順子, 尾形貴文, 工藤亜紀, 伊藤恒賢, 大和田一雄: 異なるケージサイズ及び飼育形態の違いはマウスにとってストレスか?. 第39回日本実験動物技術者協会総会講演要旨集, 金沢市; 2005年6月

(3) 国内地方会

- 1) 神村栄吉, 秦正充: 129/Sv系統マウスのPZDを用いた体外受精の検討. 日本実験動物技術者協会・平成17年度奥羽・東北合同勉強会講演要旨集, 福島市; 2005年12月
- 2) 伊藤恒賢, 尾崎順子, 本間貞明, 長橋武, 秦正充, 三ツ口陽子, 鈴木浩美, 神村栄吉, 大和田一雄: 帝王切開術を用いたMouse hepatitis virusとMycoplasma pulmonis 混合感染マウスの移送時清浄化の試み. 日本実験動物技術者協会・平成17年度奥羽・東北支部合同勉強会講演要旨集, 福島; 14-15, 2005年12月

(4) その他

- 1) 伊藤恒賢: 食後高トリグリセリド血症家兎の開発と有用性, 日本実験動物技術者協会東北支部講演会, 特別

講演，福島；2005年4月

- 2) 伊藤恒賢:実験動物の繁殖技術とその応用，第10回山形大学医学部技術部職員研修会報告集，技術発表(1)，山形，66-66，2005年8月

実験実習機器センター

1. 論文

(1) 原著

- 1) Zhang X, Migita CT, Sato M, Sasahara M, Yoshida T: Protein expressed by the ho2 gene of the cyanobacterium Synechocystis sp. PCC 6803 is a true heme oxygenase. Properties of the heme and enzyme complex. FEBS J. 2005; 272(4): 1012-22.

2. 学会報告

(1) 国内の学会

- 1) 野村保友, 藤原宏之, 佐藤道比古, 高橋英嗣, 馮忠剛, 中村孝夫: 過酸化水素の細胞毒性に対するコバルトの効果. 第43回日本生物物理学会大会, 札幌; 2005年11月

(2) その他

- 1) 佐藤道比古: 高速液体クロマトグラフィーの基礎と応用, 大学院研究手法コース, 山形; 2006年1月
- 2) 佐藤道比古: コンピテントセルの作成とRT-PCR クローニングの実際, 大学院研究手法コース, 山形; 2005年11月
- 3) 佐藤道比古: PCRクローニングとLightCyclerによる組織内mRNAの定量, 大学院研究手法コース, 山形; 2005年11月

3. その他

- 1) 佐藤道比古, 中島 修, 藤井順逸, 吉田 匡: 理科教員のための組換えDNA実験研修 (平成17年度, 文部科学省サイエンス・パートナーシップ・プログラム), 山形; 2005年8月

遺伝子実験施設

1. 論文

(1) 原著

- 1) Kelly VP, Suzuki T, Nakajima O, Arai T, Tamai Y, Takahashi S, Nishimura S, Yamamoto M : The distal sequence element of the selenocysteine tRNA gene is a tissue-dependent enhancer essential for mouse embryogenesis. *Mol Cell Biol.* 2005 ; 25 : 3658-3669
- 2) Takahashi E, Takano T, Numata A, Hayashi N, Okano S, Nakajima O, Nomura Y, Sato M : Genetic oxygen sensor : GFP as an indicator of intracellular oxygenation. *Adv Exp Med Biol.* 2005 ; 566 : 39-44.
- 3) Okano S, Lan L, Tomkinson AE, Yasui A : Translocation of XRCC 1 and DNA ligase IIIa from centrosomes to chromosomes in response to DNA damage in mitotic human cells. *Nucleic Acids Res.* 2005 ; 33 : 422-429.

2. 学会報告

(1) 国際学会

- 1) Osamu Nakajima : A novel mouse model of acute porphyria established by transgenic expression of 5-aminolevulinate synthase. 7th Internatinal Porphyrin-Heme Symposium, Puli, Taiwan, January 2005
- 2) Satoshi Okano¹, Toshimasa Kusaka¹, Xu Gao¹, Osamu Nakajima¹ and Masayuki Yamamoto : Analysis of physiological roles of non tissue-specific 5-aminolevulinate synthase (ALAS-N) using gene-targeted mice. 7th Internatinal Porphyrin-Heme Symposium, Puli, Taiwan, January 2005
- 3) Toshimasa Kusaka, Hiroko Harada , Xu Gao, Shin-ichi Sakata, Kazuhiro Iwai, Tsunemi Hasegawa , Katsushi Tajima, Takeo Kato, Masayuki Yamamoto, Osamu Nakajima : The iron-responsive element in erythroid 5-aminolevulinate synthase mRNA controls protoporphyrin IX synthesis in proportion to cellular iron bioavailability in erythroid cells. 7th Internatinal Porphyrin-Heme Symposium, Puli, Taiwan, January 2005
- 4) Hiroko Harada, Toshimasa Kusaka, Xu Gao, Katsushi Tajima, Takeo Kato, Masayuki Yamamoto and Osamu Nakajima : Participation of the iron-responsive element in erythroid-type 5-aminolevulinate synthase mRNA in erythropoiesis. 7th Internatinal Porphyrin-Heme Symposium, Puli, Taiwan, January 2005
- 5) Xu Gao, , Shigeru Taketani, Ying-Jie Sun, Michihiko Satoh, Tadashi Yoshida, Masayuki Yamamoto , Osamu Nakajima : A novel mouse model of acute porphyria established by transgenic expression of 5-aminolevulinate synthase. 7th Internatinal Porphyrin-Heme Symposium, Puli, Taiwan, January 2005
- 6) Lan L, Nakajima S, Okano S, Yasui A : In situ analysis of oxidative DNA damage repair in human cells; Central roles of XRCC 1 in the responses of human cells to single-strand breaks. International Symposium on Genomic Maintenance and DNA Repair Network, Kyoto, January, 2005.

(2) 国内の学会

- 1) 張旭紅, 富樫義之, 笹原政直, 中島修, 吉田匡 . ヘムオキシゲナーゼ - 2 のヘム結合性モチーフ (HRM) の生理機能の解析 . 第78回日本生化学会大会, 神戸 ; 2005年10月
- 2) 細谷朋方, 高旭, 川谷幸恵, 中島修, 吉田匡, 伊東健, 山本雅之 . Disturbed iron reutilization caused by macrophage-specific targeting of heme oxygenase-1 gene. 第28回日本分子生物学会年会, 博多 ; 2005年12月
- 3) 竹内未紀, 西川恵三, 安藤秀樹, 高旭, 金子寛, 中島修, 岡本仁, 小林麻己人, 山本雅之 : Gata1依存的に造血組織で発現する末梢型ベンゾジアゼピンレセプターはヘム合成に関与する . 第28回日本分子生物学会年会, 博多 ; 2005年12月
- 4) 岡野聡, 柴田和秀, 日下智聖, 高旭, 中島修, 山本雅之 : GFPノックインマウスを利用した組織非特異型 5 - アミノレブリン酸シンターゼ遺伝子発現調節機構の解析 第28回日本分子生物学会年会, 博多 ; 2005年12月

(3) 研究会

- 1) 岡野聡, 柴田和秀, 日下智聖, 高旭, 中島修, 山本雅之: GFPノックインマウスを用いたALAS-N遺伝子の発現調節機構の解析. 第12回山形分子生物学セミナー, 山形; 2005年12月
- 2) 張旭紅, 富樫義之, 笹原政直, 中島修, 吉田匡: トランスジェニックマウスを用いたヘムオキシゲナーゼ-2のヘム結合性モチーフの生理機能の解析, 第13回山形分子生物学セミナー, 山形; 2005年12月

3. その他

- 1) 蛋白質同定のための質量分析講習会(第2回). 遺伝子実験施設講習会, 山形; 2005年2月
- 2) 遺伝子改変マウス作製技術講習会「トランスジェニックマウス作製の実際」(第3回). 遺伝子実験施設講習会, 山形; 2005年3月
- 3) DNA組換え実験トレーニングコース(第3回). 遺伝子実験施設講習会, 山形; 2005年3月
- 4) DNAクローニング技術講習会(第1回). 遺伝子実験施設講習会, 山形; 2005年6月
- 5) 理科教員のための組換えDNA実験研修(平成17年度文部科学省サイエンス・パートナーシップ・プログラム), 山形; 2005年8月

編 集 後 記

編集委員長（耳鼻咽喉・頭頸部外科分野教授）

青 柳 優

2005年版研究業績集をお届けします。本年4月から紀要編集委員長を拝命したのに伴い、研究業績集の編集委員長も兼ねることになりましたので、本誌の編集は前任者の本山悌一委員長（今期は副委員長）のもとでまとめられたものです。

原稿を通覧いたしますと、近年、臨床・研究・教育にかかわる仕事や事務的な雑多な仕事が益々増加し、多忙を極めるなかで、「どの教室も、皆頑張っているなあ」という印象を強く持ちます。特に、英文論文と外国学会での口演が多くなっている印象であり、以前と比較して研究資金も潤沢とは言えなくなって来ているなか、皆さんにはどの様に工夫しているのかと心配してしまいます。

2003年版の編集後記に本山悌一編集委員長が業績集のあり方について論じておられるので、私も私見を述べて編集後記に代えさせていただきます。以前の業績集には学会・研究会報告の項目の中に、「特別講演」、「シンポジウム・ワークショップ」という項目がありましたが、何年か前からその項目が消えました。発表時間が7～8分の一般演題と特別講演やシンポジウムを同列に扱うのは如何なものかと思っております。また、これは最初から項目が無いのですが、「研究費」の取得状況も記載すべきかと、以前から考えております。このことについては編集委員会でゆっくり議論するとして、今年版も有意義に利用していただけます様に祈念いたします。

（2006年6月）

山形大学医学部研究業績集編集委員会

委員長	青	柳	優
副委員長	本	山	悌一
委員	山	崎	健太郎
委員	浅	尾	裕信
委員	根	本	建二
委員	川	前	金幸夫
委員	中	村	孝夫

編集責任者

平成18年7月印刷
平成18年7月発行

編集兼
発行者 山形大学医学部
山形市飯田西2丁目2-2

印刷所 コロニー印刷山形福祉工場
山形市桜田南1-19